

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1単位	必修
担当教員			
栗林 美智子、宮脇 利幸、春原 るみ、勝山 しおり、土屋 謙仕、松下 雅子、古川 智巳、北澤 一樹、近藤 優樹			
年間授業回数：15回	授業形態：講義	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	大学教育へのスムーズな導入を目的とし、建学の精神とリハビリテーション専門職連携の基礎、スタディスキル（図書館の利用法、情報収集の仕方、レポートの書き方等）、ソーシャルスキル（社会人として、未来の医療従事者としての心構え）を学ぶ。また、ポートフォリオの作成を通して、それぞれの目標を明確にし、大学で何をどのように学ぶかを考えることで、大学での学習に主体的に取り組めるようになるための知識、技能、思考力、表現力を身につけることを目標とする。
学修目標	1. リハビリテーションチームにおける作業療法士の役割と他職種の役割を理解し説明できる。 2. 本学で学ぶためのスタディスキルを理解し、より幅広く深い知識や技術を身に付けるための態度や心構えで行動できる。 3. 作業療法士になり、働くことを可能にするための知識、技術、態度、心構えとは何かを理解し達成するために行動することが出来る。 4. ポートフォリオを通して目標指向的な考え方や自己や他者が作業的存在であることを理解し説明できる。
授業計画	<p>第1回 共に学ぶ仲間を知る、学生自己紹介 4/9(水)1限 201/第2作業療法室/大講義室 (担当：栗林)</p> <p>第2回 スタディスキル：授業の受け方、ノートの取り方、レポートの書き方 4/16(水)1限 201/第2作業療法室/大講義室 (担当：栗林)</p> <p>第3回 建学の精神、大学で学ぶ心構え、大学生生活の過ごし方とリスク管理、図書館の利用方法 4/23(水)1限 201/第2作業療法室/大講義室 (担当：栗林)</p> <p>第4回 スタディスキル：文献検索の方法、ポートフォリオとは何か：目標管理と作業的な振り返りとは 4/30(水)1限 201/第2作業療法室/大講義室 (担当：栗林)</p> <p>第5回 グループワーク ポートフォリオ作成 準備 5/7(水)1限 201/第2作業療法室/大講義室 (担当：宮脇 他)</p> <p>第6回 グループワーク ポートフォリオ作成 材料収集 5/14(水)1限 201/第2作業療法室/大講義室 (担当：宮脇 他)</p> <p>第7回 グループワーク ポートフォリオ作成 目標設定と作成 5/21(水)1限 201/第2作業療法室/大講義室 (担当：宮脇 他)</p> <p>第8回 パーソナルポートフォリオ 発表 ① (1から3班) 質疑応答 6/4(水)1限 201/第2作業療法室/大講義室 (担当：宮脇 他)</p> <p>第9回 パーソナルポートフォリオ 発表 ② (4から6班) 質疑応答 6/11(水)1限 201/第2作業療法室/大講義室 (担当：宮脇 他)</p> <p>第10回 パーソナルポートフォリオ 発表 ③ (7から8班) 質疑応答 6/18(水)1限 201/第2作業療法室/大講義室 (担当：宮脇 他)</p> <p>第11回 目標指向的学習とリハビリテーションチームにおける作業療法士と他職種の役割 6/25(水)1限 201/第2作業療法室/大講義室 (担当：栗林)</p> <p>第12回 グループワーク 作業療法士とは何か (目標設定) 7/2(水)1限 201/第2作業療法室/大講義室 (担当：宮脇 他)</p> <p>第13回 グループワーク 作業療法士になるために必要な要素を考える 7/9(水)1限 201/第2作業療法室/大講義室 (担当：宮脇 他)</p> <p>第14回 グループワーク 作業療法士になるための方法 (プランニング) 7/16(水)1限 201/第2作業療法室/大講義室 (担当：宮脇 他)</p> <p>第15回 グループ発表 7/23(水)1限 201/第2作業療法室/大講義室 (担当：宮脇 他)</p>
教科書	学生便覧、学生生活の手引き、他にプリントを配布する。
参考図書	1. 佐藤望編著：アカデミックスキルズー大学生のための知的技法入門 第2版 慶応義塾大学出版会 2. 鈴木敏恵：目標管理はポートフォリオで成功する メヂカルフレンド社 3. 鈴木敏恵：ポートフォリオで未来の教育 次世代の教育者・指導者のテキスト 日本看護協会出版会 4. 鈴木敏恵：キャリアストーリーをポートフォリオで実現する 日本看護協会出版会
予習・復習内容	グループワークに必要な材料の準備、テーマ学習や発表に関する予習
成績評価方法	課題遂行度 60%、パーソナルポートフォリオ 20%、テーマポートフォリオ 20%
履修上の注意	第2、4回は「学生便覧」と「学生生活の手引き」を持参すること。

担当教員への連絡方法	初回授業時にアナウンスする。
授業に関する大学教員以外の実務経験	担当するOT専任教員は、それぞれに教員としての教育経験と臨床での学生指導経験を有する。
実務経験と授業科目の関連性	実務経験を踏まえ、大学生として主体的に行動することの重要性を伝えたい。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解 別表2（作業療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1単位	必修
担当教員			
栗林 美智子、宮脇 利幸、春原 るみ、勝山 しおり、土屋 謙仕、松下 雅子、古川 智巳、北澤 一樹、近藤 優樹			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	小グループを作り、医療やリハビリテーションならびに人々の生活や作業において興味のある事柄についてグループで探求する。日々の素朴な疑問や講義で知り得た知識をリサーチクエスチョンに高め、グループメンバー間で協力しながら情報収集、問題解決の方法の探索と実践、発表準備などを進めていく過程を通し、大学生として必要なスタディスキル・ソーシャルスキルを養う。議論には積極的に参加し、能動的に関わるように努力することを期待する。各グループには担当教員がファシリテーターとして配置されるので、必要に応じてアドバイスを受けること。
学修目標	1. 課題を自ら発見し、ディスカッションできる。 2. 本学で学ぶためのスタディスキルを理解し、より幅広く深い知識や技術を身に付けるための態度や心構えで行動できる。 3. 他者と協力するコミュニケーション力、課題に対して自ら取り組む主体性を身につける。 4. 活動内容を総括し、プレゼンテーションできる。
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション 9/24(水)1限 第1作業療法室/講堂 (担当：栗林)</p> <p>第2回 グループワーク テーマ (課題) の発見 10/1(水)1限 第1作業療法室/講堂 (担当：宮脇 他)</p> <p>第3回 グループワーク テーマ (課題) の発見 ディスカッション 10/8(水)1限 第1作業療法室/講堂 (担当：宮脇 他)</p> <p>第4回 グループワーク 解決方法 ディスカッション 10/15(水)1限 第1作業療法室/講堂 (担当：宮脇 他)</p> <p>第5回 グループワーク 解決方法 計画立案 10/22(水)1限 第1作業療法室/講堂 (担当：宮脇 他)</p> <p>第6回 グループワーク 情報収集 役割分担 10/29(水)1限 第1作業療法室/講堂 (担当：宮脇 他)</p> <p>第7回 グループワーク 情報収集 学習 文献検索 アンケート作成等 11/5(水)1限 第1作業療法室/講堂 (担当：宮脇 他)</p> <p>第8回 グループワーク 情報収集 学習 文献検索 アンケート調査等 11/12(水)1限 第1作業療法室/講堂 (担当：宮脇 他)</p> <p>第9回 グループワーク 情報収集 学習 文献検索 アンケート解析等 11/19(水)1限 第1作業療法室/講堂 (担当：宮脇 他)</p> <p>第10回 グループワーク 情報収集 学習 文献検索 アンケート考察等 11/26(水)1限 第1作業療法室/講堂 (担当：宮脇 他)</p> <p>第11回 グループワーク テーマ (課題) の解決 ディスカッション 12/3(水)1限 第1作業療法室/講堂 (担当：宮脇 他)</p> <p>第12回 グループワーク テーマ (課題) の解決 ディスカッションおよび考察 12/10(水)1限 第1作業療法室/講堂 (担当：宮脇 他)</p> <p>第13回 グループワーク 学習の要約 パワーポイントによるまとめ 12/17(水)1限 第1作業療法室/講堂 (担当：宮脇 他)</p> <p>第14回 グループ (前半) 発表 質疑応答 12/24(水)1限 第1作業療法室/講堂 (担当：宮脇 他)</p> <p>第15回 グループ (後半) 発表 質疑応答 まとめ 1/7(水)1限 第1作業療法室/講堂 (担当：宮脇 他)</p>
教科書	必要に応じて資料を配布する。
参考図書	グループの学習状況や必要に応じて担当教員が紹介する。
予習・復習内容	グループメンバー全員でグループワークの進捗状況や情報の共有を図ること。
成績評価方法	グループワークや発表内容の学習目標の到達度：100%
履修上の注意	問題解決には発案や考察といった個人の努力と、グループで協力して取り組む姿勢の両方が大切であることを理解し、積極的に取り組んでほしい。
担当教員への連絡方法	グループワークの初回にグループ担当教員より連絡する。

授業に関する大学 教員以外の実務経 験	担当するOT専任教員は、それぞれに教員としての教育経験と臨床での学生指導経験を有する。
実務経験と授業科 目の関連性	基本的には学生主体で進めて行くが、臨床経験の豊富な専任教員がファシリテーターとして関わり、学生の素朴な疑問をリサーチクエスチョンに高め、解明に導く。
指定規則の位置付 け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解 別表2（作業療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1単位	必修
担当教員			
古川 智巳、宮脇 利幸			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	解剖学の中でも医療リハビリテーションで特に必要とされる運動器系の理解を深めるために、人体を構成している骨、軟骨、関節、靭帯および骨格筋の構造・運動作用について系統的に理解する。
学修目標	1. 上肢に関する人体の骨格とその連結(関節)の構造と機能を説明できる 2. 上肢に関する骨格筋の一般的な作用の原理が説明できる
授業計画	<p>第1回 運動器系解剖学総論：骨学、関節・靭帯総論 4/8(火)5限 第1作業療法室/201 (担当：古川)</p> <p>第2回 上肢の骨・連結：全身の骨 4/15(火)5限 第1作業療法室/201 (担当：古川)</p> <p>第3回 上肢の骨・連結：上肢帯と上腕の骨 4/22(火)5限 第1作業療法室/201 (担当：古川)</p> <p>第4回 上肢の骨・連結：前腕・手指の骨 4/29(火)5限 第1作業療法室/201 (担当：古川)</p> <p>第5回 上肢の骨・連結：上肢帯の関節 5/6(火)5限 第1作業療法室/201 (担当：古川)</p> <p>第6回 上肢の骨・連結：肘と手の関節 5/13(火)5限 第1作業療法室/201 (担当：古川)</p> <p>第7回 上肢の骨・連結：手指の関節 5/20(火)5限 第1作業療法室/201 (担当：古川)</p> <p>第8回 運動器系解剖学総論：筋学総論 6/3(火)5限 第1作業療法室/201 (担当：宮脇)</p> <p>第9回 上肢帯の筋：肩甲骨の運動 6/10(火)5限 第1作業療法室/201 (担当：宮脇)</p> <p>第10回 上肢帯の筋：肩関節の運動 6/17(火)5限 第1作業療法室/201 (担当：宮脇)</p> <p>第11回 上腕の筋 6/24(火)5限 第1作業療法室/201 (担当：宮脇)</p> <p>第12回 前腕屈筋群 7/1(火)5限 第1作業療法室/201 (担当：宮脇)</p> <p>第13回 前腕伸筋群 7/8(火)5限 第1作業療法室/201 (担当：宮脇)</p> <p>第14回 手の筋 7/15(火)5限 第1作業療法室/201 (担当：宮脇)</p> <p>第15回 まとめ 7/22(火)5限 第1作業療法室/201 (担当：古川、宮脇)</p>
教科書	<p>1. 野村巖 編：標準理学療法学・作業療法学 解剖学 医学書院</p> <p>2. 坂井建雄他監訳：プロメテウス解剖学 コアアトラス 医学書院</p> <p>3. 中村隆一 他：基礎運動学 医歯薬出版</p>
参考図書	<p>1. 伊藤隆原著、高野廣子改訂：解剖学講義 南山堂</p> <p>2. 細田多穂監修：運動器系解剖学テキスト 南江堂</p> <p>3. 坂井建雄他監訳：プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論 運動器系 医学書院</p>
予習・復習内容	事前に配布する課題プリントをもとに予習・復習を行うこと
成績評価方法	期末試験80%、課題20%
履修上の注意	なし
担当教員への連絡方法	初回授業時にアナウンスする。
授業に関する大学教員以外の実務経験	作業療法士として病院等での臨床経験を有する。
実務経験と授業科目の関連性	実務経験により、基礎的知識および臨床に基づいた内容を伝える。

指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 人体の構造と機能及び心身の発達
-----------	--

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1単位	必修
担当教員			
古川 智巳、宮脇 利幸			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	解剖学の中でも医療リハビリテーションで特に必要とされる運動器系の理解を深めるために、人体を構成している骨、軟骨、関節、靭帯および骨格筋の構造・運動作用について系統的に理解する。
学修目標	1. 下肢に関する人体の骨格とその連結(関節)の構造と機能を説明できる 2. 下肢に関する骨格筋の一般的な作用の原理が説明できる
授業計画	<p>第1回 下肢の骨・連結：下肢帯と大腿の骨 9/22(月)4限 第1作業療法室/202 (担当：古川)</p> <p>第2回 下肢の骨・連結：下腿と足の骨 9/29(月)4限 第1作業療法室/202 (担当：古川)</p> <p>第3回 下肢の骨・連結：下肢帯の関節 10/6(月)4限 第1作業療法室/202 (担当：古川)</p> <p>第4回 下肢の骨・連結：下腿と足の関節 10/20(月)4限 第1作業療法室/202 (担当：古川)</p> <p>第5回 下肢の骨・連結：脊柱 10/27(月)4限 第1作業療法室/202 (担当：古川)</p> <p>第6回 下肢帯の筋 11/10(月)4限 第1作業療法室/202 (担当：宮脇)</p> <p>第7回 大腿の筋 11/17(月)4限 第1作業療法室/202 (担当：宮脇)</p> <p>第8回 下腿の筋 11/24(月)4限 第1作業療法室/202 (担当：宮脇)</p> <p>第9回 足部の筋 12/1(月)4限 第1作業療法室/202 (担当：宮脇)</p> <p>第10回 頭蓋の骨・連結 12/8(月)4限 第1作業療法室/202 (担当：古川)</p> <p>第11回 胸郭の骨・連結 12/15(月)4限 第1作業療法室/202 (担当：古川)</p> <p>第12回 まとめ：骨・連結 12/22(月)4限 第1作業療法室/202 (担当：古川)</p> <p>第13回 背部・腹部の筋 1/5(月)4限 第1作業療法室/202 (担当：宮脇)</p> <p>第14回 頭頸部の筋 1/14(水)4限 第1作業療法室/202 (担当：宮脇)</p> <p>第15回 まとめ：筋 1/19(月)4限 第1作業療法室/202 (担当：宮脇)</p>
教科書	<p>1. 野村巖 編：標準理学療法学・作業療法学 解剖学 医学書院</p> <p>2. 坂井建雄他監訳：プロメテウス解剖学 コアアトラス 医学書院</p> <p>3. 中村隆一、他：基礎運動学 医歯薬出版</p>
参考図書	<p>1. 伊藤隆原著、高野廣子改訂：解剖学講義 南山堂</p> <p>2. 細田多穂監修：運動器系解剖学テキスト 南江堂</p> <p>3. 坂井建雄他監訳：プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論 運動器系 医学書院</p>
予習・復習内容	事前に配布する課題プリントをもとに予習・復習を行うこと
成績評価方法	期末試験80%、課題20%
履修上の注意	なし
担当教員への連絡方法	初回授業時にアナウンスする。
授業に関する大学教員以外の実務経験	作業療法士として病院等での臨床経験を有する。
実務経験と授業科目の関連性	実務経験により、基礎的知識および臨床に基づいた内容を伝える。

指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 人体の構造と機能及び心身の発達
-----------	--

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1単位	必修
担当教員			
北澤 一樹、古川 智巳、宮脇 利幸			
年間授業回数：15回	授業形態：演習		
添付ファイル			

授業目標	解剖学の知識をもとに、体表からの視覚的または徒手的に人体の構造を立体的に理解し、臨床上の評価・治療に役立てることをねらいとする。
学修目標	1. 骨、筋の各構造を体表から投影し、説明できる 2. 触診対象の位置を正しく指し示すことができる 3. 触診対象の性状に合わせた触れ方ができる
授業計画	<p>第1回 肩甲帯、上肢：ランドマーク触診、前鋸筋、僧帽筋、肩甲挙筋、大小菱形筋、大胸筋、小胸筋 4/8(火)4限 徒手・物理療法室 (担当：北澤、古川、宮脇)</p> <p>第2回 肩甲帯、上肢：ランドマーク触診、三角筋、棘上筋、棘下筋、小円筋、大円筋、広背筋、肩甲下筋① 4/15(火)4限 徒手・物理療法室 (担当：北澤、古川、宮脇)</p> <p>第3回 肩甲帯、上肢：ランドマーク触診、三角筋、棘上筋、棘下筋、小円筋、大円筋、広背筋、肩甲下筋② 4/22(火)4限 徒手・物理療法室 (担当：北澤、古川、宮脇)</p> <p>第4回 上腕：ランドマーク触診、上腕三頭筋、上腕二頭筋、烏口腕筋、上腕筋、腕橈骨筋 4/29(火)4限 徒手・物理療法室 (担当：北澤、古川、宮脇)</p> <p>第5回 前腕：ランドマーク触診、前腕伸筋群 (text. p104-125) 5/6(火)4限 徒手・物理療法室 (担当：北澤、古川、宮脇)</p> <p>第6回 前腕：ランドマーク触診、前腕屈筋群 (text. p126-139) 5/13(火)4限 徒手・物理療法室 (担当：北澤、古川、宮脇)</p> <p>第7回 手指：ランドマーク触診、手の内在筋群 (text. p140-159) 5/20(火)4限 徒手・物理療法室 (担当：北澤、古川、宮脇)</p> <p>第8回 上肢の骨・筋 まとめ 5/27(火)4限 徒手・物理療法室 (担当：北澤、古川、宮脇)</p> <p>第9回 下肢帯：ランドマーク触診、腸腰筋、大・中殿筋、大腿筋膜張筋 6/3(火)4限 徒手・物理療法室 (担当：北澤、古川、宮脇)</p> <p>第10回 大腿：ランドマーク触診、大腿の筋① (text. p172-201) 6/10(火)4限 徒手・物理療法室 (担当：北澤、古川、宮脇)</p> <p>第11回 大腿：ランドマーク触診、大腿の筋② (text. p172-201) 6/17(火)4限 徒手・物理療法室 (担当：北澤、古川、宮脇)</p> <p>第12回 下腿、足部：ランドマーク触診、下腿の筋① (text. p202-235) 6/24(火)4限 徒手・物理療法室 (担当：北澤、古川、宮脇)</p> <p>第13回 下腿、足部：ランドマーク触診、下腿の筋② (text. p202-235) 7/1(火)4限 徒手・物理療法室 (担当：北澤、古川、宮脇)</p> <p>第14回 頸筋・体幹：ランドマーク触診、頸部・体幹筋 (text. p26-67) 7/8(火)4限 徒手・物理療法室 (担当：北澤、古川、宮脇)</p> <p>第15回 下肢の骨・筋 まとめ 7/15(火)4限 徒手・物理療法室 (担当：北澤、古川、宮脇)</p>
教科書	1. 鈴木重行編集：ID触診術 三輪書店 2. H. J. Hishop他(津山直一他訳)：新・徒手筋力検査法 協同医書出版
参考図書	1. 林典雄：機能解剖学的触診技術 上肢、下肢・体幹 メジカルビュー 2. 坂井建雄他監訳：プロメテウス解剖学コアアトラス 医学書院 3. 鈴木重行監修：[DVD]ID触診術 頸部・体幹・上肢編、下肢編 三輪書店
予習・復習内容	運動器系解剖学Ⅰ・Ⅱ、作業療法基礎運動学Ⅰ(Ⅱ)で得た知識を再度確認しておくこと。
成績評価方法	実技試験 100%
履修上の注意	1. 触診部位が露出または触診が可能な薄い衣服を準備・着用すること 2. 対象者を傷つけないように配慮すること 3. 学生同士ペアを組んで行うため、互いに協力し、積極的かつ自主的におこなうこと 4. 欠席の連絡は事前に担当教員に連絡すること (ペア相手に迷惑をかけるため)
担当教員への連絡方法	初回授業時にアナウンスする。
授業に関する大学教員以外の実務経験	作業療法士として病院等での臨床経験を有する。

実務経験と授業科目の関連性	実務経験により、基礎的知識および臨床に基づいた内容を伝える。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 人体の構造と機能及び心身の発達

講義科目名称： リハビリテーションのための人体構造（運動器） 授業コード： 20230

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	1単位	選択
担当教員			
宮脇 利幸			
年間授業回数：8回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	基礎医学科目および臨床医学科目、そして作業療法評価学実習Ⅰを終えた時期に改めて疾患・障害と関連づけた身体運動に関わる骨、靭帯、関節、筋および神経など運動器系の解剖学知識を再認識する。
学修目標	1. 運動器系解剖学Ⅰ・Ⅱで得た知識を再確認する 2. 運動器系に関連する作業療法評価学および治療学に活用できる 3. 得られた知識を評価学実習、臨床実習に役立てることができる
授業計画	第1回 上肢帯の骨及び筋 6/5(木)2限 201 (担当：宮脇) 第2回 肩関節の骨及び筋 6/12(木)2限 201 (担当：宮脇) 第3回 肘関節の骨及び筋 6/19(木)2限 201 (担当：宮脇) 第4回 手関節、手部の骨及び筋 6/26(木)2限 201 (担当：宮脇) 第5回 下肢帯の骨及び筋 7/3(木)2限 201 (担当：宮脇) 第6回 膝関節の骨及び筋 7/10(木)2限 201 (担当：宮脇) 第7回 足関節の骨及び筋 7/17(木)2限 201 (担当：宮脇) 第8回 まとめ 7/22(火)2限 201 (担当：宮脇)
教科書	1. 野村嶺 編：標準理学療法学・作業療法学 解剖学 医学書院 2. 中村隆一、他：基礎運動学 医歯薬出版
参考図書	1. 坂井建雄他監訳：プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論、運動器系 医学書院 2. 伊藤隆原著、高野廣子改訂：解剖学講義 南山堂 3. 細田多穂監修：運動器系解剖学テキスト 南江堂
予習・復習内容	事前に配布する課題プリントをもとに予習・復習を行うこと
成績評価方法	課題レポート 100%
履修上の注意	なし
担当教員への連絡方法	初回授業時にアナウンスする。
授業に関する大学教員以外の実務経験	作業療法士として病院等での臨床経験および大学院での解剖学に関する研究経験を有する。
実務経験と授業科目の関連性	実務経験により、基礎的知識および臨床に基づいた内容を伝える。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 人体の構造と機能及び心身の発達

講義科目名称： リハビリテーションのための人体構造（神経系） 授業コード： 20240

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	1単位	選択
担当教員			
宮脇 利幸			
年間授業回数：8回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	基礎医学科目および臨床医学科目、そして作業療法評価学実習Ⅰを終えた時期に改めて疾患・障害と関連づけた中枢神経系および末梢神経系の解剖学知識を再認識する。
学修目標	1. 解剖学（総合）で得た末梢神経系・中枢神経系の知識を再確認する 2. 末梢神経系・中枢神経系に関連する作業療法評価学および治療学に活用できる 3. 得られた知識を評価学実習、臨床実習に役立てることができる
授業計画	第1回 末梢神経系：腕神経叢、上肢筋と支配神経 4/10(木)2限 201 (担当：宮脇) 第2回 末梢神経系：腰仙骨神経叢、下肢筋と支配神経 4/17(木)2限 201 (担当：宮脇) 第3回 末梢神経系：脳神経、自律神経系 4/24(木)2限 201 (担当：宮脇) 第4回 中枢神経系：脊髄 5/1(木)2限 201 (担当：宮脇) 第5回 中枢神経系：脳幹、小脳 5/8(木)2限 201 (担当：宮脇) 第6回 中枢神経系：間脳、終脳 5/15(木)2限 201 (担当：宮脇) 第7回 中枢神経系：終脳 5/22(木)2限 201 (担当：宮脇) 第8回 中枢神経系：神経伝導路 5/29(木)2限 201 (担当：宮脇)
教科書	野村巖 編 標準理学療法学・作業療法学 解剖学 医学書院
参考図書	1. 坂井建雄他監訳：プロメテウス解剖学アトラス 頭頸部／神経解剖 医学書院 2. 病気がみえる VOL. 7 脳・神経 MEDIC MEDIA 3. 馬場元毅：絵でみる脳と神経 しくみと障害のメカニズム 医学書院
予習・復習内容	事前に配布する課題プリントをもとに予習・復習を行うこと
成績評価方法	課題レポート 100%
履修上の注意	なし
担当教員への連絡方法	初回授業時にアナウンスする。
授業に関する大学教員以外の実務経験	作業療法士として病院等での臨床経験および大学院での解剖学に関する研究経験を有する。
実務経験と授業科目の関連性	実務経験により、基礎的知識および臨床に基づいた内容を伝える。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容別表2（作業療法士課程） 人体の構造と機能及び心身の発達

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1単位	必修
担当教員			
土屋 謙仕			
年間授業回数：15回	授業形態：講義	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	ここでは機能解剖学を中心に人体の正常な運動を理解できるようにする。地球上での運動は抗重力で行われることから力学の基礎について教授する。人体の構造および機能について、解剖学、生理学等に触れながら身体運動との関係を理解する。各筋の作用を関節との関係において理解し、身体運動を成立させている機構の基礎を学ぶ。
学修目標	1. 運動学の概略を説明できる 2. 基礎的な生体力学について説明できる 3. 筋収縮の様態を説明できる 4. 各筋の関節に作用する機能を説明できる
授業計画	<p>第1回 運動学概論、生体力学の基礎（運動学とは、力学の基礎） 9/25(木)3限 第3作業療法室（担当：土屋）</p> <p>第2回 生体力学の基礎（身体の面と軸、加速度・ベクトル・モーメント） 10/2(木)3限 第3作業療法室（担当：土屋）</p> <p>第3回 生体力学の基礎（加速度・ベクトル・モーメント・運動の法則） 10/9(木)3限 第3作業療法室（担当：土屋）</p> <p>第4回 生体力学の基礎（仕事と力学的エネルギー・身体とてこ） 10/16(木)3限 第3作業療法室（担当：土屋）</p> <p>第5回 上肢の運動（上肢帯と肩関節） 10/23(木)3限 第3作業療法室（担当：土屋）</p> <p>第6回 上肢の運動（肩関節） 10/30(木)3限 第3作業療法室（担当：土屋）</p> <p>第7回 上肢の運動（肘関節と前腕） 11/6(木)3限 第3作業療法室（担当：土屋）</p> <p>第8回 上肢の運動（手関節） 11/13(木)3限 第3作業療法室（担当：土屋）</p> <p>第9回 上肢の運動（手） 11/20(木)3限 第3作業療法室（担当：土屋）</p> <p>第10回 下肢の運動（下肢帯と股関節） 11/27(木)3限 第3作業療法室（担当：土屋）</p> <p>第11回 下肢の運動（膝関節） 12/4(木)3限 第3作業療法室（担当：土屋）</p> <p>第12回 下肢の運動（下腿） 12/11(木)3限 第3作業療法室（担当：土屋）</p> <p>第13回 下肢の運動（足関節と足） 12/18(木)3限 第3作業療法室（担当：土屋）</p> <p>第14回 体幹の運動（脊柱の運動） 12/25(木)3限 第3作業療法室（担当：土屋）</p> <p>第15回 体幹の運動（胸郭） 1/8(木)3限 第3作業療法室（担当：土屋）</p>
教科書	中村隆一、斉藤宏、長崎浩：基礎運動学 医歯薬出版
参考図書	松房利憲：運動学で心が折れる前に読む本 医学書院
予習・復習内容	次回の予習と学習した部分の復習をすること。
成績評価方法	小テスト・課題60%、期末試験40%
履修上の注意	授業時に説明する。
担当教員への連絡方法	tsuchiya.kenji@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	担当者は臨床経験を有する作業療法士である。
実務経験と授業科	臨床のなかで日々実施されている作業療法の基本的技能である。

目の関連性	
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 人体の構造と機能及び心身の発達

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1単位	必修
担当教員			
土屋 謙仕			
年間授業回数：15回	授業形態：講義	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	基礎運動学Ⅰで取得した知識を基に、姿勢やバランス能力について理解する。また歩行について運動学的分析や運動力学的分析を通して理解を深める。さらに運動の基礎となる反射および運動学習について学ぶ。
学修目標	1. 姿勢と姿勢の安定性について説明できる 2. 歩行など基本動作について、運動学的分析および運動力学的分析から説明できる 3. 反射と姿勢反射、随意運動について説明できる 4. 運動学習について説明できる
授業計画	<p>第1回 運動の中樞神経機構① 4/8(火)1限 大講義室 (担当：土屋)</p> <p>第2回 運動の中樞神経機構② 4/15(火)1限 大講義室 (担当：土屋)</p> <p>第3回 運動とエネルギー代謝 4/22(火)1限 大講義室 (担当：土屋)</p> <p>第4回 運動と呼吸・循環 4/29(火)1限 大講義室 (担当：土屋)</p> <p>第5回 姿勢と重心との関係① 5/6(火)1限 大講義室 (担当：土屋)</p> <p>第6回 姿勢と重心との関係② 5/13(火)1限 大講義室 (担当：土屋)</p> <p>第7回 立位姿勢と姿勢保持① 5/20(火)1限 大講義室 (担当：土屋)</p> <p>第8回 立位姿勢と姿勢保持② 5/27(火)1限 大講義室 (担当：土屋)</p> <p>第9回 歩行周期 6/3(火)1限 大講義室 (担当：土屋)</p> <p>第10回 運動学的歩行分析 6/10(火)1限 大講義室 (担当：土屋)</p> <p>第11回 運動力学的歩行分析 6/17(火)1限 大講義室 (担当：土屋)</p> <p>第12回 歩行時の筋活動 6/24(火)1限 大講義室 (担当：土屋)</p> <p>第13回 異常歩行 7/1(火)1限 大講義室 (担当：土屋)</p> <p>第14回 学習と記憶 7/8(火)1限 大講義室 (担当：土屋)</p> <p>第15回 運動技能と学習曲線 7/15(火)1限 大講義室 (担当：土屋)</p>
教科書	中村隆一、斉藤宏、長崎浩：基礎運動学 医歯薬出版
参考図書	松房利憲：運動学で心が折れる前に読む本 医学書院
予習・復習内容	次回の予習と学習した部分の復習をすること。
成績評価方法	小テスト・課題60%、期末試験40%
履修上の注意	授業時に説明する。
担当教員への連絡方法	tsuchiya.kenji@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	担当者は臨床経験を有する作業療法士である。
実務経験と授業科目の関連性	臨床のなかで日々実施されている作業療法の基本的技能である。

指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 人体の構造と機能及び心身の発達
-----------	--

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位	必修
担当教員			
土屋 謙仕、北澤 一樹、古川 智巳、宮脇 利幸			
年間授業回数：30回	授業形態：演習	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	人間の運動動作について、観察・測定・分析の初歩的手段を体験し、レポートにまとめる。また運動機能障害を持つ人の問題点を運動学的に捉え、評価や治療に応用する基礎を学ぶ。 その目的・方法を理解するためのオリエンテーションや実習後のフィードバックを各課題ごとに行う。
学修目標	1. 運動学で学んだ基礎的な知識を、身体活動と結びつけて理解する 2. 各種機器を用いた分析の手法を学び、実践する 3. 人間の運動動作の観察力を身につけ、分析できるようになる 4. 観察・分析した内容をレポートにまとめることができる
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション1 授業全体の概要 9/30(火)1限 運動療法室/講堂/204 (担当：土屋)</p> <p>第2回 筋電計・経皮的電気刺激TENSの説明 9/30(火)2限 運動療法室/講堂/204 (担当：古川)</p> <p>第3回 把握フォーム説明① 10/7(火)1限 運動療法室/講堂/204 (担当：土屋)</p> <p>第4回 把握フォーム説明② 10/7(火)2限 運動療法室/講堂/204 (担当：土屋)</p> <p>第5回 起居動作・歩行説明 10/14(火)1限 運動療法室/講堂/204 (担当：宮脇)</p> <p>第6回 車いす・自動車運転説明 10/14(火)2限 運動療法室/講堂/204 (担当：北澤)</p> <p>第7回 演習1-1 筋電図を用いての動作の分析 10/21(火)1限 運動療法室/講堂/204 (担当：古川)</p> <p>第8回 演習1-1 筋電図を用いての動作の分析 10/21(火)2限 運動療法室/講堂/204 (担当：古川)</p> <p>第9回 演習1-2 経皮的電気刺激 (TENS)を用いての筋収縮の観察 10/28(火)1限 運動療法室/講堂/204 (担当：古川)</p> <p>第10回 演習1-2 経皮的電気刺激 (TENS)を用いての筋収縮の観察 10/28(火)2限 運動療法室/講堂/204 (担当：古川)</p> <p>第11回 演習1 まとめ グループディスカッション 11/4(火)1限 運動療法室/講堂/204 (担当：古川)</p> <p>第12回 演習1 まとめ グループディスカッション 11/4(火)2限 運動療法室/講堂/204 (担当：古川)</p> <p>第13回 演習2-1 上肢・手指操作の分析 -把握形態・動作の観察1 11/11(火)1限 運動療法室/講堂/204 (担当：土屋)</p> <p>第14回 演習2-1 上肢・手指操作の分析 -把握形態・動作の観察1 11/11(火)2限 運動療法室/講堂/204 (担当：土屋)</p> <p>第15回 演習2-2 日常生活活動の動作分析 -食事器具操作- 11/18(火)1限 運動療法室/講堂/204 (担当：土屋)</p> <p>第16回 演習2-2 日常生活活動の動作分析 -食事器具操作- 11/18(火)2限 運動療法室/講堂/204 (担当：土屋)</p> <p>第17回 演習2 まとめ グループディスカッション 11/25(火)1限 運動療法室/講堂/204 (担当：土屋)</p> <p>第18回 演習2 まとめ グループディスカッション 11/25(火)2限 運動療法室/講堂/204 (担当：土屋)</p> <p>第19回 演習3-1 起居動作の分析 -寝返り・起き上がり・立ち上がり動作- 12/2(火)1限 運動療法室/講堂/204 (担当：宮脇)</p> <p>第20回 演習3-1 起居動作の分析 -寝返り・起き上がり・立ち上がり動作- 12/2(火)2限 運動療法室/講堂/204 (担当：宮脇)</p> <p>第21回 演習3-2 歩行動作分析 12/9(火)1限 運動療法室/講堂/204 (担当：宮脇)</p> <p>第22回 演習3-2 歩行動作分析</p>

	<p>12/9(火)2限 運動療法室/講堂/204 (担当：宮脇)</p> <p>第23回 演習3 まとめ グループディスカッション 12/16(火)1限 運動療法室/講堂/204 (担当：宮脇)</p> <p>第24回 演習3 まとめ グループディスカッション 12/16(火)2限 運動療法室/講堂/204 (担当：宮脇)</p> <p>第25回 演習4-1 歩行・車いす駆動の分析 12/23(火)1限 運動療法室/講堂/204 (担当：北澤)</p> <p>第26回 演習4-1 歩行・車いす駆動の分析 12/23(火)2限 運動療法室/講堂/204 (担当：北澤)</p> <p>第27回 演習4-2 自動車運転動作の分析 1/6(火)1限 運動療法室/講堂/204 (担当：北澤)</p> <p>第28回 演習4-2 自動車運転動作の分析 1/6(火)2限 運動療法室/講堂/204 (担当：北澤)</p> <p>第29回 演習4 まとめ グループディスカッション 1/13(火)1限 運動療法室/講堂/204 (担当：北澤)</p> <p>第30回 演習4 まとめ グループディスカッション 1/13(火)2限 運動療法室/講堂/204 (担当：北澤)</p>
教科書	中村隆一、斎藤宏 基礎運動学 医歯薬出版
参考図書	<p>1. D. A. Neumann原著/P. D. Andrew他監訳：筋骨格系のキネシオロジー 医歯薬出版</p> <p>2. 畠中泰彦編：姿勢・動作・歩行分析 羊土社</p> <p>3. 石井慎一郎：動作分析 臨床活用講座 メジカルビュー</p> <p>4. 鎌倉矩子：手を診る力をきたえる 三輪書店</p>
予習・復習内容	解剖学・運動学で学修したことを再確認しておくこと
成績評価方法	レポート 100%
履修上の注意	演習は5名程度のグループに分かれて、演習1～4を同時に進めていく
担当教員への連絡方法	初回授業時にアナウンスする。
授業に関する大学教員以外の実務経験	作業療法士として病院等での臨床経験を有する。
実務経験と授業科目の関連性	実務経験により、基礎的知識および臨床に基づいた内容を伝える。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 人体の構造と機能及び心身の発達

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1単位	必修
担当教員			
土屋 謙仕、宮脇 利幸、春原 るみ、勝山 しおり、栗林 美智子、松下 雅子、古川 智巳、北澤 一樹、近藤 優樹			
年間授業回数：15回	授業形態：講義	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	作業療法という学問について、その専門性や特性を概括的に学び、世界と日本における作業療法の歴史的経過、作業療法の適応となる医療・保健・福祉領域における位置づけ、対象となる疾患と急性期から終末期の作業療法の役割、治療・援助目的や手段などについて初歩的な内容を概観する。同時に作業療法士としてのアイデンティティの基盤を培うべく、資質としての倫理感、専門職業人としての作業療法への取り組み方、学習領域としての4年間の流れ、情動領域としての授業への取り組み方の基本も学ぶ。
学修目標	1. 生活している人の健康、病気、障害について推測し、行動、行為の変容を予測し、表現することができる 2. 作業療法の起源と伝承される原理について述べるができる 3. 作業療法の実践の仕組みについて記述することができる 4. 作業療法実践の事例を想像し、疑問点を調べ、思考した問題解決方法を説明することができる 5. 作業療法士の専門職としての資質に関して述べるができる
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション/授業の進め方 (SB01、2) 4/10(木)1限 大講義室 (担当：土屋)</p> <p>第2回 作業療法とは何かを説明できる。課題① (SB01、2) 4/17(木)1限 大講義室 (担当：土屋)</p> <p>第3回 作業療法とは何かを説明できる。課題② (SB01、2) 4/24(木)1限 大講義室 (担当：土屋)</p> <p>第4回 作業療法とは何かを説明できる。課題③ (SB01、2、3) 5/1(木)1限 大講義室 (担当：土屋)</p> <p>第5回 模擬授業発表・グループ発表、課題 (個人レポート) 5/8(木)1限 大講義室 (担当：土屋)</p> <p>第6回 身体障害領域の作業療法① (SB0 3、4、5) 5/15(木)1限 大講義室 (担当：古川)</p> <p>第7回 身体障害領域の作業療法② (SB0 3、4、5) 5/22(木)1限 大講義室 (担当：北澤)</p> <p>第8回 精神科領域の作業療法① (SB0 3、4、5) 6/5(木)1限 大講義室 (担当：春原)</p> <p>第9回 精神科領域の作業療法② (SB0 3、4、5) 6/12(木)1限 大講義室 (担当：春原)</p> <p>第10回 精神科領域の作業療法③ (SB0 3、4、5) 6/19(木)1限 大講義室 (担当：栗林)</p> <p>第11回 発達領域の作業療法① (SB0 3、4、5) 6/26(木)1限 大講義室 (担当：松下)</p> <p>第12回 発達領域の作業療法② (SB0 3、4、5) 7/3(木)1限 大講義室 (担当：近藤)</p> <p>第13回 高齢期領域の作業療法① (SB0 3、4、5) 7/10(木)1限 大講義室 (担当：宮脇)</p> <p>第14回 高齢期領域の作業療法② (SB0 3、4、5) 7/17(木)1限 大講義室 (担当：宮脇)</p> <p>第15回 高次脳機能障害 (身体障害・高齢期領域) の作業療法 (SB0 3、4、5) 7/24(木)1限 大講義室 (担当：勝山)</p>
教科書	矢谷令子 監修、二木淑子他(編)標準作業療法学 作業療法概論 医学書院
参考図書	1. 長崎重信 監修、里村恵子編：作業療法学概論 メヂカルビュー 2. 矢谷令子・福田恵美子 編：作業療法実践の仕組み 協同医書
予習・復習内容	グループワークを中心に課題を進める。教科書をよく読み、予習すること。
成績評価方法	試験50%、課題レポート50%
履修上の注意	授業時に説明する。
担当教員への連絡方法	メールで連絡すること (大学のHPに記載されている)。
授業に関する大学	講師は作業療法士として豊富な臨床・教育・研究の実務経験を有している。

教員以外の実務経験	
実務経験と授業科目の関連性	作業療法士の仕事を理解するうえで基礎となる授業である。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 基礎作業療法学

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1単位	必修
担当教員			
春原 るみ			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	作業療法の概念、前提となる理論、目標などの知識を学び、作業療法とは何かを理解する。作業療法の中核である作業について、人間—作業—環境の関係および健康との関係に基づき、作業とは何か、作業に対する文化的影響、人びとはなぜ作業に従事するのか、作業はどのように遂行され、どのように組織されるのか、作業の時間的側面、等作業の主観的意味、作業の文脈、作業の成果などについて理解する。また、作業を分析し段階づけるために必要な知識を学び実際に分析する。
学修目標	1. 作業療法の中核をなす作業について、作業の広がり、主観的意味、文脈、作業による成長と回復について説明できる 2. 作業と人と健康の関係を説明できる 3. 作業分析の手法、適応や段階づけについて説明できる
授業計画	<p>第1回 作業とは何か 作業の定義 4/7(月)1限 大講義室 (担当：春原)</p> <p>第2回 作業と何か 作業の種類と階層 4/14(月)1限 大講義室 (担当：春原)</p> <p>第3回 作業の主観的意味 生産的作業 4/21(月)1限 大講義室 (担当：春原)</p> <p>第4回 作業の主観的意味 楽しい作業 4/28(月)1限 大講義室 (担当：春原)</p> <p>第5回 作業の主観的意味 休息になる作業 作業バランス 5/12(月)1限 大講義室 (担当：春原)</p> <p>第6回 作業の文脈 空間的側面 5/19(月)1限 大講義室 (担当：春原)</p> <p>第7回 作業の文脈 時間的側面 6/2(月)1限 大講義室 (担当：春原)</p> <p>第8回 作業の文脈 社会的・文化的側面 6/9(月)1限 大講義室 (担当：春原)</p> <p>第9回 作業による健康と回復 作業と健康 6/16(月)1限 大講義室 (担当：春原)</p> <p>第10回 作業による成長と回復 作業の変遷 6/23(月)1限 大講義室 (担当：春原)</p> <p>第11回 作業による成長と回復 社会改革と作業 6/30(月)1限 大講義室 (担当：春原)</p> <p>第12回 作業分析とは 7/7(月)1限 大講義室 (担当：春原)</p> <p>第13回 包括的作業分析の試み 7/14(月)1限 大講義室 (担当：春原)</p> <p>第14回 作業療法と作業 適応と段階づけ 7/21(月)1限 大講義室 (担当：春原)</p> <p>第15回 作業療法と作業 手段としての作業・目的としての作業 7/28(月)1限 大講義室 (担当：春原)</p>
教科書	1. 吉川ひろみ:「作業」って何だろう 作業科学入門 第2版 医歯薬出版 2008 2. 吉川ひろみ:作業療法の話をしよう 医学書院 2019
参考図書	1. 日本作業療法士協会:作業療法学全書 第2巻 基礎作業学 2. 山根寛:ひとと作業・作業活動 三輪書店
予習・復習内容	教科書をしっかりと読み込むこと。
成績評価方法	筆記試験70%、課題レポート30%
履修上の注意	事前に教科書を予習して授業に臨むこと。
担当教員への連絡方法	初回の授業の際アナウンスする。
授業に関する大学教員以外の実務経	作業療法士として作業科学学会大会に参加している。AMP S 認定評価者である。

験	
実務経験と授業科目の関連性	作業療法士としての臨床経験を有し、また、作業科学研究会に所属している。 作業についての基礎知識や作業療法における概念について講義することができる。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 基礎作業療法学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1単位	必修
担当教員			
北澤 一樹、栗林 美智子、近藤 優樹、松下 雅子			
年間授業回数：15回	授業形態：演習		
添付ファイル			

授業目標	臨床で用いる作業種目の基本的技法を身につけ、作業手順や使用器具についての基礎的知識を得る。また、各作業の素材、作業の流れ、作業の工程の複雑さ、作業とコミュニケーションとの関係などを考察し、心身に与える影響や治療的側面について、実際の作業活動を通して学ぶ。結果として治療活動としての作業の持つ役割を理解し、作業療法場面において応用的な活用ができるようになる。 下記の教員が作業活動を分担して担当する。（北澤 一樹）木工 （栗林美智子）陶芸 （松下雅子）革細工
学修目標	1. 各種活動の基本的な技法を理解し、活動の指導方法を考察する 2. 作業活動ごとに、作業の意味、身体的・精神的影響因子の特徴を理解できる 3. 作業活動が人間に与える身体的・精神的・心理的影響や効果が理解できる
授業計画	<p>第1回 木工（1）木工とは・製図 日程別途連絡 第2作業療法室（担当：北澤）</p> <p>第2回 木工（2）木取り・加工 日程別途連絡 第2作業療法室（担当：北澤）</p> <p>第3回 木工（3）仮組 日程別途連絡 第2作業療法室（担当：北澤）</p> <p>第4回 木工（4）本組 日程別途連絡 第2作業療法室（担当：北澤）</p> <p>第5回 木工（5）塗装 日程別途連絡 第2作業療法室（担当：北澤）</p> <p>第6回 革細工（1）革細工とは・裁断 日程別途連絡 第2作業療法室（担当：松下、近藤）</p> <p>第7回 革細工（2）スタンピング 日程別途連絡 第2作業療法室（担当：松下、近藤）</p> <p>第8回 革細工（3）カービング 日程別途連絡 第2作業療法室（担当：松下、近藤）</p> <p>第9回 革細工（4）彩色・磨き 日程別途連絡 第2作業療法室（担当：松下、近藤）</p> <p>第10回 革細工（5）レーシング 日程別途連絡 第2作業療法室（担当：松下、近藤）</p> <p>第11回 陶芸（1）陶芸とは・土練り・玉作り 日程別途連絡 第2作業療法室（担当：栗林）</p> <p>第12回 陶芸（2）高台つけ 日程別途連絡 第2作業療法室（担当：栗林）</p> <p>第13回 陶芸（3）ひも作り 日程別途連絡 第2作業療法室（担当：栗林）</p> <p>第14回 陶芸（4）施釉 日程別途連絡 第2作業療法室（担当：栗林）</p> <p>第15回 陶芸（5）仕上げと作品鑑賞 日程別途連絡 第2作業療法室（担当：栗林）</p>
教科書	増補改訂版 革の技法 思い通りに作れるアイデア満載のレザークラフトのロングセラー 日本ヴォーグ社
参考図書	1. 日本作業療法士協会編：作業 その治療的応用 協同医書出版 2. 岩瀬義昭編：基礎作業学実習ガイド 協同医書出版 3. 長崎重信編：作業療法ゴールドマスター 作業学 メジカルビュー社
予習・復習内容	毎回の授業終了時に内容を指示する。
成績評価方法	作品の制作過程を含む演習60%、演習の理解度の筆記試験40%
履修上の注意	テキストおよび配布資料を参考に事前学習を行うこと。また、授業時間に終わらなかった課題については各自の空き時間を利用し、次の講義に間に合わせることを。
担当教員への連絡方法	初回授業時にアナウンスする。
授業に関する大学教員以外の実務経	作業療法士として、作業を使用した臨床経験を有する。

験	
実務経験と授業科目の関連性	臨床場面に即した実践的な知識や技法を伝える。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 基礎作業療法学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	1単位	必修
担当教員			
春原 るみ、松下 雅子、中塚 聡			
年間授業回数：15回	授業形態：演習		
添付ファイル			

授業目標	1・2年で学んだ作業療法学の知識を応用し、作業の分析能力と治療的応用能力を学ぶ。 作業がもつ治療的意味と個人的な意味合いを総合して、治療効果があがるように工夫して適用できるよう、各作業がもつ特性を学び、その特性が持つ治療的意味をを明らかにし、それぞれの領域で治療手段として使用できるようになる。
学修目標	1. 包括的作業分析の観点を説明できる 2. 限定的作業分析の観点を説明できる 3. 作業を評価的に用いる意義について説明できる 4. 作業を治療的に用いる意義について説明できる 5. 分析結果と治療目標のマッチングができる
授業計画	<p>第1回 作業分析とは 4/8(火)4限 義肢装具室 (担当：春原)</p> <p>第2回 作業(1)の分析と治療的応用：作業(1)に関する道具の持つ意味 (GW) 4/15(火)4限 義肢装具室 (担当：春原)</p> <p>第3回 作業(1)の分析と治療的応用：作業(1)に関する動作の持つ意味 (GW) 4/22(火)4限 義肢装具室 (担当：春原)</p> <p>第4回 作業(1)の分析と治療的応用：作業(1)に関する心理的意味 (GW) 4/29(火)4限 義肢装具室 (担当：春原)</p> <p>第5回 発表資料作成 5/6(火)4限 義肢装具室 (担当：春原)</p> <p>第6回 作業遂行の評価とは 5/13(火)4限 義肢装具室 (担当：春原)</p> <p>第7回 作業遂行評価の視点と評価法 5/20(火)4限 義肢装具室 (担当：春原)</p> <p>第8回 作業遂行評価実習① 5/27(火)4限 義肢装具室 (担当：春原)</p> <p>第9回 作業遂行評価実習② 6/3(火)4限 義肢装具室 (担当：春原)</p> <p>第10回 作業(3)の分析と治療的応用：作業(3)に関する道具の持つ意味 (GW) 6/10(火)4限 義肢装具室 (担当：松下)</p> <p>第11回 作業(3)の分析と治療的応用：作業(3)に関する動作の持つ意味 (GW) 6/17(火)4限 義肢装具室 (担当：松下)</p> <p>第12回 作業(3)の分析と治療的応用：作業(3)に関する心理的意味 (GW) 6/24(火)4限 義肢装具室 (担当：松下)</p> <p>第13回 発表資料作成 7/1(火)4限 義肢装具室 (担当：松下)</p> <p>第14回 各作業の分析と治療的応用の発表 7/8(火)4限 義肢装具室 (担当：春原、松下)</p> <p>第15回 MTDLP、作業に焦点を当てるとは 7/15(火)4限 義肢装具室 (担当：中塚)</p>
教科書	吉川ひろみ：第2版 作業療法をはじめよう COPM・AMPS・ESI スターティングガイド 医学書院
参考図書	吉川ひろみ：COPM・AMPS実践ガイド他都度指定する
予習・復習内容	毎回の授業終了時に内容を指示する。
成績評価方法	演習30%、レポート70%
履修上の注意	テキストおよび配布資料を参考に事前学習を行うこと。授業時間内に終わらなかった課題については各自の空き時間を利用し、次の講義に間に合わせる。
担当教員への連絡方法	初回授業時にアナウンスする。
授業に関する大学教員以外の実務経験	担当者はいずれも作業療法士としての臨床経験を有する。

実務経験と授業科目の関連性	作業療法士としての臨床経験を有し、作業についての基礎知識や作業療法における概念について理解を深めることができる。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 基礎作業療法学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	1単位	必修
担当教員			
土屋 謙仕、宮脇 利幸、春原 るみ、勝山 しおり、栗林 美智子、松下 雅子、古川 智巳、北澤 一樹、近藤 優樹			
年間授業回数：15回	授業形態：講義	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	臨床実践とともに「研究」に取り組む事は、作業療法という専門領域を確立・発展させるためにも重要である。また、Evidence Based Medicineを実施していくためには、エビデンスとなる学術論文が読めることと、実証的な取り組みができることが必要となる。本講義では、医療分野における研究に関する基礎的な知識を概観するとともに、作業療法研究法Ⅱの研究計画の立案および研究を進める上で必要となる基礎的知識を準備することを目標とする。また、関連領域の研究論文を読むことを通して、研究の方法や科学的な態度に触れることも目的とする。
学修目標	1. 研究や研究論文の意義が理解できる 2. 研究論文の基本的な構成を理解し、目的とする適切な研究論文を探し、効率的に読むことができる 3. 研究倫理、研究不正について理解し、研究を行う上で守るべきことを述べるができる 4. 種々の研究方法を理解し、適正な研究計画立案に必要な事項を理解できる
授業計画	第1回 卒研全体の流れオリエンテーション/研究とはなにか（研究の意義と必要性） 4/9(水)3限 第1作業療法室（担当：土屋） 第2回 研究とはなにか（IMRAD・文献の読み方） 4/16(水)3限 第1作業療法室（担当：土屋） 第3回 統計的解析の基礎知識・Rコマンドの知識 4/23(水)3限 第1作業療法室（担当：土屋） 第4回 研究の倫理・研究不正 4/30(水)3限 第1作業療法室（担当：土屋） 第5回 研究計画の立て方1 5/7(水)3限 第1作業療法室（担当：土屋 他） 第6回 研究計画の立て方2 5/14(水)3限 第1作業療法室（担当：土屋 他） 第7回 研究計画の立て方3 5/21(水)3限 第1作業療法室（担当：土屋 他） 第8回 研究計画の立て方4 5/28(水)3限 第1作業療法室（担当：土屋 他） 第9回 研究計画の立て方5 6/4(水)3限 第1作業療法室（担当：土屋 他） 第10回 研究計画の立て方6 6/11(水)3限 第1作業療法室（担当：土屋 他） 第11回 研究計画の立て方7 6/18(水)3限 第1作業療法室（担当：土屋 他） 第12回 研究計画の立て方8 6/25(水)3限 第1作業療法室（担当：土屋 他） 第13回 研究計画の立て方9 7/2(水)3限 第1作業療法室（担当：土屋 他） 第14回 研究計画の立て方10 7/9(水)3限 第1作業療法室（担当：土屋 他） 第15回 テーマ発表 7/16(水)3限 第1作業療法室（担当：土屋 他）
教科書	講師作成資料を用いる
参考図書	1. 山田剛史、林 創：大学生のためのリサーチリテラシー入門 ミネルヴァ書房 2. Stuart Porter著、武田 裕子訳：ここからはじめる研究入門 医学書院 3. 作業療法研究法マニュアル（作業療法協会）
予習・復習内容	卒業研究に必要な統計ソフトの使い方を学習する。テーマに即した文献抄読を行う。後半には各教員に分かれて自分のテーマを絞り込む。
成績評価方法	演習課題50%、課題50%
履修上の注意	卒業研究のテーマのための興味関心を広げ、文献を多く読むことが必要となる。
担当教員への連絡方法	初回授業時にアナウンスする。

授業に関する大学 教員以外の実務経 験	講師は作業療法士として豊富な臨床・教育・研究の実務経験を有している。
実務経験と授業科 目の関連性	作業療法としての臨床と研究との関係を講義することができる。
指定規則の位置付 け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 基礎作業療法学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	1単位	必修
担当教員			
土屋 謙仕、宮脇 利幸、春原 るみ、勝山 しおり、栗林 美智子、松下 雅子、古川 智巳、北澤 一樹、近藤 優樹			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	作業療法研究法Ⅰで学んだ内容を具体的に実践し、最終的な卒業研究の研究計画を立てる。文献の抄読では批判的な読解を心掛け、客観的な思考を展開する。研究計画の作成途上では科学的な判断ができるように、他者とのディスカッションが積極的にできることを期待する。		
学修目標	1. 研究疑問を明確にし、研究テーマが設定できる 2. 研究計画が立てられる		
授業計画	第1回	リエンション（卒業研究の進め方、卒論テーマ案検討） 日程・教室 別途連絡（担当：土屋 他）	
	第2回	各教員の研究の進め方説明/研究テーマの決定/文献抄読、研究方法の検討など担当教員の指導のもと進める/研究計画書の作成/研究計画発表会 日程・教室 別途連絡（担当：土屋 他）	
	第3回	各教員の研究の進め方説明/研究テーマの決定/文献抄読、研究方法の検討など担当教員の指導のもと進める/研究計画書の作成/研究計画発表会 日程・教室 別途連絡（担当：土屋 他）	
	第4回	各教員の研究の進め方説明/研究テーマの決定/文献抄読、研究方法の検討など担当教員の指導のもと進める/研究計画書の作成/研究計画発表会 日程・教室 別途連絡（担当：土屋 他）	
	第5回	各教員の研究の進め方説明/研究テーマの決定/文献抄読、研究方法の検討など担当教員の指導のもと進める/研究計画書の作成/研究計画発表会 日程・教室 別途連絡（担当：土屋 他）	
	第6回	各教員の研究の進め方説明/研究テーマの決定/文献抄読、研究方法の検討など担当教員の指導のもと進める/研究計画書の作成/研究計画発表会 日程・教室 別途連絡（担当：土屋 他）	
	第7回	各教員の研究の進め方説明/研究テーマの決定/文献抄読、研究方法の検討など担当教員の指導のもと進める/研究計画書の作成/研究計画発表会 日程・教室 別途連絡（担当：土屋 他）	
	第8回	各教員の研究の進め方説明/研究テーマの決定/文献抄読、研究方法の検討など担当教員の指導のもと進める/研究計画書の作成/研究計画発表会 日程・教室 別途連絡（担当：土屋 他）	
	第9回	各教員の研究の進め方説明/研究テーマの決定/文献抄読、研究方法の検討など担当教員の指導のもと進める/研究計画書の作成/研究計画発表会 日程・教室 別途連絡（担当：土屋 他）	
	第10回	各教員の研究の進め方説明/研究テーマの決定/文献抄読、研究方法の検討など担当教員の指導のもと進める/研究計画書の作成/研究計画発表会 日程・教室 別途連絡（担当：土屋 他）	
	第11回	各教員の研究の進め方説明/研究テーマの決定/文献抄読、研究方法の検討など担当教員の指導のもと進める/研究計画書の作成/研究計画発表会 日程・教室 別途連絡（担当：土屋 他）	
	第12回	各教員の研究の進め方説明/研究テーマの決定/文献抄読、研究方法の検討など担当教員の指導のもと進める/研究計画書の作成/研究計画発表会 日程・教室 別途連絡（担当：土屋 他）	
	第13回	各教員の研究の進め方説明/研究テーマの決定/文献抄読、研究方法の検討など担当教員の指導のもと進める/研究計画書の作成/研究計画発表会 日程・教室 別途連絡（担当：土屋 他）	
	第14回	各教員の研究の進め方説明/研究テーマの決定/文献抄読、研究方法の検討など担当教員の指導のもと進める/研究計画書の作成/研究計画発表会 日程・教室 別途連絡（担当：土屋 他）	
	第15回	各教員の研究の進め方説明/研究テーマの決定/文献抄読、研究方法の検討など担当教員の指導のもと進める/研究計画書の作成/研究計画発表会 日程・教室 別途連絡（担当：土屋 他）	
教科書	なし		
参考図書	なし		

予習・復習内容	担当教員の指示に従う
成績評価方法	課題100%
履修上の注意	担当教員、他学生とのディスカッションを積極的に行うこと
担当教員への連絡方法	担当教員から提示する
授業に関する大学教員以外の実務経験	担当教員は全員作業療法士として豊富な臨床・教育・研究の実務経験を有している
実務経験と授業科目の関連性	作業療法としての臨床と研究との関係を講義することができる
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 基礎作業療法学

講義科目名称： 作業療法研究法演習（卒業研究）

授業コード： 40060

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	4年	2単位	必修
担当教員			
土屋 謙仕、宮脇 利幸、春原 るみ、勝山 しおり、栗林 美智子、松下 雅子、古川 智巳、北澤 一樹、近藤 優樹			
年間授業回数：30回	授業形態：演習	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	学内および臨床実習で学んだ知識からの問いや疑問から、学生自らが考えた研究テーマを基に、作業療法に関する論文の作成を行う。その過程において、文献検索の手法、参考文献の整理をおこない、具体的な実験計画を明確にする一連の流れを学ぶ。そして論文の主要な構成である緒言・研究材料・方法・結果・考察・あるいは、図・表や参考文献などの取り扱い方法について、具体的に学び、最終的には論文として完成させるまでを行う。
学修目標	1. 研究テーマに沿った資料の収集ができる 2. 援助を受けながら、研究の実施計画書を作成することができる 3. 研究計画に基づき、調査・実験を具体的に進めることができる 4. 統計的手法を用いて結果の整理を行い、考察することができる
授業計画	第1～30回 作業療法研究法Ⅱの研究計画書に沿って、各担当教員の指導のもと、研究を進める 卒業論文発表会：9月 卒業論文提出：12月
教科書	特に指定しない
参考図書	特に指定しない
予習・復習内容	担当教員の指示に従うこと
成績評価方法	課題70%、論文発表会30%
履修上の注意	自ら進んで、研究を展開していく姿勢を持って行うこと
担当教員への連絡方法	担当教員からアナウンスする
授業に関する大学教員以外の実務経験	担当教員は全員作業療法士として豊富な臨床・教育・研究の実務経験を有している
実務経験と授業科目の関連性	作業療法としての臨床と研究との関係を講義することができる
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 基礎作業療法学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	2単位	必修
担当教員			
勝山 しおり、岩谷 力、北澤 一樹、栗林 美智子、土屋 謙仕、古川 智巳、松下 雅子			
年間授業回数：15回	授業形態：講義	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	作業療法を実践する上での職業倫理を学び、実務遂行に欠かせない組織の管理運営の基礎知識を習得する。
学修目標	1. 医療倫理、職業倫理について説明できる 2. 作業療法部門の管理・運営の基礎的事項を説明できる 3. 診療報酬や施設基準の概要を説明できる
授業計画	<p>第1回 臨床実習の管理体制 9/25(木)1限 第1作業療法室 (担当：勝山)</p> <p>第2回 医療倫理 10/2(木)1限 第1作業療法室 (担当：岩谷)</p> <p>第3回 作業療法の管理運営 (研究) 10/9(木)1限 第1作業療法室 (担当：土屋)</p> <p>第4回 作業療法の管理運営 (記録・報告) 10/16(木)1限 第1作業療法室 (担当：勝山)</p> <p>第5回 作業療法の管理運営 (リスクマネジメント) 10/23(木)1限 第1作業療法室 (担当：勝山)</p> <p>第6回 作業療法の管理運営 (労務管理) 10/30(木)1限 第1作業療法室 (担当：勝山)</p> <p>第7回 作業療法の管理運営 (職場管理) 11/6(木)1限 第1作業療法室 (担当：勝山)</p> <p>第8回 作業療法の管理運営 (教育システム) 11/13(木)1限 第1作業療法室 (担当：勝山)</p> <p>第9回 作業療法士の起業 11/20(木)1限 第1作業療法室 (担当：勝山)</p> <p>第10回 職能団体の役割と特徴 11/27(木)1限 第1作業療法室 (担当：古川)</p> <p>第11回 業務管理と診療報酬 (身体障害領域) 12/4(木)1限 第1作業療法室 (担当：北澤)</p> <p>第12回 業務管理と診療報酬 (精神障害領域) 12/11(木)1限 第1作業療法室 (担当：栗林)</p> <p>第13回 業務管理と診療報酬 (発達障害領域) 12/18(木)1限 第1作業療法室 (担当：松下)</p> <p>第14回 業務管理と介護報酬 (介護保険領域) 12/25(木)1限 第1作業療法室 (担当：勝山)</p> <p>第15回 理想の作業療法士になるために 1/8(木)1限 第1作業療法室 (担当：勝山)</p>
教科書	矢谷令子 (監)：標準作業療法学 作業療法学概論 第4版. 医学書院 その他必要に応じて、プリントを配布する。
参考図書	砂屋敷忠 他：医療・保健専門職の倫理テキスト 医療科学社
予習・復習内容	教科書や配布資料をよく読み理解を深めること。
成績評価方法	小テスト10% 課題・リフレクションシート70% グループ発表20%
履修上の注意	積極的にディスカッションに参加すること。
担当教員への連絡方法	初回授業時にアナウンスする。
授業に関する大学教員以外の実務経験	担当者は臨床経験を有する作業療法士・医師である。
実務経験と授業科目の関連性	作業療法の臨床場面で必要とされる管理運営の知識や視点を取得し、作業療法の将来展望について考えることができる。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2 (作業療法士課程) 作業療法管理学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1単位	必修
担当教員			
土屋 謙仕、宮脇 利幸、春原 るみ、勝山 しおり、栗林 美智子、松下 雅子、古川 智巳、北澤 一樹、近藤 優樹			
年間授業回数：15回	授業形態：講義	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	作業療法を実施するためには、対象者の評価ができることが前提となる。評価とはなにかを中心に、身体障害、発達障害、精神障害、高齢期障害の各領域の評価に必要な知識を教授する。2年次に学ぶ評価学につなげるものである。前期の作業療法学概論で学んだ事例をもとに知識を深め、対象者の持っている機能や能力、失った機能や能力を正しく評価し、把握したうえでプログラムを立てられるよう、作業療法の評価全般にわたって目的、種類、手順、注意事項などの概略について学ぶ。
学修目標	1. 評価とは何か説明できる 2. 何のために評価をするかを説明できる 3. 各領域に共通な機能の基礎知識を説明できる 4. 面接・観察の意味と重要性を説明できる
授業計画	第1回 オリエンテーション/作業療法における評価とはなにか① 9/30(火)4限 大講義室 (担当：土屋) 第2回 作業療法における評価とはなにか② 10/7(火)4限 大講義室 (担当：土屋) 第3回 身体障害領域の作業療法における評価① 10/14(火)4限 大講義室 (担当：古川) 第4回 身体障害領域の作業療法における評価② 10/21(火)4限 大講義室 (担当：古川) 第5回 身体障害領域の作業療法における評価③ 10/28(火)4限 大講義室 (担当：北澤) 第6回 精神科領域の作業療法における評価① 11/4(火)4限 大講義室 (担当：春原) 第7回 精神科領域の作業療法における評価② 11/11(火)4限 大講義室 (担当：春原) 第8回 精神科領域の作業療法における評価③ 11/18(火)4限 大講義室 (担当：栗林) 第9回 発達領域の作業療法における評価① 11/25(火)4限 大講義室 (担当：松下) 第10回 発達領域の作業療法における評価② 12/2(火)4限 大講義室 (担当：松下) 第11回 発達領域の作業療法における評価③ 12/9(火)4限 大講義室 (担当：近藤) 第12回 高齢期領域の作業療法における評価① 12/16(火)4限 大講義室 (担当：宮脇) 第13回 高齢期領域の作業療法における評価① 12/23(火)4限 大講義室 (担当：宮脇) 第14回 高次脳機能障害（身体障害・高齢期領域）の作業療法における評価 1/6(火)4限 大講義室 (担当：勝山) 第15回 全体のまとめ 1/13(火)4限 大講義室 (担当：土屋)
教科書	能登真一他編集：作業療法評価学 第3版 医学書院
参考図書	鈴木則宏：神経診察クローズアップ（正しい病巣診断のコツ） メジカルビュー社
予習・復習内容	予習・復習を十分に行うこと
成績評価方法	試験50%、課題50%
履修上の注意	授業時に説明する
担当教員への連絡方法	メールで連絡すること（大学のHPに記載されている）
授業に関する大学教員以外の実務経験	教員は作業療法士としての臨床経験有り

実務経験と授業科目の関連性	臨床経験から、理論と実践を伝えることで、学生はより深い理解が可能となる
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 作業療法評価学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1単位	必修
担当教員			
古川 智巳、北澤 一樹、清水 万紀子			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	身体障害作業療法を実施する上で必要となる基本的評価の意義と目的を知り、測定技法、検査器具の使用方法、検査手順、記録方法を学ぶ。 また、対象者の状況を正しく把握するため、画像評価を学び、客観的な評価が行えることを目的とする。
学修目標	1. 各検査の目的を理解し、検査について説明することができる 2. 検査を健常者に対して説明しながら実施することができる 3. 検査から得られた結果を記録し、内容を把握することができる
授業計画	<p>第1回 関節可動域測定 (1) : 上肢 4/10(木)2限 徒手・物理療法室/運動療法室 (担当：古川)</p> <p>第2回 関節可動域測定 (2) : 手指 4/17(木)2限 徒手・物理療法室/運動療法室 (担当：古川)</p> <p>第3回 関節可動域測定 (3) : 下肢 4/24(木)2限 徒手・物理療法室/運動療法室 (担当：古川)</p> <p>第4回 関節可動域測定 (4) : 下肢・体幹 5/1(木)2限 徒手・物理療法室/運動療法室 (担当：古川)</p> <p>第5回 徒手筋力検査法 (1) : 肩甲帯 5/8(木)2限 徒手・物理療法室/運動療法室 (担当：北澤)</p> <p>第6回 徒手筋力検査法 (2) : 肩・上肢 5/15(木)2限 徒手・物理療法室/運動療法室 (担当：北澤)</p> <p>第7回 徒手筋力検査法 (3) : 上腕・前腕 5/22(木)2限 徒手・物理療法室/運動療法室 (担当：北澤)</p> <p>第8回 徒手筋力検査法 (4) : 手指 5/29(木)2限 徒手・物理療法室/運動療法室 (担当：北澤)</p> <p>第9回 徒手筋力検査法 (5) : 下肢 6/5(木)2限 徒手・物理療法室/運動療法室 (担当：北澤)</p> <p>第10回 徒手筋力検査法 (6) : 体幹 6/12(木)2限 徒手・物理療法室/運動療法室 (担当：北澤)</p> <p>第11回 反射検査、姿勢反応検査 6/19(木)2限 徒手・物理療法室/運動療法室 (担当：清水)</p> <p>第12回 筋緊張検査、協調性検査 6/26(木)2限 徒手・物理療法室/運動療法室 (担当：清水)</p> <p>第13回 脳神経検査・画像評価 7/3(木)2限 徒手・物理療法室/運動療法室 (担当：古川)</p> <p>第14回 知覚検査 7/10(木)2限 徒手・物理療法室/運動療法室 (担当：古川)</p> <p>第15回 上肢機能検査 7/17(木)2限 徒手・物理療法室/運動療法室 (担当：古川)</p>
教科書	1. 能登真一 他：標準作業療法 作業療法評価学 医学書院 2. 津山直一・中村耕三訳：新・徒手筋力検査法 共同医書出版 3. 鈴木則宏：神経診察クローズアップ 正しい病巣診断のコツ メジカルビュー社
参考図書	1. 医療情報科学研究所編：病気がみえる vol.7 脳・神経 メディックメディア
予習・復習内容	教科書の該当ページの内容を確認して臨むこと。 その授業回で行った実技の復習を学生同士で行っておくこと。
成績評価方法	期末筆記試験70% 実技試験30%
履修上の注意	実技が多いので運動着を着用。髪の毛が顔にかからないようにして授業に臨むこと。
担当教員への連絡方法	初回授業時にアナウンスする。
授業に関する大学教員以外の実務経験	担当者は臨床経験を有する作業療法士である。

実務経験と授業科目の関連性	臨床のなかで日々実施されている作業療法の基本的技能である。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 作業療法評価学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1単位	必修
担当教員			
栗林 美智子、春原 るみ			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	精神障害および心理・社会的要因により作業遂行上の問題を抱えている対象者に対して、援助のための理解に必要な評価の視点、面接・観察・検査・調査の各手法を適切かつ統合的に活用するための知識、態度、技術を学習することを目標とする。学生2人がペアになって検査者と被検査者の双方を体験する。また、自分自身についての背景情報の整理といくつかの評価結果を合わせて自己分析を行い、自己の治療的応用の視点を学ぶ。講義と合わせ、演習を通して臨床評価実習につなげる。
学修目標	1. 精神障害作業療法における評価の基本的な流れと評価の視点を理解する 2. 各評価法を理解し、学生同士で適切に実施することができる 3. 2について、学生パートナーの結果と自己の結果を分析し、それを系統的に記述することができる 4. 援助者としての自己の特徴について、関心・気づきを持つことができる
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション、学内実習とレポート、個人情報保護 4/7(月)2限 第1作業療法室 (担当：栗林、春原)</p> <p>第2回 ICFに基づく評価、評価の概要、情報収集 4/14(月)2限 第1作業療法室 (担当：栗林、春原)</p> <p>第3回 観察 4/21(月)2限 第1作業療法室 (担当：栗林、春原)</p> <p>第4回 面接 4/28(月)2限 第1作業療法室 (担当：栗林、春原)</p> <p>第5回 研究発表① (カナダモデル/COPM)、研究発表② (AMPS) 5/12(月)2限 第1作業療法室 (担当：栗林、春原)</p> <p>第6回 研究発表③質問紙をもちいた面接、講義:その他の質問紙 5/19(月)2限 第1作業療法室 (担当：栗林、春原)</p> <p>第7回 演習 (生活形態の調査、作業経験興味調査) 5/26(月)2限 第1作業療法室 (担当：栗林、春原)</p> <p>第8回 作業面接とは・作業面接の視点 (箱づくり法を利用して) 6/2(月)2限 第1作業療法室 (担当：栗林、春原)</p> <p>第9回 演習 (箱づくり法の読み方、まとめ方) 6/9(月)2限 第1作業療法室 (担当：栗林、春原)</p> <p>第10回 研究発表④ (内田クレペリン精神作業検査) 6/16(月)2限 第1作業療法室 (担当：栗林、春原)</p> <p>第11回 研究発表⑤ (人格検査) 演習 (TEG) 6/23(月)2限 第1作業療法室 (担当：栗林、春原)</p> <p>第12回 研究発表⑥ (VPI職業興味検査) 演習 (VPI) 6/30(月)2限 第1作業療法室 (担当：栗林、春原)</p> <p>第13回 研究発表⑦ (職業適性検査) 7/7(月)2限 第1作業療法室 (担当：栗林、春原)</p> <p>第14回 演習 (職業適性検査) 7/14(月)2限 第1作業療法室 (担当：栗林、春原)</p> <p>第15回 研究発表⑧ (投影法/バウムテスト) 7/21(月)2限 第1作業療法室 (担当：栗林、春原)</p>
教科書	<ol style="list-style-type: none"> 能登真一他編：標準作業療法学 作業療法評価学 第3版 医学書院 富岡詔子：箱づくり法実施マニュアル 改訂版2022 箱づくり法研究会 吉川ひろみ編 作業療法をはじめよう (COPM・AMPS・ESIスターティングガイド) 第2版 医学書院 WHO：ICF国際生活機能分類-国際障害分類改訂版- 中央法規 伊藤順一郎：新版 統合失調症-病気の理解と治療法 講談社
参考図書	<ol style="list-style-type: none"> 香山明美他編 作業療法の面接技術 ストリーの共有を目指して 三輪書店 岩崎テル子他編：標準作業療法学 作業療法評価学 医学書院 新版-TEG3マニュアル、内田クレペリン精神検査基礎テキスト VPI職業検査手引書、VPI利用者のための職業ガイド 労働省一般職業適性検査手引 C. コッホ：バウムテスト-樹木画による人格診断法- 日本文化科学社 高橋雅春他：樹木画テスト 北大路書房 K. ボーランダー：樹木画によるパーソナリティの理解 ナカニシヤ出版 山根 寛：精神障害と作業療法 新版 三輪書店

予習・復習内容	授業の内容を予習復習し、十分な準備を行うこと。
成績評価方法	期末試験60%、課題30%、演習・研究発表10% *各評価法のケースノートについて、不備の連続や提出遅れがあった場合減点する *提出物や課題について不正が認められた時は、減点あるいは単位を認めないことがある
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・学生パートナーを対象者として評価を体験するので真剣に臨むこと。対象者についての個人情報の管理は、医療従事者を志す者として個人情報保護法に則り十分に留意すること。 ・日常生活の自己管理に配慮し、パートナー（対象者）に迷惑をかけないように努めること。
担当教員への連絡方法	E-mail : kuribayashi.michiko@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	作業療法士として臨床での精神科作業療法の実務経験を有する。
実務経験と授業科目の関連性	上記の経験から精神系作業療法の評価に関する知識や技術について講義する。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 作業療法評価学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1単位	選択
担当教員			
栗林 美智子、春原 るみ			
年間授業回数：8回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	精神系作業療法評価学で学んだ理論と方法について学生をモデルにして適応する。面接・観察・検査・調査の各手法についての理解を深め、適切に実施し活用するための態度・技術を学習する。この演習を通して精神系作業療法評価の実施過程を模擬的に体験する。
学修目標	1. 精神障害作業療法における評価の基本的流れ、評価の視点を実際に演習をとおして理解する 2. 各評価法を、学生同士で実際に実施することをおして理解する 3. 援助者としての自己の特徴について演習をとおして理解する
授業計画	第1回 演習 (ICF) 4/15(火)5限 講堂 (担当：栗林・春原) 第2回 演習 (インテーク・COPM) 5/13(火)5限 講堂 (担当：栗林・春原) 第3回 演習 (情報収集面接) 5/20(火)5限 講堂 (担当：栗林・春原) 第4回 箱づくり法ビデオ演習 5/27(火)5限 講堂 (担当：栗林・春原) 第5回 演習 (箱づくり法1) 6/3(火)5限 講堂 (担当：栗林・春原) 第6回 演習 (箱づくり法2) 6/10(火)5限 講堂 (担当：栗林・春原) 第7回 演習 (内田クレペリン精神作業検査) 6/17(火)5限 講堂 (担当：栗林・春原) 第8回 演習 (職業適性検査) 6/24(火)5限 講堂 (担当：栗林・春原)
教科書	1. 能登真一他編：標準作業療法学 作業療法評価学 第3版 医学書院 2. 富岡詔子：箱づくり法実施マニュアル 改訂版2022 箱づくり法研究会 3. 吉川ひろみ編 作業療法をはじめよう (COPM・AMPS・ESIスターティングガイド) 第2版 医学書院 4. WHO：ICF 国際生活機能分類－国際障害分類改訂版－ 中央法規 5. 伊藤順一郎：新版 統合失調症－病気の理解と治療法 講談社
参考図書	1. 香山明美他編 作業療法の面接技術 ストリーの共有を目指して 三輪書店 2. 岩崎テル子他編：標準作業療法学 作業療法評価学 医学書院 3. 新版－TEG3マニュアル、内田クレペリン精神検査基礎テキスト 4. VPI職業検査手引書、VPI利用者のための職業ガイド 5. 労働省一般職業適性検査手引 6. C. コッホ：バウムテスト－樹木画による人格診断法－ 日本文化科学社 7. 高橋雅春他：樹木画テスト 北大路書房 8. K. ボーランダー：樹木画によるパーソナリティの理解 ナカニシヤ出版 9. 山根 寛：精神障害と作業療法 新版 三輪書店
予習・復習内容	授業の内容を予習復習し、十分な準備を行うこと。
成績評価方法	評価配分：期末試験80%、課題10%、演習・研究発表10% *各評価法のケースノートについて、不備の連続や提出遅れがあった場合減点する *提出物や課題について不正が認められた時は、減点あるいは単位を認めないことがある
履修上の注意	・学生パートナーを対象者として評価を体験するので真剣に臨むこと。対象者についての個人情報の管理は、医療従事者を志す者として個人情報保護法に則り十分に留意すること。 ・日常生活の自己管理に配慮し、パートナー（対象者）に迷惑をかけないように努めること。
担当教員への連絡方法	E-mail：kuribayashi.michiko@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	作業療法士として臨床での精神科作業療法の実務経験を有する。
実務経験と授業科目の関連性	上記の経験から精神系作業療法の評価に関する知識や技術について教授する。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2 (作業療法士課程) 作業療法評価学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1単位	必修
担当教員			
松下 雅子、近藤 優樹			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	1. 発達過程で疾病や障害を受けた対象児・者の状態（病態・障害）と、彼らが生活する環境 について理解を深め、作業療法士が実践する評価の目的を理解し修得する 2. 対象児・者の生活行動を疎外している因子を把握するために、発達障害関係の各種評価法の内容及び実施方法が理解できる
学修目標	1. 発達過程の障害の概略を理解し、作業療法が支援する疾患と障害の特性を説明できる 2. 提示された各種評価の目的を説明し、適用する理由を述べることができる 3. 各種評価の目的を理解し、留意点を説明することができる 4. 各種評価方法を安全に配慮して実施することができる
授業計画	<p>第1回 発達障害作業療法とは、対象者と家族に対する面接 4/9(水)2限 第1作業療法室 (担当：松下)</p> <p>第2回 発達障害児者の評価の実践課程 4/16(水)2限 第1作業療法室 (担当：近藤)</p> <p>第3回 発達全般の評価について（発達検査） 4/23(水)2限 第1作業療法室 (担当：近藤)</p> <p>第4回 運動機能の評価 運動機能障害の理解 4/30(水)2限 第1作業療法室 (担当：松下)</p> <p>第5回 運動機能の評価 姿勢と運動機能の評価（検査・測定・観察） 5/7(水)2限 第1作業療法室 (担当：松下)</p> <p>第6回 運動機能の評価 姿勢と運動機能の評価（原始反射） 5/14(水)2限 第1作業療法室 (担当：松下、近藤)</p> <p>第7回 運動機能の評価 姿勢と運動機能の評価（姿勢反射） 5/21(水)2限 第1作業療法室 (担当：松下、近藤)</p> <p>第8回 視機能、視知覚機能の評価（WAVES） 5/28(水)2限 第1作業療法室 (担当：松下)</p> <p>第9回 行動の評価（日本版Vineland-II 適応行動尺度） 6/4(水)2限 義肢装具室 (担当：松下)</p> <p>第10回 知能、認知機能の評価 6/11(水)2限 義肢装具室 (担当：松下)</p> <p>第11回 作業遂行、身辺処理の評価 6/18(水)2限 義肢装具室 (担当：松下、近藤)</p> <p>第12回 個人因子、環境因子の評価 6/25(水)2限 義肢装具室 (担当：松下)</p> <p>第13回 感覚統合機能の評価 神経発達症の理解 7/2(水)2限 第1作業療法室 (担当：近藤)</p> <p>第14回 感覚統合機能の評価（感覚調整障害、行為機能障害について） 7/9(水)2限 第1作業療法室 (担当：近藤)</p> <p>第15回 まとめ 7/16(水)2限 第1作業療法室 (担当：松下)</p>
教科書	1. 能登真一他：標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第4版 医学書院 2. 福田恵美子：標準作業療法学 発達過程作業療法学 第3版、医学書院 3. 岩崎清隆・鴨下賢一：発達障害の作業療法基礎編 第3版、三輪書店
参考図書	福田恵美子：ゆっくり発達している子どもが輝く遊びの処方箋 株式会社CBR 楠本泰士、友利幸之介：小児リハ評価ガイド メジカルビュー 2019 長崎重信：作業療法ゴールドマスターテキスト 発達障害作業療法学第3版、メジカルビュー 岩崎清隆・岸本光夫・鴨下賢一：発達障害の作業療法実践編 第3版、三輪書店
予習・復習内容	授業該当範囲の予習と復習を行い、疑問点について質問できるようにする。
成績評価方法	期末試験70%、実技試験10%、課題レポート10%、リフレクションペーパー10%
履修上の注意	実技は動きやすい服装（ポロシャツ・ジャージ着用）で行うので準備すること。
担当教員への連絡方法	初回授業時にアナウンスする。

授業に関する大学 教員以外の実務経 験	作業療法士として、病院、地域の児童福祉施設で発達障害児者の支援経験を持っている。
実務経験と授業科 目の関連性	臨床場面に即した実践的な知識や内容を伝える。
指定規則の位置付 け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 作業療法評価学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	2単位	必修
担当教員			
北澤 一樹、宮脇 利幸、春原 るみ、勝山 しおり、土屋 謙仕、栗林 美智子、松下 雅子、古川 智巳、近藤 優樹			
年間授業回数：30回	授業形態：演習		
添付ファイル			

授業目標	臨床現場で求められる対象者への適切な関わり、検査・測定や面接の実施などの臨床能力を高めること。具体的には、模擬患者に対し、小グループで対象者とのセラピストとしての接し方を学び、疾患特性をもとに評価計画の策定方法を学ぶ。またそれに基づいて検査・測定を実際に行い、診断的思考過程を学ぶとともにICFに基づく障害の整理を行うことで全体像を作ることができるようになることと、3年の評価実習までに評価全体の流れがイメージできるようになることを目標とする。		
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 提示される疾患の特性を理解できる 2. 疾患特性に基づいた評価計画が作成できる 3. 学んだ評価を、対象者に適切に行うことができる 4. 行った結果をSOAPあるいは指定された方法で記述できる 5. ICFに基づき全体像を把握し、課題の焦点化ができる 		
授業計画	第1回	オリエンテーション、作業療法評価の総論 日程・教室別途連絡（担当：北澤 他）	
	第2回	グループごとに領域の異なる症例の評価① 日程・教室別途連絡（担当：北澤 他）	
	第3回	グループごとに領域の異なる症例の評価まとめ① 日程・教室別途連絡（担当：北澤 他）	
	第4回	グループごとに領域の異なる症例の評価② 日程・教室別途連絡（担当：北澤 他）	
	第5回	グループごとに領域の異なる症例の評価まとめ② 日程・教室別途連絡（担当：北澤 他）	
	第6回	グループごとに領域の異なる症例の評価③ 日程・教室別途連絡（担当：北澤 他）	
	第7回	グループごとに領域の異なる症例の評価まとめ③ 日程・教室別途連絡（担当：北澤 他）	
	第8回	グループごとに領域の異なる症例の評価④ 日程・教室別途連絡（担当：北澤 他）	
	第9回	グループごとに領域の異なる症例の評価まとめ④ 日程・教室別途連絡（担当：北澤 他）	
	第10回	グループごとに領域の異なる症例の評価⑤ 日程・教室別途連絡（担当：北澤 他）	
	第11回	グループごとに領域の異なる症例の評価まとめ⑤ 日程・教室別途連絡（担当：北澤 他）	
	第12回	グループごとに領域の異なる症例の評価⑥ 日程・教室別途連絡（担当：北澤 他）	
	第13回	グループごとに領域の異なる症例の評価まとめ⑥ 日程・教室別途連絡（担当：北澤 他）	
	第14回	グループごとに領域の異なる症例の評価⑦ 日程・教室別途連絡（担当：北澤 他）	
	第15回	グループごとに領域の異なる症例の評価まとめ⑦ 日程・教室別途連絡（担当：北澤 他）	
	第16回	グループごとに領域の異なる症例の評価⑧ 日程・教室別途連絡（担当：北澤 他）	
	第17回	グループごとに領域の異なる症例の評価まとめ⑧ 日程・教室別途連絡（担当：北澤 他）	
	第18回	グループごとに領域の異なる症例の評価⑨ 日程・教室別途連絡（担当：北澤 他）	
	第19回	グループごとに領域の異なる症例の評価まとめ⑨ 日程・教室別途連絡（担当：北澤 他）	
	第20回	グループごとに領域の異なる症例の評価⑩ 日程・教室別途連絡（担当：北澤 他）	

	第21回	グループごとに領域の異なる症例の評価まとめ⑩ 日程・教室別途連絡（担当：北澤 他）
	第22回	症例発表会 日程・教室別途連絡（担当：北澤 他）
	第23回	各領域の臨床技能課題① 日程・教室別途連絡（担当：北澤 他）
	第24回	各領域の臨床技能課題② 日程・教室別途連絡（担当：北澤 他）
	第25回	各領域の臨床技能課題③ 日程・教室別途連絡（担当：北澤 他）
	第26回	各領域の臨床技能課題④ 日程・教室別途連絡（担当：北澤 他）
	第27回	各領域の臨床技能課題⑤ 日程・教室別途連絡（担当：北澤 他）
	第28回	各領域の臨床技能課題⑥ 日程・教室別途連絡（担当：北澤 他）
	第29回	各領域の臨床技能課題⑦ 日程・教室別途連絡（担当：北澤 他）
	第30回	各領域の臨床技能課題⑧ 日程・教室別途連絡（担当：北澤 他）
教科書	1. 障害者福祉研究会編：ICF 国際生活機能分類—国際障害分類改定版 中央法規 2. 能登真一他編：標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第3版 医学書院 その他必要に応じてプリントを配布	
参考図書	必要に応じて担当教員から紹介する。	
予習・復習内容	演習の準備、事前学習、模擬練習を十分に行ってから演習に臨むこと。	
成績評価方法	課題レポート（ディレクト、自己学習、評価計画、ICFシート、発表）：55% 評価技能、社会技能、実技試験：45%	
履修上の注意	個人の努力と、グループで協力して取り組む姿勢の両方が大切であることを理解し、積極的に取り組んでほしい。	
担当教員への連絡方法	各演習の初回に担当教員より連絡する。	
授業に関する大学教員以外の実務経験	作業療法士としての臨床経験を有する。	
実務経験と授業科目の関連性	臨床で遭遇する代表的な疾患を模擬的に体験させることができる。	
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 作業療法評価学	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1単位	必修
担当教員			
古川 智巳、北澤 一樹、清水 万紀子			
年間授業回数：15回	授業形態：講義	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	各疾患の特性を知り、疾患に合致した基礎的な評価法を体得するため、学生間で実技演習をまじえて評価方法の実際を学ぶ。 身体的な評価だけでなく心理・社会的・環境的背景などを考慮し、包括的な視点から評価が出来るようになることを目標とする。
学修目標	1. 各疾患の評価目的を理解できる 2. 検査の意味を理解し、疾患に応じた検査を選択・実施できる 3. 被検者に対して検査を実施することができる 4. 検査から得られた結果を記録し、内容を把握することができる
授業計画	<p>第1回 脳血管障害の作業療法学（脳血管障害・頭部外傷とは） 9/24(水)3限 第1作業療法室/徒手・物理療法室（担当：古川）</p> <p>第2回 脳血管障害の作業療法学（脳血管障害の評価①）機能評価 Br-stage 10/1(水)3限 第1作業療法室/徒手・物理療法室（担当：古川）</p> <p>第3回 脳血管障害の作業療法学（脳血管障害の評価②）機能評価 grade 10/8(水)3限 第1作業療法室/徒手・物理療法室（担当：北澤）</p> <p>第4回 脳血管障害の作業療法学（脳血管障害の評価③）ADL評価 10/15(水)3限 第1作業療法室/徒手・物理療法室（担当：北澤）</p> <p>第5回 脊髄損傷の作業療法学（脊髄損傷とは） 10/22(水)3限 第1作業療法室/徒手・物理療法室（担当：清水）</p> <p>第6回 脊髄損傷の作業療法学（脊髄損傷の評価①）機能評価 10/29(水)3限 第1作業療法室/徒手・物理療法室（担当：清水）</p> <p>第7回 脊髄損傷の作業療法学（脊髄損傷の評価②）ADL評価 11/5(水)3限 第1作業療法室/徒手・物理療法室（担当：清水）</p> <p>第8回 上肢の末梢神経損傷の作業療法学（末梢神経障害の評価①）機能評価 11/12(水)3限 第1作業療法室/徒手・物理療法室（担当：古川）</p> <p>第9回 上肢の末梢神経損傷の作業療法学（末梢神経障害の評価②）ADL評価 11/19(水)3限 第1作業療法室/徒手・物理療法室（担当：古川）</p> <p>第10回 関節リウマチおよびその類似疾患の作業療法（関節リウマチおよびその類似疾患の評価） 11/26(水)3限 第1作業療法室/徒手・物理療法室（担当：北澤）</p> <p>第11回 その他の神経疾患・神経筋疾患の作業療法（ギランバレー症候群、多発性硬化症、パーキンソン病） 12/3(水)3限 第1作業療法室/徒手・物理療法室（担当：清水）</p> <p>第12回 その他の神経疾患・神経筋疾患の作業療法（脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症等） 12/10(水)3限 第1作業療法室/徒手・物理療法室（担当：清水）</p> <p>第13回 心疾患の作業療法 12/17(水)3限 第1作業療法室/徒手・物理療法室（担当：古川）</p> <p>第14回 呼吸器疾患の作業療法 12/24(水)3限 第1作業療法室/徒手・物理療法室（担当：北澤）</p> <p>第15回 ICFとMTDLPを用いた事例の全体像のまとめ 1/7(水)3限 第1作業療法室/徒手・物理療法室（担当：古川）</p>
教科書	1. 能登真一 他：標準作業療法 作業療法評価学 医学書院 2. 津山直一・中村耕三訳：新・徒手筋力検査法 共同医書出版 3. 鈴木則宏：神経診察クローズアップ(正しい病巣診断のコツ) メジカルビュー社
参考図書	田中宏太佳：動画で学ぶ脊髄損傷のリハビリテーション 医学書院 医療情報科学研究所編：病気がみえる vol.7 脳・神経 メディックメディア 医療情報科学研究所編：病気がみえる vol.11 運動器・整形外科 メディックメディア
予習・復習内容	教科書の該当ページの内容を確認して臨むこと。その授業回で行った実技の復習を学生同士で行っておくこと。
成績評価方法	期末筆記試験70%，実技試験30%
履修上の注意	実技をする時は運動着を着用。
担当教員への連絡方法	初回授業時にアナウンスする。

授業に関する大学 教員以外の実務経 験	担当者は臨床経験を有する作業療法士である。
実務経験と授業科 目の関連性	臨床で経験する疾患の評価は日々実施されている作業療法の基本的技能である。
指定規則の位置付 け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 作業療法治療学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	2単位	必修
担当教員			
古川 智巳、北澤 一樹、佐藤 剛章、清水 万紀子			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	それぞれの身体障害機能的障害の原因を知り、作業療法を実施するために必要な基本的な考え方や治療法について学ぶ。講義を中心に進めるが、治療法を展開する上で役立つよう、具体的な障害像と治療イメージを繋げる。またリスク管理を行いながら個々の疾患や障害に応じた治療法が展開できることを目標とする。
学修目標	1. 機能的身体障害を治療するための基本概念と基礎技術を説明することができる 2. 基礎的治療法を習得し、治療方法を選択することができる 3. 身体障害の各疾患の治療特性を説明できる 4. 各疾患に対して基本的治療の治療技術内容を説明できる 5. 各疾患に対して基本的治療技術を被験者に対して実施できる 6. 各疾患への治療技術に対して、適切なリスク管理ができる
授業計画	<p>第1回 治療学総論 4/7(月)3限 コミュニティールーム/レクリエーション室/徒手・物理療法室 (担当：古川)</p> <p>第2回 治療学概論：関節可動域の拡大 4/14(月)3限 コミュニティールーム/レクリエーション室/徒手・物理療法室 (担当：古川)</p> <p>第3回 治療学概論：関節可動域の拡大【実技】 4/21(月)3限 コミュニティールーム/レクリエーション室/徒手・物理療法室 (担当：古川)</p> <p>第4回 治療学概論：筋力と筋持久力の拡大 4/28(月)3限 コミュニティールーム/レクリエーション室/徒手・物理療法室 (担当：古川)</p> <p>第5回 治療学概論：筋力と筋持久力の拡大【実技】 5/12(月)3限 コミュニティールーム/レクリエーション室/徒手・物理療法室 (担当：古川)</p> <p>第6回 治療学概論：運動学習 5/19(月)3限 コミュニティールーム/レクリエーション室/徒手・物理療法室 (担当：古川、北澤)</p> <p>第7回 治療学概論：協調性運動障害の治療・運動麻痺の治療 5/26(月)3限 コミュニティールーム/レクリエーション室/徒手・物理療法室 (担当：北澤)</p> <p>第8回 治療学概論：協調性運動障害の治療・運動麻痺の治療【実技】 6/2(月)3限 コミュニティールーム/レクリエーション室/徒手・物理療法室 (担当：北澤)</p> <p>第9回 脳血管障害・頭部外傷 ①概要・評価・目標設定 6/9(月)3限 コミュニティールーム/レクリエーション室/徒手・物理療法室 (担当：北澤)</p> <p>第10回 脳血管障害・頭部外傷 ②プログラム・支援 6/16(月)3限 コミュニティールーム/レクリエーション室/徒手・物理療法室 (担当：北澤)</p> <p>第11回 治療学概論 まとめ：関節可動域と筋力の拡大【実技】 6/23(月)3限 コミュニティールーム/レクリエーション室/徒手・物理療法室 (担当：古川、北澤)</p> <p>第12回 脊髄損傷 ①概要・評価・目標 6/30(月)3限 コミュニティールーム/レクリエーション室/徒手・物理療法室 (担当：清水)</p> <p>第13回 脊髄損傷 ②プログラム 7/7(月)3限 コミュニティールーム/レクリエーション室/徒手・物理療法室 (担当：清水)</p> <p>第14回 物理療法の基礎 7/14(月)3限 コミュニティールーム/レクリエーション室/徒手・物理療法室 (担当：佐藤)</p> <p>第15回 頸椎症性脊髄症 7/21(月)3限 コミュニティールーム/レクリエーション室/徒手・物理療法室 (担当：古川)</p>
教科書	長崎重信：作業療法学ゴールドマスターテキスト 身体障害作業療法学 メジカルビュー社
参考図書	1. 梶龍兒：不随意運動の診断と治療 診断と治療者 2. 医療情報科学研究所編：病気がみえる vol.7 脳・神経 メディックメディア 3. 山口昇他：標準作業療法学 身体機能作業療法学 医学書院
予習・復習内容	教科書の該当ページの内容を確認して臨むこと。その授業回で行った実技の復習を学生同士で行っておくこと。
成績評価方法	期末筆記試験70% 実技試験30%
履修上の注意	実技は運動着を着用。髪の毛が顔にかからないようにして授業に臨むこと。
担当教員への連絡方法	初回授業時にアナウンスする。

授業に関する大学 教員以外の実務経 験	担当者は臨床経験を有する作業療法士である。
実務経験と授業科 目の関連性	臨床業務のなかで日々実施している基本的な治療技術である。
指定規則の位置付 け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 作業療法治療学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	2単位	必修
担当教員			
古川 智巳、北澤 一樹、清水 万紀子、土屋 謙仕			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	それぞれの身体障害機能的障害の原因を知り、作業療法を実施するために必要な基本的な考え方や治療法について学ぶ。講義を中心に進めるが、治療法を展開する上で役立つよう、具体的な障害像と治療イメージを繋げる。またリスク管理を行いながら個々の疾患や障害に応じた治療法が展開できることを目標とする。
学修目標	1. 身体障害の各疾患の治療特性を説明できる 2. 各疾患に対して基本的治療の治療技術内容を説明できる 3. 各疾患に対して基本的治療技術を被験者に対して実施できる 4. 各疾患への治療技術に対して、適切なリスク管理ができる
授業計画	<p>第1回 手の骨折 9/25(木)3限 徒手・物理療法室/第1作業療法室 (担当：古川)</p> <p>第2回 下肢、体幹の骨折 10/2(木)3限 徒手・物理療法室/第1作業療法室 (担当：古川)</p> <p>第3回 手指屈筋腱損傷 10/9(木)3限 徒手・物理療法室/第1作業療法室 (担当：古川)</p> <p>第4回 手の末梢神経損傷 10/16(木)3限 徒手・物理療法室/第1作業療法室 (担当：古川)</p> <p>第5回 腱板損傷 10/23(木)3限 徒手・物理療法室/第1作業療法室 (担当：古川)</p> <p>第6回 熱傷 10/30(木)3限 徒手・物理療法室/第1作業療法室 (担当：古川)</p> <p>第7回 心疾患・呼吸器疾患 11/6(木)3限 徒手・物理療法室/第1作業療法室 (担当：土屋)</p> <p>第8回 糖尿病・慢性腎臓病 11/13(木)3限 徒手・物理療法室/第1作業療法室 (担当：古川)</p> <p>第9回 関節リウマチ・多発性筋炎 11/20(木)3限 徒手・物理療法室/第1作業療法室 (担当：清水)</p> <p>第10回 パーキンソン病・脊髄小脳変性症 11/27(木)3限 徒手・物理療法室/第1作業療法室 (担当：北澤)</p> <p>第11回 ギランバレー症候群・多発性硬化症・ALS 12/4(木)3限 徒手・物理療法室/第1作業療法室 (担当：清水)</p> <p>第12回 ターミナルケア 12/11(木)3限 徒手・物理療法室/第1作業療法室 (担当：北澤)</p> <p>第13回 廃用症候群・重症筋無力症 12/18(木)3限 徒手・物理療法室/第1作業療法室 (担当：古川)</p> <p>第14回 切断 12/25(木)3限 徒手・物理療法室/第1作業療法室 (担当：古川)</p> <p>第15回 まとめ・MTDLPを用いた事例検討 1/8(木)3限 徒手・物理療法室/第1作業療法室 (担当：古川)</p>
教科書	長崎重信：作業療法学ゴールドマスターテキスト 身体障害作業療法学 メジカルビュー社
参考図書	1. 医療情報科学研究所編：病気がみえる vol.7 脳・神経 メディックメディア 2. 医療情報科学研究所編：病気がみえる vol.11 運動器・整形外科 メディックメディア 3. 山口昇他：標準作業療法学 身体機能作業療法学 医学書院
予習・復習内容	教科書の該当ページの内容を確認して臨むこと。その授業回で行った実技の復習を学生同士で行っておくこと。
成績評価方法	期末試験90% レポート10%
履修上の注意	これまでに学習してきた基礎医学・身体系作業療法・高次脳機能・高齢期・日常生活活動学・義肢装具学の復習し、関連付けながら理解すること。
担当教員への連絡方法	初回授業日にアナウンスする。
授業に関する大学教員以外の実務経験	担当者は臨床経験を有する作業療法士である。

実務経験と授業科目の関連性	臨床業務のなかで経験することが多い疾患や治療技術である。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 作業療法治療学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1単位	必修
担当教員			
春原 るみ、栗林 美智子			
年間授業回数：15回	授業形態：講義	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	学生2人がペアになって検査者と被検査者の双方を体験し、検査者は被検査者の評価結果をまとめて発表する。コミュニケーションの基礎技法を意図的に利用し、作業療法で用いる面接・観察・検査の各基礎技法を実施する。各種評価法の実施結果から得られた情報を系統的に記述し、その要約を口頭で発表することを通し、情報収集—分析—統合に必要な思考力と問題解決能力を高めることを目標とする。 また、事例を通して、評価演習・評価実習を見据えた評価計画をグループで立案し発表し討議することで、評価のプロセスと視点を具体的に学ぶ。
学修目標	1. 各種評価法を理解し、演習パートナーに対し適切に実施することができる 2. 評価の実施結果から得られた情報を系統的に記述し、その要約を口頭で責任もって発表することができる 3. 演習を通して、援助者として必要な態度をとることができるようになる 4. 事例に対して、各種評価法を利用した評価計画を立案できる 5. 自分の特徴を理解し、援助者として自分自身を活かしていくための見通しを持つことができる
授業計画	第1回 演習（投影法／バウムテスト） 9/30(火)4限 203/204（担当：春原、栗林） 第2回 集団について 10/7(火)4限 203/204（担当：春原、栗林） 第3回 評価実習（集団） 10/14(火)4限 203/204（担当：春原、栗林） 第4回 ICFの理解（わたしについて）講義 10/21(火)4限 203/204（担当：春原、栗林） 第5回 ICFの理解（わたしについて）演習 10/28(火)4限 203/204（担当：春原、栗林） 第6回 評価プログラム立案（講義） 11/4(火)4限 203/204（担当：春原、栗林） 第7回 評価プログラム立案（演習1） 11/11(火)4限 203/204（担当：春原、栗林） 第8回 評価プログラム立案（演習2） 11/18(火)4限 203/204（担当：春原、栗林） 第9回 評価結果レポート発表及びグループ討議① 11/25(火)4限 203/204（担当：春原、栗林） 第10回 評価結果レポート発表及びグループ討議② 12/2(火)4限 203/204（担当：春原、栗林） 第11回 評価結果レポート発表及びグループ討議③ 12/9(火)4限 203/204（担当：春原、栗林） 第12回 評価結果レポート発表及びグループ討議④ 12/16(火)4限 203/204（担当：春原、栗林） 第13回 評価結果レポート発表及びグループ討議⑤ 12/23(火)4限 203/204（担当：春原、栗林） 第14回 評価結果レポート発表及びグループ討議⑥ 1/6(火)4限 203/204（担当：春原、栗林） 第15回 模擬症例グループ発表会 1/13(火)4限 203/204（担当：春原、栗林）
教科書	1. 能登真一他編：標準作業療法学 作業療法評価学 第3版、医学書院 2. WHO：ICF国際生活機能分類—国際障害分類改訂版—、中央法規 3. 伊藤順一郎：新版 統合失調症—正しい理解と対処法 講談社
参考図書	1. 山根 寛：精神障害と作業療法 新版 三輪書店 2. 山根寛他：ひとと集団・場—ひとの集まりと場を利用する 第2版 三輪書店 3. 山根 寛：ひとと作業・作業活動 作業の知をとき技を育む 三輪書店 4. 吉田道雄：人間理解のグループ・ダイナミクス ナカニシヤ出版
予習・復習内容	教科書をよく読み、実習—分析—統合に必要な知識を得、考察すること。
成績評価方法	総合レポート（最終レポートがどれだけ改善されたかも含む） 70% 総合レポート発表 10%、「私について」の課題 20% *総合レポートのデータ不備、提出遅れは減点する *レポートの作成・提出に不正があった場合は単位を認めないことがある

履修上の注意	発表会も含め、グループワークに各人がどれだけ真剣に参加するかで、全体の学習成果に大きな差が出ることに留意すること。 対象者についての個人情報の管理は、医療従事者を志す者として個人情報保護法に則り十分に留意すること。 このことに関し不正があった場合は単位を認めないことがある。
担当教員への連絡方法	授業初回時にアナウンスする。
授業に関する大学教員以外の実務経験	作業療法士として臨床で精神科作業療法の臨床実践の経験を有する。
実務経験と授業科目の関連性	上記の経験から精神系作業療法に関する知識と技術を教授する。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 作業療法治療学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	2単位	必修
担当教員			
栗林 美智子、小林 正義、春原 るみ			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	精神保健医療福祉の歴史と現状を学び、精神医療の目指す方向性と精神障害リハビリテーションの基本的視点を理解する。精神障害作業療法に関連する理論・モデル、及びその基本的実践論について学び、障害・健康概念の変遷と心身の健康に貢献する作業療法の基本的役割と対象者に応じて理論やモデルを応用（折衷）していくという考え方のバリエーションを身に付ける。
学修目標	1. 精神医療の歴史と現状についての知識を習得し、作業療法の意義について説明することができる 2. 精神障害作業療法に関連する理論やモデルについての知識を習得し、それを説明することができる 3. 精神障害作業療法の治療構造とその実践プロセスについて説明することができる 4. 精神疾患の回復過程と回復過程に応じた援助について説明することができる 5. テーマについてグループで協力してまとめ、わかりやすくプレゼンテーションできる
授業計画	<p>第1回 精神医療の歴史と作業療法、精神障害の特性 4/11(金)3限 第1作業療法室 (担当：栗林)</p> <p>第2回 精神保健医療福祉の動向と作業療法士の役割 4/18(金)3限 第1作業療法室 (担当：栗林)</p> <p>第3回 作業療法の基本的な視点と方法 作業療法の治療構造と実施形態 4/25(金)3限 第1作業療法室 (担当：栗林)</p> <p>第4回 作業療法実践のプロセス、作業面接の技術 5/2(金)3限 第1作業療法室 (担当：栗林)</p> <p>第5回 理論・関連モデル・技法：精神力動論、集団力動論 5/9(金)3限 第1作業療法室 (担当：栗林)</p> <p>第6回 精神療法、森田療法 5/16(金)3限 第1作業療法室 (担当：栗林)</p> <p>第7回 ①作業療法理論 (Fidler)、②作業療法理論 (Mosey) 5/23(金)3限 第1作業療法室 (担当：春原)</p> <p>第8回 ③作業行動理論 (Reilly)、④人間作業モデル、⑤作業療法介入プロセスモデル 5/30(金)3限 第1作業療法室 (担当：春原)</p> <p>第9回 ⑥芸術療法、⑦認知行動療法 6/6(金)3限 第1作業療法室 (担当：栗林)</p> <p>第10回 ⑧SST、⑨心理教育 6/13(金)3限 第1作業療法室 (担当：栗林)</p> <p>第11回 ⑩認知リハ (NEAR、MCT、SCIT)、⑪精神領域の運動療法 6/20(金)3限 第1作業療法室 (担当：栗林)</p> <p>第12回 幸福を促進する作業療法 6/27(金)3限 第1作業療法室 (担当：栗林)</p> <p>第13回 回復状態に応じた作業療法、統合失調症の作業療法とリハビリテーション 7/4(金)3限 第1作業療法室 (担当：栗林)</p> <p>第14回 急性期・早期作業療法の実践 7/10(木)4限 第1作業療法室 (担当：小林)</p> <p>第15回 退院支援、地域生活支援 (再発防止プログラム・外来・デイケア・ケアマネジメント・訪問) 7/18(金)3限 第1作業療法室 (担当：栗林)</p>
教科書	1. 富岡昭子他編：作業治療学2 精神障害 協同医書出版社 2. 伊藤順一郎監修：新版統合失調症—正しい理解と治療法 講談社 3. 香山明美他編：生活を支援する精神障害作業療法—急性期から地域実践まで 医歯薬出版
参考図書	1. 香山明美他：作業療法の面接技術 ストリーの共有を目指して 三輪書店 2. 岩崎テル子監訳：作業療法実践のための6つの理論 理論の形成と発展 協同医書出版社 3. 広沢正孝：統合失調症を理解する 彼らの生きる世界と精神科リハビリテーション 医学書院 4. 小川真寛他編：5W1Hでわかりやすく学べる作業療法理論の教科書 メジカルビュー社 5. 早坂友成編：精神科作業療法の理論と技術 メジカルビュー社 その他グループ研究に必要な参考図書の探し方については必要に応じて指示する。
予習・復習内容	6～11回目は、事前に配布されるプリントに目を通して予習してくること。 範囲が広いので、授業後にテキストの関連ページを復習し知識を定着させること。
成績評価方法	期末試験 80%、課題レポート及び発表・グループワーク 10% 授業中の討論への貢献度 10% *レポートの不備の連続や提出遅れがあった場合は減点することがある

	*レポートの作成・提出において不正があった場合は、単位を認めないことがある
履修上の注意	グループ研究は早めに取りかかること。 グループ研究の基本的文献の紹介は教員からするが、その他の図書や論文を主体的に収集してまとめること。
担当教員への連絡方法	初回授業時にアナウンスする。
授業に関する大学教員以外の実務経験	各教員は作業療法士として精神障害領域における臨床経験を有する。
実務経験と授業科目の関連性	上記の経験から精神系作業療法に関する知識と技術を教示できる。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 作業療法治療学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	2単位	必修
担当教員			
栗林 美智子、小林 正義、春原 るみ、荒井 留美子			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	精神障害作業療法の主対象となる精神疾患の特徴について理解し、障害構造論と回復段階に応じたリハビリテーションの立場から、各種精神疾患の障害特性に応じた作業療法の基本的な治療理論について学習する。また、精神障害とそれに伴う生活障害の特性と、それらに対する援助の基本、具体的な作業療法アプローチについて学習する。
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各疾患の特徴や障害の特性、作業療法実施上の留意点について説明することができる 2. 精神障害作業療法に関連する治療モデルや技法について説明することができる 3. 精神障害がある人たちに対する地域生活の具体的な支援について説明することができる 4. 具体的な事例について、各疾患の特徴、障害の特性に応じて治療理論を応用し、治療プログラムを考案することができる 5. 各疾患と治療理論・モデル・技法、実際の生活支援がどのように関連しているのかを理解し、説明することができる
授業計画	<p>第1回 気分障害の作業療法とリハビリテーション 9/26(金)3限 第3作業療法室 (担当：栗林)</p> <p>第2回 不安障害と神経症性障害の作業療法 10/3(金)3限 第3作業療法室 (担当：栗林)</p> <p>第3回 アルコール・依存性障害の作業療法 10/10(金)3限 第3作業療法室 (担当：栗林)</p> <p>第4回 事例検討 グループワーク：文献検索 10/17(金)3限 第3作業療法室 (担当：栗林)</p> <p>第5回 大人の発達障害の作業療法 10/24(金)3限 第3作業療法室 (担当：荒井)</p> <p>第6回 摂食障害の作業療法 10/31(金)3限 第3作業療法室 (担当：栗林)</p> <p>第7回 てんかんの作業療法 11/7(金)3限 第3作業療法室 (担当：春原)</p> <p>第8回 老年期精神障害の作業療法 11/14(金)3限 第3作業療法室 (担当：春原)</p> <p>第9回 事例検討 グループワーク：ポスター制作 11/21(金)3限 第3作業療法室 (担当：栗林)</p> <p>第10回 パーソナリティー障害の作業療法 11/28(金)3限 第3作業療法室 (担当：栗林)</p> <p>第11回 作業療法の実践マネジメントとトピックス 12/5(金)3限 第3作業療法室 (担当：小林)</p> <p>第12回 認知行動療法と作業療法、ストレス対処 12/12(金)3限 第3作業療法室 (担当：栗林)</p> <p>第13回 認知行動療法と作業療法、コラム法と問題解決法 12/19(金)3限 第3作業療法室 (担当：栗林)</p> <p>第14回 事例検討 発表会 12/26(金)3限 第3作業療法室 (担当：栗林)</p> <p>第15回 当事者研究、当事者活動 司法精神医療における作業療法 1/9(金)3限 第3作業療法室 (担当：栗林)</p>
教科書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 富岡詔子他編：作業治療学2 精神障害 協同医書出版社 2. 香山明美他編：生活を支援する精神障害作業療法－急性期から地域実践まで 医歯薬出版
参考図書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 野村総一郎：新版入門うつ病のことがよくわかる本 講談社 2. 月子(著)、七海 仁(原著)：Shrink精神科医ヨワイ 全14巻 (ヤングジャンプコミックス) 集英社 3. 柏木ハルコ：健康で文化的な最低限度の生活 全13巻 (ビッグコミックス) 小学館 4. 講談社 健康ライブラリーシリーズ (各疾患・障害・症状別) 5. 大野 裕：はじめての認知療法、講談社 6. 澤 俊二、他・編：作業療法ケースブック-作業療法評価のエッセンス 医歯薬出版
予習・復習内容	範囲が広いので、指示したプリントや授業内容についての復習をすること。
成績評価方法	期末試験95% 課題5%

履修上の注意	なし
担当教員への連絡方法	授業初回時にアナウンスする。
授業に関する大学教員以外の実務経験	各教員は作業療法士として精神障害領域における臨床経験を有する。
実務経験と授業科目の関連性	上記の経験から臨床に即した精神系作業療法に関する知識と技術を講義する。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 作業療法治療学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1単位	必修
担当教員			
松下 雅子、近藤 優樹			
年間授業回数：15回	授業形態：講義	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	1. 発達障害児者に対して、その臨床像を理解できる 2. 対象児・者の生活行動を疎外している因子を把握するために、発達障害関係の各種評価法の内容を理解できる 3. 発達障害児者の特性に応じて必要な評価計画を立案できる 4. おもちゃ作りを通して遊びを用いた評価を理解できる
学修目標	1. 発達障害作業療法の対象のうち、それぞれの障害を伴う疾患と臨床像について説明できる 2. 各種評価方法の特徴や適応範囲を説明できる 3-1. 障害特性に応じて評価項目を選択でき、評価計画を立案できる 3-2. グループで立案した評価計画についてクラス内で発表とディスカッションを行うことができる 4. 評価に用いるおもちゃを作成できる
授業計画	第1回 評価計画の立案 ICFの理解 9/26(金)1限 第1作業療法室/義肢装具室/運動療法室 (担当：松下) 第2回 感覚統合機能に関する作業療法学 1 10/3(金)1限 第1作業療法室/義肢装具室/運動療法室 (担当：近藤) 第3回 感覚統合機能に関する作業療法学 2 10/10(金)1限 第1作業療法室/義肢装具室/運動療法室 (担当：近藤) 第4回 遊びの評価、おもちゃ作りの計画 10/17(金)1限 第1作業療法室/義肢装具室/運動療法室 (担当：近藤) 第5回 事例に合わせた評価とおもちゃ作り 1 10/24(金)1限 第1作業療法室/義肢装具室/運動療法室 (担当：近藤) 第6回 事例に合わせた評価とおもちゃ作り 2 10/31(金)1限 第1作業療法室/義肢装具室/運動療法室 (担当：近藤) 第7回 おもちゃ作りの発表とまとめ (1～4グループ) 11/7(金)1限 第1作業療法室/義肢装具室/運動療法室 (担当：近藤) 第8回 おもちゃ作りの発表とまとめ (5～8グループ) 11/14(金)1限 第1作業療法室/義肢装具室/運動療法室 (担当：近藤) 第9回 ライフサイクルに合わせた作業療法 11/21(金)1限 第1作業療法室/義肢装具室/運動療法室 (担当：松下) 第10回 評価計画の立案 11/28(金)1限 第1作業療法室/義肢装具室/運動療法室 (担当：松下) 第11回 事例に合わせた評価 (評価計画の立案) 事例1 12/5(金)1限 第1作業療法室/義肢装具室/運動療法室 (担当：松下) 第12回 事例に合わせた評価 (評価計画の立案) 事例2 12/12(金)1限 第1作業療法室/義肢装具室/運動療法室 (担当：松下) 第13回 事例に合わせた評価 (評価計画の立案) 事例3 12/19(金)1限 第1作業療法室/義肢装具室/運動療法室 (担当：松下) 第14回 事例に合わせた評価 発表 12/26(金)1限 第1作業療法室/義肢装具室/運動療法室 (担当：松下) 第15回 まとめ 1/9(金)1限 第1作業療法室/義肢装具室/運動療法室 (担当：松下)
教科書	1. 能登真一他：標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第3版 医学書院 2. 福田恵美子：標準作業療法学 発達過程作業療法学 第3版 医学書院 3. 岩崎清隆・鴨下賢一：発達障害の作業療法基礎編 第3版 三輪書店
参考図書	福田恵美子：ゆっくり発達している子どもが輝く遊びの処方箋、株式会社CBR 世界保健機構：ICF 国際生活機能分類—国際障害分類改訂版— 中央法規 岩崎清隆・岸本光夫・鴨下賢一：発達障害の作業療法実践編 第3版 三輪書店 長崎重信：作業療法学ゴールド・マスター・テキスト 作業療法評価学第3版 メジカルビュー
予習・復習内容	授業該当範囲の予習と復習を行い、疑問点について質問できるようにする。
成績評価方法	期末試験 60%、課題レポート 20%、リフレクションペーパー20%
履修上の注意	グループワークでは主体的に取り組み、ディスカッションを深めること。

担当教員への連絡方法	初回授業時にアナウンスする。
授業に関する大学教員以外の実務経験	作業療法士として、病院、地域の児童福祉施設で発達障害児者の支援経験を持っている。
実務経験と授業科目の関連性	臨床場面に即した実践的な知識や内容を伝える。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 作業療法治療学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	2単位	必修
担当教員			
松下 雅子、近藤 優樹			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	1. 発達障害作業療法で対象となる主たる疾患について、それぞれ障害像に合わせた作業療法の基本的なアプローチについて学習する 2. ライフステージに応じた課題の絞り込み、目標設定、治療の方向性について学習する 3. 対象児者に合わせて評価～治療計画まで考えられるようになる
学修目標	1. 発達障害作業療法の対象となる疾病と作業療法との関係について説明することができる 2. 基本的な治療理論やアプローチについて説明できる 3. ライフサイクルを考慮しながら課題を絞り込み、目標設定することができる 4. 対象児者に合わせて治療計画を検討し、説明することができる
授業計画	<p>第1回 発達障害作業療法の歴史的変遷と哲学 4/11(金)2限 第1作業療法室 (担当：松下)</p> <p>第2回 発達障害作業療法の評価から治療の流れ、進め方 4/18(金)2限 第1作業療法室 (担当：近藤)</p> <p>第3回 発達障害作業療法における基本的治療理論 4/25(金)2限 第1作業療法室 (担当：松下)</p> <p>第4回 脳性麻痺等運動機能障害に対する作業療法アプローチ 5/2(金)2限 第1作業療法室 (担当：松下)</p> <p>第5回 重症心身障害、知的障害に対する作業療法アプローチ 5/9(金)2限 第1作業療法室 (担当：近藤)</p> <p>第6回 神経筋疾患、骨関節疾患に対する作業療法アプローチ 5/16(金)2限 第1作業療法室 (担当：近藤)</p> <p>第7回 自閉スペクトラム症に対する作業療法アプローチ 5/23(金)2限 第1作業療法室 (担当：松下)</p> <p>第8回 注意欠如・多動症、学習症に対する作業療法アプローチ 5/30(金)2限 第1作業療法室 (担当：松下)</p> <p>第9回 その他、臨床で出会う疾患に対する作業療法アプローチ 6/6(金)2限 第1作業療法室 (担当：松下)</p> <p>第10回 事例を通じた理解 課題の焦点化～目標設定 6/13(金)2限 第1作業療法室 (担当：松下)</p> <p>第11回 治療計画の立案とそのポイント 6/20(金)2限 第1作業療法室 (担当：松下)</p> <p>第12回 事例検討1 治療計画立案 6/27(金)2限 第1作業療法室 (担当：松下、近藤)</p> <p>第13回 事例検討2 治療計画立案 7/4(金)2限 第1作業療法室 (担当：松下、近藤)</p> <p>第14回 発表 7/11(金)2限 第1作業療法室 (担当：松下、近藤)</p> <p>第15回 発表、まとめ 7/18(金)2限 第1作業療法室 (担当：松下、近藤)</p>
教科書	1. 能登真一他：標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第3版 医学書院 2. 福田恵美子：標準作業療法学 発達過程作業療法学 第3版 医学書院 3. 岩崎清隆・鴨下賢一：発達障害の作業療法基礎編 第3版 三輪書店 4. 岩崎清隆・岸本光夫・鴨下賢一：発達障害の作業療法実践編 第3版 三輪書店
参考図書	福田恵美子：ゆっくり発達している子どもが輝く遊びの処方箋 株式会社CBR 長崎重信、神作一実：作業療法学 ゴールドマスターテキスト 発達障害作業療法 第3版 メジカルビュー
予習・復習内容	授業範囲に関して予習・復習を行い、主体的に授業に臨むこと。
成績評価方法	期末試験 70%、課題レポート 15%、リフレクションペーパー 15%
履修上の注意	主体的にグループワークを進めること。
担当教員への連絡方法	初回授業時にアナウンスする。
授業に関する大学	作業療法士として、病院、地域の児童福祉施設で発達障害児者の支援経験を持っている。

教員以外の実務経験	
実務経験と授業科目の関連性	臨床場面に即した実践的な知識や内容を伝える。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 作業療法治療学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	2単位	必修
担当教員			
松下 雅子、近藤 優樹			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 運動機能障害を持つ児者に対するpositioningの基本を、演習を通して学習する 2. 発達系作業療法治療学Ⅰで学んだことを応用し、障害特性やライフサイクルを考慮した作業療法アプローチを検討できる 3. 事例に合わせて作業療法アプローチを検討し、プログラムの一部を発表する 4. 発達障害児者の家族支援や、地域支援、多職種連携について学習する 		
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的なpositioningの手技を身につけ、学生相手に実施できる 2. 疾患特性や障害像、ライフサイクルに合わせた作業療法アプローチを検討し、説明することができる 3. 事例に合わせて実現可能な作業療法プログラムを立案し、一部を発表することができる 4. グループワークを通して問題解決のためのディスカッションを行い、自分自身の意見を述べるすることができる 5. 発達障害児者に関わる様々な職種との連携のあり方を理解し、説明することができる 		
授業計画	第1回	Positioningの基本と実践（講義） 9/26(金)2限 第1作業療法室（担当：松下）	
	第2回	Positioningの基本と実践（演習） 10/3(金)2限 第1作業療法室（担当：松下）	
	第3回	感覚統合障害に対する作業療法アプローチ 理論 10/10(金)2限 第1作業療法室（担当：松下）	
	第4回	感覚統合障害に対する作業療法アプローチ 実践 10/17(金)2限 第1作業療法室（担当：松下）	
	第5回	発達障害児者に対するSST 10/24(金)2限 第1作業療法室（担当：松下）	
	第6回	事例検討（事例に合わせた作業療法アプローチの検討） 事例1 10/31(金)2限 第1作業療法室（担当：松下、近藤）	
	第7回	事例検討（事例に合わせた作業療法アプローチの検討） 事例2 11/7(金)2限 第1作業療法室（担当：松下、近藤）	
	第8回	事例検討（事例に合わせた作業療法アプローチの検討） 事例3 11/14(金)2限 第1作業療法室（担当：松下、近藤）	
	第9回	事例検討（事例に合わせた作業療法アプローチの検討） 事例4 11/21(金)2限 第1作業療法室（担当：松下、近藤）	
	第10回	事例検討（プログラム発表） グループ1～3 11/28(金)2限 第1作業療法室（担当：松下、近藤）	
	第11回	事例検討（プログラム発表） グループ4～6 12/5(金)2限 第1作業療法室（担当：松下、近藤）	
	第12回	事例検討（プログラム発表） グループ7～9 12/12(金)2限 第1作業療法室（担当：松下、近藤）	
	第13回	事例検討（プログラム発表） グループ10～12 12/19(金)2限 第1作業療法室（担当：松下、近藤）	
	第14回	発達障害作業療法の展開、最近のトピックス 12/26(金)2限 第1作業療法室（担当：松下）	
	第15回	発達障害児者の家族支援、きょうだいの支援 1/9(金)2限 第1作業療法室（担当：松下）	
教科書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 能登真一他：標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第3版 医学書院 2. 福田恵美子：標準作業療法学 発達過程作業療法学 第3版 医学書院 3. 岩崎清隆・鴨下賢一：発達障害の作業療法 基礎編 第3版 三輪書店 4. 岩崎清隆・岸本光夫・鴨下賢一：発達障害の作業療法 実践編 第3版 三輪書店 		
参考図書	福田恵美子：ゆっくり発達している子どもが輝く遊びの処方箋 株式会社CBR 土田玲子、石井孝弘、岡本武己：感覚統合Q&A 改定第2版 協同医書出版		
予習・復習内容	授業範囲に関して予習・復習を行い、主体的に授業にのぞんでください。		
成績評価方法	期末試験 50%、実技試験 10%、課題レポート 10%、発表及び発表用資料 20%（個別評価、グループ評価） リフレクションペーパー 10%		
履修上の注意	グループワークでは主体的に取り組み、ディスカッションを深めてください。 実技を実施する際は、動きやすい服装（ポロシャツ・ジャージ着用）で参加してください。		

担当教員への連絡方法	初回授業時にアナウンスする。
授業に関する大学教員以外の実務経験	作業療法士として、病院、地域の児童福祉施設で発達障害児者の支援経験を持っていること。
実務経験と授業科目の関連性	経験より、臨床場面に即した実践的な知識や内容を伝える。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 作業療法治療学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	2単位	必修
担当教員			
勝山 しおり			
年間授業回数：15回	授業形態：講義	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	1. 高次脳機能障害の基礎知識を理解できる 2. 高次脳機能障害の主な症状と成り立ちを理解できる 3. 高次脳機能障害の代表的な検査法を修得する
学修目標	1. 高次脳機能障害を説明できる 2. 高次脳機能障害の種類・概要を説明できる 3. 高次脳機能障害の解釈方法を説明できる 4. 高次脳機能障害の評価を説明できる
授業計画	<p>第1回 高次脳機能障害の概要と関連制度 4/10(木)1限 第1作業療法室 (担当：勝山)</p> <p>第2回 脳の機能解剖を画像所見の見方 4/17(木)1限 第1作業療法室 (担当：勝山)</p> <p>第3回 失語症の症状と評価方法 4/24(木)1限 第1作業療法室 (担当：勝山)</p> <p>第4回 失行症の症状と評価方法 5/1(木)1限 第1作業療法室 (担当：勝山)</p> <p>第5回 失認症の症状と評価方法 5/8(木)1限 第1作業療法室 (担当：勝山)</p> <p>第6回 半側空間無視の症状と評価方法 5/15(木)1限 第1作業療法室 (担当：勝山)</p> <p>第7回 記憶障害の症状と評価方法 5/22(木)1限 第1作業療法室 (担当：勝山)</p> <p>第8回 認知症の症状と評価方法 5/29(木)1限 第1作業療法室 (担当：勝山)</p> <p>第9回 注意障害の症状と評価方法 6/5(木)1限 第1作業療法室 (担当：勝山)</p> <p>第10回 遂行機能障害の症状と評価方法 6/12(木)1限 第1作業療法室 (担当：勝山)</p> <p>第11回 高次脳機能障害の評価 グループワーク1 文献調査 6/19(木)1限 第1作業療法室 (担当：勝山)</p> <p>第12回 高次脳機能障害の評価 グループワーク2 資料作成 6/26(木)1限 第1作業療法室 (担当：勝山)</p> <p>第13回 高次脳機能障害の評価 グループワーク3 パワーポイント作成 7/3(木)1限 第1作業療法室 (担当：勝山)</p> <p>第14回 高次脳機能障害の評価 発表1 1～4グループ 7/10(木)1限 第1作業療法室 (担当：勝山)</p> <p>第15回 高次脳機能障害の評価 発表2 5～8グループ 7/17(木)1限 第1作業療法室 (担当：勝山)</p>
教科書	矢谷令子監修, 能登真一編集：標準作業療法学 高次脳機能作業療法学 第2版. 医学書院 講師作成の配布資料
参考図書	1. 鈴木孝治編：高次脳機能障害作業療法学 改訂第3版. メジカルビュー社 2. 石合純夫：高次脳機能障害学 第3版. 医歯薬出版
予習・復習内容	教科書や授業資料を復習すること。
成績評価方法	期末試験70% 小テスト10% リフレクションペーパー20%
履修上の注意	教科書のWeb付録動画は必ず視聴すること。
担当教員への連絡方法	初回授業時にアナウンスする。
授業に関する大学教員以外の実務経験	担当者は臨床経験を有する作業療法士である。

実務経験と授業科目の関連性	作業療法の臨床現場ではよく遭遇する事例に関する、基礎的な知識を身に着ける授業である。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 作業療法治療学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	1単位	必修
担当教員			
勝山 しおり			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	1. 高次脳機能障害の生活障害を理解できる 2. 高次脳機能障害の代表的な治療法を修得する
学修目標	1. 高次脳機能障害の特徴と生活障害を説明できる 2. 高次脳機能障害が作業活動に与える影響について説明できる 3. 作業療法プログラムの立案ができる
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション・評価実習の振り返り 9/30(火)1限 コミュニティルーム (担当：勝山)</p> <p>第2回 高次脳機能評価演習1 失語・失行・失認 10/7(火)1限 コミュニティルーム (担当：勝山)</p> <p>第3回 高次脳機能評価演習2 記憶障害・認知症 10/14(火)1限 コミュニティルーム (担当：勝山)</p> <p>第4回 高次脳機能評価演習3 注意障害・半側空間失認 10/21(火)1限 コミュニティルーム (担当：勝山)</p> <p>第5回 高次脳機能評価演習4 遂行機能障害 10/28(火)1限 コミュニティルーム (担当：勝山)</p> <p>第6回 高次脳障害の治療プログラム立案1 文献調査 11/4(火)1限 コミュニティルーム (担当：勝山)</p> <p>第7回 高次脳障害の治療プログラム立案2 文献調査 11/11(火)1限 コミュニティルーム (担当：勝山)</p> <p>第8回 高次脳障害の治療プログラム立案3 資料作成 11/18(火)1限 コミュニティルーム (担当：勝山)</p> <p>第9回 高次脳障害の治療プログラム立案4 パワーポイント作成 11/25(火)1限 コミュニティルーム (担当：勝山)</p> <p>第10回 高次脳障害の治療プログラム立案5 発表準備 12/2(火)1限 コミュニティルーム (担当：勝山)</p> <p>第11回 発表1 1・2グループ 12/9(火)1限 コミュニティルーム (担当：勝山)</p> <p>第12回 発表2 3・4グループ 12/16(火)1限 コミュニティルーム (担当：勝山)</p> <p>第13回 発表3 5・6グループ 12/23(火)1限 コミュニティルーム (担当：勝山)</p> <p>第14回 発表4 7・8グループ 1/6(火)1限 コミュニティルーム (担当：勝山)</p> <p>第15回 発表5 まとめ 1/13(火)1限 コミュニティルーム (担当：勝山)</p>
教科書	矢谷谷子監修，能登真一編集：標準作業療法学 高次脳機能作業療法学 第2版．医学書院
参考図書	鈴木孝治編集：高次脳機能障害領域の作業療法 プログラム立案のポイント，中央法規 本田哲三編集：高次脳機能障害のリハビリテーション 実践的アプローチ，医学書院
予習・復習内容	前期で学んだ内容について復習すること。
成績評価方法	期末試験40％ リフレクションペーパー30％ 報告書および発表30％
履修上の注意	グループ学習と発表が中心となるため、積極的な授業への参加を期待する。
担当教員への連絡方法	初回授業時にアナウンスする。
授業に関する大学教員以外の実務経験	担当者は臨床経験を有する作業療法士である。
実務経験と授業科目の関連性	高次脳機能障害の対象者への作業療法介入の実践的内容を伝える。

指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 作業療法治療学
-----------	--

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1単位	必修
担当教員			
宮脇 利幸			
年間授業回数：15回	授業形態：講義	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	作業療法の対象となる高齢者および老年期障害の特徴を理解し、高齢期作業療法における評価から目標設定の流れに続き、具体的な介入方法、援助方法について習得する。
学修目標	1. 高齢者および老年期障害を理解する 2. 高齢者を取り巻く医療・保健・福祉領域における社会環境を理解する 3. 高齢者および老年期障害者に対する作業療法の役割および援助法を理解する
授業計画	<p>第1回 高齢社会、高齢者社会制度の変遷 9/30(火)3限 大講義室 (担当：宮脇)</p> <p>第2回 高齢期の課題：加齢と老化 10/7(火)3限 大講義室 (担当：宮脇)</p> <p>第3回 高齢期の一般的特徴 10/14(火)3限 大講義室 (担当：宮脇)</p> <p>第4回 高齢期の生活障害とQOL 10/21(火)3限 大講義室 (担当：宮脇)</p> <p>第5回 老年期作業療法の役割 10/28(火)3限 大講義室 (担当：宮脇)</p> <p>第6回 高齢期作業療法 評価：身体的遂行要素 11/4(火)3限 大講義室 (担当：宮脇)</p> <p>第7回 高齢期作業療法 評価：情緒的遂行要素 11/11(火)3限 大講義室 (担当：宮脇)</p> <p>第8回 高齢期作業療法 評価：認知的遂行要素 11/18(火)3限 大講義室 (担当：宮脇)</p> <p>第9回 高齢期作業療法 評価：ADL 他 11/25(火)3限 大講義室 (担当：宮脇)</p> <p>第10回 高齢期作業療法の実践：病期の違いによる援助 12/2(火)3限 大講義室 (担当：宮脇)</p> <p>第11回 高齢期作業療法の実践：実施場所の違いによる援助 12/9(火)3限 大講義室 (担当：宮脇)</p> <p>第12回 高齢期作業療法の実践：介護予防 12/16(火)3限 大講義室 (担当：宮脇)</p> <p>第13回 介護保険制度 12/23(火)3限 大講義室 (担当：宮脇)</p> <p>第14回 介護保険サービス 1/6(火)3限 大講義室 (担当：宮脇)</p> <p>第15回 まとめ 1/13(火)3限 大講義室 (担当：宮脇)</p>
教科書	1. 松房利憲監修：標準作業療法学専門分野 高齢期作業療法学 医学書院 2. 岩崎テル子、小川恵子他編：標準作業療法学専門分野 作業療法評価学 医学書院
参考図書	1. 浅海奈津美・守口恭子：老年期の作業療法 三輪書店
予習・復習内容	授業内容に沿って、事前に教科書を読んでおくこと。
成績評価方法	筆記試験 100%
履修上の注意	なし
担当教員への連絡方法	初回授業時にアナウンスする。
授業に関する大学教員以外の実務経験	作業療法士として、病院、高齢者福祉・保健施設での臨床経験および高齢者を対象とした研究経験を有する。
実務経験と授業科目の関連性	臨床経験および高齢者を対象とした研究経験を有することから、基礎的知識および臨床に基づいた内容を伝える。

指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 作業療法治療学
-----------	--

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	1単位	必修
担当教員			
宮脇 利幸			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	高齢期に多い疾患の特徴とそれをふまえた援助法を講義およびグループワークを通じて高齢者に対する作業療法での援助法を習得する。
学修目標	1. 高齢者および老年期障害を理解する 2. 高齢者および老年期障害者に対する作業療法の役割および援助法を理解する
授業計画	<p>第1回 高齢期作業療法の治療的枠組み 4/8(火)2限 大講義室 (担当：宮脇)</p> <p>第2回 老年症候群：転倒、骨折、寝たきり 4/15(火)2限 大講義室 (担当：宮脇)</p> <p>第3回 老年症候群：褥瘡、浮腫、ポジショニング 4/22(火)2限 大講義室 (担当：宮脇)</p> <p>第4回 老年症候群：低栄養、嚥下障害 4/29(火)2限 大講義室 (担当：宮脇)</p> <p>第5回 老年症候群：排尿・排便障害、睡眠障害 5/6(火)2限 大講義室 (担当：宮脇)</p> <p>第6回 老年症候群：うつ 5/13(火)2限 大講義室 (担当：宮脇)</p> <p>第7回 廃用症候群 5/20(火)2限 大講義室 (担当：宮脇)</p> <p>第8回 高齢者のリスク管理 5/27(火)2限 大講義室 (担当：宮脇)</p> <p>第9回 高齢期に多い疾患と作業療法：認知症 6/3(火)2限 大講義室 (担当：宮脇)</p> <p>第10回 高齢期に多い疾患と作業療法：認知症とコミュニケーション 6/10(火)2限 大講義室 (担当：宮脇)</p> <p>第11回 高齢期に多い疾患と作業療法：パーキンソン病、パーキンソン症候群 6/17(火)2限 大講義室 (担当：宮脇)</p> <p>第12回 高齢期に多い疾患と作業療法：運動器疾患 6/24(火)2限 大講義室 (担当：宮脇)</p> <p>第13回 高齢者と集団作業療法 (講義) 7/1(火)2限 大講義室 (担当：宮脇)</p> <p>第14回 高齢者と集団作業療法 (実技) 7/8(火)2限 大講義室 (担当：宮脇)</p> <p>第15回 まとめ 7/15(火)2限 大講義室 (担当：宮脇)</p>
教科書	松房利憲 監修：標準作業療法専門分野 高齢期作業療法学 医学書院
参考図書	1. 大内尉義 編集：標準PT学・OT学専門基礎分野 老年学 医学書院 2. 亀田メディカルセンター 編集：リハビリテーション リスク管理ハンドブック メジカルビュー社
予習・復習内容	授業内容に沿って、事前に教科書を読んでおくこと。
成績評価方法	筆記試験 100%
履修上の注意	なし
担当教員への連絡方法	初回授業時にアナウンスする。
授業に関する大学教員以外の実務経験	作業療法士として、病院、高齢者福祉・保健施設での臨床経験および高齢者を対象とした研究経験を有する。
実務経験と授業科目の関連性	臨床経験および高齢者を対象とした研究経験を有すことから、基礎的知識および臨床に基づいた内容を伝える。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2 (作業療法士課程) 作業療法治療学

講義科目名称： 日常生活活動学 I

授業コード： 42350

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1単位	必修
担当教員			
北澤 一樹、勝山 しおり、今西 里佳			
年間授業回数：15回	授業形態：演習	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	日常生活活動の意義やその評価方法について学び、評価の目的、判定、記録方法についての知識を得る。また、日常生活活動の分析を行い、心身機能・身体構造や環境との関連性について理解を深め、活動に与える影響を学ぶ。 さらに、対象者の動作や活動の特性を理解するために、演習を行う。また、自助具や福祉用具の種類や適応となる疾患、導入時の注意点などについて理解を深めることを目的とする。
学修目標	1. 日常生活活動の概念を理解、説明することができる 2. 日常生活活動の基本的な評価方法を習得する 3. 日常生活活動の基本的な動作指導・介助方法を習得する
授業計画	<p>第1回 日常生活活動の概論 9/22(月)1限 大講義室/日常生活活動室/レクリエーション室 (担当：勝山)</p> <p>第2回 評価方法：Barthel Index (BI) 9/29(月)1限 大講義室/日常生活活動室/レクリエーション室 (担当：勝山)</p> <p>第3回 評価方法：Functional Independence Measure (FIM) 10/6(月)1限 大講義室/日常生活活動室/レクリエーション室 (担当：北澤)</p> <p>第4回 起居動作 10/20(月)1限 大講義室/日常生活活動室/レクリエーション室 (担当：勝山)</p> <p>第5回 移乗動作 10/27(月)1限 大講義室/日常生活活動室/レクリエーション室 (担当：勝山)</p> <p>第6回 下部尿路疾患の評価と作業療法支援 11/10(月)1限 大講義室/日常生活活動室/レクリエーション室 (担当：今西 里佳)</p> <p>第7回 障害体験1 歩行演習 11/17(月)1限 大講義室/日常生活活動室/レクリエーション室 (担当：勝山、北澤)</p> <p>第8回 障害体験2 生活環境演習 11/24(月)1限 大講義室/日常生活活動室/レクリエーション室 (担当：勝山、北澤)</p> <p>第9回 総合実技演習1 起居 12/1(月)1限 大講義室/日常生活活動室/レクリエーション室 (担当：勝山、北澤)</p> <p>第10回 総合実技演習2 移乗全介助 12/8(月)1限 大講義室/日常生活活動室/レクリエーション室 (担当：勝山、北澤)</p> <p>第11回 総合実技演習3 移乗部分介助 12/15(月)1限 大講義室/日常生活活動室/レクリエーション室 (担当：勝山、北澤)</p> <p>第12回 総合実技演習4 床上動作 12/22(月)1限 大講義室/日常生活活動室/レクリエーション室 (担当：勝山、北澤)</p> <p>第13回 食事動作 (摂食・嚥下) 1/5(月)1限 大講義室/日常生活活動室/レクリエーション室 (担当：北澤)</p> <p>第14回 更衣動作・入浴動作 演習 1/14(水)1限 大講義室/日常生活活動室/レクリエーション室 (担当：北澤)</p> <p>第15回 排泄動作・整容動作 演習 1/19(月)1限 大講義室/日常生活活動室/レクリエーション室 (担当：勝山)</p>
教科書	木之瀬隆編：ゴールドマスターテキスト 日常生活活動学 (ADL) 改定第2版 メジカルビュー社
参考図書	濱口豊太：標準作業療法 日常生活活動・社会生活行為学 医学書院 生田宗博編：I・ADL 作業療法の戦略・戦術・技術 第3版 三輪書店
予習・復習内容	各疾患特性について復習しておくこと。
成績評価方法	実技試験60%、課題レポート20%、期末試験20%
履修上の注意	演習やグループワークは積極的に意見を出し合い、動作練習をすること。
担当教員への連絡方法	初回授業時にアナウンスする。
授業に関する大学教員以外の実務経験	担当者は臨床経験を有する作業療法士である。

実務経験と授業科目の関連性	臨床場面で必要となる実践的な知識や技術を伝える。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 作業療法治療学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	1単位	必修
担当教員			
勝山 しおり、今西 里佳			
年間授業回数：15回	授業形態：演習		
添付ファイル			

授業目標	日常生活活動学で学んだ基本的理論と評価方法をもとに、様々な疾患・環境的要因を背景とする事例に対して、個別性を重んじながら、どのように日常生活活動の治療的アプローチを実践したらよいか、グループで検討しながら考察を深める。
学修目標	1. 家庭生活をイメージし、個々の状態（身体・精神・家庭環境）に合わせた生活行為について説明できる 2. 個別性に合わせた環境整備について説明できる 3. ADL・IADLを総合的に捉え、作業療法プログラムが立案できる
授業計画	<p>第1回 福祉用具の役割と法制度 4/7(月)2限 コミュニティールーム/日常生活活動室（担当：勝山）</p> <p>第2回 福祉用具の種類 4/14(月)2限 コミュニティールーム/日常生活活動室（担当：勝山）</p> <p>第3回 住環境整備の意義 4/21(月)2限 コミュニティールーム/日常生活活動室（担当：勝山）</p> <p>第4回 住環境整備に必要な用語・基本寸法 4/28(月)2限 コミュニティールーム/日常生活活動室（担当：勝山）</p> <p>第5回 障害別住宅改修と福祉用具選定 1 文献調査 5/12(月)2限 コミュニティールーム/日常生活活動室（担当：勝山）</p> <p>第6回 障害別住宅改修と福祉用具選定 2 資料作成 5/19(月)2限 コミュニティールーム/日常生活活動室（担当：勝山）</p> <p>第7回 障害別住宅改修と福祉用具選定 3 資料作成 5/26(月)2限 コミュニティールーム/日常生活活動室（担当：勝山）</p> <p>第8回 障害別住宅改修と福祉用具選定 4 発表準備 6/2(月)2限 コミュニティールーム/日常生活活動室（担当：勝山）</p> <p>第9回 障害別住宅改修と福祉用具選定 5 発表準備 6/9(月)2限 コミュニティールーム/日常生活活動室（担当：勝山）</p> <p>第10回 障害別住宅改修と福祉用具選定 6 発表 6/16(月)2限 コミュニティールーム/日常生活活動室（担当：勝山）</p> <p>第11回 障害別住宅改修と福祉用具選定 7 発表 6/23(月)2限 コミュニティールーム/日常生活活動室（担当：勝山）</p> <p>第12回 排便機能の評価 6/30(月)2限 コミュニティールーム/日常生活活動室（担当：今西）</p> <p>第13回 排便機能に対する作業療法アプローチ 7/7(月)2限 コミュニティールーム/日常生活活動室（担当：今西）</p> <p>第14回 障害者の社会生活 7/14(月)2限 コミュニティールーム/日常生活活動室（担当：勝山）</p> <p>第15回 障害者スポーツ体験 7/21(月)2限 コミュニティールーム/日常生活活動室（担当：勝山）</p>
教科書	木之瀬隆編集：ゴールドマスター 日常生活活動学（ADL）改訂第2版. メジカルビュー社
参考図書	能登真一ほか編集：標準作業療法 作業療法評価学 第4版. 医学書院 野村歡監修：住環境整備論 第3版, 三輪書店 濱口豊太編集：標準作業療法 日常生活活動・社会生活行為学 第2版. 医学書院 生田宗博編集：I・ADL 作業療法の戦略・戦術・技術 第3版. 三輪書店
予習・復習内容	各疾患特性について復習しておくこと。
成績評価方法	期末試験60% 課題およびリフレクションシート30% 発表10%
履修上の注意	演習やグループワークは積極的に意見を出し合いながら行うこと。
担当教員への連絡方法	初回授業時にアナウンスする。
授業に関する大学教員以外の実務経験	担当者は臨床経験を有する作業療法士である。

実務経験と授業科目の関連性	臨床場面で必要とされる実践的な知識や技術を伝える。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 作業療法治療学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	1単位	必修
担当教員			
古川 智巳、田口 真哉、中村 喜彦			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	義肢装具の種類について用語の徹底から基本構成、さらには使用目的に適応した機能を教授する。 I では、作業療法士が関与することが多い上肢装具に重点を置き、基本的かつ使用頻度の高い装具について解説し、スプリントの製作を含める。国家試験に出題される歴史的な義肢装具についても触れる。
学修目標	1. 上肢装具の種類と支給体系を説明できる 2. スプリントの原理と効果を理解する 3. 下肢装具の基本構造と装具歩行を理解し説明できる
授業計画	<p>第1回 総論：義肢装具の種類と適応、処方の流れ、支給体系、用語体系 4/9(水)2限 大講義室/義肢装具室 (担当：古川)</p> <p>第2回 装具総論：装具の種類と目的、装具の処方と適合判定 4/16(水)2限 大講義室/義肢装具室 (担当：古川)</p> <p>第3回 上肢装具 1：指装具（槌指、関節拘縮、リウマチ）、手装具 4/24(木)4限 大講義室/義肢装具室 (担当：田口)</p> <p>第4回 【実習】指用スプリントの製作方法（リングスプリント・ナックルバンダー） 4/24(木)5限 大講義室/義肢装具室 (担当：田口)</p> <p>第5回 上肢装具 2：対立装具（末梢神経麻痺） 5/1(木)4限 大講義室/義肢装具室 (担当：田口)</p> <p>第6回 【実習】カックアップスプリントの製作方法 5/1(木)5限 大講義室/義肢装具室 (担当：田口)</p> <p>第7回 上肢装具 3：手関節装具（末梢神経麻痺、kienbock病、腱損傷） 5/8(木)4限 大講義室/義肢装具室 (担当：田口)</p> <p>第8回 【実習】スパイダースプリント 5/8(木)5限 大講義室/義肢装具室 (担当：田口)</p> <p>第9回 上肢装具 4：把持装具（脊髄損傷）、肘装具、肩装具、骨折用装具 5/15(木)4限 大講義室/義肢装具室 (担当：田口)</p> <p>第10回 【実習】サムスパイカ 短対立スプリント 5/15(木)5限 大講義室/義肢装具室 (担当：田口)</p> <p>第11回 【実習】手指伸展ダイナミックスプリント 5/22(木)4限 大講義室/義肢装具室 (担当：田口)</p> <p>第12回 【実習】手指伸展ダイナミックスプリント 5/22(木)5限 大講義室/義肢装具室 (担当：田口)</p> <p>第13回 下肢装具1：下肢装具概論 7/2(水)1限 大講義室 (担当：中村)</p> <p>第14回 下肢装具2：疾患と下肢装具 7/2(水)2限 大講義室 (担当：中村)</p> <p>第15回 まとめ 7/9(水)2限 大講義室/義肢装具室 (担当：古川)</p>
教科書	長崎重信：作業療法学ゴールドマスターテキスト 義肢装具学 メジカルビュー社
参考図書	日本義肢装具学会監修「装具学」医歯薬出版 長崎重信：作業療法学ゴールドマスターテキスト 身体障害作業療法学 メジカルビュー社
予習・復習内容	関連する身体部位の解剖学・運動学、および適用となる疾患について復習しておくこと。
成績評価方法	期末試験 100%
履修上の注意	2時限連続の授業日があり、開講日について事前の連絡を十分確認のうえ、出席すること。
担当教員への連絡方法	初回授業時に知らせる。
授業に関する大学教員以外の実務経験	担当者は臨床経験を有する作業療法士である。
実務経験と授業科目の関連性	臨床業務のなかで良く使用する治療技術のひとつである。

指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 作業療法治療学
-----------	--

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	1単位	必修
担当教員			
古川 智巳、丸山 貴之、星野 元訓、三ツ本 敦子、中村 隆			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	靴型装具、体幹装具の概念と構成、疾患適用について教授する。 作業療法士が関与することが多い義手では、基本的、かつ使用頻度の高い義手について解説する。国家試験に出題される歴史的な義手についても触れる。義手は欠失した上肢機能の一部を代償する事によって成立し、上肢切断者のADLで必要となる事から、操作・調整の実習を含める。		
学修目標	1. 靴型装具・体幹装具の種類と基本構造を理解し説明できる 2. 義手の基本構造と動作原理を理解し説明できる 3. 義手の操作について体験的に学ぶ		
授業計画	第1回	靴型装具1：一般靴と靴型装具、足の変形と矯正、靴型装具の構成要素 10/6(月)3限 大講義室 (担当：丸山)	
	第2回	靴型装具2：靴型装具の構造と機能、靴型装具の適用 10/6(月)4限 大講義室 (担当：丸山)	
	第3回	体幹装具1：種類と適応疾患、基本構成、腰痛と体幹装具 10/20(月)3限 大講義室 (担当：星野)	
	第4回	体幹装具2：胸椎疾患、側弯症、頸椎装具 10/20(月)4限 大講義室 (担当：星野)	
	第5回	日常生活用具給付事業と機器 10/27(月)3限 大講義室 (担当：古川)	
	第6回	義肢学総論：切断と義手・義足の種類、構成要素、ソケットの意義 11/10(月)3限 大講義室 (担当：古川)	
	第7回	義手総論：義手の種類、構成要素 11/17(月)3限 大講義室 (担当：古川)	
	第8回	前腕義手：構成要素、能動義手 12/1(月)3限 大講義室 (担当：三ツ本)	
	第9回	上腕義手：構成要素、能動義手の機能と調整方法 12/1(月)4限 大講義室 (担当：三ツ本)	
	第10回	【実習】能動義手操作の基本と体験、上腕能動義手の機能と調整方法 12/8(月)3限 大講義室 (担当：三ツ本)	
	第11回	【実習】能動義手操作の基本と体験、上腕能動義手の機能と調整方法 12/8(月)4限 大講義室 (担当：三ツ本)	
	第12回	肩義手、肘継手 12/15(月)3限 大講義室 (担当：中村)	
	第13回	手継手、手部義手、手指義手 12/15(月)4限 大講義室 (担当：中村)	
	第14回	【実演を含む】電動義手：筋電義手の原理と実際、ハイブリッド義手 12/22(月)3限 大講義室 (担当：中村)	
	第15回	【実演を含む】電動義手：筋電義手の原理と実際、ハイブリッド義手 12/22(月)4限 大講義室 (担当：中村)	
教科書	長崎重信：作業療法学ゴールドマスターテキスト 義肢装具学 メジカルビュー社 長崎重信：作業療法学ゴールドマスターテキスト 身体障害作業療法学 メジカルビュー社		
参考図書	日本整形外科学会、日本リハビリテーション医学会監修 義肢装具のチェックポイント 医学書院 日本義肢装具学会監修 装具学 医歯薬出版		
予習・復習内容	関連する身体部位の解剖学・運動学、および適用となる疾患について復習しておくこと。		
成績評価方法	期末試験 100%		
履修上の注意	2時限連続の授業日があり、事前の連絡を十分確認のうえ、出席すること。		
担当教員への連絡方法	初回授業時に知らせる。		
授業に関する大学教員以外の実務経験	担当者は臨床経験を有する作業療法士である。		

実務経験と授業科目の関連性	臨床業務のなかで使用する治療技術のひとつである。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 作業療法治療学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	1単位	必修
担当教員			
春原 るみ、公家 龍之介			
年間授業回数：15回	授業形態：講義	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	ひとの人生において職業に就く（働く）ことの意味を理解し、作業的公正の視点から障害を持つひとの就労支援について、作業療法士の就労支援における役割と可能性について最新のトピックスを理解しながら学ぶ。障害を持つ人に対する就業支援に必要な法律、事業所等の環境についてや、就労支援に必要なパラダイム・理論、支援に必要な面接、評価、計画などの技術を学習する。また、実際に地域の就労支援施設を訪問し、障害を持つひとが働くということや就労について理解する。
学修目標	1. 職業（働く）ことの意味を理解し、説明できる 2. 職業リハビリテーションに関わる知識、法律、関連施設について理解し、説明できる 3. 就労支援における作業療法士の役割を理解し、説明できる 4. 就労支援での作業療法遂行過程での評価過程・方法、留意点を理解し、説明できる 5. 就労支援での作業療法遂行過程での治療過程を理解し、説明できる 6. 地域の就労支援施設に行き実際に就労の場について理解し、説明できる
授業計画	<p>第1回 職業の意味と就労支援に関する理論 9/22(月)1限 第1作業療法室（担当：春原）</p> <p>第2回 障害者と職業 障害者の就労 9/29(月)1限 第1作業療法室（担当：春原）</p> <p>第3回 障害者と職業 就労支援技術 10/6(月)1限 第1作業療法室（担当：春原）</p> <p>第4回 職業関連活動における作業療法 文献抄読と討論 10/20(月)1限 第1作業療法室（担当：春原）</p> <p>第5回 職業関連活動における作業療法 作業療法士の役割 10/27(月)1限 第1作業療法室（担当：公家）</p> <p>第6回 職業関連活動における作業療法 評価過程 11/10(月)1限 第1作業療法室（担当：春原）</p> <p>第7回 職業関連活動における作業療法治療過程 11/17(月)1限 第1作業療法室（担当：春原）</p> <p>第8回 障害別就労支援 統合失調症 11/24(月)1限 第1作業療法室（担当：春原）</p> <p>第9回 障害別就労支援 うつ病 12/1(月)1限 第1作業療法室（担当：春原）</p> <p>第10回 障害別就労支援 身体障害 12/8(月)1限 第1作業療法室（担当：春原）</p> <p>第11回 障害別就労支援 高次脳機能障害 12/15(月)1限 第1作業療法室（担当：春原）</p> <p>第12回 障害別就労支援 知的障害 12/22(月)1限 第1作業療法室（担当：春原）</p> <p>第13回 職務分析とは 1/5(月)1限 第1作業療法室（担当：春原）</p> <p>第14回 地域就労施設での実習 1/14(水)1限 第1作業療法室（担当：春原）</p> <p>第15回 地域就労施設での実習 1/19(月)1限 第1作業療法室（担当：春原）</p>
教科書	ジャーナルなど必要に応じて授業の中で紹介する。
参考図書	稲富宏之、金川善衛、芳賀大輔編集：就労支援ガイドブック MEDICAL VIEW
予習・復習内容	関連資料等をよく読んでおくこと。
成績評価方法	レポート70%、期末試験30%
履修上の注意	地域社会で人が働くことに関連する制度やサービス内容などの現在の状況についての情報を収集すること。
担当教員への連絡方法	授業初回時アナウンスする。
授業に関する大学教員以外の実務経	作業療法士として就労支援を行った経験を有する。

験	
実務経験と授業科目の関連性	なし
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 作業療法治療学

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4年	1単位	必修
担当教員			
栗林 美智子、宮脇 利幸、春原 るみ、勝山 しおり、土屋 謙仕、松下 雅子、古川 智巳、北澤 一樹、近藤 優樹			
年間授業回数：15回	授業形態：演習		
添付ファイル			

授業目標	臨床現場で求められる対象者への適切な関わり、検査や面接、治療介入の実施などの臨床能力を高めることと4年次臨床実習前に各学生の臨床能力の学習程度を確認することを目的として、患者を想定した状況で検査や面接技法などの実践能力と治療計画立案能力の習得状況を確認する。		
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職業人・作業療学生として適切な行動がとれる 2. 対象者に対して適切な動作の誘導・介助、評価手技ができる 3. ICFに基づき全体像を把握し、作業療法の一連の実施プロセスを理解する 4. 記録および報告を適切に実施できる 5. 作業療法計画を立案できる 		
授業計画	第1回	身体領域の観察・面接 日程別途連絡 日常生活活動室/運動療法室/303/304 (担当：古川 北澤 土屋)	
	第2回	身体領域の検査・測定 日程別途連絡 日常生活活動室/運動療法室/303/304 (担当：古川 北澤 土屋)	
	第3回	身体領域の記録 日程別途連絡 日常生活活動室/運動療法室/303/304 (担当：古川 北澤 土屋)	
	第4回	高齢領域の観察・面接 日程別途連絡 日常生活活動室/運動療法室/303/304 (担当：宮脇 勝山)	
	第5回	高齢領域の検査・測定 日程別途連絡 日常生活活動室/運動療法室/303/304 (担当：宮脇 勝山)	
	第6回	高齢領域の記録 日程別途連絡 日常生活活動室/運動療法室/303/304 (担当：宮脇 勝山)	
	第7回	精神領域の観察・面接 日程別途連絡 日常生活活動室/運動療法室/303/304 (担当：春原 栗林)	
	第8回	精神領域の検査・測定 日程別途連絡 日常生活活動室/運動療法室/303/304 (担当：春原 栗林)	
	第9回	精神領域の記録 日程別途連絡 日常生活活動室/運動療法室/303/304 (担当：春原 栗林)	
	第10回	発達領域の観察・面接 日程別途連絡 日常生活活動室/運動療法室/303/304 (担当：松下 近藤)	
	第11回	発達領域の検査・測定 日程別途連絡 日常生活活動室/運動療法室/303/304 (担当：松下 近藤)	
	第12回	発達領域の記録 日程別途連絡 日常生活活動室/運動療法室/303/304 (担当：松下 近藤)	
	第13回	吸引 日程別途連絡 日常生活活動室/運動療法室/303/304 (担当：古川、北澤)	
	第14回	吸引 日程別途連絡 日常生活活動室/運動療法室/303/304 (担当：古川、北澤)	
	第15回	課題遂行度の確認とまとめ 日程別途連絡 日常生活活動室/運動療法室/303/304 (担当：宮脇 他)	
教科書	指定なし		
参考図書	なし		
予習・復習内容	3年次までに学習した内容を十分復習し、基本的な検査・測定や治療については練習をしておくこと。		
成績評価方法	臨床技能課題（OSCE、ケース記録、デイリーノート、自己学習）の遂行度100%		
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細な日程、教室は後日連絡する ・一人で練習することは難しいため、グループ内や学生間で協力して行うこと ・積極的な質問を歓迎する ・演習に必要なテキスト・検査器具は担当教員と相談の上、グループあるいは各自で準備すること 		
担当教員への連絡方法	初回授業時にアナウンスする。		
授業に関する大学	各教員は作業療法士として、病院、施設での臨床経験を有する。		

教員以外の実務経験	
実務経験と授業科目の関連性	作業療法に関わる実際的な知識・技能を教授することができる。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 作業療法治療学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	2単位	必修
担当教員			
勝山 しおり、北澤 一樹、春原 るみ、松下 雅子、荒井 留美子			
年間授業回数：15回	授業形態：講義	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	地域作業療法の視点を養うために生活障害のとらえ方と作業活動の広がりを理解する。地域作業療法の実践過程における評価の視点から支援計画までの枠組みを理解する。地域作業療法を実践するためのプログラム立案と実践方法を事例から理解する。
学修目標	1. 地域で働いている作業療法士の役割を説明できる 2. 身体障害、発達障害、精神障害、高齢期障害の各領域の地域作業療法を説明できる 3. 生活構造の視点と地域作業療法の評価の視点について説明できる 4. 地域作業療法における評価、治療プログラムが立案できる
授業計画	<p>第1回 地域作業療法の基盤と背景 4/7(月)1限 コミュニティールーム (担当：勝山)</p> <p>第2回 介護予防における作業療法士の役割 4/14(月)1限 コミュニティールーム (担当：勝山)</p> <p>第3回 認知症の人に対する地域生活支援 4/21(月)1限 コミュニティールーム (担当：勝山)</p> <p>第4回 介護老人保健施設の作業療法士の役割 4/28(月)1限 コミュニティールーム (担当：勝山)</p> <p>第5回 通所リハビリテーションと作業療法士の役割 5/12(月)1限 コミュニティールーム (担当：勝山)</p> <p>第6回 訪問リハビリテーションと作業療法士の役割 5/19(月)1限 コミュニティールーム (担当：勝山)</p> <p>第7回 精神障害領域における社会資源と作業療法士の役割 5/26(月)1限 コミュニティールーム (担当：春原)</p> <p>第8回 精神障害領域における社会資源と事例紹介 6/2(月)1限 コミュニティールーム (担当：荒井)</p> <p>第9回 身体障害領域における社会資源と作業療法士の役割 6/9(月)1限 コミュニティールーム (担当：北澤)</p> <p>第10回 発達障害領域における社会資源と作業療法士の役割 6/16(月)1限 コミュニティールーム (担当：松下)</p> <p>第11回 発達障害領域における社会資源と事例紹介 6/23(月)1限 コミュニティールーム (担当：松下)</p> <p>第12回 人生の最終段階における作業療法士の役割 6/30(月)1限 コミュニティールーム (担当：勝山)</p> <p>第13回 エンド・オブ・ライフ・ケアについて考える 7/7(月)1限 コミュニティールーム (担当：勝山)</p> <p>第14回 障害者スポーツと作業療法士の役割1 7/14(月)1限 コミュニティールーム (担当：勝山)</p> <p>第15回 障害者スポーツと作業療法士の役割2 7/21(月)1限 コミュニティールーム (担当：勝山)</p>
教科書	矢谷令子監修、大熊明/加藤明子編集：標準作業療法学 地域作業療法学 第4版. 医学書院
参考図書	随時紹介する
予習・復習内容	教科書や資料をしっかりと読み、主体的に授業にのぞむこと。
成績評価方法	期末試験70% レポート・リフレクションシート30%
履修上の注意	積極的な授業への参加を期待する。また広範な知識を必要とするので、新聞やメディアの情報に敏感であることが望ましい。
担当教員への連絡方法	初回授業時にアナウンスする。
授業に関する大学教員以外の実務経験	担当者は各専門領域で臨床経験を有する作業療法士である。
実務経験と授業科目の関連性	各領域における臨床場面で必要とされる実践的な知識や視点を伝える。

指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 地域作業療法学
-----------	--

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	2単位	必修
担当教員			
春原 るみ、勝山 しおり、宮脇 利幸、栗林 美智子、松下 雅子、古川 智巳、北澤 一樹、土屋 謙仕、近藤 優樹			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	地域で作業療法・リハビリテーションを展開していく上での他職種との協業の必要性、地域性、ニーズ抽出、プログラム展開、援助方法について、グループワークを通して考える。具体的には介護予防の事業を基に、地域における高齢者のための作業療法的プログラムを、健康教育の方法として考える。また、精神障害や発達障害を含めてプロシードモデルなどの集団的アプローチ手法を等して具体的な健康課題を設定し、その解決方法を演習する。
学修目標	1. 地域のニーズ抽出の手法を知り、説明することができる 2. 目標に沿った具体的なプログラムの展開方法を立案することができる 3. 介護予防事例を学び、実践できる
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション 9/25(木)4限 第3作業療法室 (担当：春原 他)</p> <p>第2回 地域作業療法の実際 プログラム立案 ① 10/2(木)4限 第3作業療法室 (担当：春原 他)</p> <p>第3回 地域作業療法の実際 プログラム立案 ② 10/9(木)4限 第3作業療法室 (担当：春原 他)</p> <p>第4回 地域作業療法の実際 プログラム実施 ① 10/16(木)4限 第3作業療法室 (担当：春原 他)</p> <p>第5回 地域作業療法の実際 プログラム実施 ② 10/23(木)4限 第3作業療法室 (担当：春原 他)</p> <p>第6回 フィードバック ① 10/30(木)4限 第3作業療法室 (担当：春原 他)</p> <p>第7回 地域作業療法の実際 プログラム立案 ③ 11/6(木)4限 第3作業療法室 (担当：春原 他)</p> <p>第8回 地域作業療法の実際 プログラム立案 ④ 11/13(木)4限 第3作業療法室 (担当：春原 他)</p> <p>第9回 地域作業療法の実際 プログラム実施 ③ 11/20(木)4限 第3作業療法室 (担当：春原 他)</p> <p>第10回 地域作業療法の実際 プログラム実施 ④ 11/27(木)4限 第3作業療法室 (担当：春原 他)</p> <p>第11回 地域作業療法の実際 プログラム実施 ⑤ 12/4(木)4限 第3作業療法室 (担当：春原 他)</p> <p>第12回 地域作業療法の実際 プログラム実施 ⑥ 12/11(木)4限 第3作業療法室 (担当：春原 他)</p> <p>第13回 地域作業療法の実際 プログラム実施 ⑦ 12/18(木)4限 第3作業療法室 (担当：春原 他)</p> <p>第14回 フィードバック ② 12/25(木)4限 第3作業療法室 (担当：春原 他)</p> <p>第15回 まとめ 1/8(木)4限 第3作業療法室 (担当：春原 他)</p>
教科書	必要に応じて資料等を配布する。
参考図書	1. 作業療法士協会監修：作業の捉え方と評価・支援技術 医歯薬出版 2. 宮口英樹：認知症をもつ人への作業療法アプローチ Medical View 3. 大淵修一他監修：介護予防完全マニュアル 東京都高齢者研究・福祉振興財団
予習・復習内容	事前学習が必須である。また、課題の進行に合わせて各自復習をすること。積極的な授業への参加を求める。
成績評価方法	計画書・実践・発表および発表用資料60%、期末試験40%
履修上の注意	地域でプログラムを実施するので言葉遣い、礼儀などに気をつけること。
担当教員への連絡方法	初回授業時にアナウンスする。
授業に関する大学	作業療法士として、各々高齢期、身体、精神、発達領域において臨床実務経験を有する。

教員以外の実務経験	
実務経験と授業科目の関連性	地域における作業療法士の役割、実践的な知識や視点を習得する。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 地域作業療法学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1単位	必修
担当教員			
宮脇 利幸、春原 るみ、勝山 しおり、土屋 謙仕、栗林 美智子、松下 雅子、古川 智巳、北澤 一樹、近藤 優樹			
年間授業回数：15回	授業形態：実習		
添付ファイル			

授業目標	作業療法を志す学生にとって臨床見学の持つ意味は重要である。現場の作業療法士の対象者への関わり方や対象者の状態を間近に見ることによって、将来の職業についてイメージを持つことができる。また、作業療法士が組織の中で関係職種と連携をとらなければならないことも知ることができる。そして、作業療法士になるための意識を高めることにつながる。
学修目標	1. 各施設における対象者の状態を知ることができる 2. 各領域で作業療法士が対象者にどのように関わっているかを知ることができる 3. 各領域の対象者と作業療法士の関わり方の違いを知ることができる 4. 各施設での職員の連携のあり方を知ることができる
授業計画	オリエンテーション 日程・教室 後日連絡（担当：宮脇 他） 接遇研修 日程・教室 後日連絡（担当：宮脇 他） 事前学習シート作成 日程・教室 後日連絡（担当：宮脇 他） 「精神障害に対する作業療法」（OT協会作成）視聴 日程・教室 後日連絡（担当：宮脇 他） 施設見学：身体障害領域施設、発達障害領域施設 5/26(月)～5/30(金)の期間中に施設を訪問し見学する（担当：宮脇 他） 施設見学：精神障害領域病院、高齢期領域施設訪問 9/4(木)～9/5(金)の期間中に施設を訪問し見学する（担当：宮脇 他） 施設見学レポート作成 日程・教室 後日連絡（担当：宮脇 他）
教科書	オリエンテーション資料、必要に応じたプリントを配布する。教科書は使用しない。
参考図書	山口美和：PT・OTのための これで安心 コミュニケーション実践ガイド 第2版 医学書院
予習・復習内容	実習にふさわしい身だしなみの準備と事前学習を行う。
成績評価方法	実習の遂行状況50%、レポート50%
履修上の注意	事前のオリエンテーションの内容を十分理解し、引率者・説明者の言うことをよく聞き、自ら積極的に行動すること。
担当教員への連絡方法	オリエンテーション時にアナウンスする。
授業に関する大学教員以外の実務経験	実習指導担当者は十分な臨床経験がある作業療法士である。
実務経験と授業科目の関連性	各教員は作業療法士として臨床経験を有する。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 臨床実習

講義科目名称： 作業療法臨床評価実習 I

授業コード： 44010

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位	必修
担当教員			
宮脇 利幸、春原 るみ、勝山 しおり、土屋 謙仕、栗林 美智子、松下 雅子、古川 智巳、北澤 一樹、近藤 優樹			
年間授業回数：15回	授業形態：実習		
添付ファイル			

授業目標	臨床現場である実習施設の機能、各医療従事者と対象者の関わりや作業療法士の業務と範囲さらに対象者の抱える心理的・身体的・社会的な問題点を学ぶ。学内教育で学んだ知識・技術をもとに、対象者に応じて適切な情報を集め基本的検査・測定などの評価を実施し、対象者の全体像を把握する。
学修目標	1. 作業療法士の具体的な業務と範囲を学び説明することができる 2. 指導を受けながら、対象者の状況に応じて適切な検査測定が実施できる 3. 学内で学んだ知識を、臨床場面の体験を等して学び、理解することができる
授業計画	実習期間 2026年2月16日(月)～2月27日(金) 学内：オリエンテーション 課題：デブリーフ、SOAP作成、体験チェックリスト記載、感想文 学内：反省会、報告会
教科書	事前のオリエンテーション資料、実習の手引き
参考図書	必要に応じて、各領域の専門科目で使用した教科書や資料を参考にすること。
予習・復習内容	実習開始前に「実習の手引き」を読み、内容を熟知しておくこと。 実習配置された施設の機能や役割について、対象領域の主な疾患や評価法について十分に事前学習して臨むこと。 実習中は、指導者と相談しながら臨床で得た疑問について主体的に自己学習すること。
成績評価方法	職業人レベィネス30%、課題提出物 40% 事例報告 30%
履修上の注意	事前のオリエンテーションの内容を十分理解し、自ら積極的に行動すること。
担当教員への連絡方法	オリエンテーションでアナウンスする。
授業に関する大学教員以外の実務経験	実習指導担当者は十分な臨床経験がある作業療法士である。
実務経験と授業科目の関連性	各教員は作業療法士として臨床経験を有する。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 臨床実習

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	3単位	必修
担当教員			
宮脇 利幸、春原 るみ、勝山 しおり、土屋 謙仕、栗林 美智子、松下 雅子、古川 智巳、北澤 一樹、近藤 優樹			
年間授業回数：15回	授業形態：実習		
添付ファイル			

授業目標	臨床現場である実習施設の機能、各医療従事者と対象者の関わりや作業療法士の業務と範囲さらに対象者の抱える心理的・身体的・社会的な問題点を学ぶ。臨床評価実習Ⅰをもとに、治療プログラムを作成し、一部の治療技術を実践して、その過程・方法を具体的に学び、応用能力を養う。
学修目標	1. 学内で学んだ知識をもとに、対象者に応じた検査測定などの評価が実施できる 2. 結果を解釈・分析・統合して対象者の全体像を把握することができる 3. 治療プログラムの作成を試み、治療手技を具体的に学び、応用する 4. 作業療法士部門の管理運営を学び、医療・社会における作業療法士の役割を理解する
授業計画	実習期間 2025年8月18日(月)～9月5日(金) 学内：オリエンテーション 課題：ディレクト、SOAP作成、体験チェックリスト記載、ICF評価シート作成、感想文 学内：反省会、報告会
教科書	事前のオリエンテーション資料、実習の手引き
参考図書	必要に応じて、各領域の専門科目で使用した教科書や資料を参考にすること。
予習・復習内容	実習開始前に「実習の手引き」を読み、内容を熟知しておくこと。 これまで学んだ講義内容を復習し、担当事例の評価が実施できるように事前学習を行っておくこと。 臨床評価実習期間中は実習指導者の指示を仰いで学習を進め、疑問点に関しては自己学習を行うこと。 実習終了後は、実習で得られた知識・技術・体験を振り返り、自己学習につとめること。
成績評価方法	職業人レディネス30%、課題提出物 50% 事例報告 20%
履修上の注意	事前のオリエンテーション内容を十分把握し、自ら積極的に行動すること。
担当教員への連絡方法	実習オリエンテーション時にアナウンスする。
授業に関する大学教員以外の実務経験	実習指導担当者は十分な臨床経験がある作業療法士である。
実務経験と授業科目の関連性	各教員は作業療法士として臨床経験を有する。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 臨床実習

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4年	1単位	必修
担当教員			
宮脇 利幸、春原 るみ、勝山 しおり、土屋 謙仕、栗林 美智子、松下 雅子、古川 智巳、北澤 一樹、近藤 優樹			
年間授業回数：15回	授業形態：実習		
添付ファイル			

授業目標	地域作業療法は、家庭生活、地域生活、職業生活などの作業行動に不自由があり、そのために生活課題に支障をきたすおそれがある人を対象にし、人としての生活での再建・再構築を支援することである。この授業では、地域包括ケアを担う作業療法士にとって必要な心構え、実践能力などを実習経験を通して修得する。
学修目標	1. 国際生活機能分類（ICF）によって、生活障害を説明できる 2. 評価で得られた情報をもとに統合と解釈、対応すべき生活課題を焦点化できる 3. 施設利用者や在宅生活者のリスク管理を記述できる 4. 地域作業療法の目標と課題、関連職種、他機関との連携について説明できる
授業計画	<p>実習期間1 2025年5月26日(月)～5月30日(金)</p> <p>実習期間2 2025年6月9日(月)～6月13日(金)</p> <p>実習期間3 2025年8月18日(月)～8月22日(金)</p> <p>実習期間4 2025年9月15日(月)～9月19日(金)</p> <p>学内：オリエンテーション</p> <p>学内：実習施設概要、実習内容、ふり返り等をまとめ発表する</p>
教科書	事前のオリエンテーション資料、実習の手引き
参考図書	必要に応じて、関連科目で使用した教科書や資料を参考にすること。
予習・復習内容	実習開始前に「実習の手引き」を読み、内容を熟知しておくこと。 実習配置された施設の機能や役割について十分に事前学習して臨むこと。 実習中は、指導者と相談しながら臨床で得た疑問について主体的に自己学習すること。
成績評価方法	実習の遂行状況60%、課題レポート40%
履修上の注意	臨地実習先の指導者の指示に従う。
担当教員への連絡方法	実習オリエンテーション時にアナウンスする。
授業に関する大学教員以外の実務経験	実習担当者は臨床経験5年以上の作業療法士である。
実務経験と授業科目の関連性	各教員は作業療法士として臨床経験を有する。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 臨床実習

講義科目名称： 作業療法臨床実習 I

授業コード： 44030

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4年	9単位	必修
担当教員			
宮脇 利幸、春原 るみ、勝山 しおり、土屋 謙仕、栗林 美智子、松下 雅子、古川 智巳、北澤 一樹、近藤 優樹			
年間授業回数：15回	授業形態：実習	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	臨床実習を通して、学内教育で学習した知識と技術技能を臨床における作業療法体験により統合する過程とする。対象者の全体像の把握、作業療法計画、治療・指導・援助などを通して、作業療法士としての知識・技術・技能および態度を身につけ、保健・医療・福祉に関わる専門職としての認識を高める。 1期目では、関係者と良好な関係を築き、安定して維持できること。2年次3年次の評価実習体験とこれまでの学内学習をふまえ、対象者の全体像を的確に把握したうえで、指導を受けながら治療を行い、その効果判定ができる。
学修目標	1. 学内教育で学習した知識と技術技能を臨床における作業療法体験により統合することができる 2. 作業療法士としての知識・技術・技能および態度を身につけ、実践できる 3. 医療・保健・福祉に関わる専門職としての認識を高める
授業計画	実習期間 2025年6月16日(月)～8月8日(金) 学内：オリエンテーション 課題：ディレクター、SOAP作成、体験チェックリスト記載、ICFケースサマリー作成、感想文 学内：反省会、事例報告会
教科書	事前のオリエンテーション資料、実習の手引き
参考図書	必要に応じて、各領域の専門科目で使用した教科書や資料を参考にすること。
予習・復習内容	実習開始前に「実習の手引き」を読み、内容を熟知しておくこと。 臨床評価実習期間中は実習指導者の指示を仰いで学習を進め、疑問点に関しては自己学習を行うこと。 実習終了後は、実習で得られた知識・技術・体験を振り返り、自己学習につとめること。
成績評価方法	職業人レベィネス30%、課題提出物 40% 事例報告 30%
履修上の注意	事前のオリエンテーション内容を十分把握し、自ら積極的に行動すること。
担当教員への連絡方法	実習オリエンテーション時にアナウンスする。
授業に関する大学教員以外の実務経験	実習担当者は臨床経験5年以上の作業療法士である。
実務経験と授業科目の関連性	各教員は作業療法士として臨床経験を有する。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 臨床実習

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4年	9単位	必修
担当教員			
宮脇 利幸、春原 るみ、勝山 しおり、土屋 謙仕、栗林 美智子、松下 雅子、古川 智巳、北澤 一樹、近藤 優樹			
年間授業回数：15回	授業形態：実習	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	臨床実習を通して、学内教育で学習した知識と技術技能を臨床における作業療法体験により統合する過程とする。対象者の全体像の把握、作業療法計画、治療・指導・援助などを通して、作業療法士としての知識・技術・技能および態度を身につけ、保健・医療・福祉に関わる専門職としての認識を高める。2期目では、具体的な治療計画を自分で立てながら指導のもとに治療を行い、再評価、治療計画立て直しの一連のPDCAサイクルに基づく臨床実践ができるようになることを目標とする。
学修目標	1. 学内教育で学習した知識と技術・技能を臨床における作業療法体験により統合することができる。 2. 作業療法士としての知識・技術・技能および態度を身につけ、実践できる。 3. 保健・医療・福祉に関わる専門職としての認識を高める。
授業計画	実習期間 2025年9月22日(月)～11月14日(金) 学内：オリエンテーション 課題：デブリーフ、SOAP作成、体験チェックリスト記載、ICFケースマリー作成、感想文 学内：反省会、事例報告会
教科書	事前のオリエンテーション資料、実習の手引き
参考図書	必要に応じて、各領域の専門科目で使用した教科書や資料を参考にすること。
予習・復習内容	実習開始前に「実習の手引き」を読み、内容を熟知しておくこと。 臨床評価実習期間中は実習指導者の指示を仰いで学習を進め、疑問点に関しては自己学習を行うこと。 実習終了後は、実習で得られた知識・技術・体験を振り返り、自己学習につとめること。
成績評価方法	評価配分：職業人レディネス30%、課題提出物 40% 事例報告 30%
履修上の注意	事前のオリエンテーション内容を十分把握し、自ら積極的に行動すること。
担当教員への連絡方法	実習オリエンテーション時にアナウンスする。
授業に関する大学教員以外の実務経験	実習担当者は臨床経験5年以上の作業療法士である。
実務経験と授業科目の関連性	各教員は作業療法士として臨床経験を有する。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表2（作業療法士課程） 臨床実習

講義科目名称： 自然科学の基礎

授業コード： 13060

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位	必修
担当教員			
松山 敏彦、松岡 謙晶			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	医療現場や介護現場で必要となる数学、生物、物理、化学の基礎について、高大連携科目として学ぶ。
学修目標	1. 生物：高校生物の基礎的内容が理解できて、大学の専門科目を履修するためのスキルがアップする 2. 化学：高校化学の基礎的内容が理解できて、大学の専門科目を履修するためのスキルがアップする 3. 物理：高校物理の基礎的内容が理解できて、大学の専門科目を履修するためのスキルがアップする 4. 数について理解を深める
授業計画	<p>第1回 生物の特徴：細胞の成り立ちと機能、生命活動とエネルギー 4/8(火)2限 S300 (担当：松山)</p> <p>第2回 生物と遺伝子：遺伝子とDNA、遺伝情報とたんぱく質の合成、遺伝子の発現 4/15(火)2限 S300 (担当：松山)</p> <p>第3回 体内環境と恒常性①：ホメオスタシス、器官のはたらきと調節、自律神経系との連携 4/22(火)2限 S300 (担当：松山)</p> <p>第4回 体内環境と恒常性②：ホルモンによる調節、免疫システム 4/29(火)2限 S300 (担当：松山)</p> <p>第5回 物質の構成：身の回りの物質の成分、原子の構造、元素の周期表、化学結合 5/6(火)2限 S300 (担当：松山)</p> <p>第6回 物質の変化：分子量と物質量、溶液の濃度、化学反応式の量的関係 5/13(火)2限 S300 (担当：松山)</p> <p>第7回 酸と塩基：酸と塩基の種類と性質、中和反応、水素イオン濃度とpH 5/20(火)2限 S300 (担当：松山)</p> <p>第8回 物体の運動：速度、加速度、いろいろな運動 6/3(火)2限 S300 (担当：松山)</p> <p>第9回 運動の法則：力の性質、運動方程式、力学的エネルギー 6/10(火)2限 S300 (担当：松山)</p> <p>第10回 熱と波：絶対温度、熱量の保存、波の性質と現象 6/17(火)2限 S300 (担当：松山)</p> <p>第11回 電磁気と放射線：電流と磁場、放射線 6/24(火)2限 S300 (担当：松山)</p> <p>第12回 有理数と無理数 7/1(火)2限 S300 (担当：松岡)</p> <p>第13回 割合、速度、濃度 7/8(火)2限 S300 (担当：松岡)</p> <p>第14回 関数のグラフ 7/15(火)2限 S300 (担当：松岡)</p> <p>第15回 微分、積分 7/22(火)2限 S300 (担当：松岡)</p>
教科書	教科書は使用しない。 理科：「テキスト」と「ワークシート」を配布する。 数学：毎回プリントを配布する。
参考図書	授業内で随時紹介します。
予習・復習内容	理科：「テキスト」と講義内容を理解して、毎回「ワークシート」を完成させる。 数学：プリント内に記載されている演習問題を解く。
成績評価方法	定期試験 100% 理科：「ワークシート」の中から出題する。 数学：演習問題の中から出題する。
履修上の注意	理科：毎回「ワークシート」を完成させ、ファイリングして定期試験に備える。 数学：毎回配られるプリントをよく読んで理解すること。
担当教員への連絡方法	南館事務室に伝言すること。
授業に関する大学教員以外の実務経験	高等学校教員としての授業実務および管理職の実務経験あり。

実務経験と授業科目の関連性	高等学校の教科指導・進路指導に携わった経験と見識を生かして学生を教授することができる。
指定規則の位置付け	<p>理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解 別表2（作業療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解</p> <p>保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3（看護師課程） 科学的思考の基盤</p>

講義科目名称： 心理学

授業コード： 11010

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位	保健科学部 必修／看護学部 選択
担当教員			
高瀬 弘樹			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	心理学の「心の研究・学問」としての歴史は浅く、古くは実験と観察を通じて始まり、近年では、生活の場における人間の理解を深めて、臨床の場でそれを生かしていこうといった試みも増えている。本講義では、①心理学の入門編として様々な心理学の知見を概観、②心理学の視点や考え方を理解することを目的とする。臨床の話も織り交ぜながら、学生と共に考えていく講義とする。
学修目標	1. 心理学の歴史やその成果に関して幅広く理解できる 2. 科学としての心理学における諸理論、研究法を説明できる
授業計画	<p>第1回 心理学とは何か 4/10(木)2限 S300 (担当：高瀬)</p> <p>第2回 現代心理学の成立 4/17(木)2限 S300 (担当：高瀬)</p> <p>第3回 心と身体 4/24(木)2限 S300 (担当：高瀬)</p> <p>第4回 心と脳 5/1(木)2限 S300 (担当：高瀬)</p> <p>第5回 感覚・知覚 5/8(木)2限 S300 (担当：高瀬)</p> <p>第6回 学習・記憶 5/15(木)2限 S300 (担当：高瀬)</p> <p>第7回 思考・言語 5/22(木)2限 S300 (担当：高瀬)</p> <p>第8回 小まとめ 6/5(木)2限 S300 (担当：高瀬)</p> <p>第9回 動機づけ・情動 6/12(木)2限 S300 (担当：高瀬)</p> <p>第10回 性格・知能 6/19(木)2限 S300 (担当：高瀬)</p> <p>第11回 心の発達 6/26(木)2限 S300 (担当：高瀬)</p> <p>第12回 発達の偏り 7/3(木)2限 S300 (担当：高瀬)</p> <p>第13回 心理療法 7/10(木)2限 S300 (担当：高瀬)</p> <p>第14回 メンタルヘルス 7/17(木)2限 S300 (担当：高瀬)</p> <p>第15回 心と社会 7/24(木)2限 S300 (担当：高瀬)</p>
教科書	教科書は使用しない。資料を配布。
参考図書	無藤 隆 他：心理学 新版 (New Liberal Arts Selection) 有斐閣
予習・復習内容	授業前に配布した資料の内容について理解する。
成績評価方法	期末試験 60%、毎回行われる小テスト・課題 40%
履修上の注意	授業中は、私語を慎むこと。
担当教員への連絡方法	E-mail:takaseh(at)shinshu-u.ac.jp (at)は@
授業に関する大学教員以外の実務経験	なし
実務経験と授業科目の関連性	なし

指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解 別表2（作業療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解 保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3（看護師課程） 科学的思考の基盤
-----------	---

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位	選択
担当教員			
阿久津 昌三			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	自己と他者、自文化と他文化との差異を探求しながら、エスノセントリズムの発想を脱して、自文化と他文化を理解しようとする文化人類学の知見から、人間と文化、人と人のつながり（生殖、家族、親族、結婚）、人生と時間（儀礼）信仰と世界観、身体・病期・医療、人間と死について学ぶ。さらに、文化人類学的手法をとおして、異文化理解を深める。
学修目標	1. フィールドワークの方法を学び、人々の話を聞き、行動を観察しながら記録し、医療にかかわる行為のバックグラウンドとなる文化とは何かを知る 2. ローカルな／グローバルな医療活動に携わるときに必要な文化人類学の知の技法を学ぶ 3. 医療を多様な角度からとらえなおす医療人類学の最前線を学ぶ
授業計画	<p>第1回 文化人類学と看護学 4/7(月)4限 S300 (担当：阿久津)</p> <p>第2回 家族①—家族概念と家族関係語彙 4/14(月)4限 S300 (担当：阿久津)</p> <p>第3回 家族②—生殖と親子 4/21(月)4限 S300 (担当：阿久津)</p> <p>第4回 家族③—結婚と親族 4/28(月)4限 S300 (担当：阿久津)</p> <p>第5回 ジェンダーとセクシュアリティ 5/12(月)4限 S300 (担当：阿久津)</p> <p>第6回 生業経済の諸類型（採集・狩猟、農耕、牧畜） 5/19(月)4限 S300 (担当：阿久津)</p> <p>第7回 コミュニティとアソシエーション 6/2(月)4限 S300 (担当：阿久津)</p> <p>第8回 民族と国家 6/9(月)4限 S300 (担当：阿久津)</p> <p>第9回 民族と紛争 6/16(月)4限 S300 (担当：阿久津)</p> <p>第10回 人生と通過儀礼①—通過儀礼と境界理論 6/23(月)4限 S300 (担当：阿久津)</p> <p>第11回 人生と通過儀礼②—儀礼の構造と理論 6/30(月)4限 S300 (担当：阿久津)</p> <p>第12回 宗教とコスモロジー①—呪術、宗教、科学 7/7(月)4限 S300 (担当：阿久津)</p> <p>第13回 宗教とコスモロジー②—憑依とトランス状態 7/14(月)4限 S300 (担当：阿久津)</p> <p>第14回 病いと治療／生と死と再生 7/21(月)4限 S300 (担当：阿久津)</p> <p>第15回 質的研究とエスノグラフィー 7/28(月)4限 S300 (担当：阿久津)</p>
教科書	波平恵美子編：文化人類学 [カレッジ版] 第4版 医学書院
参考図書	澤野美智子編：医療人類学を学ぶための60冊 明石書店
予習・復習内容	事後課題として基礎知識＋αリフレクションシートを配布します。
成績評価方法	課題 45%、レポート 25%、期末試験 30%
履修上の注意	基本的には講義形式であるが、授業のなかに口頭発表の場を設ける。主体的に参加すること。
担当教員への連絡方法	E-mail:sakutsu@shinshu-u.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	なし
実務経験と授業科	なし

目の関連性	
指定規則の位置付け	<p>理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解 別表2（作業療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解</p> <p>保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3（看護師課程） 人間と生活・社会の理解</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1単位	選択
担当教員			
田澤 直人			
年間授業回数：15回	授業形態：演習		
添付ファイル			

授業目標	健康県、長寿県である信州を、様々な面から考察し、またそこで営まれてきた人々の文化や生活（特に健康資源の開発と健康増進活動）のあり方を検討し、これからの地域看護活動、地域振興活動の展望を得る。
学修目標	1. 信州の自然・地理・歴史を踏まえて、人々の暮らしや知恵、そこに生まれた文化などを学ぶ 2. 信州の生活を支える産業などについて学ぶ 3. 授業の中で得た知識などを使い、自分たちで調べたことをグループで発表し、評価を行う
授業計画	<p>第1回 授業ガイダンスを実施。授業の概要を説明し、参考までに昨年度までの授業における学生のプレゼンテーション資料を紹介する。 9/24(水)4限 S201 (担当：田澤)</p> <p>第2回 3回から5回の授業に相当するフィールドワークの説明とグループ分け、6回めの授業以降での発表順番決めを行う。例えば、フィールドワークは、小布施の町観光、善光寺観光、上田城と近隣の観光、塩田平観光、県立歴史館見学などを想定している。 10/1(水)4限 S201 (担当：田澤)</p> <p>第3回 フィールドワークにあてる。授業は実施せず。 (担当：田澤)</p> <p>第4回 フィールドワークにあてる。授業は実施せず。 (担当：田澤)</p> <p>第5回 フィールドワークにあてる。授業は実施せず。 (担当：田澤)</p> <p>第6回 フィールドワークの発表準備の時間。 10/29(水)4限 S201 (担当：田澤)</p> <p>第7回 フィールドワークの発表、学生による発表内容の評価実施。 11/5(水)4限 S201 (担当：田澤)</p> <p>第8回 県歌『信濃国』の現代語訳を行い、提出する。 11/12(水)4限 S201 (担当：田澤)</p> <p>第9回 県歌『信濃国』の解説を行う。第12回の発表内容の確認。 11/19(水)4限 S201 (担当：田澤)</p> <p>第10回 教科書のなかから、発表項目を決め、二人一組でプレゼンテーションをおこなうための準備の時間。 11/26(水)4限 S201 (担当：田澤)</p> <p>第11回 教科書のなかから、発表項目を決め、二人一組でプレゼンテーションをおこなうための準備の時間。 12/3(水)4限 S201 (担当：田澤)</p> <p>第12回 二人一組でプレゼンテーションをおこなう。学生による発表内容の評価実施。 12/10(水)4限 S201 (担当：田澤)</p> <p>第13回 第15回のプレゼンテーション発表に向けて、プレゼンテーションの準備の時間とする。担当教員は、各グループごとのプレゼンテーション資料の作成について、アドバイスをを行う。 12/17(水)4限 S201 (担当：田澤)</p> <p>第14回 第15回のプレゼンテーション発表に向けて、プレゼンテーションの準備の時間とする。担当教員は、各グループごとのプレゼンテーション資料の作成について、アドバイスをを行う。 12/24(水)4限 S201 (担当：田澤)</p> <p>第15回 グループごとにプレゼンテーションを実施、その内容を、学生と担当で評価する。 1/7(水)4限 S201 (担当：田澤)</p>
教科書	長野県立歴史館編『広い世界とつながる信州』信濃毎日新聞社
参考図書	参考書は指定しない
予習・復習内容	<p>第3回から第5回の授業に相当する時間に、校外で、グループを作り、それぞれでフィールドワークを行ってもらう。その報告会を行う。</p> <p>第10回から第11回の授業の予習：発表者は授業時間外にプレゼン資料を作成することになる。発表者以外の者は、教科書のプレゼンテーション該当ページをあらかじめ読んでおき、当日のプレゼンテーションの評価の際に、プレゼンテーションの内容が適切であったのかを判断できるようにしておく。</p> <p>第12回授業後から第15回の授業前まで：第15回の授業におけるプレゼンテーション発表に備え、授業時間以外にもグループ員で集まり、プレゼンテーション内容の確認作業が必要になると思われる。</p>
成績評価方法	・プレゼンテーション3回（第7回の授業のなかで1回、第12回の授業のなかで1回、及び第15回の授業での1回、

	計3回) 70% ・レポート2回 (第8回授業内及び第15回授業終了後の最終レポート) 30%
履修上の注意	この授業は、演習中心の授業となります。例えば、グループを作り、フィールドワークを実施し、その結果を、パワーポイントを使って発表してもらいます。 他にも、教科書の要約発表、最後には、各自の興味関心にもとづく発表を行っていきます。
担当教員への連絡方法	事務室に伝言してください
授業に関する大学教員以外の実務経験	長野県立高校教諭・教頭・校長・長野県教育委員会事務局高校教育課管理係主幹指導主事
実務経験と授業科目の関連性	長野県教員としての知見が、講義内容の一部に入る
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1 (理学療法士課程) 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解 別表2 (作業療法士課程) 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位	選択
担当教員			
能勢 桂介			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	世の中には不登校、受験、結婚・離婚、労働、ファッション、集団、官僚制、不平等、医療福祉など様々な社会現象がある。社会学は、社会現象の実態やそのメカニズムを解明する学問である。しかし、社会現象は我々の思い込みを裏切るような“複雑さ”や“ダイナミズム”がある。そうした社会をどのように捉えればいいのか、社会学の基本的な視点と方法を学ぼう。すると、今まで当たり前だと思っていた日常が謎に満ちたものに変化するドキドキがあるはずだ。
学修目標	1. 「社会学」の基本的な思考法を身につける 2. 社会現象について、他の現象との連関を考慮しながら、多角的に——斜めから、裏から——突き放して、理解出来るようになる 3. 社会現象やそれによって生まれる「他者」（異性、ホームレス、外国人、病者など）を理解し、医療従事者としての基礎教養を習得する
授業計画	<p>第1回 激変する現代社会——テロ、金融恐慌、そしてコロナ 4/11(金)3限 コミュニティールーム (担当：能勢)</p> <p>第2回 「社会」を学問する——民主革命／産業革命のただなかで 4/18(金)3限 コミュニティールーム (担当：能勢)</p> <p>第3回 「個人」「自己意識」——その社会性・歴史性 4/25(金)3限 コミュニティールーム (担当：能勢)</p> <p>第4回 家族／親密圏とジェンダー①——男女平等の実実と本質 5/2(金)3限 コミュニティールーム (担当：能勢)</p> <p>第5回 家族／親密圏とジェンダー②——ジェンダー、セクシュアリティの多様性 5/9(金)3限 コミュニティールーム (担当：能勢)</p> <p>第6回 集まる——人の集まり方 5/16(金)3限 コミュニティールーム (担当：能勢)</p> <p>第7回 働く——現代労働の諸論点 5/23(金)3限 コミュニティールーム (担当：能勢)</p> <p>第8回 階層・階級——格差の捉え方 6/6(金)3限 コミュニティールーム (担当：能勢)</p> <p>第9回 地域社会①——地域社会の多様性と格差 6/13(金)3限 コミュニティールーム (担当：能勢)</p> <p>第10回 地域社会②——現代地方都市の変貌 6/20(金)3限 コミュニティールーム (担当：能勢)</p> <p>第11回 様々な社会現象①——発見法 6/27(金)3限 コミュニティールーム (担当：能勢)</p> <p>第12回 様々な社会現象②——探求法 7/4(金)3限 コミュニティールーム (担当：能勢)</p> <p>第13回 現代社会の行方①——少子高齢化 7/11(金)3限 コミュニティールーム (担当：能勢)</p> <p>第14回 現代社会の行方②——グローバル化 7/18(金)3限 コミュニティールーム (担当：能勢)</p> <p>第15回 おわりに——振り返って、議論し、講義の理解を深める 7/25(金)3限 コミュニティールーム (担当：能勢)</p>
教科書	とくに指定しない
参考図書	出口 剛司『大学4年間の社会学が10時間でざっと学べる』KADOKAWA、2019年 森下 伸也『社会学がわかる事典』日本実業出版社、2000年
予習・復習内容	事前に配布するレジュメ、文章を予め読んで、意見・質問を考えておくこと。
成績評価方法	リフレクション・ペーパー50%、期末試験（小論文）50%
履修上の注意	対話的に講義を進めるので、疑問をどんどんぶつけてほしい。
担当教員への連絡方法	講義時に直接教員に連絡するか、事務室に伝言してください。
授業に関する大学教員以外の実務経	なし

験	
実務経験と授業科目の関連性	なし
指定規則の位置付け	<p>理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解 別表2（作業療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解</p> <p>保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3（看護師課程） 人間と生活・社会の理解</p>

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位	選択
担当教員			
関 良徳			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	日本国憲法の全体像は、基本的人権と統治機構の2つに大別される。本科目では、日本国憲法の基礎的知識、とりわけ基本的人権の内容と意義、統治機構の基本原則と司法権・違憲審査制の理解を目的とする。基本概念・判例などの基礎的知識の獲得を大前提に、それらの知識を活用して、社会における多様な問題を憲法や法律との関わりから捉え、自らの言葉で発言できる力を身に付ける。
学修目標	1. 憲法で保障されている基本的人権について理解する。 2. 基本的人権が社会の中でどのように保障されているのかを具体的に理解する。 3. 人権や権利に関わる紛争を防ぐための立法や行政の役割について理解する。 4. 人権や権利に関わる紛争を解決する司法の役割について理解する。 5. 人権侵害を防ぐための違憲立法審査権について理解する。
授業計画	<p>第1回 個人の尊厳と自己決定権について説明する。 4/11(金)2限 S202 (担当：関)</p> <p>第2回 消費生活における契約の自由と立法・行政・司法の役割について概説する。 4/18(金)2限 S202 (担当：関)</p> <p>第3回 消費者保護のための立法・行政・司法の役割について解説を行う。 4/25(金)2限 S202 (担当：関)</p> <p>第4回 医療場面での個人の尊厳にかかわる事例の検討（模擬裁判）を行う。 5/2(金)2限 S202 (担当：関)</p> <p>第5回 家族法と法の下での平等について概説する。 5/9(金)2限 S202 (担当：関)</p> <p>第6回 児童虐待と子どもの人権及び行政の役割について説明する。 5/16(金)2限 S202 (担当：関)</p> <p>第7回 子どもの人権と少年法の役割について解説を行う。 5/23(金)2限 S202 (担当：関)</p> <p>第8回 少年法と報道の自由にかかわる事例の検討（模擬裁判）を行う。 5/30(金)2限 S202 (担当：関)</p> <p>第9回 犯罪と刑罰にかかわる人権保障について説明を行う。 6/6(金)2限 S202 (担当：関)</p> <p>第10回 裁判員制度と司法の役割について解説する。 6/13(金)2限 S202 (担当：関)</p> <p>第11回 医療にかかわる法の役割と安楽死・尊厳死について概説する。 6/20(金)2限 S202 (担当：関)</p> <p>第12回 医療場面における犯罪事例の検討（模擬裁判）を行う。 6/27(金)2限 S202 (担当：関)</p> <p>第13回 子の出生に関わる法の役割について説明する。 7/4(金)2限 S202 (担当：関)</p> <p>第14回 労働契約と労働の権利について解説する。 7/11(金)2限 S202 (担当：関)</p> <p>第15回 労働環境に関わる人権保障と立法・行政・司法の役割について説明する。 7/18(金)2限 S202 (担当：関)</p>
教科書	指定しない。
参考図書	1. 安念潤司 他著：論点 日本国憲法 第2版 東京法令出版 2. 荒木尚志、森田宏樹 編：ポケット六法 有斐閣
予習・復習内容	予習と復習のための課題を授業時に配布し、次回授業時に提出すること。
成績評価方法	期末試験80%、課題20%
履修上の注意	毎時間出席するとともに、日頃から復習を怠らないように注意して下さい。
担当教員への連絡方法	e-mail yosseki@shinshu-u.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	なし

実務経験と授業科目の関連性	なし
指定規則の位置付け	<p>理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解 別表2（作業療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解</p> <p>保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3（看護師課程） 科学的思考の基盤</p>

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	1単位	選択
担当教員			
奥村 信彦、駒井 健吾			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	医療・薬学・看護・栄養に関する最新の話題に触れつつ、英語を英語のまま解釈し、学んだ語彙・表現をそのまま表現活動にも用いる。やがては医療現場や諸外国の専門職との国際交流の場で専門的な英語表現ができるようになることを目指す。リーディングで学んだ内容を語彙や内容理解の活動の中で定着させる。さらに、教員とのインタラクションの中で、トピックに関する理解を深め、意見表出活動につなげる。		
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 海外の医療現場で責務を遂行できる基本的な英語コミュニケーション能力を身につける。 2. 医師、看護師、療法士など他の医療関係者とのコミュニケーションに必要なリスニング力とスピーキング力を養う。 3. 患者に理解と共感を率直に伝えるとともに冷静に指示を与えるコミュニケーションスキルを身につける。 4. 患者の様子を簡潔に英語でまとめる等、伝えるためのライティング力を身につける。 		
授業計画	第1回	Unit 1: Vitamin D: リーディングテキストに関して、Vocabulary Check, Vocabulary Practice, Comprehensionを行い、Coffee Breakなどの話題で授業担当と英語でインタラクションを行う。 4/8(火)5限 S204 (担当：奥村)	
	第2回	Unit 2: Dealing with Addiction: リーディングテキストに関して、Vocabulary Check, Vocabulary Practice, Comprehensionを行い、Coffee Breakなどの話題で授業担当と英語でインタラクションを行う。 4/15(火)5限 S204 (担当：奥村)	
	第3回	Unit 3: Virtual Reality Therapy: リーディングテキストに関して、Vocabulary Check, Vocabulary Practice, Comprehensionを行い、Coffee Breakなどの話題で授業担当と英語でインタラクションを行う。 4/22(火)5限 S204 (担当：奥村)	
	第4回	Unit 4: Back Pain: リーディングテキストに関して、Vocabulary Check, Vocabulary Practice, Comprehensionを行い、Coffee Breakなどの話題で授業担当と英語でインタラクションを行う。 4/29(火)5限 S204 (担当：奥村)	
	第5回	Unit 5: Risky Aspirin?: リーディングテキストに関して、Vocabulary Check, Vocabulary Practice, Comprehensionを行い、Coffee Breakなどの話題で授業担当と英語でインタラクションを行う。 5/6(火)5限 S204 (担当：奥村)	
	第6回	Unit 6: New Trends in Controlling Cancer: リーディングテキストに関して、Vocabulary Check, Vocabulary Practice, Comprehensionを行い、Coffee Breakなどの話題で授業担当と英語でインタラクションを行う。 5/13(火)5限 S204 (担当：奥村)	
	第7回	Unit 7: Hyaluric Acid: リーディングテキストに関して、Vocabulary Check, Vocabulary Practice, Comprehensionを行い、Coffee Breakなどの話題で授業担当と英語でインタラクションを行う。 5/20(火)5限 S204 (担当：奥村)	
	第8回	Unit 8: A Promising Treatment for Alzheimer's: リーディングテキストに関して、Vocabulary Check, Vocabulary Practice, Comprehensionを行い、Coffee Breakなどの話題で授業担当と英語でインタラクションを行う。 5/27(火)5限 S204 (担当：駒井)	
	第9回	Unit 9: Like Between Diet and Brain: リーディングテキストに関して、Vocabulary Check, Vocabulary Practice, Comprehensionを行い、Coffee Breakなどの話題で授業担当と英語でインタラクションを行う。 6/3(火)5限 S204 (担当：駒井)	
	第10回	Unit 10: Vaping Boom among Teens: リーディングテキストに関して、Vocabulary Check, Vocabulary Practice, Comprehensionを行い、Coffee Breakなどの話題で授業担当と英語でインタラクションを行う。 6/10(火)5限 S204 (担当：駒井)	
	第11回	Unit 11: Vehicle for Drug Delivery: リーディングテキストに関して、Vocabulary Check, Vocabulary Practice, Comprehensionを行い、Coffee Breakなどの話題で授業担当と英語でインタラクションを行う。 6/17(火)5限 S204 (担当：駒井)	
	第12回	Unit 12: Multimorbidity vs. Quality of Life: リーディングテキストに関して、Vocabulary Check, Vocabulary Practice, Comprehensionを行い、Coffee Breakなどの話題で授業担当と英語でインタラクションを行う。 6/24(火)5限 S204 (担当：駒井)	
	第13回	Unit 13: Save the Planet Diet: リーディングテキストに関して、Vocabulary Check, Vocabulary Practice, Comprehensionを行い、Coffee Breakなどの話題で授業担当と英語でイン	

	<p>タラクションを行う。 7/1(火)5限 S204 (担当：駒井)</p> <p>第14回 Unit 14: Edible Insects: リーディングテキストに関して、Vocabulary Check, Vocabulary Practice, Comprehensionを行い、Coffee Breakなどの話題で授業担当と英語でインタラクションを行う。 7/8(火)5限 S204 (担当：駒井)</p> <p>第15回 Unit 15: Medical Comics: リーディングテキストに関して、Vocabulary Check, Vocabulary Practice, Comprehensionを行い、Coffee Breakなどの話題で授業担当と英語でインタラクションを行う。 7/15(火)5限 S204 (担当：駒井)</p>
教科書	吉岡 みのりほか『Caregiver Renewed 今求められる医療と看護』朝日出版社 2021年
参考図書	1. 平野美津子、菱田治子「看護師たまごの英語40日間トレーニングキット ワークブック 実践編 KIT2」アルク
予習・復習内容	教科書による当該授業の予習・復習
成績評価方法	授業中のパフォーマンス50%、期末試験50%
履修上の注意	ペアワークや教員とのインタラクションに積極的に参加し、英語による自己表現に努めてください。
担当教員への連絡方法	E-mail: okumura.nobuhiko@shitoku.ac.jp、komai.kengo@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	なし
実務経験と授業科目の関連性	なし
指定規則の位置付け	<p>理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1 (理学療法士課程) 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解 別表2 (作業療法士課程) 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解</p> <p>保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3 (看護師課程) 人間と生活・社会の理解</p>

講義科目名称： ハングル(リハ)

授業コード： 1505A

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	選択
担当教員			
高橋 比紗子			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	ハングルは朝鮮半島を中心に話されている言葉で、文法や単語など日本語と共通する部分の多い言語である。そのため日本人にとって最も簡単で学びやすい外国語と言われている。ハングルの文字や仕組みや発音、基礎的な文法を習得した上で、最終的には日常的な会話が可能になるレベルを目指す。多くの学生に発言する機会を与え、対話形式で進めていくことで、積極的に授業に参加できる環境づくりを目指す。
学修目標	1. 異文化言語に興味を持つ 2. 簡単な挨拶や会話ができる
授業計画	<p>第1回 韓国語について・ハングル文字の仕組み・基本母音 9/24(水)2限 大講義室 (担当：高橋)</p> <p>第2回 基本子音 10/1(水)2限 大講義室 (担当：高橋)</p> <p>第3回 複合母音・パッチム 10/8(水)2限 大講義室 (担当：高橋)</p> <p>第4回 基本母音子音復習・簡単な挨拶・日本語のハングル表記 10/15(水)2限 大講義室 (担当：高橋)</p> <p>第5回 発音の変化・基礎編終了 10/22(水)2限 大講義室 (担当：高橋)</p> <p>第6回 リスニング強化 (DVD) 10/29(水)2限 大講義室 (担当：高橋)</p> <p>第7回 自己紹介・助詞「～は」「です」「ですか」 11/5(水)2限 大講義室 (担当：高橋)</p> <p>第8回 否定形「～ではありません」助詞「～が」 11/12(水)2限 大講義室 (担当：高橋)</p> <p>第9回 用言 (動詞・形容詞) 11/19(水)2限 大講義室 (担当：高橋)</p> <p>第10回 数詞 (漢数詞) 「日にち」「曜日」など 11/26(水)2限 大講義室 (担当：高橋)</p> <p>第11回 数詞 (固有数詞) 「時間」「年齢」など 12/3(水)2限 大講義室 (担当：高橋)</p> <p>第12回 リスニング強化 (DVD) 12/10(水)2限 大講義室 (担当：高橋)</p> <p>第13回 指定詞・存在詞 12/17(水)2限 大講義室 (担当：高橋)</p> <p>第14回 丁寧な語尾の作り方 12/24(水)2限 大講義室 (担当：高橋)</p> <p>第15回 復習 1/7(水)2限 大講義室 (担当：高橋)</p>
教科書	プリントを配布する。
参考図書	参考書は指定しない。
予習・復習内容	授業で配布されるプリントに目を通すこと。
成績評価方法	期末試験60%、授業内レポート20%、課題20%
履修上の注意	学習意欲を持って臨むこと。
担当教員への連絡方法	本館事務室に伝言すること。
授業に関する大学教員以外の実務経験	なし
実務経験と授業科目の関連性	なし

指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容			
	別表1 (理学療法士課程)	科学的思考の基盤	人間と生活	社会の理解
	別表2 (作業療法士課程)	科学的思考の基盤	人間と生活	社会の理解

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	選択
担当教員			
張 淑華			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	中国語の基礎（発音や文法）を理解し身につけ、中国語による簡単且つ実用的な会話ができるようになることを目指す。そして、医療現場において簡単な会話により患者さんとのコミュニケーションがとれ、それがより積極的な仕事に役立つことを目標とする。 グローバル化が進むことにより、多文化との共生や異文化に対する理解を深める必要が高まっている今日、中国語を学ぶことによって併せて中国文化を理解し、医療現場において増大するニーズに積極的に応える能力を培うことが期待される。 中国語は日本語と共通の漢字が沢山あり、日本語の話者にとっては比較的取り掛かり易い言語である。また日本語との違いについて学ぶことで中国文化への理解を深めることができる。
学修目標	1. 中国語の基礎を学び、ある程度の知識を身につけることができる 2. 自己紹介、挨拶表現、医療現場に活用できる会話、道案内等を学び、今後の仕事や旅行等に活用できる 3. 伝統文化の紹介等を通して、中国文化への理解を深め、コミュニケーションがとれる
授業計画	第1回 中国と中国語（漢字の相違比較等）について、指数字等 9/24(水)2限 201 (担当：張) 第2回 基礎発音（母音）や声調等 10/1(水)2限 201 (担当：張) 第3回 基礎発音（子音）や挨拶表現等① 10/8(水)2限 201 (担当：張) 第4回 人体各部の名称や歌等① 10/15(水)2限 201 (担当：張) 第5回 数字の数え方や特徴、中国の貨幣（P82）等② 10/22(水)2限 201 (担当：張) 第6回 初対面の挨拶表現や自己紹介の言い方等②③ 10/29(水)2限 201 (担当：張) 第7回 家族親戚関係の言い方等③ 11/5(水)2限 201 (担当：張) 第8回 病院内や道のご案内、リハビリ現場にて活用できる会話等④ 11/12(水)2限 201 (担当：張) 第9回 医者にかかる時の会話④、趣味等（P80） 11/19(水)2限 201 (担当：張) 第10回 賛美と謙遜の表現等⑤ 11/26(水)2限 201 (担当：張) 第11回 基礎文法のまとめ、新年の挨拶や歌等⑤ 12/3(水)2限 201 (担当：張) 第12回 時間の表現等⑥ 12/10(水)2限 201 (担当：張) 第13回 漢詩の朗読や料理についての表現等⑥⑦ 12/17(水)2限 201 (担当：張) 第14回 買い物の値段交渉等⑦ 12/24(水)2限 201 (担当：張) 第15回 今期で学んだ内容についてのまとめ、質疑応答、自己紹介のチェック 1/7(水)2限 201 (担当：張)
教科書	張淑華 著 「日常会話で学ぶ初級中国語」 ほおずき書籍
参考図書	作成資料（配布）、日中辞典、中日辞典等
予習・復習内容	毎回復習すること。
成績評価方法	筆記試験80%、口頭試験20%
履修上の注意	教科書や作成資料等を持参して出席すること。
担当教員への連絡方法	初回授業時に通知する。
授業に関する大学教員以外の実務経	なし

験	
実務経験と授業科目の関連性	なし
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解 別表2（作業療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	選択
担当教員			
マナベ バージニア			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	<p>スペイン語は現在、世界の20カ国の公用語として使用されている。スペイン及びメキシコやコスタリカ等の中央アメリカと南米、赤道ギニアとアメリカ合衆国でも話されている地域がある。スペイン語には母音が日本語と同じようにa、e、i、o、uと五つあり、発音は日本語に近く読み方もアルファベット通りであるため、日本人にとっては学びやすい言語である。この科目では基本的な文法と簡単なコミュニケーション能力の習得をめざす。</p> <p>ビデオ映像も利用しつつ基本的スペイン語能力を獲得し、異文化理解に基づき国際感覚を育成することをめざす。</p> <p>言葉の歴史的背景やそれぞれの国々の文化を学び、人生を豊かにする。</p>
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. スペイン語圏の文化や考え方を理解し、国際感覚を持つことをできるようにする 2. スペイン語での日常コミュニケーションができるようになる 3. 自己紹介から始め、大学や家での日々の生活について、正しいスペイン語を使って口頭でも筆記でも表現できるようになる 4. 基本的文法の習得(具体的には受信だけではなく発信にも使えるような文法力の習得)を目的とし、日常会話も取り入れて練習する 5. スペイン語圏の国々の文化的背景に触れながら進める
授業計画	<p>第1回 ガイダンス、スペイン語はどんな言語 アルファベットの読み方①：発音 9/25(木)5限 大講義室(担当：マナベ)</p> <p>第2回 アルファベットの読み方②：アクセントの位置 数字(1～10)・色・果物・挨拶 10/2(木)5限 大講義室(担当：マナベ)</p> <p>第3回 主格人称代名詞 ser動詞 国名(言語・国籍) 職業 簡単な自己紹介 10/9(木)5限 大講義室(担当：マナベ)</p> <p>第4回 出身、国籍、職業を表す表現(女性形・複数形) 「どこの出身ですか」「学生ですか」 10/16(木)5限 大講義室(担当：マナベ)</p> <p>第5回 名詞の性と数 冠詞・形容詞の性数一致 身近な名詞 10/23(木)5限 大講義室(担当：マナベ)</p> <p>第6回 所有形容詞 家系図・スペイン語圏の人の名前 「私の家族 Mi familia」 10/30(木)5限 大講義室(担当：マナベ)</p> <p>第7回 estar動詞：人やものの所在 「どこにいますか」 11/6(木)5限 大講義室(担当：マナベ)</p> <p>第8回 estar動詞：状態を表す表現 「お元気ですか」 11/13(木)5限 大講義室(担当：マナベ)</p> <p>第9回 時刻・日付の表現 「何時ですか」 数字(11～100) 11/20(木)5限 大講義室(担当：マナベ)</p> <p>第10回 規則動詞活用(直説法現在形) 「日本語を話しますか」 11/27(木)5限 大講義室(担当：マナベ)</p> <p>第11回 規則動詞活用(直説法現在形) 「どこに住んでいますか」 12/4(木)5限 大講義室(担当：マナベ)</p> <p>第12回 不規則動詞活用(直説法現在形) ir動詞「奈良へ行きます」 自己紹介作文 12/11(木)5限 大講義室(担当：マナベ)</p> <p>第13回 不規則動詞活用(直説法現在形) tener動詞 「私は19歳です」「熱があります」 12/18(木)5限 大講義室(担当：マナベ)</p> <p>第14回 gustar動詞「私は音楽が好きです」 クリスマスの過ごし方 12/25(木)5限 大講義室(担当：マナベ)</p> <p>第15回 全体のまとめ 自己紹介の発表 1/8(木)5限 大講義室(担当：マナベ)</p>
教科書	教科書は使用しない。授業プリントを配布する。
参考図書	Tsuzumi Naoya「プログレッシブスペイン語辞典第2版 カレッジエディション」(2016) 小学館
予習・復習内容	各授業には予習と復習をして臨むこと。毎回授業の終了時に課題を提示する。
成績評価方法	期末試験：50%、小テスト・単語テスト：30%、提出物：20%
履修上の注意	各回の授業に課題を課す。提出はTeams経由で行う。提出期限は厳守すること。

担当教員への連絡方法	e-mail: manabe.virginia@shitoku-st.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	なし
実務経験と授業科目の関連性	なし
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解 別表2（作業療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解

講義科目名称： 生命倫理

授業コード： 23600

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	看護3年/保健2年	1単位	看護学部 必修/保健科学部 選択
担当教員			
宮島 光志			
年間授業回数：8回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	生命倫理が成立した背景や発展の歴史を学び、臨床現場での倫理的葛藤に関する事例検討により、医療行為の倫理的要件を理解する。 生命倫理の基本となる「人権」や「人間の尊厳」について理解を深め、人間性が豊かで創造性に富んだ思考能力と態度を身につける。
学修目標	1. 生命倫理学（医療倫理）に関する基本的な概念や理論を正確に把握し、説明できるようになる 2. 誕生と死をめぐる倫理的な諸問題について、その背景と本質を具体的に指摘できるようになる 3. 理論とアプローチ方法に基づいて、倫理的問題の調整役としての要件を説明できるようになる
授業計画	第1回 (導入) 医療プロフェッショナルリズム 5/28(水)3限 S300 (担当：宮島) 第2回 (歴史1) 倫理思想と人権思想の歩み 6/4(水)3限 S300 (担当：宮島) 第3回 (歴史2) 生命倫理と研究倫理の歩み 6/11(水)3限 S300 (担当：宮島) 第4回 (体系1) 生命倫理の四原則と15原則 6/18(水)3限 S300 (担当：宮島) 第5回 (体系2) 各種規范文書の構成と特色 6/25(水)3限 S300 (担当：宮島) 第6回 (事例1) 生命の誕生と心身の統合性 7/2(水)3限 S300 (担当：宮島) 第7回 (事例2) 人生の終焉と生涯の物語り 7/9(水)3限 S300 (担当：宮島) 第8回 (まとめ) 生命倫理の社会実装とSDGs 7/16(水)3限 S300 (担当：宮島)
教科書	教科書は使用せず、毎時間、プリント（講義スライド、予習用の資料を含む）を配付する。
参考図書	「終わりのない生命の物語3：5つのケースで考える生命倫理」DVD全5巻 丸善出版 （講義内のケーススタディで使用するドラマ教材。図書館で視聴可能。） 盛永・松島・小出（編）「いまを生きるための倫理学」丸善出版
予習・復習内容	毎回の授業終了時に課題を具体的に示します（毎回の講義内容をふり返って要点を整理した上で、次回の予習用資料に即して基礎事項の概要をつかんでおく）。
成績評価方法	定期試験70%、課題30%
履修上の注意	アクティブ・ラーニングを取り入れた授業につき、毎回のケーススタディ（事例検討）に積極的に取り組むこと。
担当教員への連絡方法	初回の授業時にアナウンスする。
授業に関する大学教員以外の実務経験	なし
実務経験と授業科目の関連性	なし
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 保健医療福祉とリハビリテーションの理念 別表2（作業療法士課程） 保健医療福祉とリハビリテーションの理念 保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3（看護師課程） 健康支援と社会保障制度

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	必修
担当教員			
大井 直往、林 かおり、福谷 保、宮脇 利幸、小林 康子、依田 明子、越智 康詞、島崎 謙治、寺島 さつき、熊本 圭吾			
年間授業回数：15回	授業形態：講義	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	病者、患者、障害者、マイノリティ及び健康と病気概念について理解する。また健康増進や病気を引き起こす様々な要因について理解し、人が健康問題を主体的に解決しながら環境に適応して生きてゆくという視点から、個人と集団の意思決定や行動、責任及びソーシャルキャピタルについて考える。さらに保健・医療・福祉に関わる社会の仕組みや課題を理解するとともに、医療専門職の活動内容と役割について理解する。
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 病気の捉え方や定義について理解できる 2. 病気を引き起こす様々な要因について理解できる 3. 健康と病気の社会的格差を理解するとともに、適切な健康支援やソーシャルキャピタルの在り方について学ぶ 4. 医療と経済に関する現状と課題について理解できる 5. 保健・医療・福祉を支える社会の仕組みの概要について理解できる 6. 健康支援の専門職と役割、及び連携の重要性について理解できる
授業計画	<p>第1回 病者、患者、障害者、マイノリティ及び健康と病気、医療の概念 9/30(火)5限 S300 (担当：大井)</p> <p>第2回 病気を引き起こす要因と健康、医療支援専門職の役割 (医師) 10/7(火)5限 S300 (担当：大井)</p> <p>第3回 健康と病気の社会学 (健康格差とグローバルヘルスケア) 10/10(金)3限 S300 (担当：越智)</p> <p>第4回 進化・人類学的視点から見た現代社会の病 10/17(金)3限 S300 (担当：越智)</p> <p>第5回 家族・福祉・医療の社会学 (包括的ケアシステムへ) 10/24(金)3限 S300 (担当：越智)</p> <p>第6回 医療と経済 10/24(金)5限 S300 (担当：島崎)</p> <p>第7回 特別支援教育とマイノリティ (社会モデルを掘り下げる) 10/31(金)3限 S300 (担当：越智)</p> <p>第8回 人間・看護・倫理 (制度論的精神療法の視点から) 11/7(金)3限 S300 (担当：越智)</p> <p>第9回 現代社会とケア・福祉・環境 11/14(金)3限 S300 (担当：越智)</p> <p>第10回 医療・福祉の仕組み 11/18(火)5限 S300 (担当：依田)</p> <p>第11回 医療支援専門職の役割 (言語聴覚士) 11/25(火)5限 S300 (担当：寺島)</p> <p>第12回 医療支援専門職の役割 (看護師・保健師・助産師) 12/2(火)5限 S300 (担当：林、依田、小林康)</p> <p>第13回 医療支援専門職の役割 (理学療法士) 12/9(火)5限 S300 (担当：福谷)</p> <p>第14回 医療支援専門職の役割 (作業療法士) 12/16(火)5限 S300 (担当：宮脇)</p> <p>第15回 医療支援専門職の役割 (社会福祉士)、まとめ 12月 未定 S300 (担当：熊本)</p>
教科書	特に指定しない。
参考図書	適宜紹介する。
予習・復習内容	授業終了時に提示する。
成績評価方法	15回講義のまとめ60%、最終レポート40%
履修上の注意	なし。
担当教員への連絡方法	南館事務室へ伝言する。

授業に関する大学 教員以外の実務経 験	医療関係職としての実務経験がある。
実務経験と授業科 目の関連性	実務経験を踏まえ事例を交えながら科目を展開することができる。
指定規則の位置付 け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 保健医療福祉とリハビリテーションの理念 別表2（作業療法士課程） 保健医療福祉とリハビリテーションの理念 保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（保健師課程） 保健医療福祉行政論 別表3（看護師課程） 健康支援と社会保障制度

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1単位	必修
担当教員			
宮越 幸代、大町 かおり、近藤 優樹			
年間授業回数：8回	授業形態：講義	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	医療にかかわる専門職および多職種等が連携した「専門職連携医療」の基本と原則を学ぶとともに、職種間の意味疎通や医療倫理等についての事例を通して、患者・利用者中心の支援の方法について考える。また、自分が目指す職種およびそれ以外の関係職種についての理解を深め、互いの強みを活かした効果的な連携について考える。
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 専門職連携の意味と医療における専門職連携の意義をその歴史的背景から理解し、医療における専門職連携の機能を発揮するための能力(行動特性)について、コア・コンピテンシーをもとに列挙できる。 2. 自職種の特徴や他職種との対象の共通理解に必要な視点を踏まえ、対象とそのサービスの基本構造を具体的に説明できる。 3. 専門職連携医療における意思疎通の基本と対立の対処を踏まえ効果的な多職種カンファレンスを実施するための方法や態度、リフレクションの考え方を整理して述べるができる。 4. 連携のシミュレーションをもとにチーム形成と対象の課題解決のサイクルに沿ったリフレクションができる。 5. 専門職連携医療における倫理的課題の事例を知り、その解決について専門職連携医療の意義と関連付けて説明できる。
授業計画	<p>第1回 専門職連携医療概論【専門職連携医療の意義、メリットとデメリット、コア・コンピテンシー、多職種カンファレンスの基本】（講義・意見交換） 9/22(月)2限 S300 (担当：宮越)</p> <p>第2回 専門職連携医療における意思疎通①【専門職連携の構造とチーム形成、対立の対処】（講義・意見交換） 9/29(月)2限 S300 (担当：宮越)</p> <p>第3回 専門職連携医療における意思疎通②【問題解決のシミュレーション】（グループワーク） 10/6(月)2限 S300 (担当：宮越)</p> <p>第4回 専門職連携医療における意思疎通③【問題解決のリフレクション】（講義） 10/20(月)2限 S300 (担当：宮越)</p> <p>第5回 自職種と他職種の理解①【対象の共通理解のための構造化と支援計画、専門職連携の実践例および各専門職の特徴と連携の視点】（講義・意見交換） 10/27(月)2限 S300 (担当：宮越)</p> <p>第6回 自職種と他職種の理解②【各専門職による事例解釈と連携方法】（講義） 11/10(月)2限 S300 (担当：宮越、大町、近藤)</p> <p>第7回 自職種と他職種の理解③【各専門職による事例解釈と連携方法】（講義） 日程調整中 S300 (担当：宮越)</p> <p>第8回 医療倫理に基づいた専門職連携医療の意義と方法（意見交換・講義） 11/17(月)2限 S300 (担当：宮越)</p>
教科書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 北島政樹「医療福祉をつなぐ関連職種連携 講義と実習にもとづく学習のすべて」南江堂 2. 篠田道子「チームを成長させる会議・カンファレンス 35のスキル」日本看護協会出版会 他にプリントを配布。
参考図書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大嶋伸雄編「はじめてのIP 連携を学びはじめる人のためのIP入門」協同医書出版社 2018 2. 内山 靖ほか編「リハベリック コミュニケーション論・他職種連携論」医歯薬出版株式会社 2021 3. 大塚真理子ほか編「地域共生社会をつくる 多職種連携・協働のあり方とは」ワールドプランニング 2023 4. 福澤一吉「看護学生が身につけたい論理的に書く・読むスキル」医学書院 2018 5. 河野哲也「レポート・論文の書き方入門 第4版」慶應義塾大学出版会 2018
予習・復習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・指定された事前課題・事後課題がある場合は、指定する期日までに提出すること。また教科書で指定された部分も一読してくること ・自職種の説明やシミュレーションでは、既習科目「健康科学概論」で学んだ内容や資料を常に活用できるように、各自で準備すること ・図書館にはIPWの図書を集めたコーナーが配架されているので、活用すること
成績評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事前課題・事後課題のワークシートの提出および内容 60% 2. グループワーク 40%（一部「ピア評価」を実施）*状況により他の方法に変更する可能性もある <ul style="list-style-type: none"> ・グループワークでは課題を多面的な視点から分析し、意見交換のプロセスも深く省察すること ・ワークシートやグループワークでは学んだ原理原則、実例を引用するなど根拠が明らかでかつ、具体的に説明できること
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・課題においては論理的な文章表現（大学におけるレポート執筆方法の基本）、専門文献の正しい活用・引用方法の手引きとなる資料を手元に準備し、適宜参照しながら力をつける ・自職種と他職種の違いや多様な考え方を知り【表面的な調和】でなく、共に学び、お互いから学び、お互いについて学ぶ積極的な姿勢を期待する。疑問や違和感は率直に表現し、葛藤を超えて連携から得られる成果を意識すること ・内容により授業中に「TEAMS」を使うこともある。各回に必要な準備は各自やグループで注意深く確認すること

担当教員への連絡方法	Email: miyakoshi.sachiyo@shitoku.ac.jp ohmachi.kaori@shitoku.ac.jp kondo.yuuki@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	大町・近藤は病院および福祉施設等での多職種連携医療の経験があり、宮越は臨床や災害派遣および国際協力の現場での多職種連携の協働経験と多職種連携に関連した参考書の分担執筆を担当した経験を持つ。
実務経験と授業科目の関連性	それぞれの専門職経験の中で持つ多職種との専門職連携について、当事者やその重要な人々を含めた具体的な事例をもとに基本的知識を解説し、学ぶことへの関心を高めることができる。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 保健医療福祉とリハビリテーションの理念 別表2（作業療法士課程） 保健医療福祉とリハビリテーションの理念 保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3（看護師課程） 統合分野 看護の統合と実践

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4年	1単位	必修
担当教員			
山本 良彦、大町 かおり、近藤 優樹、鈴木 真理子、田中 高政、松本 あつ子、宮越 幸代、宮脇 利幸、依田 明子			
年間授業回数：15回	授業形態：演習		
添付ファイル			

授業目標	ヒューマンケア論、IPW論、IPW演習Ⅰで学んだことを基に、地域の病院・施設で実際に活躍している保健・医療・福祉に携わる人々の経験談を聞き、様々な場面での援助者間の「連携と統合」における実践上の基盤をつくる。また、専門性の異なる学びをしている学生同士がグループワークを行い、討論・発表を通して専門職連携（チーム医療）について理解を深める。
学修目標	1. 保健・医療・福祉に携わる人々と直接関わり、多職種連携の実例に触れる 2. 専門職の役割を理解し説明できる 3. 専門職による連携の内容とその必要性を説明できる
授業計画	<p>第1回 科目オリエンテーション① 4/7(月)1限 講堂 (担当：山本 他)</p> <p>第2回 科目オリエンテーション② 4/7(月)2限 講堂 (担当：山本 他)</p> <p>第3回 科目オリエンテーション③ 4/7(月)3限 講堂 (担当：山本 他)</p> <p>第4回 回復期医療における専門職連携の実際① 4/14(月)1限 講堂 (担当：山本 他)</p> <p>第5回 回復期医療における専門職連携の実際② 4/14(月)2限 講堂 (担当：山本 他)</p> <p>第6回 回復期医療における専門職連携の実際③ 4/14(月)3限 講堂 他 (担当：山本 他)</p> <p>第7回 回復期医療における専門職連携の実際④ 4/14(月)4限 講堂 他 (担当：山本 他)</p> <p>第8回 総合病院における専門職連携の実際① 4/21(月)1限 講堂 (担当：山本 他)</p> <p>第9回 総合病院における専門職連携の実際② 4/21(月)2限 講堂 (担当：山本 他)</p> <p>第10回 総合病院における専門職連携の実際③ 4/21(月)3限 講堂 他 (担当：山本 他)</p> <p>第11回 総合病院における専門職連携の実際④ 4/21(月)4限 講堂 他 (担当：山本 他)</p> <p>第12回 災害医療における専門職連携の実際① 4/28(月)1限 講堂 (担当：山本 他)</p> <p>第13回 災害医療における専門職連携の実際② 4/28(月)2限 講堂 (担当：山本 他)</p> <p>第14回 災害医療における専門職連携の実際③ 4/28(月)3限 講堂 他 (担当：山本 他)</p> <p>第15回 災害医療における専門職連携の実際④ 4/28(月)4限 講堂 他 (担当：山本 他)</p>
教科書	必要に応じて資料、ワークブックを配付する。
参考図書	水本清久ほか：実践チーム医療論、実際と教育プログラム、医歯薬出版 北島政樹：医療福祉をつなぐ関連職種連携、南江堂 篠田道子：チームの連携力を高めるカンファレンスの進め方、日本看護協会出版会
予習・復習内容	ヒューマンケア論、IPW論、IPW演習Ⅰにおいて学んだ内容を再確認しておくこと。
成績評価方法	レポート内容（100%）
履修上の注意	保健科学部と看護学部の学生が合同でグループワークを行う。専門性の異なる学びをしている学生がグループワークの過程を通して学部・学科を超えた関係性を構築することも目的の一つとしている。積極的に講義に参加し、互いの専門性に理解を深めることを望む。
担当教員への連絡方法	E-mail: yamamoto.yoshihiko@shitoku.ac.jp
授業に関する大学	理学療法士として臨床経験あり。

教員以外の実務経験	
実務経験と授業科目の関連性	多職種連携演習等、類似及び関連科目を担当。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 保健医療福祉とリハビリテーションの理念 別表2（作業療法士課程） 保健医療福祉とリハビリテーションの理念 保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3（看護師課程） 統合分野 看護の統合と実践

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1単位	必修
担当教員			
上月 康弘			
年間授業回数：8回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	大学で作成するよい文章とはどのような文章か。そもそも言葉は必要なのか。そのような根本的なことを常に意識しながら、日本語にまつわる話をし、よき日本語が使えるようになることを目指す。古今の代表的な文章を読み、どのような文体、どのような表現が効果的なのか、を考え、実際に文章を書いてみる。また、日本語の文字、文法など具体的な知見を得る。
学修目標	1. 目的に応じて適切な表現を用いた文章が書けるようになる 2. 様々な種類の文章を読解できるようになる 3. 学術的なレポートや小論文が書けるようになる
授業計画	<p>第1回 課題論述型小論文を書く—素材を集める、設計図を作る、ルールに則って書く— 4/7(月)5限 S300 (担当：上月)</p> <p>第2回 読みやすい文章を書く (1) —書き言葉の特徴を知る、表記を工夫する— 4/14(月)5限 S300 (担当：上月)</p> <p>第3回 文章読解型小論文を書く—文章を縮約する— 4/21(月)5限 S300 (担当：上月)</p> <p>第4回 読みやすい文章を書く (2) —文章構成を考える、語彙・文法に注意する— 4/28(月)5限 S300 (担当：上月)</p> <p>第5回 自説に他者の意見を織り込む—引用の仕方・参考文献の書き方を知る— 5/12(月)5限 S300 (担当：上月)</p> <p>第6回 読みやすい文章を書く (3) —情報を収集し、整理する— 5/19(月)5限 S300 (担当：上月)</p> <p>第7回 レポートの作成と推敲 6/2(月)5限 S300 (担当：上月)</p> <p>第8回 まとめ 6/9(月)5限 S300 (担当：上月)</p>
教科書	<p>上月康弘『大学1年生のためのレポート作成基礎講座—アカデミック・ライティングへの招待—』 トリアーデ刊 2024年</p> <p>https://triade-book.com/item-details/47 上記サイトより、電子書籍を購入してください。第1回の授業にて詳述します。</p>
参考図書	<p>1. 戸田山和久『最新版 論文の教室 レポートから卒論まで』NHK出版 2022年</p> <p>2. 石黒圭『論文・レポートの基本』日本実業出版社 2024年</p>
予習・復習内容	配布プリントや返却した答案・課題は、必ず内容を確認すること。
成績評価方法	課題50%、最終レポート50%
履修上の注意	執筆された課題文章を授業内で公表し、教材として用いる場合がある。レポート執筆の演習を中心に おこなうので、PCを持参すること。
担当教員への連絡方法	初回授業時にアナウンスします。
授業に関する大学教員以外の実務経験	公立小学校、国立附属小学校の教諭として勤務した。
実務経験と授業科目の関連性	アカデミックライティングの重要性と書くための視点について、実践的な活動をとおして学ぶ。
指定規則の位置付け	<p>理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容</p> <p>別表1 (理学療法士課程) 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解</p> <p>別表2 (作業療法士課程) 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解</p>

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位	必修
担当教員			
松岡 謙晶			
年間授業回数：15回	授業形態：演習		
添付ファイル			

授業目標	<p>コンピュータを操作し必要な情報を得て目指す作業を行う知識と能力、いわゆる「情報リテラシー」は、リハビリテーションの分野においても臨床や研究を進める上で(報告書の作成、臨床データの集計、症例や研究の発表等)今や必須である。</p> <p>この科目では、コンピュータの利用が、主体的かつ安全にできるようになることを目的とする。まずインターネットを介し収集・発信する情報を、適切かつ安全に利用し運用するために必要となる基礎的な知識について学習し、大学での学修と今後の活動に活用できることを目標とする。</p> <p>次に、コンピュータで行う頻度が極めて高い文書作成・表計算・プレゼンテーションの基礎について、事実上の業界標準となっているソフトウェアMicrosoft社のWord、Excel、PowerPointの基本的な使い方を中心に、実習形式で学習する。</p>
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータやインターネットを利用する上での基本的な注意事項が理解できる 2. インターネットなどを利用して情報を集めることができる 3. コンピュータなどを利用して基礎的な数値データの処理や保健指標について理解できる 4. コンピュータなどを利用して文書やプレゼンテーション資料などが作成できる
授業計画	<p>第1回 コンピュータの基礎、Windowsの基本操作 4/9(水)3限 コミュニティールーム (担当：松岡)</p> <p>第2回 インターネット、Web、電子メールの基礎 4/16(水)3限 コミュニティールーム (担当：松岡)</p> <p>第3回 情報安全管理の基礎 4/23(水)3限 コミュニティールーム (担当：松岡)</p> <p>第4回 情報運用のモラルの基礎 4/30(水)3限 コミュニティールーム (担当：松岡)</p> <p>第5回 Wordの基本操作 5/7(水)3限 コミュニティールーム (担当：松岡)</p> <p>第6回 Excelの基本操作 5/14(水)3限 コミュニティールーム (担当：松岡)</p> <p>第7回 PowerPointの基本操作 5/21(水)3限 コミュニティールーム (担当：松岡)</p> <p>第8回 プレゼンテーションのテーマ検討 6/4(水)3限 コミュニティールーム (担当：松岡)</p> <p>第9回 発表準備と練習 6/11(水)3限 コミュニティールーム (担当：松岡)</p> <p>第10回 グループの発表 (1) 6/18(水)3限 コミュニティールーム (担当：松岡)</p> <p>第11回 グループの発表 (2) 6/25(水)3限 コミュニティールーム (担当：松岡)</p> <p>第12回 グループの発表 (3) 7/2(水)3限 コミュニティールーム (担当：松岡)</p> <p>第13回 グループの発表 (4) 7/9(水)3限 コミュニティールーム (担当：松岡)</p> <p>第14回 グループの発表 (5) 7/16(水)3限 コミュニティールーム (担当：松岡)</p> <p>第15回 まとめ 7/23(水)3限 コミュニティールーム (担当：松岡)</p>
教科書	なし
参考図書	イチからしっかり学ぶ! Office基礎と情報モラル noa出版
予習・復習内容	毎回の授業前に関連知識について予習と復習をしておくこと。
成績評価方法	グループ発表50%、レポート課題50%
履修上の注意	パソコンを持参して受講することが望ましい。PowerPointを用いてプレゼンテーション資料を作成し、作成した資料を使い口頭発表を行う課題を課すので、Word、Excel、PowerPointの基本的な使い方を習得することが求められる。

担当教員への連絡方法	本館事務室に連絡
授業に関する大学教員以外の実務経験	なし
実務経験と授業科目の関連性	なし
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解 別表2（作業療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位	選択
担当教員			
能勢 桂介			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	人は大昔から愛や友情、男女関係、正義、美、生き方について考えていて、この営みは2500年前には哲学／倫理学といわれるようになった。さらに200年ぐらい前にはフランス革命が起こり、人類は「自由・平等」な社会を目指し始めた。しかし、自由だと自分のことを優先して他者を傷つけたり、社会がまとまらなかったり、「どのように自由を生きていいか」分からなくなるなどの問題が噴出してきた。これに対して、倫理学はどのように取り組んできたのか紹介し、受講者と議論する。
学修目標	1. 「倫理学」の基本的な思考法を身につける 2. 近代社会の基礎にある自由と平等について理解を深める 3. 自分なりの考えを表明し、意見の違いを深めるための議論の技能を身につける
授業計画	<p>第1回 はじめに——友だち、恋人、学校などで日々“倫理している”私たち 4/11(金)2限 201 (担当：能勢)</p> <p>第2回 哲学的思考の原型——皮肉な対話者・ソクラテス 4/18(金)2限 201 (担当：能勢)</p> <p>第3回 自由・平等の感覚——福沢諭吉 4/25(金)2限 201 (担当：能勢)</p> <p>第4回 人権文章を読む①——世界人権宣言、日本国憲法 5/2(金)2限 201 (担当：能勢)</p> <p>第5回 人権文章を読む②——人権を疑ってみる 5/9(金)2限 201 (担当：能勢)</p> <p>第6回 自由平等な社会を創る①——基本原理 (ホッブス、ロック) 5/16(金)2限 201 (担当：能勢)</p> <p>第7回 自由平等な社会を創る②——市場経済 (アダム・スミス) 5/23(金)2限 201 (担当：能勢)</p> <p>第8回 自由平等な社会を創る③——社会権 (ホブハウス、ロールズ) 6/6(金)2限 201 (担当：能勢)</p> <p>第9回 自由を生きる① 基本原理—— (漱石、ヘーゲル) 6/13(金)2限 201 (担当：能勢)</p> <p>第10回 自由を生きる② その困難—— (キルケゴール、ニーチェ) 6/20(金)2限 201 (担当：能勢)</p> <p>第11回 自由を生きる③ 孤独—— (ケア倫理) 6/27(金)2限 201 (担当：能勢)</p> <p>第12回 マイノリティ①多様性と基本的な論点 7/4(金)2限 201 (担当：能勢)</p> <p>第13回 マイノリティ②障がい・古い 7/11(金)2限 201 (担当：能勢)</p> <p>第14回 マイノリティ③生命倫理 7/18(金)2限 201 (担当：能勢)</p> <p>第15回 おわりに——振り返って、議論し、講義の理解を深める 7/25(金)2限 201 (担当：能勢)</p>
教科書	とくに指定しない
参考図書	1. 金泰明『人権は二つの顔をもつ』トランスビュー、2014年 2. 山竹伸二『「認められたい」の正体——承認不安の時代』講談社現代新書、2011年
予習・復習内容	事前に配布するレジュメ、文章を予め読んで、意見・質問を考えておくこと。
成績評価方法	授業時のコメント50%、期末試験(小論文)50%
履修上の注意	対話的に講義を進めるので、疑問をどんどんぶつけてほしい。
担当教員への連絡方法	講義時に直接教員に連絡するか、事務室に伝言してください。
授業に関する大学教員以外の実務経	なし

験	
実務経験と授業科目の関連性	なし
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解 別表2（作業療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位	選択
担当教員			
阿久津 昌三			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	文化人類学は、自己と他者、自文化と他文化との差異を探求しながら、エスノセントリズムの発想を脱して、自文化と他文化を理解しようとする学問である。異文化を理解するために参与観察とよばれる調査方法で研究をしてきた。この意味で文化人類学は質的研究の源流に位置すると言ってもよいだろう。ここでは医療分野の実践者にとって必須となる質的研究の方法について学ぶ。
学修目標	1. 文化人類学の知見から異文化理解のひとつの方法—特に、質的研究の方法を学ぶ 2. 質的研究の方法を学び、人々の話を聞き、行動を観察しながら記録し、医療にかかわる行為のバックグラウンドとなる文化とは何かを知る 3. ローカルな／グローバルな医療活動に携わるときに必要な質的研究の知の技法を学ぶ 4. 医療を多様な角度からとらえなおす質的研究の最前線を学ぶ
授業計画	<p>第1回 質的研究とは何か① 4/7(月)3限 201 (担当：阿久津)</p> <p>第2回 質的研究とは何か② 4/14(月)3限 201 (担当：阿久津)</p> <p>第3回 方法論は経験に宿る。 4/21(月)3限 201 (担当：阿久津)</p> <p>第4回 <私>と<対象>を問い直す。 4/28(月)3限 201 (担当：阿久津)</p> <p>第5回 あなたはどのような立場で質的研究にのぞむのか。 5/12(月)3限 201 (担当：阿久津)</p> <p>第6回 研究とは、問題の種を見つけ、ふさわしい方法で育てること。 5/19(月)3限 201 (担当：阿久津)</p> <p>第7回 質的研究のコツ①、質的研究のコツ② 6/2(月)3限 201 (担当：阿久津)</p> <p>第8回 問題を見つけるには、「相対化」の視点が必要となる。 6/9(月)3限 201 (担当：阿久津)</p> <p>第9回 質的研究のコツ③ 6/16(月)3限 201 (担当：阿久津)</p> <p>第10回 データは持ち歩き、くりかえしくりかえし見る。 6/23(月)3限 201 (担当：阿久津)</p> <p>第11回 質的研究のコツ④ 6/30(月)3限 201 (担当：阿久津)</p> <p>第12回 フィールドは予定どおりには進まない。だからこそ、フィールドで見聞きすることは 正確に記録する。 7/7(月)3限 201 (担当：阿久津)</p> <p>第13回 質的研究のコツ⑤ 7/14(月)3限 201 (担当：阿久津)</p> <p>第14回 当事者の切実さを忘れない。なおかつ当事者と異なる視点を忘れない。 7/21(月)3限 201 (担当：阿久津)</p> <p>第15回 アブダクティブな発想は大きな学問的発展をもたらす。 7/28(月)3限 201 (担当：阿久津)</p>
教科書	波平恵美子・小田博志:質的研究の方法—いのちの<現場>を読みとく 新装版 春秋社
参考図書	岩田慶治：<わたし>とは何だろう 絵で描く自分発見 講談社現代新書 川喜田二郎・岩田慶治：人類学的宇宙観 講談社現代新書
予習・復習内容	事後課題として基礎知識+αリフレクションシートを配布します。
成績評価方法	課題45%、レポート25%、期末試験30%
履修上の注意	基本的には講義形式であるが、授業のなかで口頭発表の場を設ける。主体的に参加すること。
担当教員への連絡方法	E-mail:sakutsu@shinshu-u.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経	なし

験	
実務経験と授業科目の関連性	なし
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解 別表2（作業療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	必修
担当教員			
鈴木 由美子			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	<p>リハビリテーションは、高齢者、障害児・者、病者、児童などの社会的弱者を対象とし、社会への適応・再適応や社会参加を促すことを目指すものである。そのためリハビリテーションに従事する者は、社会福祉について理解し、福祉専門職と連携して支援を行うことが望まれる。本講義では、生活者として自らの住む社会における福祉の概略を理解し、リハビリテーションを実践する上で理解が望まれる福祉について知ること、を目標とする。</p> <p>なお、日本国の法・制度において、「社会福祉」は社会保障の限られた分野の呼称とされている。本講義では、より広義の社会福祉の観点から、日本の社会保障（国が全ての国民に「健やかで安心した生活」を保障する）の政策、制度・サービスの概観に重きを置いて、社会福祉の概略を学ぶ。</p>
学修目標	<p>1. 日本における社会福祉、社会保障について、概略を述べることができる</p> <p>2. 社会福祉に関わる重要な概念・理念、社会状況について、概略を述べるができる</p>
授業計画	<p>第1回 社会福祉の概念と歴史 9/25(木)1限 コミュニティールーム（担当：鈴木 由美子）</p> <p>第2回 社会保障制度 10/2(木)1限 コミュニティールーム（担当：鈴木 由美子）</p> <p>第3回 子ども家庭福祉（1） 児童福祉制度 10/9(木)1限 コミュニティールーム（担当：鈴木 由美子）</p> <p>第4回 子ども家庭福祉（2） 児童虐待・家庭福祉 10/16(木)1限 コミュニティールーム（担当：鈴木 由美子）</p> <p>第5回 障害者福祉（1） 概念・障害者権利条約 10/23(木)1限 コミュニティールーム（担当：鈴木 由美子）</p> <p>第6回 障害者福祉（2） 障害者福祉制度 10/30(木)1限 コミュニティールーム（担当：鈴木 由美子）</p> <p>第7回 高齢者福祉（1） 高齢者福祉制度 11/6(木)1限 コミュニティールーム（担当：鈴木 由美子）</p> <p>第8回 高齢者福祉（2） 介護保険制度 11/13(木)1限 コミュニティールーム（担当：鈴木 由美子）</p> <p>第9回 年金制度 11/20(木)1限 コミュニティールーム（担当：鈴木 由美子）</p> <p>第10回 低所得者福祉 貧困と生活保護制度 11/27(木)1限 コミュニティールーム（担当：鈴木 由美子）</p> <p>第11回 医療福祉 医療保険制度 12/4(木)1限 コミュニティールーム（担当：鈴木 由美子）</p> <p>第12回 精神保健福祉 12/11(木)1限 コミュニティールーム（担当：鈴木 由美子）</p> <p>第13回 雇用保険・労働者災害補償保険 12/18(木)1限 コミュニティールーム（担当：鈴木 由美子）</p> <p>第14回 地域福祉・社会福祉施設・社会福祉従事者 12/25(木)1限 コミュニティールーム（担当：鈴木 由美子）</p> <p>第15回 現代社会の諸問題 1/8(木)1限 コミュニティールーム（担当：鈴木 由美子）</p>
教科書	<p>・鬼崎信好・本郷秀和（編）：コメディカルのための社会福祉概論 第5版、講談社、2023年</p> <p>・講師作成資料（授業時に配布）</p>
参考図書	特になし
予習・復習内容	次回授業までにテキスト等の読了すべき箇所を指示する。授業後に小課題を実施する場合がある。
成績評価方法	期末試験 80%、課題 20%
履修上の注意	進捗により授業内容が前後することがある。授業で配布する資料は後の回の授業でも参照することがある。
担当教員への連絡方法	E-mail:yumiko-suzuki@nagano.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経	社会福祉士資格を有し職能団体の研修講師も務めた。医療機関での職務経験を有する。

験	
実務経験と授業科目の関連性	上記の実務経験から本科目について実践経験に基づく知見を教授することができる。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解 別表2（作業療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	必修
担当教員			
土井 進			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	「学びの3つの柱」を通して、自分がこれまで小・中・高校時代に取り組んできた学習方法を振り返り、学習(勉強)を通してどのような自己形成を成し遂げてきたかを振り返ることができる。大学教育において、将来への目的意識を明確に持ち、主体的に学習・研究する態度を身に付ける。ヒポクラテス、マルクス・アウレリウス、聖徳太子、貝原益軒、二宮尊徳、親鸞、道元、日蓮などの人物が究明した「人間観・教育観」を探究し、医療従事者を志すものとして、高い倫理観を涵養する。		
学修目標	1. 教育学と医学の両面から人間形成について考察し、説明することができる 2. 貝原益軒とヒポクラテスの養生思想を比較し、共通点と相違点について説明することができる		
授業計画	第1回	授業の進め方、小・中・高における学びと大学における学びの違い、人間形成の産屋・家庭教育 9/25(木)4限 コミュニティールーム (担当：土井)	
	第2回	人間らしさを表す「人間性」とは何か。人間性の座である大脳前頭前野が司る「知・情・意」 10/2(木)4限 コミュニティールーム (担当：土井)	
	第3回	「学びの3つの柱」、知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力の育成、学びに向かう力・人間性の涵養 10/9(木)4限 コミュニティールーム (担当：土井)	
	第4回	科学的思考の3つのscience、「物事の帰結」に関する知識、論理的思考(帰納的思考・演繹的思考)の基礎 10/16(木)4限 コミュニティールーム (担当：土井)	
	第5回	学習の原理—直観の原理・自発性(やる気)の原理・内発的動機づけ・練習(ドリル)の原理— 10/23(木)4限 コミュニティールーム (担当：土井)	
	第6回	聖徳太子の「十七条の憲法」にみる他人の「善」を匿す(かくす)ことが人間性の「悪」 10/30(木)4限 コミュニティールーム (担当：土井)	
	第7回	貝原益軒の「醫箴」(いしん)に学ぶ医は仁術、人生を楽しむ『養生訓』、完璧主義から「いささか」へ 11/6(木)4限 コミュニティールーム (担当：土井)	
	第8回	二宮尊徳の実学思想、至誠・勤労・分度・推譲(すいじょう)・「積小為大」(せきしょうだい) 11/13(木)4限 コミュニティールーム (担当：土井)	
	第9回	医学の祖ヒポクラテスの科学的医術「見る・観察する・知る」、『サレルノ養生訓』の中核「自然の食餌法」 11/20(木)4限 コミュニティールーム (担当：土井)	
	第10回	日本人の精神形成、神道・儒教・仏教・キリスト教、親鸞・道元・日蓮にみる「知・情・意」の人間観・教育観 11/27(木)4限 コミュニティールーム (担当：土井)	
	第11回	江戸時代の数学教科書『塵劫記』の「三容器の協力関係」の問題を解き「協力」の真義を考察する 12/4(木)4限 コミュニティールーム (担当：土井)	
	第12回	人間形成における“もの”と“こころ”の相即の妙、物心一如について考える 12/11(木)4限 コミュニティールーム (担当：土井)	
	第13回	幾何学の「田定規」(たじょうぎ)を作図し、科学的思考力・論理的思考力を鍛える 12/18(木)4限 コミュニティールーム (担当：土井)	
	第14回	理学療法士・作業療法士・看護師を目指す学生に求められる「事上錬磨」、大隈重信、失敗から学ぶ 12/25(木)4限 コミュニティールーム (担当：土井)	
	第15回	人間形成に関する自作の小論文問題を設定し、800字で論ずる 1/8(木)4限 コミュニティールーム (担当：土井)	
教科書	土井進ほか 保健医療従事者のための「教育学」 2022 医療タイムス		
参考図書	随時、プリント資料を配する。		
予習・復習内容	1回の授業で教科書の1章分を学ぶ。事前学習は、各章を読んで、最も心に残った箇所を引用し、それについての考察を200字原稿用紙いっぱいにて記述する。事後学習は、事前学習用紙の裏面に記入する。		
成績評価方法	事前学習・事後学習(200字原稿)40%、期末試験(800字小論文のテーマを自作する)60%、の総合評価		

履修上の注意	200字原稿ならびに800字小論文は、丁寧な字で書く。
担当教員への連絡方法	doisusumu@jupiter.ocn.ne.jp へ質問やご意見をお寄せください。
授業に関する大学教員以外の実務経験	社会教育主事補、東京都公立中学校教員、お茶の水女子大学附属中学校教員
実務経験と授業科目の関連性	社会教育と学校教育の実務経験を通して、教育を実践的に学ぶことができた。この経験を活かして「教育学」の授業において、科学的思考・論理的思考の基盤、人間と生活、社会の理解が深まるように、実践と理論の往還を図る講義を展開する。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解 別表2（作業療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	選択
担当教員			
神原 浩			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	医療現場や介護現場でも必要となる物理学の基礎を学ぶ。 特に力学を中心に、物体に働く力や物体の運動、エネルギーの概念を通して、物理現象の見方や考え方を理解することを目標にする。基本的な問題を解くことで、物理法則の適用法を身につけてもらいたい。 また、熱力学や波動、電磁気学の基礎についても触れる。
学修目標	1. 力学の基本概念（運動、運動と力の関係、力学的エネルギー、運動量など）を習得する 2. 熱や波の基本的な性質を理解する 3. 電磁気学の基本概念（電場、電位、電流、磁場など）を習得する
授業計画	<p>第1回 物体の運動①：運動の表し方、等速直線運動、等加速度直線運動 9/22(月)1限 201 (担当：神原)</p> <p>第2回 物体の運動②：自由落下、水平投射、斜方投射の運動 9/29(月)1限 201 (担当：神原)</p> <p>第3回 運動と力の関係：物体に働く力の表し方、力のつり合い、運動の3法則、運動方程式 10/6(月)1限 201 (担当：神原)</p> <p>第4回 圧力と浮力：圧力（大気圧、水压）と浮力の考え方 10/20(月)1限 201 (担当：神原)</p> <p>第5回 剛体のつり合い：重心と力のモーメント 10/27(月)1限 201 (担当：神原)</p> <p>第6回 仕事とエネルギー：仕事、力学的エネルギー保存の法則 11/10(月)1限 201 (担当：神原)</p> <p>第7回 運動量と力積：力積と運動量の変化、運動量保存の法則 11/17(月)1限 201 (担当：神原)</p> <p>第8回 力学のまとめ：これまでのまとめ 12/1(月)1限 201 (担当：神原)</p> <p>第9回 熱：熱エネルギー、熱容量と比熱 12/8(月)1限 201 (担当：神原)</p> <p>第10回 波動：波の基本的な性質、音と光 12/15(月)1限 201 (担当：神原)</p> <p>第11回 静電気：静電気力と電場、電位 12/22(月)1限 201 (担当：神原)</p> <p>第12回 電流と電力：電気回路と電流（オームの法則）、電力 1/5(月)1限 201 (担当：神原)</p> <p>第13回 電流と磁場：電流のつくる磁場、磁場中で電流が受ける力、モーター 1/14(水)1限 201 (担当：神原)</p> <p>第14回 電磁誘導と発電：電磁誘導と発電の仕組み、交流 1/15(木)3限 201 (担当：神原)</p> <p>第15回 まとめ：全体のまとめと復習 1/19(月)1限 201 (担当：神原)</p>
教科書	テキストは印刷して配布する。
参考図書	望月 久、棚橋信雄「PT・OT 臨床につながる物理学」羊土社 時政孝行、栗子 研「まるわかり！基礎物理（改訂2版）」南山堂 高校物理の教科書・参考書
予習・復習内容	高校での「物理基礎」・「物理」の内容と授業で行った演習問題の復習
成績評価方法	期末試験 90%、課題（演習問題）の取り組み 10%
履修上の注意	高校で物理を未履修の場合は、授業の他に高校の教科書・参考書・問題集等を用いて各自でフォローアップを行うこと。分からない箇所については授業中に（もしくはメールで）質問すること。
担当教員への連絡方法	e-mail：kambara@shinshu-u.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	なし

実務経験と授業科目の関連性	なし
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解 別表2（作業療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	必修
担当教員			
松岡 謙晶			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	近年リハビリテーションの分野においても、実証的なデータに基づいたエビデンス(根拠)を示すことが求められるようになってきている。実証的なデータを取り扱う上で、統計学的手法は必須と言える。本講義では、データにより現象を示し、データに基づき仮説を検証する方法である統計的手法について、その基礎を身に付けることを目標とする。実際に簡単なデータを扱い、基礎統計量、統計的検定、相関・回帰分析等の基本を理解する。
学修目標	1. 統計の基本的な用語が理解できる 2. 統計学的手法の考え方の基本が理解できる 3. データから一般的な記述統計量を算出することができる 4. 基礎的な統計解析・検定ができる
授業計画	<p>第1回 統計学の導入 9/24(水)3限 コミュニティールーム (担当：松岡)</p> <p>第2回 度数分布表とヒストグラム 10/1(水)3限 コミュニティールーム (担当：松岡)</p> <p>第3回 平均値 10/8(水)3限 コミュニティールーム (担当：松岡)</p> <p>第4回 分散 10/15(水)3限 コミュニティールーム (担当：松岡)</p> <p>第5回 標準偏差の導入 10/22(水)3限 コミュニティールーム (担当：松岡)</p> <p>第6回 標準偏差の活用 10/29(水)3限 コミュニティールーム (担当：松岡)</p> <p>第7回 標準正規分布 11/5(水)3限 コミュニティールーム (担当：松岡)</p> <p>第8回 一般の正規分布 11/12(水)3限 コミュニティールーム (担当：松岡)</p> <p>第9回 母集団と標本 11/19(水)3限 コミュニティールーム (担当：松岡)</p> <p>第10回 統計的推定の考え方 11/26(水)3限 コミュニティールーム (担当：松岡)</p> <p>第11回 仮説検定の導入 12/3(水)3限 コミュニティールーム (担当：松岡)</p> <p>第12回 仮説検定の活用 12/10(水)3限 コミュニティールーム (担当：松岡)</p> <p>第13回 区間推定の導入 12/17(水)3限 コミュニティールーム (担当：松岡)</p> <p>第14回 区間推定の活用 12/24(水)3限 コミュニティールーム (担当：松岡)</p> <p>第15回 まとめ 1/7(水)3限 コミュニティールーム (担当：松岡)</p>
教科書	小島 寛之 「完全独習 統計学入門」 ダイヤモンド社
参考図書	1. 荒川俊也「Excelによるやさしい統計解析」オーム社 2. 神田善伸「サラっとできる! フリー統計ソフトEZR(Easy R)でカンタン統計解析」オーム社
予習・復習内容	教科書の演習問題を解く。
成績評価方法	期末試験 80%、課題 20%
履修上の注意	授業は、統計学の基礎的な事項の解説が中心となるが、必要に応じて統計解析ソフトウェアの紹介も行う。
担当教員への連絡方法	本館事務室に伝言
授業に関する大学教員以外の実務経験	なし

実務経験と授業科目の関連性	なし
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解 別表2（作業療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	選択
担当教員			
坂口 雅彦			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	高校理科選択制による生物学の知識・理解力の差を補償するとともに、専門医療技術に必要な高度な生物学の理解の前提である基礎的な生物学を理解させることを目標とする。 講義内容は、1) 生体を構成する物質、2) 細胞の構造と機能、3) 人体を構成する組織・器官、4) 発生と遺伝、5) 生命の進化、6) 多様な生命の存在とその意義等を順次解説する。
学修目標	1. 高校での生物基礎、生物を未履修・理解不足な状態からでも、基礎的な生物学の内容を理解できるレベルに到達する 2. 生化学の授業を理解する上で必要な基礎を理解できる 3. 専門医療技術に必要な高度な生物学の理解の前提である基礎的な生物学を理解できる
授業計画	<p>第1回 生物学を学ぶ意義：総論 9/26(金)4限 コミュニティールーム (担当：坂口)</p> <p>第2回 生体を構成する物質：原子、分子、イオン結合、共有結合の基礎的理解 10/3(金)4限 コミュニティールーム (担当：坂口)</p> <p>第3回 生体を構成する物質：炭水化物、脂質、タンパク質、核酸等の概説 10/10(金)4限 コミュニティールーム (担当：坂口)</p> <p>第4回 細胞の構造と機能：細胞内小器官の概説、物質の局在と移動の解説 10/17(金)4限 コミュニティールーム (担当：坂口)</p> <p>第5回 人体を構成する組織・器官：各内臓の役割の解説 10/24(金)4限 コミュニティールーム (担当：坂口)</p> <p>第6回 人体を構成する組織・器官：骨格系、筋系 10/31(金)4限 コミュニティールーム (担当：坂口)</p> <p>第7回 人体を構成する組織・器官：神経系 ニューロンの基本的解説 11/7(金)4限 コミュニティールーム (担当：坂口)</p> <p>第8回 人体を構成する組織・器官：神経系 感覚器の基本的解説と感覚情報処理 (視覚系) 11/14(金)4限 コミュニティールーム (担当：坂口)</p> <p>第9回 人体を構成する組織・器官：神経系 感覚器の基本的解説と感覚情報処理 (聴覚系) 11/21(金)4限 コミュニティールーム (担当：坂口)</p> <p>第10回 人体を構成する組織・器官：神経系 高次脳機能の解説 (多重人格、記憶学習) 11/28(金)4限 コミュニティールーム (担当：坂口)</p> <p>第11回 発生と遺伝：胚発生、脳・神経系の発生分化 12/5(金)4限 コミュニティールーム (担当：坂口)</p> <p>第12回 発生と遺伝：体細胞分裂・減数分裂と染色体の分配の解説 12/12(金)4限 コミュニティールーム (担当：坂口)</p> <p>第13回 発生と遺伝：メンデルの遺伝の法則、連鎖と組換え、遺伝病・ゲノム改変・遺伝子治療の解説 12/19(金)4限 コミュニティールーム (担当：坂口)</p> <p>第14回 生命の進化：藍藻による好気的環境の出現、ミトコンドリア共生説解説他 12/26(金)4限 コミュニティールーム (担当：坂口)</p> <p>第15回 多様な生命の存在とその意義：多種多様な生物と地球環境 1/9(金)4限 コミュニティールーム (担当：坂口)</p>
教科書	教科書は使用しない。プリントを配布
参考図書	参考書は指定しない。
予習・復習内容	授業時にプリントを配布する。プリント内容中の小テストへの解答を次回までに作成してくる。提示された次回テーマについて調べてくる。
成績評価方法	定期試験 70%、小テスト 20%、課題 10%
履修上の注意	なし
担当教員への連絡方法	E-mail biology@shinshu-u.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	なし

実務経験と授業科目の関連性	なし
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解 別表2（作業療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位	選択
担当教員			
帯刀 益夫			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	生化学は、化学的手段によって生命現象を生体内の種々の分子の働きとして解明する学問である。本講義では、私達の身体がどのような物質から成り立ち、それらの物質がどのように生体機能を維持しているかを説明する。 また、特に遺伝子の働きから、細胞、組織などの生体システムがどのような機構で生命の維持に働いているか、さらには、医学全般の基礎を分子レベルで究明する学問となっていることを説明する。生化学講義は3年次の臨床薬理学の講義の理解に役立つので履修が望ましい。
学修目標	1. 私達の身体を作っている化学物質がどのように生体機能を維持しているかを理解できる 2. 遺伝子の働きの原理を理解できる 3. 体の生理的な活動と生化学的な反応や遺伝子の働きを結び付けて理解できる 4. 健康や医療のエビデンスが生化学をベースとしていることを理解できる
授業計画	第1回 生化学序論 -生化学とはどんな学問か- 4/8(火)2限 201 (担当：帯刀) 第2回 栄養の理解と燃料分子の代謝 4/15(火)2限 201 (担当：帯刀) 第3回 生化学の基本分子 タンパク質 4/22(火)2限 201 (担当：帯刀) 第4回 遺伝子の構造と機能 4/29(火)2限 201 (担当：帯刀) 第5回 遺伝子の発現とタンパク質合成 5/6(火)2限 201 (担当：帯刀) 第6回 細胞生物学と生化学の関係 5/13(火)2限 201 (担当：帯刀) 第7回 シグナル伝達 5/20(火)2限 201 (担当：帯刀) 第8回 生体エネルギー論 5/27(火)2限 201 (担当：帯刀) 第9回 糖の代謝 6/3(火)2限 201 (担当：帯刀) 第10回 脂質の代謝 6/10(火)2限 201 (担当：帯刀) 第11回 窒素化合物の代謝 6/17(火)2限 201 (担当：帯刀) 第12回 分子内分泌学 6/24(火)2限 201 (担当：帯刀) 第13回 ヒトの遺伝学 7/1(火)2限 201 (担当：帯刀) 第14回 がんの生物学 7/8(火)2限 201 (担当：帯刀) 第15回 まとめ：健康や医療のエビデンスは生化学にある 7/15(火)2限 201 (担当：帯刀)
教科書	石黒伊三雄・篠原力雄 監修、斉藤邦明 編集 「分かりやすい生化学－疾病と代謝・栄養の理解のために－」ヌーヴェルヒロカワ
参考図書	著者：マイケル・A・リーバーマン、リック・ライナー 監訳：近江谷克裕 訳：芦高恵美子、吉宗一晃 「リーバーマン カラー コア生化学」西村書店
予習・復習内容	なし
成績評価方法	期末試験 70%、 レポート 30%
履修上の注意	細部の知識と全体像を合わせて理解すること。 判らないことがあったらいつでも質問すること。 疑問を感じたことを具体的な質問の形にまとめてみる習慣を身につけること。
担当教員への連絡方法	本館事務室に伝言してください。

授業に関する大学 教員以外の実務経 験	なし
実務経験と授業科 目の関連性	なし
指定規則の位置付 け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解 別表2（作業療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1単位	必修
担当教員			
藤田 育郎			
年間授業回数：15回	授業形態：実験・実習		
添付ファイル			

授業目標	全人的な人間形成に必要な身体運動に関する科学的な知識と、筋・心肺機能についての特性を理解し、それぞれの機能の維持や向上を図るための基本的な知識を身につけ、実技を行う。
学修目標	1. 健康や体力の意義について理解し、それらを維持・向上させるための実践力を身につけることができる 2. 各種の運動を通して、チーム医療に通じるコミュニケーションやチームワークの能力を養うことができる 3. 運動を「指導する立場」を想定し、安全かつ楽しく運動を指導するための視点を理解することができる
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション：授業の進め方等について 9/26(金)1限 講堂 (担当：藤田)</p> <p>第2回 体ほぐしの運動①コミュニケーションゲーム 10/3(金)1限 講堂 (担当：藤田)</p> <p>第3回 体ほぐしの運動②軽快な音楽を使用した運動 10/10(金)1限 講堂 (担当：藤田)</p> <p>第4回 体ほぐしの運動③なわとびを用いた運動 (集団縄跳び, ダブルダッチ) 10/17(金)1限 講堂 (担当：藤田)</p> <p>第5回 ターゲット型球技：ポッチャ① 10/24(金)1限 講堂 (担当：藤田)</p> <p>第6回 ターゲット型球技：ポッチャ② 10/31(金)1限 講堂 (担当：藤田)</p> <p>第7回 ゴール型球技：フロアホッケー① 11/7(金)1限 講堂 (担当：藤田)</p> <p>第8回 ゴール型球技：フロアホッケー② 11/14(金)1限 講堂 (担当：藤田)</p> <p>第9回 ターゲット型球技：ドッジビー 11/21(金)1限 講堂 (担当：藤田)</p> <p>第10回 ゴール型球技：アルティメット① 11/28(金)1限 講堂 (担当：藤田)</p> <p>第11回 ゴール型球技：アルティメット② 12/5(金)1限 講堂 (担当：藤田)</p> <p>第12回 ゴール型球技：ブラインドサッカー① 12/12(金)1限 講堂 (担当：藤田)</p> <p>第13回 ゴール型球技：ブラインドサッカー② 12/19(金)1限 講堂 (担当：藤田)</p> <p>第14回 ネット型球技：シッティングバレーボール 12/26(金)1限 講堂 (担当：藤田)</p> <p>第15回 授業のまとめ 1/9(金)1限 講堂 (担当：藤田)</p>
教科書	適宜資料を配布する。
参考図書	適宜資料を配布する。
予習・復習内容	毎回の授業終了時に予習・復習内容を提示する。
成績評価方法	学期末レポート：100%
履修上の注意	運動に適した靴や服装を準備すること。
担当教員への連絡方法	ifujita@shinshu-u.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	なし
実務経験と授業科目の関連性	なし
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1 (理学療法士課程) 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1単位	必修
担当教員			
藤田 育郎			
年間授業回数：15回	授業形態：実験・実習		
添付ファイル			

授業目標	全人的な人間形成に必要な身体運動に関する科学的な知識と、筋・心肺機能についての特性を理解し、それぞれの機能の維持や向上を図るための基本的な知識を身につけ、実技を行う。
学修目標	1. 健康や体力の意義について理解し、それらを維持・向上させるための実践力を身につけることができる 2. 各種の運動を通して、チーム医療に通じるコミュニケーションやチームワークの能力を養うことができる 3. 運動を「指導する立場」を想定し、安全かつ楽しく運動を指導するための視点を理解することができる
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション：授業の進め方等について 9/26(金)2限 講堂 (担当：藤田)</p> <p>第2回 体ほぐしの運動①コミュニケーションゲーム 10/3(金)2限 講堂 (担当：藤田)</p> <p>第3回 体ほぐしの運動②軽快な音楽を使用した運動 10/10(金)2限 講堂 (担当：藤田)</p> <p>第4回 体ほぐしの運動③なわとびを用いた運動 (集団縄跳び, ダブルダッチ) 10/17(金)2限 講堂 (担当：藤田)</p> <p>第5回 ターゲット型球技：ポッチャ① 10/24(金)2限 講堂 (担当：藤田)</p> <p>第6回 ターゲット型球技：ポッチャ② 10/31(金)2限 講堂 (担当：藤田)</p> <p>第7回 ゴール型球技：フロアホッケー① 11/7(金)2限 講堂 (担当：藤田)</p> <p>第8回 ゴール型球技：フロアホッケー② 11/14(金)2限 講堂 (担当：藤田)</p> <p>第9回 ターゲット型球技：ドッジビー 11/21(金)2限 講堂 (担当：藤田)</p> <p>第10回 ゴール型球技：アルティメット① 11/28(金)2限 講堂 (担当：藤田)</p> <p>第11回 ゴール型球技：アルティメット② 12/5(金)2限 講堂 (担当：藤田)</p> <p>第12回 ゴール型球技：ブラインドサッカー① 12/12(金)2限 講堂 (担当：藤田)</p> <p>第13回 ゴール型球技：ブラインドサッカー② 12/19(金)2限 講堂 (担当：藤田)</p> <p>第14回 ネット型球技：シッティングバレーボール 12/26(金)2限 講堂 (担当：藤田)</p> <p>第15回 授業のまとめ 1/9(金)2限 講堂 (担当：藤田)</p>
教科書	適宜資料を配布する。
参考図書	適宜資料を配布する。
予習・復習内容	毎回の授業終了時に予習・復習内容を提示する。
成績評価方法	学期末レポート：100%
履修上の注意	運動に適した靴や服装を準備すること。
担当教員への連絡方法	ifujita@shinshu-u.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	なし
実務経験と授業科目の関連性	なし
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1 (理学療法士課程) 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1単位	必修
担当教員			
田邊 愛子			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	ヒトの身体がどのような過程を経て大人へと成長していくかを理解することは重要なことである。そこでは単に遺伝的な素質が変容する過程としての変化ではなく、どのように才能を開花させるか、といった視点による発育発達理解が重要となる。 そこで本講義では、基本的な運動生理学を学習したうえで、成人以降の老化と体力や運動能力などの関連を理解するとともに、体力と遺伝的要因や運動の実践の有無など後天的要因との関連についても学習する。
学修目標	1. 健康と運動についての基礎的知識を学ぶ 2. ヒトの発育発達および加齢における身体変化に応じて、幅広い視点から健康に関わる分野を理解する
授業計画	<p>第1回 日本の健康づくりのための運動基準と指針 9/30(火)3限 第1作業療法室 (担当：田邊)</p> <p>第2回 発育発達における各段階での運動処方 10/7(火)3限 第1作業療法室 (担当：田邊)</p> <p>第3回 生活習慣病予防と運動処方 10/14(火)3限 第1作業療法室 (担当：田邊)</p> <p>第4回 ウォーミングアップとストレッチの基礎理論 10/21(火)3限 第1作業療法室 (担当：田邊)</p> <p>第5回 運動と呼吸・循環・骨格筋 10/28(火)3限 第1作業療法室 (担当：田邊)</p> <p>第6回 ロコモティブシンドロームやフレイル予防と運動処方(実践含む) 11/4(火)3限 第1作業療法室 (担当：田邊)</p> <p>第7回 効果的なトレーニングとは 有酸素運動と無酸素運動 (実践含む) 11/11(火)3限 第1作業療法室 (担当：田邊)</p> <p>第8回 レジスタンストレーニングの基礎理論 (実践含む) 11/18(火)3限 第1作業療法室 (担当：田邊)</p> <p>第9回 ウォーキングの理論と実践 (実践含む) 11/25(火)3限 第1作業療法室 (担当：田邊)</p> <p>第10回 エネルギー消費と基礎代謝 12/2(火)3限 第1作業療法室 (担当：田邊)</p> <p>第11回 運動処方における性差 12/9(火)3限 第1作業療法室 (担当：田邊)</p> <p>第12回 体力と遺伝的要因 12/16(火)3限 第1作業療法室 (担当：田邊)</p> <p>第13回 運動時の水分補給と体温調節 12/23(火)3限 第1作業療法室 (担当：田邊)</p> <p>第14回 障害予防のためのコンディショニング概論 1/6(火)3限 第1作業療法室 (担当：田邊)</p> <p>第15回 講義全体のまとめ 1/13(火)3限 第1作業療法室 (担当：田邊)</p>
教科書	授業内で必要に応じてプリント等を配布する。
参考図書	彼末一之、能勢博編集 「やさしい生理学」 南江堂
予習・復習内容	事前課題として授業に適応したプリント等を配布する。
成績評価方法	授業内レポート：10%、期末試験：90%
履修上の注意	実技も含めた授業展開となります。詳細は予め説明を行います。運動のできる服装で臨んでください。
担当教員への連絡方法	事務室を通す。
授業に関する大学教員以外の実務経験	健康運動指導士・ヘルスケアトレーナーとして病院ほかNPO法人等での運動指導経験を有する。
実務経験と授業科目の関連性	幅広い年代への運動について理論と実践と交えて伝えることで、学生にはより深い理解が可能となる。

指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容			
	別表1 (理学療法士課程)	科学的思考の基盤	人間と生活	社会の理解
	別表2 (作業療法士課程)	科学的思考の基盤	人間と生活	社会の理解

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1単位	必修
担当教員			
駒井 健吾、石川 恭子			
年間授業回数：15回	授業形態：講義	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	現代のグローバル社会に医療人として参加していく基盤を形成するために、まず現代社会の様々な課題をデータや資料を基に分析し、意見形成できる基本的な力を身に付ける。リーディングやリスニングを通じて、トピック特有の表現を吸収しながら考察を深め、簡単なディスカッションやライティング課題を通して、吸収した表現を積極的に用いて英語で意見を表明する力を身に付ける。また、ペアでのプレゼンテーションを通して、プレゼンテーション・スキルの習得と共に、協働して1つのタスクを行うスキルも身に付ける。		
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. トピック特有の語彙や表現を学びつつ、本文で展開されている内容を正確に理解するリーディング力を身に付ける 2. 身につけた語彙や表現を積極的に活用しつつ、意見を適切に表明するライティング力を身に付ける 3. ペアで協力しながらプレゼンテーションを行い、オーディエンスを満足させる発表スキルを身に付ける 		
授業計画	第1回	Velc Testを行う。また、授業の進め方、予習・復習の進め方、課題、成績・評価に関するガイダンスを行う。 4/8(火)4限 201/202 (担当：駒井、石川)	
	第2回	Topic 1を読み、固定観念や人種差別について深く考察し、その背景にある要因に思いをめぐらせ、英語で意見交換をする。 4/15(火)4限 201/202 (担当：駒井、石川)	
	第3回	Topic 2を読み、情報や通信について深く考察し、その背景にある資料やデータを把握し、英語で意見交換をする。 4/22(火)4限 201/202 (担当：駒井、石川)	
	第4回	Topic 3を読み、文化やファッションについて深く考察し、その背景にある資料やデータを把握し、英語で意見交換をする。 4/29(火)4限 201/202 (担当：駒井、石川)	
	第5回	Topic 4を読み、食事や健康について深く考察し、その背景に知見やデータを把握する。また、ペア・プレゼンテーションを行う (第1回)。 5/6(火)4限 201/202 (担当：駒井、石川)	
	第6回	Topic 5を読み、フードロスや飢餓について深く考察し、その背景にある要因に思いをめぐらせる。また、ペア・プレゼンテーションを行う (第2回)。 5/13(火)4限 201/202 (担当：駒井、石川)	
	第7回	Topic 6を読み、循環型社会について深く考察し、その背景にある資料やデータを把握する。また、ペア・プレゼンテーションを行う (第3回)。 5/20(火)4限 201/202 (担当：駒井、石川)	
	第8回	Topic 7を読み、地球温暖化について深く考察し、その背景にある資料やデータを把握する。また、ペア・プレゼンテーションを行う (第4回)。 6/3(火)4限 201/202 (担当：駒井、石川)	
	第9回	Topic 8を読み、エネルギー問題について深く考察し、その背景にある資料やデータを把握する。また、ペア・プレゼンテーションを行う (第5回)。 6/10(火)4限 201/202 (担当：駒井、石川)	
	第10回	Topic 9を読み、海洋生態系について深く考察し、人間が生態系に与える影響に思いをめぐらせる。また、ペア・プレゼンテーションを行う (第6回)。 6/17(火)4限 201/202 (担当：駒井、石川)	
	第11回	Topic 10を読み、絶滅危惧種について深く考察し、人間が生態系に与える影響に思いをめぐらせる。また、ペア・プレゼンテーションを行う (第7回)。 6/24(火)4限 201/202 (担当：駒井、石川)	
	第12回	Topic 11を読み、国際関係について深く考察し、国連機関の機能や国際支援に関するデータや資料を把握する。また、ペア・プレゼンテーションを行う (第8回)。 7/1(火)4限 201/202 (担当：駒井、石川)	
	第13回	Topic 12を読み、戦争と平和について深く考察し、その背景にある要因に思いをめぐらせる。また、ペア・プレゼンテーションを行う (第9回)。 7/8(火)4限 201/202 (担当：駒井、石川)	
	第14回	Topic 13を読み、人権及び人権侵害について深く考察し、その背景にある要因に思いをめぐらせる。また、ペア・プレゼンテーションを行う (第10回)。 7/15(火)4限 201/202 (担当：駒井、石川)	
	第15回	Topic 14を読み、地球市民という概念について深く考察し、考察を深める資料やデータを把握し、英語で意見交換をする。 7/22(火)4限 201/202 (担当：駒井、石川)	

教科書	笹島 茂ほか 『CLIL Global Issues 英語で学ぶ国際問題 [改訂版]』 三修社
参考図書	トピックごとに提示する。
予習・復習内容	予習：次のトピックの語彙や文法事項に関して下調べをしておく。 復習：トピックに関連したライティングや和訳の課題を行う。
成績評価方法	課題3点×14回=42点、プレゼンテーション18点、授業中の質疑応答8点、期末試験32点、合計100点。
履修上の注意	ペア活動など、授業中の活動に積極的に参加すること。
担当教員への連絡方法	Teamsもしくはメール (komai.kengo@shitoku.ac.jp) で連絡すること。
授業に関する大学教員以外の実務経験	なし
実務経験と授業科目の関連性	なし
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1 (理学療法士課程) 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解 別表2 (作業療法士課程) 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1単位	必修
担当教員			
駒井 健吾、土屋 信子			
年間授業回数：15回	授業形態：講義	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	現代のグローバル社会に医療人として参加していく基盤を形成するために、まず現代社会の様々な課題をデータや資料を基に分析し、意見形成できる基本的な力を身に付ける。リーディングやリスニングを通じて、トピック特有の表現を吸収しながら考察を深め、簡単なディスカッションやライティング課題を通して、吸収した表現を積極的に用いて英語で意見を表明する力を身に付ける。また、ペアでのプレゼンテーションを通して、プレゼンテーション・スキルの習得と共に、協働して1つのタスクを行うスキルも身に付ける。
学修目標	1. トピック特有の語彙や表現を学びつつ、本文で展開されている内容を正確に理解するリーディング力を身に付ける 2. 身に付けた語彙や表現を積極的に活用しつつ、意見を適切に表明するライティング力を身に付ける 3. ペアで協力しながらプレゼンテーションを行い、オーディエンスを満足させる発表スキルを身に付ける
授業計画	<p>第1回 Velc Testを行う。また、授業の進め方、予習・復習の進め方、課題、成績・評価に関するガイダンスを行う。 4/7(月)2限 201/202 (担当：駒井、土屋)</p> <p>第2回 Topic 1を読み、固定観念や人種差別について深く考察し、その背景にある要因に思いをめぐらせ、英語で意見交換をする。 4/14(月)2限 201/202 (担当：駒井、土屋)</p> <p>第3回 Topic 2を読み、情報や通信について深く考察し、その背景にある資料やデータを把握し、英語で意見交換をする。 4/21(月)2限 201/202 (担当：駒井、土屋)</p> <p>第4回 Topic 3を読み、文化やファッションについて深く考察し、その背景にある資料やデータを把握し、英語で意見交換をする。 4/28(月)2限 201/202 (担当：駒井、土屋)</p> <p>第5回 Topic 4を読み、食事や健康について深く考察し、その背景に知見やデータを把握する。また、ペア・プレゼンテーションを行う (第1回)。 5/12(月)2限 201/202 (担当：駒井、土屋)</p> <p>第6回 Topic 5を読み、フードロスや飢餓について深く考察し、その背景にある要因に思いをめぐらせる。また、ペア・プレゼンテーションを行う (第2回)。 5/19(月)2限 201/202 (担当：駒井、土屋)</p> <p>第7回 Topic 6を読み、循環型社会について深く考察し、その背景にある資料やデータを把握する。また、ペア・プレゼンテーションを行う (第3回)。 6/2(月)2限 201/202 (担当：駒井、土屋)</p> <p>第8回 Topic 7を読み、地球温暖化について深く考察し、その背景にある資料やデータを把握する。また、ペア・プレゼンテーションを行う (第4回)。 6/9(月)2限 201/202 (担当：駒井、土屋)</p> <p>第9回 Topic 8を読み、エネルギー問題について深く考察し、その背景にある資料やデータを把握する。また、ペア・プレゼンテーションを行う (第5回)。 6/16(月)2限 201/202 (担当：駒井、土屋)</p> <p>第10回 Topic 9を読み、海洋生態系について深く考察し、人間が生態系に与える影響に思いをめぐらせる。また、ペア・プレゼンテーションを行う (第6回)。 6/23(月)2限 201/202 (担当：駒井、土屋)</p> <p>第11回 Topic 10を読み、絶滅危惧種について深く考察し、人間が生態系に与える影響に思いをめぐらせる。また、ペア・プレゼンテーションを行う (第7回)。 6/30(月)2限 201/202 (担当：駒井、土屋)</p> <p>第12回 Topic 11を読み、国際関係について深く考察し、国連機関の機能や国際支援に関するデータや資料を把握する。また、ペア・プレゼンテーションを行う (第8回)。 7/7(月)2限 201/202 (担当：駒井、土屋)</p> <p>第13回 Topic 12を読み、戦争と平和について深く考察し、その背景にある要因に思いをめぐらせる。また、ペア・プレゼンテーションを行う (第9回)。 7/14(月)2限 201/202 (担当：駒井、土屋)</p> <p>第14回 Topic 13を読み、人権及び人権侵害について深く考察し、その背景にある要因に思いをめぐらせる。また、ペア・プレゼンテーションを行う (第10回)。 7/21(月)2限 201/202 (担当：駒井、土屋)</p> <p>第15回 Topic 14を読み、地球市民という概念について深く考察し、考察を深める資料やデータを把握し、英語で意見交換をする。 7/28(月)2限 201/202 (担当：駒井、土屋)</p>

教科書	笹島 茂ほか 『CLIL Global Issues 英語で学ぶ国際問題 [改訂版]』 三修社
参考図書	トピックごとに提示する。
予習・復習内容	予習：次のトピックの語彙や文法事項に関して下調べをしておく。 復習：トピックに関連したライティングや和訳の課題を行う。
成績評価方法	課題3点×14回=42点、プレゼンテーション18点、授業中の質疑応答8点、期末試験32点、合計100点。
履修上の注意	ペア活動など、授業中の活動に積極的に参加すること。
担当教員への連絡方法	Teamsもしくはメール (komai.kengo@shitoku.ac.jp) で連絡すること。
授業に関する大学教員以外の実務経験	なし
実務経験と授業科目の関連性	なし
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1 (理学療法士課程) 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解 別表2 (作業療法士課程) 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1単位	必修
担当教員			
駒井 健吾、土屋 信子			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	国際問題の背景となる歴史を扱った文章を読み、現代の複雑な問題を読み解くための知識を吸収する。リーディングが中心の素材であるが、時にリスニングやライティング、スピーキングといった活動も行う。英語に触れながら、様々な国の歴史的背景を知り、将来国際的な問題に際しても自分の考えを形成できるようにする。プレゼンテーションを行う際は、背景知識や文の構造などに関して調べ、適切な形で発表する。		
学修目標	1. トピック特有の語彙や表現を学びつつ、特に各国の歴史的な背景について知る 2. 身につけた表現を積極的にスピーキングやライティングに活用する 3. トピックに関するプレゼンテーションを行う。積極的に調べ、適切な形で発表する		
授業計画	第1回	Unit 1. Ukraine: The Russian invasion of Ukraineの2つのエピソードを読み、テキストにあるQ&AやT/Fに答える。特定の表現を用いたスピーキングやライティングにも挑戦する。 9/30(火)2限 201/202 (担当：駒井、土屋)	
	第2回	Unit 2. Ireland: "The Troubles" in Northern Irelandの2つのエピソードを読み、テキストにあるQ&AやT/Fに答える。特定の表現を用いたスピーキングやライティングにも挑戦する。 10/7(火)2限 201/202 (担当：駒井、土屋)	
	第3回	Unit 3. Brexit: Why did the UK leave the EU?の2つのエピソードを読み、テキストにあるQ&AやT/Fに答える。特定の表現を用いたスピーキングやライティングにも挑戦する。 10/14(火)2限 201/202 (担当：駒井、土屋)	
	第4回	Unit 4. The Second Cold War? US vs Chinaの3つのエピソードを読み、テキストにあるQ&AやT/Fに答える。特定の表現を用いたスピーキングやライティングにも挑戦する。 10/21(火)2限 201/202 (担当：駒井、土屋)	
	第5回	Unit 5. The Baltic States: Estonia, Latvia, Lithuaniaの2つのエピソードを読み、テキストにあるQ&AやT/Fに答える。特定の表現を用いたスピーキングやライティングにも挑戦する。 10/28(火)2限 201/202 (担当：駒井、土屋)	
	第6回	Unit 6. Rohingya: A troubled minority in Myanmarの2つのエピソードを読み、テキストにあるQ&AやT/Fに答える。Episodesに関するプレゼンテーションを行う(第1回)。 11/4(火)2限 201/202 (担当：駒井、土屋)	
	第7回	Unit 7: Basques: the oldest European peopleの2つのエピソードを読み、テキストにあるQ&AやT/Fに答える。Episodesに関するプレゼンテーションを行う(第2回)。 11/11(火)2限 201/202 (担当：駒井、土屋)	
	第8回	Unit 8. Korea: The division of Koreaの2つのエピソードを読み、テキストにあるQ&AやT/Fに答える。Episodesに関するプレゼンテーションを行う(第3回)。 11/18(火)2限 201/202 (担当：駒井、土屋)	
	第9回	Unit 9. Romani: Romani's Great Journeyの2つのエピソードを読み、テキストにあるQ&AやT/Fに答える。Episodesに関するプレゼンテーションを行う(第4回)。 11/25(火)2限 201/202 (担当：駒井、土屋)	
	第10回	Unit 10: Switzerland: Armed neutralityの3つのエピソードを読み、テキストにあるQ&AやT/Fに答える。Episodesに関するプレゼンテーションを行う(第5回)。 12/2(火)2限 201/202 (担当：駒井、土屋)	
	第11回	Unit 11. Hong Kong: One country, two systemsの3つのエピソードを読み、テキストにあるQ&AやT/Fに答える。特定の表現を用いたスピーキングやライティングにも挑戦する。 12/9(火)2限 201/202 (担当：駒井、土屋)	
	第12回	Unit 12. The Pope and the Vatican City State: The smallest country in the worldの3つのエピソードを読み、テキストにあるQ&AやT/Fに答える。特定の表現を用いたスピーキングやライティングにも挑戦する。 12/16(火)2限 201/202 (担当：駒井、土屋)	
	第13回	Unit 13. Kurds: A stateless peopleの2つのエピソードを読み、テキストにあるQ&AやT/Fに答える。特定の表現を用いたスピーキングやライティングにも挑戦する。 12/23(火)2限 201/202 (担当：駒井、土屋)	
	第14回	Unit 14. Uyghurs: How can Muslims survive in China?の2つのエピソードを読み、テキストにあるQ&AやT/Fに答える。特定の表現を用いたスピーキングやライティングにも挑戦する。 1/6(火)2限 201/202 (担当：駒井、土屋)	
	第15回	Unit 15. Afghanistan: Al-Qaeda and Talibanの2つのエピソードを読み、テキストにあるQ&AやT/Fに答える。特定の表現を用いたスピーキングやライティングにも挑戦する。 1/13(火)2限 201/202 (担当：駒井、土屋)	
教科書	石谷 由美子 『Exploring the Roots of 15 Current Global Issues 国際問題のルーツを探る』 南雲堂		

参考図書	なし
予習・復習内容	予習：前時に配布する予習用ハンドアウトをやってから授業に臨む。 復習：課題を完成させる。
成績評価方法	課題3点×15回=45点、プレゼンテーション15点、授業中の質疑応答8点、期末試験32点、合計100点。
履修上の注意	ペアやグループでの活動に積極的に参加すること。
担当教員への連絡方法	Teamsもしくはメール (komai.kengo@shitoku.ac.jp) で連絡すること。
授業に関する大学教員以外の実務経験	なし
実務経験と授業科目の関連性	なし
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解 別表2（作業療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1単位	必修
担当教員			
駒井 健吾、土屋 信子			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	国際問題の背景となる歴史を扱った文章を読み、現代の複雑な問題を読み解くための知識を吸収する。リーディングが中心の素材であるが、時にリスニングやライティング、スピーキングといった活動も行う。英語に触れながら、様々な国の歴史的背景を知り、将来国際的な問題に際しても自分の考えを形成できるようにする。プレゼンテーションを行う際は、背景知識や文の構造などに関して調べ、適切な形で発表する。		
学修目標	1. トピック特有の語彙や表現を学びつつ、特に各国の歴史的な背景について知る 2. 身につけた表現を積極的にスピーキングやライティングに活用する 3. トピックに関するプレゼンテーションを行う。積極的に調べ、適切な形で発表する		
授業計画	第1回	Unit 1. Ukraine: The Russian invasion of Ukraineの2つのエピソードを読み、テキストにあるQ&AやT/Fに答える。特定の表現を用いたスピーキングやライティングにも挑戦する。 9/30(火)4限 201/202 (担当：駒井、土屋)	
	第2回	Unit 2. Ireland: "The Troubles" in Northern Irelandの2つのエピソードを読み、テキストにあるQ&AやT/Fに答える。特定の表現を用いたスピーキングやライティングにも挑戦する。 10/7(火)4限 201/202 (担当：駒井、土屋)	
	第3回	Unit 3. Brexit: Why did the UK leave the EU?の2つのエピソードを読み、テキストにあるQ&AやT/Fに答える。特定の表現を用いたスピーキングやライティングにも挑戦する。 10/14(火)4限 201/202 (担当：駒井、土屋)	
	第4回	Unit 4. The Second Cold War? US vs Chinaの3つのエピソードを読み、テキストにあるQ&AやT/Fに答える。特定の表現を用いたスピーキングやライティングにも挑戦する。 10/21(火)4限 201/202 (担当：駒井、土屋)	
	第5回	Unit 5. The Baltic States: Estonia, Latvia, Lithuaniaの2つのエピソードを読み、テキストにあるQ&AやT/Fに答える。特定の表現を用いたスピーキングやライティングにも挑戦する。 10/28(火)4限 201/202 (担当：駒井、土屋)	
	第6回	Unit 6. Rohingya: A troubled minority in Myanmarの2つのエピソードを読み、テキストにあるQ&AやT/Fに答える。Episodesに関するプレゼンテーションを行う(第1回)。 11/4(火)4限 201/202 (担当：駒井、土屋)	
	第7回	Unit 7: Basques: the oldest European peopleの2つのエピソードを読み、テキストにあるQ&AやT/Fに答える。Episodesに関するプレゼンテーションを行う(第2回)。 11/11(火)4限 201/202 (担当：駒井、土屋)	
	第8回	Unit 8. Korea: The division of Koreaの2つのエピソードを読み、テキストにあるQ&AやT/Fに答える。Episodesに関するプレゼンテーションを行う(第3回)。 11/18(火)4限 201/202 (担当：駒井、土屋)	
	第9回	Unit 9. Romani: Romani's Great Journeyの2つのエピソードを読み、テキストにあるQ&AやT/Fに答える。Episodesに関するプレゼンテーションを行う(第4回)。 11/25(火)4限 201/202 (担当：駒井、土屋)	
	第10回	Unit 10: Switzerland: Armed neutralityの3つのエピソードを読み、テキストにあるQ&AやT/Fに答える。Episodesに関するプレゼンテーションを行う(第5回)。 12/2(火)4限 201/202 (担当：駒井、土屋)	
	第11回	Unit 11. Hong Kong: One country, two systemsの3つのエピソードを読み、テキストにあるQ&AやT/Fに答える。特定の表現を用いたスピーキングやライティングにも挑戦する。 12/9(火)4限 201/202 (担当：駒井、土屋)	
	第12回	Unit 12. The Pope and the Vatican City State: The smallest country in the worldの3つのエピソードを読み、テキストにあるQ&AやT/Fに答える。特定の表現を用いたスピーキングやライティングにも挑戦する。 12/16(火)4限 201/202 (担当：駒井、土屋)	
	第13回	Unit 13. Kurds: A stateless peopleの2つのエピソードを読み、テキストにあるQ&AやT/Fに答える。特定の表現を用いたスピーキングやライティングにも挑戦する。 12/23(火)4限 201/202 (担当：駒井、土屋)	
	第14回	Unit 14. Uyghurs: How can Muslims survive in China?の2つのエピソードを読み、テキストにあるQ&AやT/Fに答える。特定の表現を用いたスピーキングやライティングにも挑戦する。 1/6(火)4限 201/202 (担当：駒井、土屋)	
	第15回	Unit 15. Afghanistan: Al-Qaeda and Talibanの2つのエピソードを読み、テキストにあるQ&AやT/Fに答える。特定の表現を用いたスピーキングやライティングにも挑戦する。 1/13(火)4限 201/202 (担当：駒井、土屋)	
教科書	石谷 由美子 『Exploring the Roots of 15 Current Global Issues 国際問題のルーツを探る』 南雲堂		

参考図書	なし
予習・復習内容	予習：前時に配布する予習用ハンドアウトをやってから授業に臨む。 復習：課題を完成させる。
成績評価方法	課題3点×15回=45点、プレゼンテーション15点、授業中の質疑応答8点、期末試験32点、合計100点。
履修上の注意	ペアやグループでの活動に積極的に参加すること。
担当教員への連絡方法	Teamsもしくはメール (komai.kengo@shitoku.ac.jp) で連絡すること。
授業に関する大学教員以外の実務経験	なし
実務経験と授業科目の関連性	なし
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解 別表2（作業療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1単位	必修
担当教員			
駒井 健吾			
年間授業回数：15回	授業形態：講義	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	医療、リハビリテーションを学ぶ学生のための教材を用い、主として2つの点を強化する。1つは、将来の現場で役立つよう、コミュニケーションの表現を学ぶこと、もう1つは、医療、特にリハビリテーションに役立つと考えられる医学用語を英語で身に付けることである。リスニング、インタラクション、プレゼンテーション等、複数の領域のスキルを磨き、自分の言いたいことを表現できる力を身に付ける。
学修目標	1. 教材を用いてリスニングやロールプレイのスキルを強化し、一定のインタラクションができるようにする 2. リーディングからリハビリテーションに関連する語彙を吸収し、適切な文脈で使用できるようにする 3. インタビューテストやプレゼンテーション課題を通じ、英語で表現する力を向上させる
授業計画	<p>第1回 最初に授業に関する短時間のガイダンスを行う。その後、Chapter 1 Higher Brain Dysfunctionの素材を用い、4技能の全てのスキルを向上させる言語活動を行う。関連する医療用語を覚える練習もする。 4/11(金)3限 第3作業療法室 (担当：駒井)</p> <p>第2回 Chapter 2 Parkinson's Diseaseの素材を用い、4技能の全てのスキルを向上させる言語活動を行う。関連する医療用語を覚える練習もする。 4/18(金)3限 第3作業療法室 (担当：駒井)</p> <p>第3回 Chapter 3 Osteoporosisの素材を用い、4技能の全てのスキルを向上させる言語活動を行う。関連する医療用語を覚える練習もする。 4/25(金)3限 第3作業療法室 (担当：駒井)</p> <p>第4回 Chapter 4 Cerebral Apoplexy (Stroke)の素材を用い、4技能の全てのスキルを向上させる言語活動を行う。関連する医療用語を覚える練習もする。 5/2(金)3限 第3作業療法室 (担当：駒井)</p> <p>第5回 Chapter 5 Cardiovascular Diseaseの素材を用い、4技能の全てのスキルを向上させる言語活動を行う。関連する医療用語を覚える練習もする。 5/9(金)3限 第3作業療法室 (担当：駒井)</p> <p>第6回 Chapter 6 Diabetes Mellitusの素材を用い、4技能の全てのスキルを向上させる言語活動を行う。関連する医療用語を覚える練習もする。 5/16(金)3限 第3作業療法室 (担当：駒井)</p> <p>第7回 Chapter 7 Respiratory Diseaseの素材を用い、4技能の全てのスキルを向上させる言語活動を行う。関連する医療用語を覚える練習もする。 5/23(金)3限 第3作業療法室 (担当：駒井)</p> <p>第8回 Chapter 8 Chronic Rheumatoid Arthritisの素材を用い、4技能の全てのスキルを向上させる言語活動を行う。関連する医療用語を覚える練習もする。 5/30(金)3限 第3作業療法室 (担当：駒井)</p> <p>第9回 Chapter 9 Femoral Neck Fractureの素材を用い、4技能の全てのスキルを向上させる言語活動を行う。関連する医療用語を覚える練習もする。 6/6(金)3限 第3作業療法室 (担当：駒井)</p> <p>第10回 Chapter 10 Spinal Cord injuryの素材を用い、4技能の全てのスキルを向上させる言語活動を行う。関連する医療用語を覚える練習もする。 6/13(金)3限 第3作業療法室 (担当：駒井)</p> <p>第11回 Chapter 11 Cerebral Palsyの素材を用い、4技能の全てのスキルを向上させる言語活動を行う。関連する医療用語を覚える練習もする。 6/20(金)3限 第3作業療法室 (担当：駒井)</p> <p>第12回 Chapter 12 Case Studyの素材を用い、4技能の全てのスキルを向上させる言語活動を行う。関連する医療用語を覚える練習もする。 6/27(金)3限 第3作業療法室 (担当：駒井)</p> <p>第13回 テキストやOT/PTに関連した病気や症状に関連し、医療者と患者のロールプレイ型インタビューテストを行う。 7/4(金)3限 第3作業療法室 (担当：駒井)</p> <p>第14回 テキストやOT/PTに関連した病気や症状に関連し、あらかじめ調べた内容に基づいたペア・プレゼンテーションを行う。 7/11(金)3限 第3作業療法室 (担当：駒井)</p> <p>第15回 引き続き、テキストやOT/PTに関連した病気や症状に関連し、あらかじめ調べた内容に基づいたペア・プレゼンテーションを行う。 7/18(金)3限 第3作業療法室 (担当：駒井)</p>
教科書	荒金 房子ほか 『The Art of Healing 医療・リハビリテーションを学ぶ学生のための総合英語』 南雲堂

参考図書	なし
予習・復習内容	予習：新出語彙を調べておく。意味だけでなく、発音もできるようにしておく。 復習：授業で学んだ語彙を覚える。与えられた課題を行う。
成績評価方法	課題3点×12回=36点、インタビューテスト12点、プレゼンテーション課題12点、授業中の質疑応答8点、期末試験32点、合計100点。
履修上の注意	ペア活動やグループ活動に積極的に参加すること。
担当教員への連絡方法	Teamsもしくはメール (komai.kengo@shitoku.ac.jp) で連絡すること。
授業に関する大学教員以外の実務経験	なし
実務経験と授業科目の関連性	なし
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1 (理学療法士課程) 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解 別表2 (作業療法士課程) 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1単位	必修
担当教員			
土屋 信子			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	医療、リハビリテーションを学ぶ学生のための教材を用い、主として2つの点を強化する。1つは、将来の現場で役立つよう、コミュニケーションの表現を学ぶこと、もう1つは、医療、特にリハビリテーションに役立つと考えられる医学用語を英語で身に付けることである。リスニング、インタラクション、プレゼンテーション等、複数の領域のスキルを磨き、自分の言いたいことを表現できる力を身に付ける。
学修目標	1. 教材を用いてリスニングやロールプレイのスキルを強化し、一定のインタラクションができるようにする 2. リーディングからリハビリテーションに関連する語彙を吸収し、適切な文脈で使用できるようにする 3. インタビューテストやプレゼンテーション課題を通じ、英語で表現する力を向上させる
授業計画	<p>第1回 最初に授業に関する短時間のガイダンスを行う。その後、Chapter 1 Higher Brain Dysfunctionの素材を用い、4技能の全てのスキルを向上させる言語活動を行う。関連する医療用語を覚える練習もする。 4/11(金)3限 大講義室 (担当：土屋)</p> <p>第2回 Chapter 2 Parkinson's Diseaseの素材を用い、4技能の全てのスキルを向上させる言語活動を行う。関連する医療用語を覚える練習もする。 4/18(金)3限 大講義室 (担当：土屋)</p> <p>第3回 Chapter 3 Osteoporosisの素材を用い、4技能の全てのスキルを向上させる言語活動を行う。関連する医療用語を覚える練習もする。 4/25(金)3限 大講義室 (担当：土屋)</p> <p>第4回 Chapter 4 Cerebral Apoplexy (Stroke)の素材を用い、4技能の全てのスキルを向上させる言語活動を行う。関連する医療用語を覚える練習もする。 5/2(金)3限 大講義室 (担当：土屋)</p> <p>第5回 Chapter 5 Cardiovascular Diseaseの素材を用い、4技能の全てのスキルを向上させる言語活動を行う。関連する医療用語を覚える練習もする。 5/9(金)3限 大講義室 (担当：土屋)</p> <p>第6回 Chapter 6 Diabetes Mellitusの素材を用い、4技能の全てのスキルを向上させる言語活動を行う。関連する医療用語を覚える練習もする。 5/16(金)3限 大講義室 (担当：土屋)</p> <p>第7回 Chapter 7 Respiratory Diseaseの素材を用い、4技能の全てのスキルを向上させる言語活動を行う。関連する医療用語を覚える練習もする。 5/23(金)3限 大講義室 (担当：土屋)</p> <p>第8回 Chapter 8 Chronic Rheumatoid Arthritisの素材を用い、4技能の全てのスキルを向上させる言語活動を行う。関連する医療用語を覚える練習もする。 5/30(金)3限 大講義室 (担当：土屋)</p> <p>第9回 Chapter 9 Femoral Neck Fractureの素材を用い、4技能の全てのスキルを向上させる言語活動を行う。関連する医療用語を覚える練習もする。 6/6(金)3限 大講義室 (担当：土屋)</p> <p>第10回 Chapter 10 Spinal Cord injuryの素材を用い、4技能の全てのスキルを向上させる言語活動を行う。関連する医療用語を覚える練習もする。 6/13(金)3限 大講義室 (担当：土屋)</p> <p>第11回 Chapter 11 Cerebral Palsyの素材を用い、4技能の全てのスキルを向上させる言語活動を行う。関連する医療用語を覚える練習もする。 6/20(金)3限 大講義室 (担当：土屋)</p> <p>第12回 Chapter 12 Case Studyの素材を用い、4技能の全てのスキルを向上させる言語活動を行う。関連する医療用語を覚える練習もする。 6/27(金)3限 大講義室 (担当：土屋)</p> <p>第13回 テキストやOT/PTに関連した病気や症状に関連し、医療者と患者のロールプレイ型インタビューテストを行う。 7/4(金)3限 大講義室 (担当：土屋)</p> <p>第14回 テキストやOT/PTに関連した病気や症状に関連し、あらかじめ調べた内容に基づいたペア・プレゼンテーションを行う。 7/11(金)3限 大講義室 (担当：土屋)</p> <p>第15回 引き続き、テキストやOT/PTに関連した病気や症状に関連し、あらかじめ調べた内容に基づいたペア・プレゼンテーションを行う。 7/18(金)3限 大講義室 (担当：土屋)</p>
教科書	荒金 房子ほか 『The Art of Healing 医療・リハビリテーションを学ぶ学生のための総合英語』 南雲堂

参考図書	なし
予習・復習内容	予習：新出語彙を調べておく。意味だけでなく、発音もできるようにしておく。 復習：授業で学んだ語彙を覚える。与えられた課題を行う。
成績評価方法	課題3点×12回=36点、インタビューテスト12点、プレゼンテーション課題12点、授業中の質疑応答8点、期末試験32点、合計100点。
履修上の注意	ペア活動やグループ活動に積極的に参加すること。
担当教員への連絡方法	Teamsもしくはメール (komai.kengo@shitoku.ac.jp) で連絡すること。
授業に関する大学教員以外の実務経験	なし
実務経験と授業科目の関連性	なし
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1 (理学療法士課程) 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解 別表2 (作業療法士課程) 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1単位	必修
担当教員			
駒井 健吾			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	健康や予防医学に関する話題に触れながら、関連する語彙を身に付ける。さらに、リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能をバランスよく伸ばしながら、英語を英語のまま吸収し、英語の発想で発信するスキルを身に付ける。最終的には、将来、医療者として多国籍の患者にも対応できる素地を身に付ける。		
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> 健康や予防医学に関連した語彙を身に付け、いつでも使用できる状態で保持しておく リスニングやリーディングでは、英語を英語のまま吸収し、日本語に頼らずとも意味や機能がわかるようにする スピーキングやライティングでは、積極的に身に付けた表現を活用し、様々な表現をさらに吸収する 		
授業計画	第1回	Unit 1: Exerciseについて、語彙、リーディング、リスニング、スピーキングの順に演習→答え合わせをする。ライティング課題を次週提出。 9/26(金)2限 201 (担当：駒井)	
	第2回	Unit 2: Allergiesについて、語彙、リーディング、リスニング、スピーキングの順に演習→答え合わせをする。ライティング課題を次週提出。 10/3(金)2限 201 (担当：駒井)	
	第3回	Unit 3: Sleepについて、語彙、リーディング、リスニング、スピーキングの順に演習→答え合わせをする。ライティング課題を次週提出。 10/10(金)2限 201 (担当：駒井)	
	第4回	Unit 4: Hydrationについて、語彙、リーディング、リスニング、スピーキングの順に演習→答え合わせをする。ライティング課題を次週提出。 10/17(金)2限 201 (担当：駒井)	
	第5回	Unit 5: Mental Healthについて、語彙、リーディング、リスニング、スピーキングの順に演習→答え合わせをする。ライティング課題を次週提出。 10/24(金)2限 201 (担当：駒井)	
	第6回	Unit 6: Mediationについて、語彙、リーディング、リスニング、スピーキングの順に演習→答え合わせをする。ライティング課題を次週提出。 10/31(金)2限 201 (担当：駒井)	
	第7回	Review Test 1を実施する（リーディングに関しては追加問題もあり）。 11/7(金)2限 201 (担当：駒井)	
	第8回	Unit 7: Nutritionについて、語彙、リーディング、リスニング、スピーキングの順に演習→答え合わせをする。ライティング課題を次週提出。 11/14(金)2限 201 (担当：駒井)	
	第9回	Unit 8: Ergonomicsについて、語彙、リーディング、リスニング、スピーキングの順に演習→答え合わせをする。ライティング課題を次週提出。 11/21(金)2限 201 (担当：駒井)	
	第10回	Unit 9: Work-life Balanceについて、語彙、リーディング、リスニング、スピーキングの順に演習→答え合わせをする。ライティング課題を次週提出。 11/28(金)2限 201 (担当：駒井)	
	第11回	Unit 10: Stressについて、語彙、リーディング、リスニング、スピーキングの順に演習→答え合わせをする。ライティング課題を次週提出。 12/5(金)2限 201 (担当：駒井)	
	第12回	Unit 11: Stretchingについて、語彙、リーディング、リスニング、スピーキングの順に演習→答え合わせをする。ライティング課題を次週提出。 12/12(金)2限 201 (担当：駒井)	
	第13回	Unit 12: Injuriesについて、語彙、リーディング、リスニング、スピーキングの順に演習→答え合わせをする。ライティング課題を次週提出。 12/19(金)2限 201 (担当：駒井)	
	第14回	Review Test 2を実施する（リーディングに関しては追加問題もあり）。 12/26(金)2限 201 (担当：駒井)	
	第15回	Pair Activity Testを実施する（実施要領は、授業内で提示）。 1/9(金)2限 201 (担当：駒井)	
教科書	Adam Murray 『Live Well! Topics about Health for University Students』 金星堂		
参考図書	なし		

予習・復習内容	予習：次週に扱う箇所の語彙をあらかじめ調べておき、意味と発音を身に付ける。 復習：授業中につまづいた箇所についてチェックし、課題を解決する。
成績評価方法	課題3点×12回=36点、Review Test10点×2回=20点、Pair Activity Test12点、期末試験32点、合計100点。
履修上の注意	4技能をフル稼働させて授業に臨むこと。
担当教員への連絡方法	Teamsもしくはメール (komai.kengo@shitoku.ac.jp) で連絡すること。
授業に関する大学教員以外の実務経験	なし
実務経験と授業科目の関連性	なし
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1 (理学療法士課程) 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解 別表2 (作業療法士課程) 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1単位	必修
担当教員			
駒井 健吾			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	健康や予防医学に関する話題に触れながら、関連する語彙を身に付ける。さらに、リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能をバランスよく伸ばしながら、英語を英語のまま吸収し、英語の発想で発信するスキルを身に付ける。最終的には、将来、医療者として多国籍の患者にも対応できる素地を身に付ける。		
学修目標	1. 健康や予防医学に関連した語彙を身に付け、いつでも使用できる状態で保持しておく 2. リスニングやリーディングでは、英語を英語のまま吸収し、日本語に頼らずとも意味や機能がわかるようにする 3. スピーキングやライティングでは、積極的に身に付けた表現を活用し、様々な表現をさらに吸収する		
授業計画	第1回	Unit 1: Exerciseについて、語彙、リーディング、リスニング、スピーキングの順に演習→答え合わせをする。ライティング課題を次週提出。 9/24(水)1限 第3作業療法室 (担当：駒井)	
	第2回	Unit 2: Allergiesについて、語彙、リーディング、リスニング、スピーキングの順に演習→答え合わせをする。ライティング課題を次週提出。 10/1(水)1限 第3作業療法室 (担当：駒井)	
	第3回	Unit 3: Sleepについて、語彙、リーディング、リスニング、スピーキングの順に演習→答え合わせをする。ライティング課題を次週提出。 10/8(水)1限 第3作業療法室 (担当：駒井)	
	第4回	Unit 4: Hydrationについて、語彙、リーディング、リスニング、スピーキングの順に演習→答え合わせをする。ライティング課題を次週提出。 10/15(水)1限 第3作業療法室 (担当：駒井)	
	第5回	Unit 5: Mental Healthについて、語彙、リーディング、リスニング、スピーキングの順に演習→答え合わせをする。ライティング課題を次週提出。 10/22(水)1限 第3作業療法室 (担当：駒井)	
	第6回	Unit 6: Mediationについて、語彙、リーディング、リスニング、スピーキングの順に演習→答え合わせをする。ライティング課題を次週提出。 10/29(水)1限 第3作業療法室 (担当：駒井)	
	第7回	Review Test 1を実施する (リーディングに関しては追加問題もあり)。 11/5(水)1限 第3作業療法室 (担当：駒井)	
	第8回	Unit 7: Nutritionについて、語彙、リーディング、リスニング、スピーキングの順に演習→答え合わせをする。ライティング課題を次週提出。 11/12(水)1限 第3作業療法室 (担当：駒井)	
	第9回	Unit 8: Ergonomicsについて、語彙、リーディング、リスニング、スピーキングの順に演習→答え合わせをする。ライティング課題を次週提出。 11/19(水)1限 第3作業療法室 (担当：駒井)	
	第10回	Unit 9: Work-life Balanceについて、語彙、リーディング、リスニング、スピーキングの順に演習→答え合わせをする。ライティング課題を次週提出。 11/26(水)1限 第3作業療法室 (担当：駒井)	
	第11回	Unit 10: Stressについて、語彙、リーディング、リスニング、スピーキングの順に演習→答え合わせをする。ライティング課題を次週提出。 12/3(水)1限 第3作業療法室 (担当：駒井)	
	第12回	Unit 11: Stretchingについて、語彙、リーディング、リスニング、スピーキングの順に演習→答え合わせをする。ライティング課題を次週提出。 12/10(水)1限 第3作業療法室 (担当：駒井)	
	第13回	Unit 12: Injuriesについて、語彙、リーディング、リスニング、スピーキングの順に演習→答え合わせをする。ライティング課題を次週提出。 12/17(水)1限 第3作業療法室 (担当：駒井)	
	第14回	Review Test 2を実施する (リーディングに関しては追加問題もあり)。 12/24(水)1限 第3作業療法室 (担当：駒井)	
	第15回	Pair Activity Testを実施する (実施要領は、授業内で提示)。 1/7(水)1限 第3作業療法室 (担当：駒井)	
教科書	Adam Murray 『Live Well! Topics about Health for University Students』 金星堂		
参考図書	なし		

予習・復習内容	予習：次週に扱う箇所の語彙をあらかじめ調べておき、意味と発音を身に付ける。 復習：授業中につまづいた箇所についてチェックし、課題を解決する。
成績評価方法	課題3点×12回=36点、Review Test10点×2回=20点、Pair Activity Test12点、期末試験32点、合計100点。
履修上の注意	4技能をフル稼働させて授業に臨むこと
担当教員への連絡方法	Teamsもしくはメール (komai.kengo@shitoku.ac.jp) で連絡すること。
授業に関する大学教員以外の実務経験	なし
実務経験と授業科目の関連性	なし
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1 (理学療法士課程) 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解 別表2 (作業療法士課程) 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	1単位	選択
担当教員			
駒井 健吾			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	主にリハビリテーションに関わるリーディングテキストを読む中で医療専門語彙を学び、将来大学院進学も視野に入れた専門性を身につける。同時に、トピックに関わるタスクを行うことで、専門性に関わる英語の発信力も身につける。
学修目標	1. リハビリテーションに関わるリーディング教材を扱う中で、専門語彙を身につける 2. 身につけた語彙を積極的に活用しつつ、英語によるインタラクションの力を身につける
授業計画	<p>第1回 Unit 1: Femoral Neck Fractureをテキストに沿って読み進める。章末のLet's Try!に関連したタスクを行い、評価する。 9/30(火)5限 201 (担当：駒井)</p> <p>第2回 Unit 2: Osteoarthritis of the Kneeをテキストに沿って読み進める。章末のLet's Try!に関連したタスクを行い、評価する。 10/7(火)5限 201 (担当：駒井)</p> <p>第3回 Unit 3: Rheumatoid Arthritisをテキストに沿って読み進める。章末のLet's Try!に関連したタスクを行い、評価する。 10/14(火)5限 201 (担当：駒井)</p> <p>第4回 Unit 4: Colles' Fractureをテキストに沿って読み進める。章末のLet's Try!に関連したタスクを行い、評価する。 10/21(火)5限 201 (担当：駒井)</p> <p>第5回 Unit 5: Locomotive Syndromeをテキストに沿って読み進める。章末のLet's Try!に関連したタスクを行い、評価する。 10/28(火)5限 201 (担当：駒井)</p> <p>第6回 Unit 6: Chronic Lower Back Painをテキストに沿って読み進める。章末のLet's Try!に関連したタスクを行い、評価する。 11/4(火)5限 201 (担当：駒井)</p> <p>第7回 Unit 7: Spinal Cord Injuryをテキストに沿って読み進める。章末のLet's Try!に関連したタスクを行い、評価する。 11/11(火)5限 201 (担当：駒井)</p> <p>第8回 Unit 8: Adjustment Disorder and Symptomatic Depressionをテキストに沿って読み進める。章末のLet's Try!に関連したタスクを行い、評価する。 11/18(火)5限 201 (担当：駒井)</p> <p>第9回 Unit 9: Parkinson's Diseaseをテキストに沿って読み進める。章末のLet's Try!に関連したタスクを行い、評価する。 11/25(火)5限 201 (担当：駒井)</p> <p>第10回 Unit 10: Cerebrovascular Diseaseをテキストに沿って読み進める。章末のLet's Try!に関連したタスクを行い、評価する。 12/2(火)5限 201 (担当：駒井)</p> <p>第11回 Unit 11: Dementiaをテキストに沿って読み進める。章末のLet's Try!に関連したタスクを行い、評価する。 12/9(火)5限 201 (担当：駒井)</p> <p>第12回 Unit 12: Diabetes Mellitusをテキストに沿って読み進める。章末のLet's Try!に関連したタスクを行い、評価する。 12/16(火)5限 201 (担当：駒井)</p> <p>第13回 Unit 13: COPDをテキストに沿って読み進める。章末のLet's Try!に関連したタスクを行い、評価する。 12/23(火)5限 201 (担当：駒井)</p> <p>第14回 Unit 14: Cerebral Palsyをテキストに沿って読み進める。章末のLet's Try!に関連したタスクを行い、評価する。 1/6(火)5限 201 (担当：駒井)</p> <p>第15回 Unit 1~14のまとめと振り返りを行う。 1/13(火)5限 201 (担当：駒井)</p>
教科書	細田 多穂 監修 『リハビリテーション英語テキスト』 南江堂
参考図書	なし
予習・復習内容	予習：テキストの未知語を調べておく。 復習：リーディングで扱った語彙を覚える。

成績評価方法	授業内タスク評価70%、期末筆記試験30%
履修上の注意	積極的に語彙を「覚える」訓練をすること。
担当教員への連絡方法	駒井連絡先：komai.kengo@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	なし
実務経験と授業科目の関連性	なし
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解 別表2（作業療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1単位	必修
担当教員			
友常 大八郎			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	神経系に重点を置きつつ、解剖学全般を学ぶ（骨・関節・骨格筋の各論は除く）。
学修目標	1. 基礎的な人体の正常構造を説明できる 2. 解剖学からみた人体の生理機能を説明できるとともに、各種疾患の病態を理解できる
授業計画	<p>第1回 解剖学総論 解剖学の基本概念と人体の構成 4/8(火)1限 コミュニティールーム (担当：友常)</p> <p>第2回 解剖学総論 人体の発生 4/15(火)1限 コミュニティールーム (担当：友常)</p> <p>第3回 骨格 骨格の構造と機能の総論 4/22(火)1限 コミュニティールーム (担当：友常)</p> <p>第4回 関節靭帯 関節・靭帯の構造と機能の総論 4/29(火)1限 コミュニティールーム (担当：友常)</p> <p>第5回 筋系 筋系の構造と機能の総論 5/6(火)1限 コミュニティールーム (担当：友常)</p> <p>第6回 消化器 消化管の構造と機能 5/13(火)1限 コミュニティールーム (担当：友常)</p> <p>第7回 消化器 肝・胆・膵の構造と機能 5/20(火)1限 コミュニティールーム (担当：友常)</p> <p>第8回 中間試問と中枢神経-1 総論：神経系の基本的な構成について理解する 6/3(火)1限 コミュニティールーム (担当：友常)</p> <p>第9回 中枢神経-2 脊髄と脳幹(1)：脊髄と延髄、橋の構造と機能を理解する 6/10(火)1限 コミュニティールーム (担当：友常)</p> <p>第10回 中枢神経-3 脳幹(2)と小脳：中脳と小脳の構造と機能を理解する 6/17(火)1限 コミュニティールーム (担当：友常)</p> <p>第11回 中枢神経-4 大脳(1)：間脳の構造と機能について理解する 6/24(火)1限 コミュニティールーム (担当：友常)</p> <p>第12回 中枢神経-5 大脳(2)：大脳半球の構造と機能について理解する 7/1(火)1限 コミュニティールーム (担当：友常)</p> <p>第13回 中枢神経-6 神経伝導路：上行性神経路の構成について理解する 7/8(火)1限 コミュニティールーム (担当：友常)</p> <p>第14回 中枢神経-7 神経伝導路：下行性神経路の構成について理解する、小まとめ 7/15(火)1限 コミュニティールーム (担当：友常)</p> <p>第15回 まとめ 7/22(火)1限 コミュニティールーム (担当：友常)</p>
教科書	野村 巖 編集 「標準理学療法・作業療法学 解剖学 第6版」 医学書院
参考図書	坂井建雄、河原克雅 「人体の正常構造と機能 全10巻縮刷版 改訂第4版」 日本医事新報社
予習・復習内容	毎回、教科書の関連する箇所を読んで予習をする。配布したプリントを用い、重要な箇所を復習する。
成績評価方法	定期試験90%、小テスト10%
履修上の注意	なし
担当教員への連絡方法	E-mail：dtomo@shinshu-u.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	なし
実務経験と授業科目の関連性	なし
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 人体の構造と機能及び心身の発達 別表2（作業療法士課程） 人体の構造と機能及び心身の発達

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1単位	必修
担当教員			
友常 大八郎			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	神経系に重点を置きつつ、解剖学全般を学ぶ（骨・関節・骨格筋の各論は除く）。
学修目標	1. 基礎的な人体の正常構造を説明できる 2. 解剖学からみた人体の生理機能を説明できるとともに、各種疾患の病態を理解できる
授業計画	<p>第1回 末梢神経-1 脊髄神経(1)：脊髄神経の総論と頸神経及び頸神経叢の構成について理解する 9/30(火)1限 第1作業療法室（担当：友常）</p> <p>第2回 末梢神経-2 脊髄神経(2)：腕神経叢と胸神経の構成と障害について理解する 10/7(火)1 第1作業療法室（担当：友常）</p> <p>第3回 末梢神経-3 脊髄神経(3)：腰、仙骨神経と神経叢の構成と障害について理解する 10/14(火)1限 第1作業療法室（担当：友常）</p> <p>第4回 末梢神経-4 脳神経：脳に出入りする末梢神経の構成と機能を理解する 10/21(火)1限 第1作業療法室（担当：友常）</p> <p>第5回 末梢神経-5 自律神経系の基本構成について理解する 10/28(火)1限 第1作業療法室（担当：友常）</p> <p>第6回 呼吸器 気道と肺の構造 11/4(火)1限 第1作業療法室（担当：友常）</p> <p>第7回 呼吸器 気道と肺の構造からみた呼吸機能 11/11(火)1限 第1作業療法室（担当：友常）</p> <p>第8回 中間試問と循環器-1 心臓の構造と機能 11/18(火)1限 第1作業療法室（担当：友常）</p> <p>第9回 循環器-2 動脈系の構造と機能 11/25(火)1限 第1作業療法室（担当：友常）</p> <p>第10回 循環器-3 静脈系の構造と機能 12/2(火)1限 第1作業療法室（担当：友常）</p> <p>第11回 循環器-4 特殊循環、リンパ系の構造と機能 12/9(火)1限 第1作業療法室（担当：友常）</p> <p>第12回 泌尿・生殖器 腎・尿管・膀胱・生殖器の構造と機能 12/16(火)1限 第1作業療法室（担当：友常）</p> <p>第13回 内分泌 脳下垂体・甲状腺・副甲状腺・副腎・膵ランゲルハンス島の構造と機能 12/23(火)1限 第1作業療法室（担当：友常）</p> <p>第14回 感覚器 皮膚、視覚器・聴覚器・臭覚器・味覚器の構造と機能 1/6(火)1限 第1作業療法室（担当：友常）</p> <p>第15回 まとめ 1/13(火)1限 第1作業療法室（担当：友常）</p>
教科書	野村 巖 編集 「標準理学療法・作業療法学 解剖学 第6版」 医学書院
参考図書	坂井建雄、河原克雅 「人体の正常構造と機能 全10巻縮刷版 改訂第4版」 日本医事新報社
予習・復習内容	毎回、教科書の関連する箇所を読んで予習をする。配布したプリントを用い、重要な箇所を復習する。
成績評価方法	定期試験90%、小テスト10%
履修上の注意	なし
担当教員への連絡方法	E-mail：dtomo@shinshu-u.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	なし
実務経験と授業科目の関連性	なし
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 人体の構造と機能及び心身の発達 別表2（作業療法士課程） 人体の構造と機能及び心身の発達

講義科目名称： 解剖学実習（人体解剖観察）

授業コード： 20020

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1・2年	1単位	必修
担当教員			
福島 菜奈恵、掛川 晃、森泉 哲次			
年間授業回数：15回	授業形態：実習		
添付ファイル			

授業目標	運動器系・内臓・神経系を中心に解剖学実習（人体解剖観察）を行う。 人体の正常構造を立体的に理解するとともに、生命の尊厳・医の倫理について学ぶ。
学修目標	1. 人体の正常構造を説明できる 2. 生命の尊厳・医の倫理について学ぶ
授業計画	第1～5回 観察実習1・観察実習2 ご遺体によって解剖の進行度や観察可能部位が異なるため、時間を区切って順に移動しながら観察を行う。 【日程】2年…2/10(火) / 1年…2/18(水) 第6～10回 観察実習3・観察実習4 ご遺体によって解剖の進行度や観察可能部位が異なるため、時間を区切って順に移動しながら観察を行う。 【日程】2年…2/12(木) / 1年…2/19(木) 第11～15回 実習試験 実習で観察した構造の名称を問う。 【日程】2年…2/13(金) / 1年…2/20(金)
教科書	教科書は使用しない。
参考図書	参考図書は指定しない。
予習・復習内容	事前配布資料を参考に、観察項目について理解する。
成績評価方法	実習試験100%
履修上の注意	献体の意義を理解し、真摯な態度で実習に参加すること。 実習前に事前オリエンテーションを実施する。 1日目 観察実習1・観察実習2 2日目 観察実習3・観察実習4 3日目 実習試験
担当教員への連絡方法	本館事務室に伝言すること。
授業に関する大学教員以外の実務経験	なし
実務経験と授業科目の関連性	なし
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 人体の構造と機能及び心身の発達 別表2（作業療法士課程） 人体の構造と機能及び心身の発達

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1単位	必修
担当教員			
三井 由香			
年間授業回数：15回	授業形態：講義	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	生理学は解剖学とともに、医学の基礎となる科目である。生理学では人体の正常な機能がどのような仕組みで行われているかを学び、生理学的な思考方法を身につける。生理学 I では生命の最小単位である細胞の機能から、血液・循環・呼吸・消化吸収・代謝・排泄機能について学ぶ。生きているとはどういうことか、生理学的に考えられるようになる。
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人体の生理機能、特に細胞、内臓の生理機能とその調節について学び、生きている仕組みの基本を説明できる 2. 細胞の生理機能、細胞膜による物質制御の仕組みを説明できる 3. 血液の生理機能について説明できる 4. 循環器系の生理機能について説明できる 5. 呼吸器系の生理機能について説明できる 6. 代謝・体温調節について説明できる 7. 消化・吸収の生理機能について説明できる 8. 排泄の生理学的機能について説明できる
授業計画	<p>第1回 細胞生理学 4/9(水)2限 コミュニティールーム (担当：三井)</p> <p>第2回 細胞膜の生理学 4/16(水)2限 コミュニティールーム (担当：三井)</p> <p>第3回 血液 I 組成、血漿 4/23(水)2限 コミュニティールーム (担当：三井)</p> <p>第4回 血液 II 血球の種類と働き 4/30(水)2限 コミュニティールーム (担当：三井)</p> <p>第5回 血液 III 免疫、止血と凝固、血液型 5/7(水)2限 コミュニティールーム (担当：三井)</p> <p>第6回 心臓・循環 I 心臓の構造、働き 5/14(水)2限 コミュニティールーム (担当：三井)</p> <p>第7回 心臓・循環 II 循環と血圧の調節 5/21(水)2限 コミュニティールーム (担当：三井)</p> <p>第8回 呼吸 I 呼吸器系の構造、換気の仕組み 6/4(水)2限 コミュニティールーム (担当：三井)</p> <p>第9回 呼吸 II 肺気量、血液による呼吸ガスの運搬、呼吸運動の調節 6/11(水)2限 コミュニティールーム (担当：三井)</p> <p>第10回 消化・吸収 I 消化器系の構造、消化管の運動 6/18(水)2限 コミュニティールーム (担当：三井)</p> <p>第11回 消化・吸収 II 消化液分泌、神経支配、消化管ホルモン 6/25(水)2限 コミュニティールーム (担当：三井)</p> <p>第12回 消化・吸収 III 栄養素の酵素による消化、吸収機構 7/2(水)2限 コミュニティールーム (担当：三井)</p> <p>第13回 代謝・体温 7/9(水)2限 コミュニティールーム (担当：三井)</p> <p>第14回 体液・排泄 I 腎臓の構造、ろ過と再吸収の仕組み 7/16(水)2限 コミュニティールーム (担当：三井)</p> <p>第15回 体液・排泄 II 尿細管における再吸収と分泌、クリアランス、ホルモンによる調節機構 7/23(水)2限 コミュニティールーム (担当：三井)</p>
教科書	大地陸男 「生理学テキスト」 文光堂
参考図書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 桑名俊一・荒田晶子「生理学」 理工図書 2. 貴邑富久子、根来英雄「シンプル生理学」 南江堂 3. 岡田泰伸「ギャング生理学」 丸善出版 4. 本間研一他「標準生理学」 医学書院 5. 生理学TN編集委員会、竹内修二「生理学トレーニングノート」 6. 医学教育出版社本間研一他「標準生理学」 医学書院
予習・復習内容	講義単元ごとに配る問題プリントを解き、提出すること。講義のノート、教科書を確認しながら解くことで復習となる。その際生じた疑問点は次回質問し、解決すること。

成績評価方法	期末試験95%、課題5%
履修上の注意	生理学の内容は積み上げ型であり、前に講義した内容に新しい内容が積み上がっていく。疑問点を放置することなく、調べる、聞きに来るなどして解決し、次に進めるようにする。
担当教員への連絡方法	E-mail:mitsui.yuka@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	なし
実務経験と授業科目の関連性	なし
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 人体の構造と機能及び心身の発達 別表2（作業療法士課程） 人体の構造と機能及び心身の発達

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1単位	必修
担当教員			
三井 由香			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	生理学は解剖学とともに、医学の基礎となる科目である。生理学では人体の正常な機能がどのような仕組みで行われているかを学び、生理学的な思考方法を身につける。生命の恒常性の維持は、内分泌系と神経系により行われる。生理学Ⅱでは内分泌系と、神経系・運動系・感覚系・脳の統合作用について学び、運動機能や感覚機能が神経を介して脳により統括されることを理解する。生きているとはどういうことかを生理学的に考えられるようになってほしい。
学修目標	1. 人体の生理機能、特に恒常性の維持にかかわる内分泌系と神経系、運動系、感覚系、脳の統合作用について学び、生きている仕組みの基本を説明できる 1. 内分泌系による恒常性の維持の仕組みを説明できる 2. 神経の活動電位発生と伝導の仕組みを説明できる 3. 筋の生理機能と神経筋伝達について説明できる 4. 神経系の生理機能について説明できる 5. 運動系の生理機能について説明できる 6. 感覚系の生理機能について説明できる 7. 脳の統合作用について説明できる。
授業計画	第1回 内分泌Ⅰ 化学的分類、作用機序、分泌調節 9/25(木)2限 コミュニティールーム (担当：三井) 第2回 内分泌Ⅱ ホルモン各論 10/2(木)2限 コミュニティールーム (担当：三井) 第3回 神経系Ⅰ 構造、活動電位、イオンチャネル 10/9(木)2限 コミュニティールーム (担当：三井) 第4回 神経系Ⅱ 興奮の発生と伝導 10/16(木)2限 コミュニティールーム (担当：三井) 第5回 骨格筋の収縮Ⅰ 筋の種類、構造、筋収縮 10/23(木)2限 コミュニティールーム (担当：三井) 第6回 骨格筋の収縮Ⅱ 興奮収縮連関、筋収縮力学 10/30(木)2限 コミュニティールーム (担当：三井) 第7回 シナプス伝達Ⅰ シナプスの構造、神経筋伝達、中枢神経系のシナプス伝達 11/6(木)2限 コミュニティールーム (担当：三井) 第8回 シナプス伝達Ⅱ 神経伝達物質と受容体、シナプス伝達の可塑性 11/13(木)2限 コミュニティールーム (担当：三井) 第9回 自律神経系Ⅰ 自律神経の構造と働き 11/20(木)2限 コミュニティールーム (担当：三井) 第10回 自律神経系Ⅱ 細胞内の情報伝達機構と自律神経 11/27(木)2限 コミュニティールーム (担当：三井) 第11回 運動系Ⅰ 反射 12/4(木)2限 コミュニティールーム (担当：三井) 第12回 運動系Ⅱ 脊髄と脳幹 12/11(木)2限 コミュニティールーム (担当：三井) 第13回 運動系Ⅲ 大脳基底核、小脳、大脳皮質運動野 12/18(木)2限 コミュニティールーム (担当：三井) 第14回 感覚系Ⅰ 体性感覚 12/25(木)2限 コミュニティールーム (担当：三井) 第15回 感覚系Ⅱ 特殊感覚 1/8(木)2限 コミュニティールーム (担当：三井)
教科書	大地陸男 「生理学テキスト」 文光堂
参考図書	1. 桑名俊一・荒田晶子「生理学」 理工図書 2. 貴邑富久子、根来英雄「シンプル生理学」 南江堂 3. 岡田泰伸「ギャノン生理学」 丸善出版 4. 本間研一他「標準生理学」 医学書院 5. 生理学TN編集委員会、竹内修二「生理学トレーニングノート」 6. 医学教育出版社本間研一他「標準生理学」 医学書院
予習・復習内容	講義単元ごとに配る問題プリントを解き、提出すること。その際、講義のノート、教科書を確認しながら解くことで復習となる。その際生じた疑問点は次回に質問し、解決すること。

成績評価方法	期末試験95%、課題5%
履修上の注意	生理学の内容は積み上げ型であり、前に講義した内容に新しい内容が積み上がっていく。疑問点を放置することなく、調べる、聞きに来るなどして解決し、次に進んでいく。
担当教員への連絡方法	E-mail:mitsui.yuka@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	なし
実務経験と授業科目の関連性	なし
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 人体の構造と機能及び心身の発達 別表2（作業療法士課程） 人体の構造と機能及び心身の発達

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位	必修
担当教員			
三井 由香、赤羽 勝司、荻原 啓文、倉澤 康之、下田 浩一、福谷 保、古川 智巳			
年間授業回数：30回	授業形態：演習		
添付ファイル			

授業目標	<p>生理学で確立されている機序や理論はいずれも実験や観察に基づいて得られたものである。生理学実習では学生自らがいくつかの実験に携わり、生物の法則がどのようにして得られるか、また生き物や実験装置の取り扱いにはいかに留意すべきかなどの多くを体験する。血圧、感覚、呼吸、末梢神経、骨格筋の各実験で得られた現象を自らの眼で確認し、生理学の講義で習得した知識についてさらに理解を深め、実験の考察を通して生理学的な思考方法を学ぶ。</p> <p>また講義では、生理学の発展的内容である脳の統合作用と恒常性の破綻としての疾病のいくつかを重点的に取り上げ、恒常性維持の重要性に対する理解を深める。</p>
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. カエルの坐骨神経を用いて、活動電位の伝導機序と特徴を理解する 2. カエルの腓腹筋を用いて、筋収縮機序と特徴を理解する 3. 呼吸機能測定を通じ、肺気量の区分と、換気障害について理解する 4. 血圧測定を習得し、体位変換や運動時における血圧の変化、調節について理解する 5. 2点弁別の実習を通じ、感覚受容の機序を理解する 6. 脳の統合作用、生殖と発生を理解する 7. 浮腫、黄疸、酸塩基平衡異常など、恒常性の破綻による疾患について理解する
授業計画	<p>第1回 入門1 実習オリエンテーション 4/10(木)3限 コミュニティールーム (担当：三井)</p> <p>第2回 入門1 実習オリエンテーション 4/10(木)4限 コミュニティールーム (担当：三井)</p> <p>第3回 入門2 実習デモンストレーション 4/17(木)3限 基礎医学実習室 他 (担当：三井、赤羽、荻原、下田、福谷、古川、倉澤)</p> <p>第4回 入門2 実習デモンストレーション 4/17(木)4限 基礎医学実習室 他 (担当：三井、赤羽、荻原、下田、福谷、古川、倉澤)</p> <p>第5回 実習1回目 神経束の活動電位Ⅰ 4/24(木)3限 基礎医学実習室 他 (担当：三井、赤羽、荻原、下田、福谷、古川、倉澤)</p> <p>第6回 実習1回目 神経束の活動電位Ⅰ 4/24(木)4限 基礎医学実習室 他 (担当：三井、赤羽、荻原、下田、福谷、古川、倉澤)</p> <p>第7回 講義 特殊感覚 5/1(木)3限 コミュニティールーム (担当：三井)</p> <p>第8回 講義 脳の統合作用 大脳皮質の機能局在 5/1(木)4限 コミュニティールーム (担当：三井)</p> <p>第9回 実習2回目 神経束の活動電位Ⅱ 5/8(木)3限 基礎医学実習室 他 (担当：三井、赤羽、荻原、下田、福谷、古川、倉澤)</p> <p>第10回 実習2回目 神経束の活動電位Ⅱ 5/8(木)4限 基礎医学実習室 他 (担当：三井、赤羽、荻原、下田、福谷、古川、倉澤)</p> <p>第11回 講義 脳の統合機能 大脳辺縁系と視床下部、脳波、学習 5/15(木)3限 コミュニティールーム (担当：三井)</p> <p>第12回 講義 体温 5/15(木)4限 コミュニティールーム (担当：三井)</p> <p>第13回 実習3回目 骨格筋の収縮 5/22(木)3限 基礎医学実習室 他 (担当：三井、赤羽、荻原、下田、福谷、古川、倉澤)</p> <p>第14回 実習3回目 骨格筋の収縮 5/22(木)4限 基礎医学実習室 他 (担当：三井、赤羽、荻原、下田、福谷、古川、倉澤)</p> <p>第15回 講義 微小循環、膠質浸透圧とその異常 5/29(木)3限 コミュニティールーム (担当：三井)</p> <p>第16回 講義 浮腫 5/29(木)4限 コミュニティールーム (担当：三井)</p> <p>第17回 実習4回目 呼吸運動 6/5(木)3限 基礎医学実習室 他 (担当：三井、赤羽、荻原、下田、福谷、古川、倉澤)</p> <p>第18回 実習4回目 呼吸運動 6/5(木)4限 基礎医学実習室 他 (担当：三井、赤羽、荻原、下田、福谷、古川、倉澤)</p> <p>第19回 講義 貧血と赤血球破壊 6/12(木)3限 コミュニティールーム (担当：三井)</p>

	第20回	講義 ビリルビン代謝、黄疸 6/12(木)4限 コミュニティールーム (担当：三井)
	第21回	実習5回目 感覚 (2点弁別) 6/19(木)3限 基礎医学実習室 他 (担当：三井、赤羽、荻原、下田、福谷、古川、倉澤)
	第22回	実習5回目 感覚 (2点弁別) 6/19(木)4限 基礎医学実習室 他 (担当：三井、赤羽、荻原、下田、福谷、古川、倉澤)
	第23回	講義 生体と水、無機質、体液の酸塩基平衡 6/26(木)3限 コミュニティールーム (担当：三井)
	第24回	講義 酸塩基平衡異常 6/26(木)4限 コミュニティールーム (担当：三井)
	第25回	実習6回目 血圧の測定 7/3(木)3限 基礎医学実習室 他 (担当：三井、赤羽、荻原、下田、福谷、古川、倉澤)
	第26回	実習6回目 血圧の測定 7/3(木)4限 基礎医学実習室 他 (担当：三井、赤羽、荻原、下田、福谷、古川、倉澤)
	第27回	講義 実習の統括Ⅰ 7/10(木)3限 コミュニティールーム (担当：三井)
	第28回	講義 実習の統括Ⅱ 7/10(木)4限 コミュニティールーム (担当：三井)
	第29回	実習発表会 各実習項目の発表 日程と教室は後日連絡 (担当：三井、赤羽、荻原、下田、福谷、古川、倉澤)
	第30回	実習発表会 各実習項目の発表 日程と教室は後日連絡 (担当：三井、赤羽、荻原、下田、福谷、古川、倉澤)
教科書	1. 「生理学実習マニュアル」 (長野保健医療大学版) 2. 大地陸男 「生理学テキスト」 文光堂	
参考図書	1. 真島英信 「生理学」 文光堂 2. 岡田泰伸 「ギャノン生理学」 丸善出版 3. 本間研一他 「標準生理学」 医学書院	
予習・復習内容	本実習では生理学で学んだことがベースとなるので、生理学の該当箇所の復習をしておく。 また予め実習書を読んで、自分なりの疑問点を持って実習に臨むと、実り多い実習となる。	
成績評価方法	実習 (レポート+実習分試験) 70%、講義分試験30%	
履修上の注意	感覚の受容、血圧の調節機構、呼吸機能測定について、自分自身を対象として学べる大変良い機会である。また、生体の筋や神経を使って学べる貴重な機会となる。この機会を最大限活用するため、予習をして自分なりの疑問点を持って実習に臨み、実習には積極的に関わってほしい。	
担当教員への連絡方法	E-mail:mitsui.yuka@shitoku.ac.jp	
授業に関する大学教員以外の実務経験	なし	
実務経験と授業科目の関連性	なし	
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1 (理学療法士課程) 人体の構造と機能及び心身の発達 別表2 (作業療法士課程) 人体の構造と機能及び心身の発達	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1単位	必修
担当教員			
松下 雅子、山本 良彦			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	1. ヒトは生涯を通して発達し続ける存在であることを理解する 2. 各発達領域（身体、運動、巧緻性、社会性、言語、情緒など）における発達の様子を理解する 3. 各発達期（胎児期、乳幼児期、学童期、青年期、成人期、高齢期）における発達学的特徴を理解する 4. 各種発達学的評価を理解する 5. 発達期における代表的な小児疾患とリハビリテーションを理解する
学修目標	1. 生涯発達（各ライフステージ）における発達の特徴を説明できる 2. 乳幼児期の反射・反応を説明できる 3. 発達検査、発達評価法を用いて発達の様子を説明できる 4. 障害を持つ子どもとその家族の課題について説明できる
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション、発達の概念 9/22(月)3限 第1作業療法室（担当：松下）</p> <p>第2回 発達に関する基礎理論 9/29(月)3限 第1作業療法室（担当：山本）</p> <p>第3回 反射・反応、脳・神経系の成熟と障害 10/6(月)3限 第1作業療法室（担当：山本）</p> <p>第4回 身体・姿勢・運動の発達 10/20(月)3限 第1作業療法室（担当：山本）</p> <p>第5回 各種検査法 10/27(月)3限 第1作業療法室（担当：山本）</p> <p>第6回 感覚・認知の発達、目と手の協応、巧緻性の発達 11/10(月)3限 第1作業療法室（担当：松下）</p> <p>第7回 ADLの発達、コミュニケーションの発達 11/17(月)3限 第1作業療法室（担当：松下）</p> <p>第8回 遊びの発達 11/24(月)3限 第1作業療法室（担当：松下）</p> <p>第9回 心理・社会性の発達、心の発達と障害 12/1(月)3限 第1作業療法室（担当：松下）</p> <p>第10回 アタッチメントの発達 12/8(月)3限 第1作業療法室（担当：松下）</p> <p>第11回 道徳性、アイデンティティの発達 12/15(月)3限 第1作業療法室（担当：松下）</p> <p>第12回 家族関係の発達 12/22(月)3限 第1作業療法室（担当：松下）</p> <p>第13回 言語発達と障害 1/5(月)3限 第1作業療法室（担当：山本）</p> <p>第14回 老い、生涯発達、高齢期の特徴と課題 1/14(水)3限 第1作業療法室（担当：山本）</p> <p>第15回 要点の整理 1/14(水)3限 第1作業療法室（担当：山本）</p>
教科書	浅野大喜 CrossLink basicリハビリテーションテキスト人間発達学 メジカルビュー
参考図書	1) 大城昌平：リハビリテーションのための人間発達学、メディカルプレス 3) 上田礼子：生涯人間発達学、三輪書店 4) 上杉雅之：イラストでわかる人間発達学、医歯薬出版 5) 舟島なをみ、他：看護のための人間発達学、医学書院 6) 福田恵美子：コメディカルのための人間発達学、中外医学社 7) 笹田 哲：イラストと動画で学ぼう人間発達学、診断と治療社
予習・復習内容	教科書をよく読み、ニュースや新聞記事に目を通して時流にたいして知見を得ること。
成績評価方法	期末試験100%
履修上の注意	積極的に参加すること。
担当教員への連絡	初回の授業時にアナウンスする。

方法	
授業に関する大学 教員以外の実務経 験	作業療法士、理学療法士としての臨床経験を有する。
実務経験と授業科 目の関連性	地域の発達障害領域での臨床を行なっている。
指定規則の位置付 け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 人体の構造と機能及び心身の発達 別表2（作業療法士課程） 人体の構造と機能及び心身の発達

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1単位	必修
担当教員			
高本 雅哉			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	授業では、「疾病(病気)」の原因、病型の分類、発生メカニズム、実像(形態・構造変化)、経過と転帰などについて病理総論を中心とした基礎を学ぶ。
学修目標	1. 退行性病変・進行性病変、炎症、循環障害、腫瘍など、臓器の違いをこえて共通にみられる病変について原因、成り立ち、進展の過程、患者に対する影響などについて理解する 2. 患者への援助を行う際の根拠となる病理学の知識を病変の枠組みの中でとらえ理解する 3. 基本的なテクニカルタームとその定義を習得し、特有な表現に慣れる
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション・病因論 4/11(金)1限 コミュニティールーム (担当：高本)</p> <p>第2回 退行性病変：萎縮、変性、細胞の死 4/18(金)1限 コミュニティールーム (担当：高本)</p> <p>第3回 進行性病変：肥大、過形成、化生、再生・修復、一次・二次治癒 4/25(金)1限 コミュニティールーム (担当：高本)</p> <p>第4回 代謝障害：肥満、脂肪肝、粥状動脈硬化症など 5/2(金)1限 コミュニティールーム (担当：高本)</p> <p>第5回 循環障害(1)：充血、うっ血、浮腫、出血 5/9(金)1限 コミュニティールーム (担当：高本)</p> <p>第6回 循環障害(2)：血栓症、塞栓症、虚血と梗塞 5/16(金)1限 コミュニティールーム (担当：高本)</p> <p>第7回 循環障害(3)：高血圧症、肺高血圧症、門脈圧亢進症 5/23(金)1限 コミュニティールーム (担当：高本)</p> <p>第8回 炎症(1)：炎症 5/30(金)1限 コミュニティールーム (担当：高本)</p> <p>第9回 炎症(2)：感染症 6/6(金)1限 コミュニティールーム (担当：高本)</p> <p>第10回 免疫異常(1)：アレルギー、自己免疫疾患 6/13(金)1限 コミュニティールーム (担当：高本)</p> <p>第11回 免疫異常(2)：免疫不全、移植 6/20(金)1限 コミュニティールーム (担当：高本)</p> <p>第12回 腫瘍(1)：腫瘍の命名と分類、腫瘍の形態、悪性腫瘍の進展形式 6/27(金)1限 コミュニティールーム (担当：高本)</p> <p>第13回 腫瘍(2)：悪性腫瘍の進行度、腫瘍発生の原因、発がんのメカニズム 7/4(金)1限 コミュニティールーム (担当：高本)</p> <p>第14回 先天異常(1)：遺伝性疾患 7/11(金)1限 コミュニティールーム (担当：高本)</p> <p>第15回 先天異常(2)：染色体異常、奇形 7/18(金)1限 コミュニティールーム (担当：高本)</p>
教科書	大橋健一 系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進[1] 病理学 第6版 医学書院
参考図書	北川昌伸、仁木利郎(編) 標準病理学 医学書院
予習・復習内容	前回の講義内容に関する小テストで、復習の確認を行う。
成績評価方法	期末試験100%
履修上の注意	なし
担当教員への連絡方法	e-mail: takamoto.masaya@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	医師や検査部からの寄生虫感染症に関する病理診断への助言等
実務経験と授業科目の関連性	なし

指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進 別表2（作業療法士課程） 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進
-----------	--

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	1単位	必修
担当教員			
松永 俊樹、外間 政信			
年間授業回数：8回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	リハビリテーション医療での以下に示す主たる対象疾患のエックス線、CT、MRI、超音波検査、核医学検査などの画像について、読影の基本を学び、対象患者の病変の部位と性質と症状との関連性を理解できる能力を養う。
学修目標	リハビリテーションを実施してゆくうえで必要な、全身の代表的な疾患の臨床画像診断法を学ぶ。これにより、より実践的に患者の状態を理解できるようになる。なお、授業での画像読影はあくまでも基礎であり、実習の場において積極的に画像を見、質問をして理解をし、経験を積むことが大切である。
授業計画	<p>第1回 レントゲン読影の基礎、CT、MRI、超音波検査、核医学検査画像の見方（講義内容：指定教科書第1部） 4/9(水)4限 第1作業療法室（担当：松永）</p> <p>第2回 脊椎・脊髄の正常画像解剖学と疾患画像診断（講義内容：指定教科書第2・3部脊椎・脊髄領域） 4/16(水)4限 第1作業療法室（担当：松永）</p> <p>第3回 四肢の正常画像解剖学と疾患画像診断（講義内容：指定教科書第2・3部四肢領域） 4/23(水)4限 第1作業療法室（担当：松永）</p> <p>第4回 胸腹部の正常画像解剖学と疾患画像診断（講義内容：指定教科書第2・3部胸腹部領域） 4/30(水)4限 第1作業療法室（担当：松永）</p> <p>第5回 頭部画像読影の基本 6/2(月)5限 コミュニティールーム（担当：外間）</p> <p>第6回 虚血性脳神経疾患の画像診断 6/9(月)5限 コミュニティールーム（担当：外間）</p> <p>第7回 出血性脳神経疾患の画像診断 6/16(月)5限 コミュニティールーム（担当：外間）</p> <p>第8回 脳腫瘍・神経外傷・中枢感染症・神経中毒の画像診断 6/23(月)5限 コミュニティールーム（担当：外間）</p>
教科書	百島祐貴 PT・OTのための画像診断マニュアル 医学教育出版社 （講義資料を兼ねるため持参必須）
参考図書	松永：中島ほか PT・OT基礎から学ぶ 画像の読み方 医歯薬出版 外間：榎間 剛 リハビリPT・OT・ST・Drのための脳画像の新しい勉強本 ㈱三輪書店
予習・復習内容	授業に集中し、出された画像をしっかり見て、目に焼き付けること。 松永：指定教科書（PT・OTのための画像診断マニュアル）の該当範囲を予習し講義後よく復習すること。
成績評価方法	試験100%、場合によりレポート提出を求める。
履修上の注意	機会があるたびにたくさんの画像（正常画像）を見ること。 あれ？おかしい、正常ではない、と気付くことが大切。
担当教員への連絡方法	松永：本館事務へ 外間：本館事務へ
授業に関する大学教員以外の実務経験	整形外科、脳神経外科の臨床専門医としての実務経験あり。
実務経験と授業科目の関連性	臨床でよく遭遇する画像を中心に読影を勉強する。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進 別表2（作業療法士課程） 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	1単位	必修
担当教員			
帯刀 益夫			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	薬理学は、生体と外界の化合物（薬）との相互作用の結果生じる現象を研究する学問であり、生理学と生化学を基本としてその作用メカニズムが構築されている。本講義では、まず薬理学とはどんな学問かを総論として説明する。 その上で、体の各組織系ごとに、代表的な病気とその治療薬について薬の作用のメカニズムを説明する。
学修目標	1. 人の身体の生理学や生化学の原理的理解を基盤として、医薬等が、どのような薬理作用を示すか、その作用機構について理解できる 2. 個々の医薬品について具体例をもってその作用を理解できる。 3. 医薬品による医療事故、サプリメント、食品の安全などについて、原理的に、人の身体に外から投入された物質と身体の相互作用に基づいていることを理解できる。
授業計画	<p>第1回 薬理学総論 1、医療と薬物療法 4/8(火)3限 第1作業療法室 (担当：帯刀)</p> <p>第2回 薬理学総論 2、薬物の投与と体内動態 4/15(火)3限 第1作業療法室 (担当：帯刀)</p> <p>第3回 薬理学総論 3、薬物の代謝と相互作用 4/22(火)3限 第1作業療法室 (担当：帯刀)</p> <p>第4回 薬理学総論 4、シグナル伝達と薬物 4/29(火)3限 第1作業療法室 (担当：帯刀)</p> <p>第5回 消化器系の薬 5/6(火)3限 第1作業療法室 (担当：帯刀)</p> <p>第6回 循環器・血液系の薬 5/13(火)3限 第1作業療法室 (担当：帯刀)</p> <p>第7回 呼吸器系の薬 5/20(火)3限 第1作業療法室 (担当：帯刀)</p> <p>第8回 内分泌系の薬 5/27(火)3限 第1作業療法室 (担当：帯刀)</p> <p>第9回 神経系の薬 6/3(火)3限 第1作業療法室 (担当：帯刀)</p> <p>第10回 感染症の薬 6/10(火)3限 第1作業療法室 (担当：帯刀)</p> <p>第11回 抗がん薬 6/17(火)3限 第1作業療法室 (担当：帯刀)</p> <p>第12回 抗炎症薬 6/24(火)3限 第1作業療法室 (担当：帯刀)</p> <p>第13回 その他の薬 7/1(火)3限 第1作業療法室 (担当：帯刀)</p> <p>第14回 トピックス 7/8(火)3限 第1作業療法室 (担当：帯刀)</p> <p>第15回 まとめ 7/15(火)3限 第1作業療法室 (担当：帯刀)</p>
教科書	丸山敬著 FLASH薬理学 羊土社
参考図書	安原一・小口勝司編集 わかりやすい薬理学 スーヴェルヒロカワ
予習・復習内容	なし
成績評価方法	期末試験 70% レポート30%
履修上の注意	細部の知識と全体像を合わせて理解すること。 判らないことがあったらいつでも質問すること。 疑問を感じたことを具体的な質問の形にまとめてみる習慣を身につけること。
担当教員への連絡方法	本館事務室に伝言する。
授業に関する大学教員以外の実務経	なし

験	
実務経験と授業科目の関連性	なし
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進 別表2（作業療法士課程） 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進

講義科目名称： 栄養管理学

授業コード： 21170

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	1単位	必修
担当教員			
上延 麻耶			
年間授業回数：8回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	リハビリテーションの効果は個々人の栄養状態によって左右される。個々の状態に応じた適切な栄養管理とリハビリテーションを平行して行うことで、対象者の心身の機能やADL, QOLをより改善していくための栄養管理について学ぶ。
学修目標	1. リハビリテーション栄養の必要性を学び理解できる 2. リハビリテーション効果を高める栄養管理・栄養療法について理解できる 3. リハビリテーション栄養の実践につながる知識を涵養できる
授業計画	<p>第1回 リハビリテーションにおける栄養管理 9/25(木)2限 第1作業療法室 (担当：上延)</p> <p>第2回 栄養障害および栄養管理の概要 10/2(木)2限 第1作業療法室 (担当：上延)</p> <p>第3回 栄養の基礎 10/9(木)2限 第1作業療法室 (担当：上延)</p> <p>第4回 リハビリテーションにおける栄養管理①脳血管障害等 10/16(木)2限 第1作業療法室 (担当：上延)</p> <p>第5回 リハビリテーションにおける栄養管理②脊髄損傷等 10/23(木)2限 第1作業療法室 (担当：上延)</p> <p>第6回 リハビリテーションにおける栄養管理③神経・筋疾患等 10/30(木)2限 第1作業療法室 (担当：上延)</p> <p>第7回 リハビリテーションにおける栄養管理④その他疾患等 11/6(木)2限 第1作業療法室 (担当：上延)</p> <p>第8回 総括：リハビリテーションにおける栄養管理 11/13(木)2限 第1作業療法室 (担当：上延)</p>
教科書	久保俊一・吉村芳弘編集 リハビリテーション医学・医療における栄養管理テキスト 医学書院
参考図書	若林秀隆編著 リハビリテーション栄養ポケットマニュアル 医歯薬出版
予習・復習内容	適宜、予習・復習内容を提示する。
成績評価方法	定期試験80%、課題20%
履修上の注意	特になし
担当教員への連絡方法	本館事務室に伝言する。
授業に関する大学教員以外の実務経験	管理栄養士として様々な対象者や対象集団に対する栄養管理関連授業や郊外実習の担当と学生指導
実務経験と授業科目の関連性	あらゆるライフステージおよび心身の状態が異なる対象者に対する栄養管理とリハビリテーションの関係について専門的な知識を講義することで、受講学生の栄養管理に関する深い理解が可能となる。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1 (理学療法士課程) 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進 別表2 (作業療法士課程) 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進

講義科目名称： 救急救命医学

授業コード： 21180

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	1単位	必修
担当教員			
大屋 房一、春原 るみ			
年間授業回数：8回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	理学療法士・作業療法士にとっての、救急医療、災害医療の基本的な概念を理解し、必要な手技をおこなえるようにする。
学修目標	1. 救急医療の初期医療についての概念を理解する。 2. バイタルサインの意味を理解し、その観察と評価について理解する。 3. 一次救命処置が行えるようにする。 4. 外傷初期診療の概念を理解する。 5. 災害医療の基本的な概念を理解する。
授業計画	第1回 救急初期診療 日程・教室調整中（担当：大屋） 第2回 救急医療のABCD 日程・教室調整中（担当：大屋） 第3回 外傷初期診療について 日程・教室調整中（担当：大屋） 第4回 災害医療（CSCATTTについて）、トリアージ 日程・教室調整中（担当：大屋） 第5回 救急法演習：一次救命処置（心肺蘇生、AEDの使用法）を中心に行なう 日程・教室調整中（担当：春原、日本赤十字社長野県支部） 第6回 救急法演習：一次救命処置（心肺蘇生、AEDの使用法）を中心に行なう 日程・教室調整中（担当：春原、日本赤十字社長野県支部） 第7回 災害時リハビリテーション支援の概要 日程・教室調整中（担当：春原） 第8回 災害時リハビリテーション支援の実際 日程・教室調整中（担当：春原）
教科書	※確認中
参考図書	※確認中
予習・復習内容	※確認中
成績評価方法	※確認中
履修上の注意	※確認中
担当教員への連絡方法	※確認中
授業に関する大学教員以外の実務経験	※確認中
実務経験と授業科目の関連性	※確認中
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進 別表2（作業療法士課程） 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1単位	必修
担当教員			
大井 直往、岩谷 力、石川 浩太郎、小崎 慶介、小林 隆洋、清水 朋美、田丸 冬彦、芳賀 信彦、原田 由紀、横塚 紗永子			
年間授業回数：15回	授業形態：講義	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	リハビリテーション医学の全体像、医学・医療における位置づけを理解し、包括的に地域生活を支援する多職種連携チームの一員として治療に参加する基礎を培うために以下の講義をおこなう。リハビリテーション医学の関心領域、治療の目的、診断、機能評価、治療手法、治療過程、効果判定、予後予測の基礎について学び、主な対象疾患（脳卒中、骨関節疾患、小児疾患、スポーツ外傷・障害、高齢者、循環器疾患、呼吸器疾患、内臓疾患）ならびに、主な障害に対する障害予防、重症化防止、リハビリテーション治療、生活支援について概説する。
学修目標	1. リハビリテーション医学における診断、機能測定・評価、治療手法、アウトカム評価の治療過程を理解できる 2. 主な対象疾患、障害について病気、機能低下、活動制限、参加制約の障害化過程を理解し、治療の目的（自立支援、就労支援、地域生活参加支援）ならびに治療適応について説明できる
授業計画	<p>第1回 概論（理念、自立支援、就労支援、地域包括システム、チームアプローチ） 9/25(木)4限 第1作業療法室（担当：岩谷）</p> <p>第2回 測定と評価 治療手法 予後予測 10/2(木)4限 第1作業療法室（担当：大井）</p> <p>第3回 各論 内部障害 心臓・肝臓・腎臓・呼吸器 10/9(木)4限 第1作業療法室（担当：小林）</p> <p>第4回 各論 急性期 ICUにおけるリハビリテーション 10/16(木)4限 第1作業療法室（担当：大井）</p> <p>第5回 各論 脳卒中 10/17(金)4限 第1作業療法室（担当：田丸）</p> <p>第6回 各論 廃用症候群 10/23(木)4限 第1作業療法室（担当：大井）</p> <p>第7回 各論 関節疾患・神経筋疾患 10/30(木)4限 第1作業療法室（担当：大井）</p> <p>第8回 各論 重症心身障害・医療的ケア 10/30(木)5限 第1作業療法室（担当：原田）</p> <p>第9回 各論 聴覚障害・嚥下障害 11/6(木)4限 第1作業療法室（担当：石川）</p> <p>第10回 各論 こどもの先天異常 11/12(水)4限 第1作業療法室（担当：芳賀）</p> <p>第11回 各論 こどもの障害 脳性まひ 11/21(金)4限 第1作業療法室（担当：小崎）</p> <p>第12回 各論 視覚障害 12/4(木)4限 第1作業療法室（担当：清水）</p> <p>第13回 各論 精神障害 12/5(金)4限 第1作業療法室（担当：横塚）</p> <p>第14回 各論 運動器の外傷・ロコモティブシンドローム 12/11(木)4限 第1作業療法室（担当：大井）</p> <p>第15回 各論 脊髄損傷 12/18(木)4限 第1作業療法室（担当：大井）</p>
教科書	指定なし
参考図書	中村隆一監修 入門リハビリテーション医学 医歯薬出版
予習・復習内容	主な対象疾患について、対応する臨床医学科目の知識を深めておくこと
成績評価方法	期末試験：70% ミニテスト：30%
履修上の注意	なし
担当教員への連絡方法	本館事務へ伝言する
授業に関する大学教員以外の実務経	いずれの教員も各専門領域の医師として実務経験を有する

験	
実務経験と授業科目の関連性	臨床経験に基づいて、障害を持つ人々が生活を営む上で経験する不自由とそれに対する社会の仕組みや、臨床場面で経験する医学的治療では対応できない問題への対応について講義する
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進 別表2（作業療法士課程） 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進

講義科目名称： 外科学

授業コード： 21190

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1単位	必修
担当教員			
西村 博行、荒井 裕国			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	講義形式で行う。外科学の基本を講義する。特に内部障害のリハビリテーションに関する呼吸器、循環器、消化器、泌尿器等について、解剖生理を中心に講義する。この講義により、単に外科学の概要ばかりでなく、今後ますます増加すると見込まれる内科的疾患を合併した患者のリハビリテーションの基本的な知識を得ることができる。
学修目標	1. 外科学の発展の歴史の概略を理解できる 2. その発展の中で特に大事な麻酔、感染症、ショック、免疫等の問題を理解できる 3. 最近重要になってきている内部障害のリハビリテーションと外科学の関係を理解できるようになる
授業計画	第1回 外科の歴史 11/6(木)3限 コミュニティールーム (担当：西村) 第2回 外傷(創傷、損傷) 11/13(木)3限 コミュニティールーム (担当：西村) 第3回 敗血症性ショック、DIC 11/20(木)3限 コミュニティールーム (担当：西村) 第4回 外科的感染症、急性腹症、鏡下手術 11/27(木)3限 コミュニティールーム (担当：西村) 第5回 虚血性心疾患、不整脈、心臓リハビリテーション 12/4(木)3限 コミュニティールーム (担当：荒井) 第6回 外科免疫、腫瘍、分子生物 12/11(木)3限 コミュニティールーム (担当：西村) 第7回 消化器、呼吸器の手術 12/18(木)3限 コミュニティールーム (担当：西村) 第8回 呼吸リハビリ 12/25(木)3限 コミュニティールーム (担当：西村)
教科書	畠山勝義編集 標準外科学 医学書院
参考図書	1. ウィリアム・ジョン・ビショップ著 外科の歴史 近代外科の生い立ち 時空出版 2. 病気がみえる②③ メディックメディア
予習・復習内容	講義で配布した資料を精読する。
成績評価方法	期末試験 100%
履修上の注意	過去の配布資料を持参すること。 外科の基本は解剖学なので、筋肉や骨以外の人体解剖も理解するように努めること。
担当教員への連絡方法	本館事務室に伝言する。
授業に関する大学教員以外の実務経験	外科医としての臨床経験あり。
実務経験と授業科目の関連性	上記の実務経験から、外科学と理学療法・作業療法との関係を見極めつつ講義内容を検討し、学生が興味深く外科学を学ぶことができる科目である。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1(理学療法士課程) 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進 別表2(作業療法士課程) 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1単位	必修
担当教員			
齋藤 直人			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	「人びとの活動を育む医学」であるリハビリテーション医学において、運動器疾患、運動器リハビリテーションは基本的で重要な分野である。また生涯を通じてスポーツを実践し、健康な生活を送るためにも運動器、整形外科の知識は必須である。整形外科学は乳幼児期から青年期、老年期に至るまでの全ての年代が対象であり、運動器に対するアプローチを通じて活動を支援する知識を得ることも本講座の重要な目標である。本授業において幅広く運動器に関する知識を学んでほしい。
学修目標	1. 健常者の動作、運動を筋・骨格系の解剖生理から理解し説明が出来る 2. 運動器の発達と成熟・老化の過程と特徴を理解し、各年齢層に対する適切な対応を学ぶ 3. 変性疾患、炎症性疾患、感染症、腫瘍などの基本概念を理解する 4. 上肢、下肢、脊椎の主要な疾患を理解し、またそれぞれの部位の外傷を理解する 5. 脊椎脊髄疾患と損傷を理解し、リハビリテーションと対応を知る
授業計画	第1回 オリエンテーション・整形外科学の基礎知識 ①整形外科学について ②整形外科学的診断学 ③整形外科学的治療法 4/23(水)4限 コミュニティールーム (担当：齋藤) 第2回 部位別の外傷と疾患 ①軟部組織損傷 ②骨・関節の損傷総論 4/30(水)4限 コミュニティールーム (担当：齋藤) 第3回 部位別の外傷と疾患 ③肩関節および上腕 ④肘関節および前腕 5/7(水)4限 コミュニティールーム (担当：齋藤) 第4回 部位別の外傷と疾患 ⑤手関節と手指 ⑥股関節および大腿(1) 5/28(水)4限 コミュニティールーム (担当：齋藤) 第5回 部位別の外傷と疾患 ⑥股関節および大腿(2) 6/4(水)4限 コミュニティールーム (担当：齋藤) 第6回 部位別の外傷と疾患 ⑦膝関節および下腿 6/25(水)4限 コミュニティールーム (担当：齋藤) 第7回 部位別の外傷と疾患 ⑧足関節と足部 ⑨脊椎・脊髄(1) 7/2(水)4限 コミュニティールーム (担当：齋藤) 第8回 部位別の外傷と疾患 ⑨脊椎・脊髄(2) ⑩骨盤 7/9(水)4限 コミュニティールーム (担当：齋藤)
教科書	高橋邦泰/芳賀信彦(編) 整形外科学テキスト 改訂第5版 南江堂
参考図書	1. リハビリテーションのための整形外科学の歩き方 南江堂 (整形外科の考え方をわかりやすく解説) 2. TEXT整形外科学 南山堂 (教科書・参考図書1の次のステップの参考書として最適) 3. 標準整形外科学 医学書院 (医学生から整形外科専門医を目指す医師にも読まれている充実した内容)
予習・復習内容	授業内容に該当する教科書の部分をあらかじめ通読して授業に臨むこと。 教科書と配付資料で復習すること。
成績評価方法	試験100%、場合によりレポート提出を求める。
履修上の注意	教科書・配付資料にどんどん書き込んで、知識の整理をすること。
担当教員への連絡方法	本館事務へ伝言する。
授業に関する大学教員以外の実務経験	整形外科専門医として臨床経験あり。
実務経験と授業科目の関連性	臨床経験に基づいて、実臨床を視野に入れた講義を行うことで、学生はより深い理解が可能となる。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1(理学療法士課程) 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進 別表2(作業療法士課程) 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1単位	必修
担当教員			
齋藤 直人			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	「人びとの活動を育む医学」であるリハビリテーション医学において、運動器疾患、運動器リハビリテーションは基本的で重要な分野である。また生涯を通じてスポーツを実践し、健康な生活を送るためにも運動器、整形外科の知識は必須である。整形外科学は乳幼児期から青年期、老年期に至るまでの全ての年代が対象であり、運動器に対するアプローチを通じて活動を支援する知識を得ることも本講座の重要な目標である。本授業において幅広く運動器に関する知識を学んでほしい。
学修目標	1. 慢性関節疾患や関節リウマチとその類縁疾患の特徴を理解する 2. ロコモティブシンドロームについて理解し説明できる 3. 代表的な神経疾患、骨系統疾患、骨軟部腫瘍について理解する 4. 四肢切断の原因や特徴、切断周術期の対応、義手義足の適応などについて理解する 5. スポーツ整形外科、障がい者スポーツについて理解する
授業計画	第1回 全身性の疾患 ①慢性関節疾患 ②関節リウマチとその類縁疾患 9/24(水)4限 第1作業療法室 (担当：齋藤) 第2回 全身性の疾患 ③感染症 ④代謝・内分泌疾患 10/1(水)4限 第1作業療法室 (担当：齋藤) 第3回 全身性の疾患 ⑤ロコモティブシンドロームと運動器不安定症 ⑥骨・軟部腫瘍 10/22(水)4限 第1作業療法室 (担当：齋藤) 第4回 全身性の疾患 ⑦神経疾患・筋疾患(1) 10/29(水)4限 第1作業療法室 (担当：齋藤) 第5回 全身性の疾患 ⑦神経疾患・筋疾患(2) 11/5(水)4限 第1作業療法室 (担当：齋藤) 第6回 全身性の疾患 ⑧骨系統疾患 ⑨骨壊死性疾患および骨端症 11/26(水)4限 第1作業療法室 (担当：齋藤) 第7回 全身性の疾患 ⑩四肢循環障害 ⑪四肢切断および四肢欠損 12/3(水)4限 第1作業療法室 (担当：齋藤) 第8回 全身性の疾患 ⑫慢性疼痛疾患 ⑬スポーツ整形外科 ⑭パラスポーツ 12/24(水)4限 第1作業療法室 (担当：齋藤)
教科書	高橋邦泰/芳賀信彦(編) 整形外科学テキスト 改訂第5版 南江堂
参考図書	1. リハビリテーションのための整形外科学の歩きかた 南江堂 (整形外科の考え方をわかりやすく解説) 2. TEXT整形外科学 南山堂 (教科書・参考図書1の次のステップの参考書として最適) 3. 標準整形外科学 医学書院 (医学生から整形外科専門医を目指す医師にも読まれている充実した内容)
予習・復習内容	授業内容に該当する教科書の部分をあらかじめ通読して授業に臨むこと。 教科書と配付資料で復習すること。
成績評価方法	試験100%、場合によりレポート提出を求める。
履修上の注意	教科書・配付資料にどんどん書き込んで、知識の整理をすること。
担当教員への連絡方法	本館事務へ伝言する。
授業に関する大学教員以外の実務経験	整形外科医師として臨床経験あり。
実務経験と授業科目の関連性	臨床経験に基づいて、実臨床を視野に入れた講義を行うことで、学生はより深い理解が可能となる。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1(理学療法士課程) 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進 別表2(作業療法士課程) 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1単位	必修
担当教員			
田中 榮司、高本 雅哉、結城 淳子、樋口 京一			
年間授業回数：15回	授業形態：講義	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	リハビリテーション対象患者の多くを占める高齢者によく見られる疾病とその特徴、治療方針の概要について、内科学の立場から理解を深める。 縦割りの臓器別系統講義とともに、病状、徴候をキーとした疾病横断的考え方についても取り上げる。同時に、リハビリテーションの現場で問題となる観察や判断について循環器系・呼吸器系を中心に取り上げ、リハビリテーション療法士に求められる臨床的能力について考えていく予定である。
学修目標	症候から本体に迫る臨床推論の考え方を取り入れ、リハビリテーションの現場での観察や判断について学ぶ事で内科的臨床能力を身につける事を目的とする。自覚症状から病態をとらえ、他覚所見で病態を推論し、必要な検査を考えることで診断に迫る。チームスタッフである医師・看護師・介護福祉士・ヘルパー・ソーシャルワーカーなどどどのように意思疎通と情報共有を図ってゆけばよいのかも考える。
授業計画	<p>第1回 内科診療の基本 4/10(木)1限 コミュニティールーム (担当：田中)</p> <p>第2回 呼吸器疾患 I 呼吸器疾患の病態生理 4/17(木)1限 コミュニティールーム (担当：田中)</p> <p>第3回 呼吸器疾患 II 呼吸器疾患の診断と治療 4/24(木)1限 コミュニティールーム (担当：田中)</p> <p>第4回 循環器疾患 I 循環器疾患の病態生理 5/1(木)1限 コミュニティールーム (担当：結城)</p> <p>第5回 循環器疾患 II 循環器疾患の検査と診断 5/8(木)1限 コミュニティールーム (担当：結城)</p> <p>第6回 循環器疾患 III 循環器疾患診療の実際 (虚血性心疾患、不整脈、他) 5/15(木)1限 コミュニティールーム (担当：結城)</p> <p>第7回 循環器疾患 III 循環器疾患診療の実際 (不整脈、心筋疾患、他) 5/22(木)1限 コミュニティールーム (担当：結城)</p> <p>第8回 消化器疾患 I 消化管疾患の病態生理 5/29(木)1限 コミュニティールーム (担当：田中)</p> <p>第9回 消化器疾患 II 消化管疾患の診断と治療 6/12(木)1限 コミュニティールーム (担当：田中)</p> <p>第10回 消化器疾患 III 肝胆膵疾患の病態生理 6/19(木)1限 コミュニティールーム (担当：田中)</p> <p>第11回 消化器疾患 IV 肝胆膵疾患の診断と治療 6/26(木)1限 コミュニティールーム (担当：田中)</p> <p>第12回 老年医学 老化の概念と制御の可能性 6/27(金)4限 コミュニティールーム (担当：樋口)</p> <p>第13回 感染症 II 感染症の基礎と感染管理 7/3(木)1限 コミュニティールーム (担当：高本)</p> <p>第14回 感染症 II 感染症疾患の予防と治療 7/10(木)1限 コミュニティールーム (担当：高本)</p> <p>第15回 中間まとめ 7/17(木)1限 コミュニティールーム (担当：田中)</p>
教科書	浅野嘉延編 なるほどなっとく！内科学 南山堂
参考図書	丹保亜希仁、佐藤浩之ほか著 改訂第5版日本救急医学会ICLSコースガイドブック 羊土社
予習・復習内容	毎回、教科書の関連する箇所を読んで予習をする。配布したプリントを用い、重要な箇所を復習する。
成績評価方法	定期試験100%
履修上の注意	なし
担当教員への連絡方法	田中 E-mail:tanaka.eiji@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	内科医として臨床経験あり。

実務経験と授業科目の関連性	臨床経験に基づいて、実臨床を視野に入れた講義を行うことで、学生はより深い理解が可能となる。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進 別表2（作業療法士課程） 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1単位	必修
担当教員			
田中 榮司、田中 直樹、結城 淳子			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	リハビリテーション対象患者の多くを占める高齢者によく見られる疾病とその特徴、治療方針の概要について、内科学の立場から理解を深める。 縦割りの臓器別系統講義とともに、病状、徴候をキーとした疾病横断的考え方についても取り上げる。同時に、リハビリテーションの現場で問題となる観察や判断について循環器系・呼吸器系を中心に取り上げ、リハビリテーション療法士に求められる臨床的能力について考えていく予定である。
学修目標	症候から本体に迫る臨床推論の考え方を取り入れ、リハビリテーションの現場での観察や判断について学ぶ事で内科的臨床能力を身につける事を目的とする。自覚症状から病態をとらえ、他覚所見で病態を推論し、必要な検査を考えることで診断に迫る。チームスタッフである医師・看護師・介護福祉士・ヘルパー・ソーシャルワーカーなどどのように意思疎通と情報共有を図ってゆけばよいのかも考える。
授業計画	<p>第1回 代謝疾患Ⅰ 代謝疾患の病態生理 9/24(水)2限 コミュニティールーム (担当：田中 榮司)</p> <p>第2回 代謝疾患Ⅱ 代謝疾患の診断と治療 10/1(水)2限 コミュニティールーム (担当：田中 榮司)</p> <p>第3回 腎・泌尿器疾患Ⅰ 腎・泌尿器疾患の病態生理 10/8(水)2限 コミュニティールーム (担当：田中 榮司)</p> <p>第4回 腎・泌尿器疾患Ⅱ 腎・泌尿器疾患の診断と治療 10/15(水)2限 コミュニティールーム (担当：田中 榮司)</p> <p>第5回 アレルギー・免疫・膠原病Ⅰ アレルギー・免疫とは何か 10/22(水)2限 コミュニティールーム (担当：田中 榮司)</p> <p>第6回 アレルギー・免疫・膠原病Ⅱ 膠原病の概要と自己免疫 11/12(水)2限 コミュニティールーム (担当：田中 榮司)</p> <p>第7回 内分泌疾患Ⅰ 内分泌器官の機能 11/19(水)2限 コミュニティールーム (担当：田中 榮司)</p> <p>第8回 蘇生法の基礎 11/20(木)4限 第1作業療法室 (担当：結城 淳子)</p> <p>第9回 内分泌疾患Ⅱ 内分泌疾患の診断と治療 11/26(水)2限 コミュニティールーム (担当：田中 榮司)</p> <p>第10回 造血器疾患Ⅰ 造血器疾患の病態生理 11/27(木)4限 第1作業療法室 (担当：田中 榮司)</p> <p>第11回 造血器疾患Ⅱ 造血器疾患の診断と治療 12/3(水)2限 コミュニティールーム (担当：田中 榮司)</p> <p>第12回 中間まとめ 12/10(水)2限 コミュニティールーム (担当：田中 榮司)</p> <p>第13回 症候から迫る内科学Ⅰ 発熱、咳嗽、喀痰、等 12/25(木)4限 第1作業療法室 (担当：田中 直樹)</p> <p>第14回 症候から迫る内科学Ⅱ 腹痛、吐血・下血、下痢・便秘、等 12/25(木)5限 第1作業療法室 (担当：田中 直樹)</p> <p>第15回 症候から迫る内科学Ⅲ 胸痛、呼吸困難、動悸、等 1/8(木)4限 第1作業療法室 (担当：田中 直樹)</p>
教科書	浅野嘉延編 なるほどなっとく！内科学 南山堂
参考図書	丹保亜希仁、佐藤浩之ほか著 改訂第5版日本救急医学会ICLSコースガイドブック 羊土社
予習・復習内容	毎回、教科書の関連する箇所を読んで予習をする。配布したプリントを用い、重要な箇所を復習する。
成績評価方法	定期試験100%
履修上の注意	なし
担当教員への連絡方法	田中 E-mail:tanaka.eiji@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	内科医として臨床経験あり。

実務経験と授業科目の関連性	臨床経験に基づいて、実臨床を視野に入れた講義を行うことで、学生はより深い理解が可能となる。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進 別表2（作業療法士課程） 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1単位	必修
担当教員			
田中 榮司、深津 玲子、春日 一希、田丸 冬彦			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	リハビリテーションの実践に必要な神経内科学を理解できるようにする。基本的な神経徴候・症状を理解し、個々の神経疾患の病態と薬物治療などの理解を深め疾患特有のリハビリテーションの概念をつかむようにする。 特に神経難病でのリハビリテーションの重要性を理解する。
学修目標	1. 主要神経徴候の理解ができる 2. 神経学的臨床検査を理解する 3. 主要神経疾患の成因と病態、症候、検査と治療を理解できる 4. 神経難病対策の社会的意義を理解する
授業計画	<p>第1回 神経症候学：神経診断学、運動麻痺 9/26(金)3限 第1作業療法室 (担当：深津)</p> <p>第2回 神経症候学：感覚麻痺、脳の画像診断の基礎 9/26(金)4限 第1作業療法室 (担当：深津)</p> <p>第3回 脊髄疾患 10/3(金)3限 第1作業療法室 (担当：深津)</p> <p>第4回 末梢神経疾患 10/3(金)4限 第1作業療法室 (担当：深津)</p> <p>第5回 筋疾患：重症筋無力症、筋萎縮性側索硬化症 10/24(金)3限 第1作業療法室 (担当：深津)</p> <p>第6回 免疫疾患、自立神経疾患、多発性硬化症 10/24(金)4限 第1作業療法室 (担当：深津)</p> <p>第7回 機能的疾患、高次脳機能障害 10/31(金)3限 第1作業療法室 (担当：深津)</p> <p>第8回 認知症 10/31(金)4限 第1作業療法室 (担当：深津)</p> <p>第9回 中間まとめ 基本的な神経疾患Ⅰ 11/5(水)2限 第1作業療法室 (担当：田中)</p> <p>第10回 神経変性疾患：パーキンソン病 12/1(月)5限 コミュニティールーム (担当：春日)</p> <p>第11回 神経変性疾患：脊髄小脳変性症 12/8(月)5限 コミュニティールーム (担当：春日)</p> <p>第12回 神経疾患とリハビリテーション 12/12(金)4限 第1作業療法室 (担当：田丸)</p> <p>第13回 脳血管障害：脳出血 12/17(水)2限 第1作業療法室 (担当：田中)</p> <p>第14回 脳血管障害：脳梗塞 12/24(水)2限 第1作業療法室 (担当：田中)</p> <p>第15回 中間まとめ 基本的な神経疾患Ⅱ 1/7(水)2限 第1作業療法室 (担当：田中)</p>
教科書	江藤文夫、飯島節 「神経内科学テキスト」 南江堂 東海大学医学部附属八王子病院看護学部編「本当に大切なことが1冊でわかる 脳神経」 照林社
参考図書	上野正文「脳神経」照林社 川上徳昭、綿貫成明「脳・神経疾患」南江堂
予習・復習内容	後期開講前に教科書を予習しておくこと。
成績評価方法	期末試験100%
履修上の注意	それぞれの疾病について、どのようなリハビリテーションや援助が可能か考えながら聴講すること。
担当教員への連絡方法	本館事務室に伝言する。
授業に関する大学教員以外の実務経験	脳神経内科医師としての臨床経験有り。

実務経験と授業科目の関連性	臨床経験に基づいて、実臨床を視野に入れた講義を行うことで、学生はより深い理解可能となる。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進 別表2（作業療法士課程） 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進

講義科目名称： 脳神経外科学

授業コード： 21060

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1単位	必修
担当教員			
外間 政信			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	頭部に関する形態と機能、神経検査や神経所見、中枢神経・末梢神経及び自律神経や脳循環代謝を臨床の立場から学び、詳細な神経症候学を理解し脳血管障害、脳腫瘍、頭部外傷等の疾患についての病態、症状、診断、脳神経外科的治療を学習する。内容は脳および脳神経に関する解剖・生理、検査と症状、脳血管障害、頭部外傷、脳腫瘍その他である。
学修目標	脳および脳神経に関する解剖生理を理解し、脳血管障害などの疾患を学ぶこと。
授業計画	<p>第1回 脳神経外科学について 4/7(月)4限 第1作業療法室 (担当：外間)</p> <p>第2回 頭部の形態と機能(1) 頭部の構造と解剖 4/14(月)4限 第1作業療法室 (担当：外間)</p> <p>第3回 頭部の形態と機能(2) 脳の構造と解剖 4/21(月)4限 第1作業療法室 (担当：外間)</p> <p>第4回 検査 (画像検査・脳波・筋電図) 4/28(月)4限 第1作業療法室 (担当：外間)</p> <p>第5回 神経所見 5/12(月)4限 第1作業療法室 (担当：外間)</p> <p>第6回 自律神経・脳循環代謝 5/19(月)4限 第1作業療法室 (担当：外間)</p> <p>第7回 神経症候学(1) 意識障害、運動障害、感覚障害 5/26(月)4限 第1作業療法室 (担当：外間)</p> <p>第8回 神経症候学(2) 頭痛、視野障害、高次脳機能障害など 6/2(月)4限 第1作業療法室 (担当：外間)</p> <p>第9回 脳血管障害(総論と脳梗塞) 6/9(月)4限 第1作業療法室 (担当：外間)</p> <p>第10回 脳血管障害(脳出血) 6/16(月)4限 第1作業療法室 (担当：外間)</p> <p>第11回 脳血管障害(くも膜下出血など) 6/23(月)4限 第1作業療法室 (担当：外間)</p> <p>第12回 脳腫瘍・てんかん 6/30(月)4限 第1作業療法室 (担当：外間)</p> <p>第13回 頭部外傷・感染症・水頭症・小児 7/7(月)4限 第1作業療法室 (担当：外間)</p> <p>第14回 まとめ まとめ問題1～33 7/14(月)4限 第1作業療法室 (担当：外間)</p> <p>第15回 まとめ まとめ問題34～60 7/21(月)4限 第1作業療法室 (担当：外間)</p>
教科書	病気が見える (脳・神経) MEDIC MEDIA
参考図書	宜保浩彦・外間政信 臨床のための脳局所解剖学 中外医学社
予習・復習内容	講義内で適宜言及する
成績評価方法	期末試験(筆記) 100%
履修上の注意	講義はプリントと教科書が主体
担当教員への連絡方法	本館事務へ伝言する
授業に関する大学教員以外の実務経験	脳外科医師として臨床経験あり
実務経験と授業科目の関連性	臨床経験に基づいて、実臨床を視野に入れた講義を行うことで、学生はより深い理解が可能となる

指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進 別表2（作業療法士課程） 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進
-----------	--

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1単位	必修
担当教員			
天野 芳郎			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	子どもの発育・発達を理解し、小児期に多い代表的な疾患の原因・病態・治療法などを学ぶ。
学修目標	<ul style="list-style-type: none"> ・小児の成長・発達について説明できる ・小児の各疾患について病態・治療を説明できる ・年齢や疾患に応じてリハビリテーションを提案できる ・疾患を持つ子ども・保護者の心理的側面に配慮したリハビリテーションを提案できる
授業計画	<p>第1回 小児科学概論 4/9(水)1限 コミュニティールーム (担当：天野)</p> <p>第2回 小児科学概論、診断と治療の概要 4/16(水)1限 コミュニティールーム (担当：天野)</p> <p>第3回 新生児・未熟児と疾患 4/23(水)1限 コミュニティールーム (担当：天野)</p> <p>第4回 先天異常と遺伝病 4/30(水)1限 コミュニティールーム (担当：天野)</p> <p>第5回 神経・筋疾患 (1) 主に脳炎・脳症・先天性の神経疾患・てんかん 5/7(水)1限 コミュニティールーム (担当：天野)</p> <p>第6回 神経・筋疾患 (2) 主に脳性麻痺、筋疾患 5/14(水)1限 コミュニティールーム (担当：天野)</p> <p>第7回 骨・関節疾患 5/21(水)1限 コミュニティールーム (担当：天野)</p> <p>第8回 循環器疾患 5/28(水)1限 コミュニティールーム (担当：天野)</p> <p>第9回 呼吸器疾患、消化器疾患 6/4(水)1限 コミュニティールーム (担当：天野)</p> <p>第10回 感染症 6/11(水)1限 コミュニティールーム (担当：天野)</p> <p>第11回 内分泌・代謝疾患、腎・泌尿器系、生殖器疾患 6/18(水)1限 コミュニティールーム (担当：天野)</p> <p>第12回 血液疾患、免疫・アレルギー疾患、膠原病、腫瘍性疾患 6/25(水)1限 コミュニティールーム (担当：天野)</p> <p>第13回 発達障害とその周辺疾患、二次障害、習癖・睡眠関連病態・心身医学的疾患 7/2(水)1限 コミュニティールーム (担当：天野)</p> <p>第14回 眼科的疾患・耳鼻科的疾患 7/9(水)1限 コミュニティールーム (担当：天野)</p> <p>第15回 重症心身障害児・医療的ケア児、児童虐待・事故 7/16(水)1限 コミュニティールーム (担当：天野)</p>
教科書	前垣義弘・小倉加恵子：標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 小児科学 第6版 医学書院
参考図書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 五十嵐 隆編集：小児科学 文光堂 2. 前川 喜平：写真でみる乳幼児健診の神経学的チェック法 南山堂 3. 仁志田 博司：新生児学入門 医学書院 4. 中村 友彦 編集：小児の疾患と看護 第3版 メディカ出版
予習・復習内容	様々な分野が繋がっているため、復習が大切になる。
成績評価方法	期末試験100%
履修上の注意	参考図書の1・2・3は専門的な書籍のため、詳しく知りたい時は参考になる。4は教科書よりやや詳しく記述されている。講義の際に資料を配布するので、それも参考にし、学習すること。
担当教員への連絡方法	本館事務室に伝言すること。
授業に関する大学教員以外の実務経験	小児科医師として臨床経験あり。

実務経験と授業科目の関連性	臨床経験に基づいて、実臨床を視野に入れた講義を行うことで、学生はより深い理解が可能となる。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進 別表2（作業療法士課程） 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1単位	必修
担当教員			
田玉 逸男、竹内 博人、公家 里依			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	精神医療及び精神障害者福祉の全体像を理解し、個々の疾患（統合失調症、感情障害、パニック障害、思春期にみられる障害、小児期からみられる障害、強迫性障害、認知症、てんかん、薬物依存、薬物中毒など）について特徴的な症状、治療方法、経過について学ぶ。
学修目標	1. 精神医療及び精神障害者福祉の全体像を学ぶ。 2. 個々の疾患について、その概念や症状、診断、治療法の基本的な知識を身に付け、説明できる。 3. 向精神薬の種類とそれらの作用について理解し、説明できる。
授業計画	<p>第1回 精神医学総論 精神医学の歴史ほか 4/7(月)3限 第1作業療法室 (担当：田玉)</p> <p>第2回 統合失調症Ⅰ 4/14(月)3限 第1作業療法室 (担当：田玉)</p> <p>第3回 統合失調症Ⅱ 4/21(月)3限 第1作業療法室 (担当：田玉)</p> <p>第4回 感情障害Ⅰ 4/28(月)3限 第1作業療法室 (担当：田玉)</p> <p>第5回 感情障害Ⅱ 5/12(月)3限 第1作業療法室 (担当：田玉)</p> <p>第6回 複雑性PTSD 5/19(月)3限 第1作業療法室 (担当：田玉)</p> <p>第7回 てんかん 5/21(水)4限 コミュニティールーム (担当：竹内)</p> <p>第8回 物質依存・アルコール依存症 6/2(月)3限 第1作業療法室 (担当：田玉)</p> <p>第9回 4大認知症・その他の認知症 6/9(月)3限 第1作業療法室 (担当：田玉)</p> <p>第10回 精神科治療学・精神薬理学 6/16(月)3限 第1作業療法室 (担当：田玉)</p> <p>第11回 法と精神医学 6/23(月)3限 第1作業療法室 (担当：田玉)</p> <p>第12回 総合討論 6/30(月)3限 第1作業療法室 (担当：田玉)</p> <p>第13回 神経発達症（主に自閉スペクトラム症、注意欠如多動症） 7/17(木)3限 コミュニティールーム (担当：公家)</p> <p>第14回 強迫症、摂食症など 7/17(木)4限 コミュニティールーム (担当：公家)</p> <p>第15回 精神療法 7/17(木)5限 コミュニティールーム (担当：公家)</p>
教科書	<標準理学療法・作業療法学>専門基礎分野、上野武治（編）：精神医学 第4版増補版 医学書院
参考図書	参考書は指定しない
予習・復習内容	教科書の予習復習する。
成績評価方法	期末テスト100%
履修上の注意	教科書を持参する。
担当教員への連絡方法	本館事務室に伝言すること。
授業に関する大学教員以外の実務経験	精神科医師としての臨床経験あり。
実務経験と授業科目の関連性	精神科病院での経験をもとに、実臨床を視野に入れた講義を行う。

指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進 別表2（作業療法士課程） 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進
-----------	--

講義科目名称： 精神医学Ⅱ

授業コード： 21090

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1単位	作業療法学専攻 必修／理学療法学専攻 選択
担当教員			
田玉 逸男			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	精神医学総論、精神医学の歴史を振り返るところから始め、模擬患者が演じる診療風景をビデオで供覧し精神障害をより深く、より具体的に学習して、さらなる理解を深めることを目的とする。
学修目標	1. 基本的精神疾患の特徴、経過、治療を説明できる。 2. 精神科薬物療法、司法精神医学、リエゾン・コンサルテーション精神医学について概要を説明できる。
授業計画	<p>第1回 精神医学の歴史：精神医学の歴史を俯瞰する 9/29(月)3限 コミュニティールーム (担当：田玉)</p> <p>第2回 統合失調症Ⅰ：ビデオを見て討論する 10/6(月)3限 コミュニティールーム (担当：田玉)</p> <p>第3回 統合失調症Ⅱ：ビデオを見て討論する、感情障害Ⅰ：ビデオを見て討論する 10/20(月)3限 コミュニティールーム (担当：田玉)</p> <p>第4回 感情障害Ⅱ：自殺学 11/10(月)3限 コミュニティールーム (担当：田玉)</p> <p>第5回 アルコール依存症：ビデオを見て討論する 11/17(月)3限 コミュニティールーム (担当：田玉)</p> <p>第6回 複雑性PTSD総論 12/1(月)3限 コミュニティールーム (担当：田玉)</p> <p>第7回 認知症：ビデオを見て討論する 12/8(月)3限 コミュニティールーム (担当：田玉)</p> <p>第8回 まとめ 12/15(月)3限 コミュニティールーム (担当：田玉)</p>
教科書	資料を配布
参考図書	なし
予習・復習内容	配布資料を予習・復習すること。
成績評価方法	レポート：30%、期末筆記試験：70%
履修上の注意	参加型授業を中心とする。思考し発言すること。
担当教員への連絡方法	本館事務室に伝言すること。
授業に関する大学教員以外の実務経験	医師としての臨床経験あり。
実務経験と授業科目の関連性	精神科病院に勤務しており、精神医学について理論と実践を伝えることで学生はより深い理解が可能となる。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1(理学療法士課程) 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進 別表2(作業療法士課程) 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進

講義科目名称： 臨床心理学(リハ)

授業コード： 2111A

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	1単位	必修
担当教員			
高瀬 弘樹、高瀬 志保			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	臨床心理学は、心理的な不適切や障害の成り立ちを明らかにし、問題を予測し解消することを目指す学問である。本講義では、臨床心理学の成り立ちから、臨床心理学の基礎理論と代表的なアプローチについて理解することを目的とする。リハビリテーションの話も織り交ぜながら、学生と共に考えていく講義とする。
学修目標	1. 臨床心理学の基礎的な理論を理解できる 2. 臨床心理学の代表的なアプローチを説明できる
授業計画	<p>第1回 臨床心理学とは何か 4/10(木)3限 第1作業療法室 (担当：高瀬 弘樹)</p> <p>第2回 臨床心理学の歴史 4/17(木)3限 第1作業療法室 (担当：高瀬 弘樹)</p> <p>第3回 生物-心理-社会モデル 4/24(木)3限 第1作業療法室 (担当：高瀬 弘樹)</p> <p>第4回 心理的アセスメント1 5/1(木)3限 第1作業療法室 (担当：高瀬 志保)</p> <p>第5回 心理的アセスメント2 5/8(木)3限 第1作業療法室 (担当：高瀬 志保)</p> <p>第6回 臨床心理学の現場 5/15(木)3限 第1作業療法室 (担当：高瀬 弘樹)</p> <p>第7回 小まとめ 5/22(木)3限 第1作業療法室 (担当：高瀬 弘樹)</p> <p>第8回 精神力動的アプローチ 5/29(木)3限 第1作業療法室 (担当：高瀬 弘樹)</p> <p>第9回 人間性アプローチ 6/5(木)3限 第1作業療法室 (担当：高瀬 志保)</p> <p>第10回 行動療法的アプローチ 6/12(木)3限 第1作業療法室 (担当：高瀬 志保)</p> <p>第11回 認知行動療法的アプローチ 6/19(木)3限 第1作業療法室 (担当：高瀬 志保)</p> <p>第12回 システム論的アプローチ 6/26(木)3限 第1作業療法室 (担当：高瀬 弘樹)</p> <p>第13回 コミュニティアプローチ、ナラティブ・アプローチ 7/3(木)3限 第1作業療法室 (担当：高瀬 弘樹)</p> <p>第14回 その他のアプローチ 7/10(木)3限 第1作業療法室 (担当：高瀬 弘樹)</p> <p>第15回 まとめ 7/17(木)3限 第1作業療法室 (担当：高瀬 弘樹)</p>
教科書	教科書は使用しない。資料を配布。
参考図書	下山 晴彦 他：臨床心理学概論 ミネルヴァ書房 丹野 義彦 他：臨床心理学 (New Liberal Arts Selection) 有斐閣
予習・復習内容	授業前に配布した資料の内容について理解する。
成績評価方法	期末試験 60%、毎回行われる小テスト・課題 40%
履修上の注意	授業中は、私語を慎むこと。
担当教員への連絡方法	E-mail:takaseh(at)shinshu-u.ac.jp (at)は@
授業に関する大学教員以外の実務経験	なし
実務経験と授業科目の関連性	なし

指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進 別表2（作業療法士課程） 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進
-----------	--

講義科目名称： 障害科学 I

授業コード： 22010

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1単位	必修
担当教員			
大井 直往、岩谷 力、竹島 正、田丸 冬彦、寺島 さつき			
年間授業回数：15回	授業形態：講義	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	障害 (disability) を理解するために、人間を生物学的、歴史的、社会的にとらえ、医学・心理・社会モデルにより、捉える考え方を学ぶ。さらに、医学の発展過程を学び、心身の不調の医学的理解、身体障害、認知障害、精神障害へのリハビリテーション (自立・就労・生活・社会参加支援) の基礎的知識を学ぶ。
学修目標	1. 障害を生物・心理・社会的に捉える 2. 障害の特性と不自由を障害種別に理解する 3. 障害のリハビリテーションの基礎的知識を学ぶ
授業計画	<p>第1回 人間、健康、保健、医学、医療、福祉、介護を学ぶこと 9/22(月)2限 第1作業療法室室 (担当：岩谷)</p> <p>第2回 障害の医療・リハビリテーション 9/29(月)2限 第1作業療法室室 (担当：大井)</p> <p>第3回 病気・病者・患者、障害者 10/6(月)2限 第1作業療法室室 (担当：岩谷)</p> <p>第4回 音声・言語障害 10/17(金)5限 コミュニティールーム (担当：寺島)</p> <p>第5回 身体障害のリハビリテーションアプローチ 10/20(月)2限 第1作業療法室室 (担当：大井)</p> <p>第6回 認知障害のリハビリテーションアプローチ 11/21(金)3限 コミュニティールーム (担当：田丸)</p> <p>第7回 精神障害のリハビリテーションアプローチ 12/12(金)3限 コミュニティールーム (担当：竹島)</p> <p>第8回 地域リハビリテーション 12/15(月)2限 第1作業療法室室 (担当：大井)</p>
教科書	指定しない
参考図書	中村隆一編 入門リハビリテーション概論 医歯薬出版 川喜田愛郎 近代医学の史的基盤 上・下 岩波書店 シドニー・ブロック他 編集/竹島正 監訳 共生社会のための精神医学 中央法規
予習・復習内容	参考図書を読む
成績評価方法	ミニテスト50% 最終課題50%
履修上の注意	なし
担当教員への連絡方法	本館事務へ伝言する
授業に関する大学教員以外の実務経験	医師としての臨床経験あり
実務経験と授業科目の関連性	臨床経験 (国立障害者リハビリテーションセンター) に基づいて、医学の発展の過程や、現代医学・医療における科学的思考法を講義する。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1 (理学療法士課程) 保健医療福祉とリハビリテーションの理念 別表2 (作業療法士課程) 保健医療福祉とリハビリテーションの理念

講義科目名称： 障害科学Ⅱ

授業コード： 22020

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1単位	必修
担当教員			
大井 直往、岩谷 力、熊本 圭吾、北村 弥生、小崎 慶介、緒方 徹			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	障害を医学的、社会的に捉え、心身の健康状態の変調をもって生活する人々の不自由さの経験、それらの人々への自立、就労、公的支援の仕組みを理解する。さらに、障害を持つ人々も障害を持たない人も参画・参加する共生社会の構築に向けて、障害に立ち向かう動向を理解する。
学修目標	1. 障害児・者とその家族の生活、健康上の課題をあげ、社会的支援について説明できる 2. 災害時に発生する障害とその予防法を理解する 3. 障害に関する研究について知識をえる 4. 我が国の障害者支援施設について理解する
授業計画	第1回 障害福祉制度 5/12(月)5限 第1作業療法室 (担当：岩谷) 第2回 産業衛生：就労 5/19(月)5限 第1作業療法室 (担当：岩谷) 第3回 災害時リハビリテーション 5/26(月)5限 第1作業療法室 (担当：大井) 第4回 障害と家族 6/2(月)5限 第1作業療法室 (担当：北村) 第5回 疾病、障害と心理 日程・教室未定 (担当：熊本) 第6回 医療ソーシャルワーク 日程・教室未定 (担当：熊本) 第7回 障害児療育 7/4(金)5限 コミュニティールーム (担当：小崎) 第8回 障害に関する研究 7/7(月)5限 第1作業療法室 (担当：緒方)
教科書	指定しない
参考図書	中村隆一編 入門リハビリテーション概論 医歯薬出版 全国社会福祉協議会 社会福祉学習双書第4巻障害者福祉論 全国社会福祉協議会
予習・復習内容	参考図書の該当部分を読んで知識を深める
成績評価方法	ミニテスト50%、最終課題50%
履修上の注意	なし
担当教員への連絡方法	初回授業で通知
授業に関する大学教員以外の実務経験	医師としての臨床経験あり
実務経験と授業科目の関連性	臨床経験に基づいて、障害を持つ人々が生活を営む上で経験する不自由とそれに対する社会の仕組みや、臨床場面で経験する医学的治療では対応できない問題への対応について講義する。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1 (理学療法士課程) 保健医療福祉とリハビリテーションの理念 別表2 (作業療法士課程) 保健医療福祉とリハビリテーションの理念

講義科目名称： 公衆衛生学

授業コード： 22060

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	1単位	必修
担当教員			
福谷 保、堀内 和子、野見山 哲生、松下 雅子、倉澤 康之、勝山 しおり、春原 るみ、田中 榮司			
年間授業回数：15回	授業形態：講義	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	疫学の方法を活用し、人のライフステージに特有の健康問題や、健康に影響を与える要因にアプローチする、公衆衛生学の基本的な知識、公衆衛生上の関連法・制度、現在の取り組みについて学び、公衆衛生・地域社会における理学・作業療法専門職の役割を理解することを目的とする。
学修目標	1. 公衆衛生学の基本的な考え方、重要な概念や理論について説明できる 2. 公衆衛生上の関連法、制度を理解し、行政と公衆衛生専門職の役割を説明できる 3. 公衆衛生・地域社会における理学・作業療法専門職の役割を説明できる
授業計画	<p>第1回 公衆衛生と重要な概念・理念 10/1(水)2限 第1作業療法室 (担当：堀内)</p> <p>第2回 公衆衛生学とは 10/7(火)3限 コミュニティールーム (担当：野見山)</p> <p>第3回 保健統計 10/7(火)4限 コミュニティールーム (担当：野見山)</p> <p>第4回 疫学 10/7(火)5限 コミュニティールーム (担当：野見山)</p> <p>第5回 地域保健と保健行政 10/15(水)2限 第1作業療法室 (担当：堀内)</p> <p>第6回 母子保健・学校保健 10/22(水)2限 第1作業療法室 (担当：松下)</p> <p>第7回 成人保健 -健康管理、健康増進 10/29(水)2限 第1作業療法室 (担当：倉澤)</p> <p>第8回 環境保健 11/4(火)3限 コミュニティールーム (担当：野見山)</p> <p>第9回 産業保健 11/4(火)4限 コミュニティールーム (担当：野見山)</p> <p>第10回 高齢者保健 -高齢者の健康の保持・増進 11/12(水)2限 第1作業療法室 (担当：勝山)</p> <p>第11回 精神保健 11/19(水)2限 第1作業療法室 (担当：春原)</p> <p>第12回 障害者保健 11/26(水)2限 第1作業療法室 (担当：春原)</p> <p>第13回 国際保健 12/3(水)2限 第1作業療法室 (担当：春原)</p> <p>第14回 感染症と予防 12/9(火)3限 コミュニティールーム (担当：田中)</p> <p>第15回 まとめ 12/17(水)2限 第1作業療法室 (担当：福谷、春原、堀内)</p>
教科書	1. シンプル衛生公衆衛生学 (南江堂) 2. 国民衛生の動向 (厚生労働統計協会) (8月刊行、最新版)
参考図書	講義の中で随時紹介する
予習・復習内容	事前に授業内容に該当する教科書・参考図書を読んで参加すること
成績評価方法	期末筆記試験100%
履修上の注意	保健医療福祉についての時事問題に関心を持ち、授業に参加すること 授業内容の順番は変更する場合がある
担当教員への連絡方法	初回講義時にアナウンスする
授業に関する大学教員以外の実務経験	医師、保健師、理学療法士、作業療法士として保健指導の経験を有する
実務経験と授業科目の関連性	上記の経験を踏まえ、事例を交えながら科目を展開することができる

指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 保健医療福祉とリハビリテーションの理念 別表2（作業療法士課程） 保健医療福祉とリハビリテーションの理念
-----------	--

講義科目名称： 人間関係論(リハ)

授業コード： 1103A

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1単位	選択
担当教員			
栗林 美智子、春原 るみ			
年間授業回数：8回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	コミュニケーションとは何か、より良いコミュニケーション技術を学び体得する。PT・OTに必要とされるコミュニケーション力を体験を通して学ぶ。
学修目標	1. コミュニケーションについて理解する 2. より良いコミュニケーション技術を体得する 3. 自己理解
授業計画	<p>第1回 PT/OTを目指すための準備—コミュニケーションとは 11/24(月)2限 講堂 (担当：春原、栗林)</p> <p>第2回 自己理解 12/1(月)2限 講堂 (担当：栗林、春原)</p> <p>第3回 ストレスマネジメントと自己管理 12/8(月)2限 講堂 (担当：栗林、春原)</p> <p>第4回 社会人としてのコミュニケーション力 12/15(月)2限 講堂 (担当：栗林、春原)</p> <p>第5回 アサーティブなコミュニケーション 12/22(月)2限 講堂 (担当：栗林、春原)</p> <p>第6回 臨床で役立つコミュニケーションスキル—傾聴とは 1/5(月)2限 講堂 (担当：春原、栗林)</p> <p>第7回 臨床で役立つコミュニケーションスキル—傾聴の実践 1/14(水)2限 講堂 (担当：春原、栗林)</p> <p>第8回 臨床で役立つコミュニケーションスキル—自分と話す 1/19(月)2限 講堂 (担当：春原、栗林)</p>
教科書	山口美和：PT・OT・STのためのこれで安心コミュニケーション実践ガイド 第3版 医学書院
参考図書	星野欣生：人間関係づくりトレーニング 金子書房 平木典子：改訂版アサーション・トレーニング—さわやかな自己表現のために 金子書房 岩松正史：「ねえ、私の話聞いている？」と言われたくない「聴く力」の強化書 自由国民社
予習・復習内容	生活のなかでの他者とのコミュニケーションを体験すること
成績評価方法	授業中の課題 50%、期末試験 50%
履修上の注意	演習中心に進めるため、積極的な他者とのかかわりを持つことを重視します
担当教員への連絡方法	E-mail：kuribayashi.michiko@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	作業療法士としての臨床経験あり。
実務経験と授業科目の関連性	作業療法士としての精神科作業療法の臨床経験や職場の管理経験にもとづいて講義を行う。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 保健医療福祉とリハビリテーションの理念 別表2（作業療法士課程） 保健医療福祉とリハビリテーションの理念

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4年	1単位	選択
担当教員			
西條 一彦			
年間授業回数：8回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	人間におけるコミュニケーションの重要な手段である言語の機能を学び、言語聴覚士の業務内容と言語聴覚療法の基本的な考え方を理解することを目的とする。 具体的には、言語聴覚療法のイメージを視聴覚教材や関連資料を通じてつかむとともに、言語聴覚障害の原因、特徴、評価・訓練、支援方法等を紹介することにより、言語聴覚障害者との関わり方を身につける。
学修目標	1. 言語聴覚士の業務内容と言語聴覚療法の基本的な考え方を理解する 2. 主な言語聴覚障害と摂食・嚥下障害の病態・評価・治療法の概要を理解する 3. 言語聴覚士とのチームアプローチの基本的な枠組みを理解する
授業計画	第1回 言語の起源とその進化 4/8(火)4限 コミュニティールーム (担当：西條) 第2回 失語症リハビリテーションのイメージ (DVD鑑賞) 4/8(火)5限 コミュニティールーム (担当：西條) 第3回 大人言語障害—失語症① (定義、評価とタイプ分類) 4/15(火)4限 コミュニティールーム (担当：西條) 第4回 大人の言語障害—失語症② (症状と予後、支援のポイント) 4/15(火)5限 コミュニティールーム (担当：西條) 第5回 大人の言語障害—運動障害性構音障害、摂食嚥下障害 4/22(火)4限 コミュニティールーム (担当：西條) 第6回 子どもの言語障害—正常なことばの発達 (DVD鑑賞) 4/22(火)5限 コミュニティールーム (担当：西條) 第7回 子どもの言語障害—幼児の言語相談 4/29(火)4限 コミュニティールーム (担当：西條) 第8回 子どもの言語障害—聴覚障害、指定療養介護事業所、吃音 4/29(火)5限 コミュニティールーム (担当：西條)
教科書	なし (事前にプリントを配布します)
参考図書	小嶋知幸編著 図解やさしくわかる言語聴覚障害 ナツメ社 酒井邦嘉著 「言語の脳科学」 中公新書1647 酒井邦嘉著 「チョムスキーと言語脳科学」 インターナショナル新書037 今井むつみ、秋田喜美著 「言語の本質」 中公新書2756
予習・復習内容	(予習) 事前配布のプリント (一部空欄あり) に眼を通して授業に臨むこと (復習) 参考図書を閲覧すること
成績評価方法	講義終了時の小レポート (4回、20%) と全講義終了後に提出するレポート (80%) によって評価する
履修上の注意	プリントの空欄に、表示されたスライドの語句 (赤字) を記入してプリントを完成させること
担当教員への連絡方法	メール knishijo@janis.or.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	言語聴覚士としての臨床経験を活かし、専門学校と言語聴覚士学科でも非常勤講師を継続中
実務経験と授業科目の関連性	リハビリ病院勤務中に市の「ことばの教室」相談員も兼務し、幼児から成人まで様々な症例の経験があり、授業内容に生かすことができる
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1 (理学療法士課程) 保健医療福祉とリハビリテーションの理念 別表2 (作業療法士課程) 保健医療福祉とリハビリテーションの理念

講義科目名称： 看護学概論(リハ)

授業コード： 5000A

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4年	1単位	選択
担当教員			
松本 あつ子			
年間授業回数：8回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	看護・看護学の歴史的発展過程を踏まえ、看護・看護学の現状（看護職、看護教育、保健医療福祉システム、看護倫理、看護研究など）その方向性を理解する。
学修目標	1. 看護の本質と倫理を理解する 2. 看護の対象である人間・生活を理解する 3. 人びとの健康生活とライフサイクルを理解する 4. 職業としての看護と看護の提供のしくみを理解する
授業計画	第1回 看護とは何か、看護の責務、看護の対象とその理解 4/8(火)3限 203 (担当：松本) 第2回 看護実践のための理論的根拠、看護における倫理と価値 4/8(火)4限 203 (担当：松本) 第3回 看護ケア（看護援助）の基本的役割 4/15(火)3限 203 (担当：松本) 第4回 看護における法的側面（保健師助産師看護師法） 4/15(火)4限 203 (担当：松本) 第5回 看護の展開と継続性 看護ケアのマネジメント 4/22(火)3限 203 (担当：松本) 第6回 診療報酬と介護報酬 4/22(火)4限 203 (担当：松本) 第7回 チーム医療と多職種連携 5/6(火)3限 203 (担当：松本) 第8回 まとめ 5/6(火)4限 203 (担当：松本)
教科書	授業で使用する資料テキストは配布する。
参考図書	志自岐康子、松尾ミヨ子、習田明裕編集 基礎看護学(1)「看護学概論」第7版 メディカ出版 2022年
予習・復習内容	各回の授業内容に関連したテーマを参考図書を用いて予習する。
成績評価方法	期末試験100%
履修上の注意	積極的に質問や意見を述べること。
担当教員への連絡方法	本館事務室へ伝言。
授業に関する大学教員以外の実務経験	看護師としての臨床経験あり。
実務経験と授業科目の関連性	病院における看護実践を有する。 各概念について具体例をあげて解説することで学生の理解を深めることができる。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 保健医療福祉とリハビリテーションの理念 別表2（作業療法士課程） 保健医療福祉とリハビリテーションの理念

講義科目名称： 介護学概論

授業コード： 22080

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4年	1単位	選択
担当教員			
丸山 順子			
年間授業回数：8回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	介護が必要な状態になっても可能な限り利用者の自立を促し、自分らしい生活を送れることは重要である。それに向けて、利用者が希望する生活を支援できるように自立支援と介護福祉サービスについて学ぶ。さらに具体的な生活支援技術の内容について事例を通して理解する。
学修目標	1. 保健医療福祉の医療関係チームの一員として具体的な生活支援技術を説明できる 2. 生活支援において介護福祉職等と連携・協働できるリハビリテーションを説明できる
授業計画	<p>第1回 介護の対象者の理解 4/8(火)4限 第3作業療法室 (担当：丸山)</p> <p>第2回 介護を必要とする対象者とのコミュニケーション 4/8(火)5限 第3作業療法室 (担当：丸山)</p> <p>第3回 認知症のある人の理解と生活支援① 4/15(火)4限 第3作業療法室 (担当：丸山)</p> <p>第4回 認知症のある人の理解と生活支援② 4/15(火)5限 第3作業療法室 (担当：丸山)</p> <p>第5回 人生の最終段階における生活支援① 4/22(火)4限 第3作業療法室 (担当：丸山)</p> <p>第6回 人生の最終段階における生活支援② 4/22(火)5限 第3作業療法室 (担当：丸山)</p> <p>第7回 災害時における生活支援 5/13(火)4限 第3作業療法室 (担当：丸山)</p> <p>第8回 自立支援と介護予防 5/13(火)5限 第3作業療法室 (担当：丸山)</p>
教科書	プリントを配布する
参考図書	授業内で随時紹介する
予習・復習内容	毎回の授業終了時に内容を提示する
成績評価方法	期末レポート45%、課題55%
履修上の注意	特になし
担当教員への連絡方法	E-mail:mjc-z.maruyama@matsutan.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	看護師としての臨床経験あり
実務経験と授業科目の関連性	上記の実務経験から、具体的な生活支援技術等の理論と実践を伝えることで学生はより深い理解が可能となる
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1(理学療法士課程) 保健医療福祉とリハビリテーションの理念 別表2(作業療法士課程) 保健医療福祉とリハビリテーションの理念

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	1単位	必修
担当教員			
大町 かおり、宮越 幸代、近藤 優樹、松本 あつ子、宮脇 利幸、山本 良彦、鈴木 真理子、田中 高政、依田 明子			
年間授業回数：15回	授業形態：演習	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	地域における保健医療福祉の場を想定し、保健科学部と看護学部の学生が共にグループを編成し、多職種連携について事前学習、課題の設定、チームワークを意識しながらチームの目標に向かっていくプロセスを相互に学びあう。
学修目標	1. 典型的な事例について事前に理解・学習し、自職種の役割と連携方法について具体的に説明する 2. 専門職連携について、典型的な事例をもとに意見交換し、他職種の役割と連携方法について具体的に説明する 3. 医療専門職が多職種で連携・協調するための意見交換を行い、合意形成した具体的な支援目標を説明する 4. 事例のグループダイナミックスのプロセスを通して振り返りができる
授業計画	第1回 IPW論の振り返り、学習目標および演習方法（オリエンテーション） 6/4(水)1限 講堂/第1作業療法室/大講義室（担当：大町 他） 第2回 チームビルディングおよび対象の理解（3事例・21グループ）（グループワーク①） 6/4(水)2限 講堂/第1作業療法室/大講義室（担当：大町 他） 第3回 事例の分析（グループワーク②） 6/11(水)1限 講堂/第1作業療法室/大講義室（担当：大町 他） 第4回 事例がめざす支援目標と自職種のかかわり（グループワーク③） 6/11(水)2限 講堂/第1作業療法室/大講義室（担当：大町 他） 第5回 事例に関連する職種間の連携①（グループワーク④） 6/18(水)1限 講堂/第1作業療法室/大講義室（担当：大町 他） 第6回 事例に関連する職種間の連携②（グループワーク⑤） 6/18(水)2限 講堂/第1作業療法室/大講義室（担当：大町 他） 第7回 事例に対する支援計画と質疑応答（グループワーク⑥） 6/25(水)1限 講堂/第1作業療法室/大講義室（担当：大町 他） 第8回 学習のまとめ 6/25(水)2限 講堂/第1作業療法室/大講義室（担当：大町 他）
教科書	1. 北島政樹「医療福祉をつなぐ関連職種連携 講義と実習にもとづく学習のすべて」南江堂 2. 篠田道子「チームの連携を高めるカンファレンスの進め方」日本看護協会出版会 他にプリントを配布。
参考図書	1. 大嶋伸雄「はじめてのIP 連携を学びはじめる人のためのIP入門」協同医書出版社 2018 2. 細田満和子「『チーム医療』とは何か」日本看護協会出版会 2021 3. 京極真「信念対立解明アプローチ入門—チーム医療・多職種連携の可能性をひらく」中央法規 2012 4. 福澤一吉「看護学生が身につけたい論理的に書く・読むスキル」医学書院 2018 5. 河野哲也「レポート・論文の書き方入門 第4版」慶應義塾大学出版会 2018
予習・復習内容	1. 2年次「IPW論」で課題となった自職種についての説明を他職種に行う上での課題を修正して、より具体的かつ正確にわかりやすく説明できるようにしてくる。 2. 専門職連携医療における各事例に対する自分の分析・解釈を整理し、根拠とともに説明できるようにしてくる。 3. 専門職連携医療における各事例の支援目標についての自分の考えを整理し、説明できるようにしてくる。 4. 各グループごとに分担した役割や共同部分に対する各自の責任と協働をはたせるようにする。
成績評価方法	・個人課題と振り返り（40%） ・グループ課題と発表及びグループダイナミックスのプロセスに関する振り返り（60%）
履修上の注意	2年次の「IPW論」を事前に履修することが望ましい。IPW論で学んだ原則や基本を具体的な事例に適用し、対象の分析と支援計画の立案に具体的に反映できることを期待します。Webを利用した演習を含む授業であるためTeamsが使用できるようパスワードの確認を事前に行ってください。
担当教員への連絡方法	E-mail：ohmachi.kaori@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	臨床で5年以上の常勤勤務経験がある（非常勤は10年以上）。
実務経験と授業科目の関連性	多職種連携演習等、類似および関連科目を担当。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 保健医療福祉とリハビリテーションの理念 別表2（作業療法士課程） 保健医療福祉とリハビリテーションの理念

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1単位	必修
担当教員			
山本 良彦			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	建学の精神を学び、この大学で学修する決意を確認する。また、大学生として主体的に学ぶことの意味を理解する。 この講座は大学教育へのスムーズな導入を目的とし、大学生としてのマナーや社会規範、コミュニケーションスキル、大学生活のリスク、研究の基礎能力などを学ぶ。
学修目標	1. 主体的に学び、課題解決能力を身につけ実践できる。 2. 大学生としての基本的な学習技能を身につけ、日々の学習に活かすことができる。
授業計画	<p>第1回 共に学ぶ仲間を知る、学生自己紹介 4/9(水)1限 第3作業療法室/学生ホール (担当：山本)</p> <p>第2回 建学の精神、大学で学ぶ心構え、Active Academyについて 4/16(水)1限 第3作業療法室/学生ホール (担当：山本)</p> <p>第3回 大学生活の過ごし方 (マナーとルール、学習態度) 4/23(水)1限 第3作業療法室/学生ホール (担当：山本)</p> <p>第4回 学ぶ技術 (聞く力、効果的な学習法) 4/30(水)1限 第3作業療法室/学生ホール (担当：山本)</p> <p>第5回 学習に必要な情報収集のしかた、図書館の利用方法 5/7(水)1限 第3作業療法室/学生ホール (担当：山本)</p> <p>第6回 大学生活におけるリスク管理①(ドラッグ、アルコール、性感染症など) 5/14(水)1限 第3作業療法室/学生ホール (担当：山本)</p> <p>第7回 大学生活におけるリスク管理②(悪徳商法、詐欺、SNS、アルバイト、ハラスメントなど) 5/21(水)1限 第3作業療法室/学生ホール (担当：山本)</p> <p>第8回 自己理解と心の健康 6/4(水)1限 第3作業療法室/学生ホール (担当：山本)</p> <p>第9回 学内オリエンテーション：卒業後の進路 (キャリアデザイン) 6/11(水)1限 第3作業療法室/学生ホール (担当：山本)</p> <p>第10回 課題発見力 6/18(水)1限 第3作業療法室/学生ホール (担当：山本)</p> <p>第11回 研究のための基礎的能力 (情報収集力、情報整理力、読解力、データ分析力) 6/25(水)1限 第3作業療法室/学生ホール (担当：山本)</p> <p>第12回 レポート、論文の基礎 7/2(水)1限 第3作業療法室/学生ホール (担当：山本)</p> <p>第13回 研究倫理、研究モラル 7/9(水)1限 第3作業療法室/学生ホール (担当：山本)</p> <p>第14回 プレゼンテーション (報告・発表) のしかた 7/16(水)1限 第3作業療法室/学生ホール (担当：山本)</p> <p>第15回 マネーリテラシー 7/23(水)1限 第3作業療法室/学生ホール (担当：山本)</p>
教科書	必要に応じて資料を配布する。
参考図書	<ol style="list-style-type: none"> 山田剛史、林創「大学生のためのリサーチリテラシー入門」ミネルヴァ書房 藤本忠明、東正訓「ワークショップ 大学生活の心理学」ナカニシヤ出版 松本茂、河野哲也「大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法 改訂第二版」玉川大学出版部 小笠原喜康「最新版 大学生のためのレポート・論文術」講談社現代新書
予習・復習内容	講義内容を自分に必要なスキルとして、振り返って欲しい。
成績評価方法	リフレクションペーパー50%、レポート50%
履修上の注意	学生便覧を持参すること。
担当教員への連絡方法	オフィスアワーを利用してほしい。
授業に関する大学教員以外の実務経験	理学療法士として実務経験あり。

実務経験と授業科目の関連性	大学生生活を意義あるものにし、理学療法士になるための心構えを養うために私の臨床経験が役立つものと思う。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解 別表2（作業療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1単位	必修
担当教員			
山本 良彦、赤羽 勝司、大町 かおり、荻原 啓文、木村 貞治、倉澤 康之、佐藤 剛章、下田 浩一、杉本 穂高、福谷 保			
年間授業回数：15回	授業形態：演習		
添付ファイル			

授業目標	医療やリハビリテーションの分野において興味のある事柄についてグループで探究する。テーマは日々の素朴な疑問や講義で知り得た知識の確認がふさわしい。活動に対する結果を出すことも重要であるが、グループメンバー間で協力しながら情報収集、問題解決、発表準備などを進めていく過程を学んでほしい。また議論には積極的に参加し、能動的に関わるように努力してほしい。各グループには担当教員がファシリテーターとして配置されるので、必要に応じてアドバイスを受けること。
学修目標	1. 課題を自ら発見し、ディスカッションできる。 2. グループ活動時には主体的に行動できる。 3. 活動内容を総括し、プレゼンテーションできる。
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション、グループ分け 9/24(水)1限 201/202/203/204/第2作業療法室/運動療法室/大講義室/3Fセミナー室/学生ホール (担当：山本)</p> <p>第2回 活動テーマの検討 10/1(水)1限 201/202/203/204/第2作業療法室/運動療法室/大講義室/3Fセミナー室/学生ホール (担当：山本 他)</p> <p>第3回 テーマに関する基礎学習 10/8(水)1限 201/202/203/204/第2作業療法室/運動療法室/大講義室/3Fセミナー室/学生ホール (担当：山本 他)</p> <p>第4回 先行研究調査 10/15(水)1限 201/202/203/204/第2作業療法室/運動療法室/大講義室/3Fセミナー室/学生ホール (担当：山本 他)</p> <p>第5回 プレ調査 10/22(水)1限 201/202/203/204/第2作業療法室/運動療法室/大講義室/3Fセミナー室/学生ホール (担当：山本 他)</p> <p>第6回 プレ調査結果の検討 10/29(水)1限 201/202/203/204/第2作業療法室/運動療法室/大講義室/3Fセミナー室/学生ホール (担当：山本 他)</p> <p>第7回 本調査・実験① 11/5(水)1限 201/202/203/204/第2作業療法室/運動療法室/大講義室/3Fセミナー室/学生ホール (担当：山本 他)</p> <p>第8回 本調査・実験② 11/12(水)1限 201/202/203/204/第2作業療法室/運動療法室/大講義室/3Fセミナー室/学生ホール (担当：山本 他)</p> <p>第9回 結果一覧のまとめ 11/19(水)1限 201/202/203/204/第2作業療法室/運動療法室/大講義室/3Fセミナー室/学生ホール (担当：山本 他)</p> <p>第10回 結果・検討 11/26(水)1限 201/202/203/204/第2作業療法室/運動療法室/大講義室/3Fセミナー室/学生ホール (担当：山本 他)</p> <p>第11回 考察・検討 12/3(水)1限 201/202/203/204/第2作業療法室/運動療法室/大講義室/3Fセミナー室/学生ホール (担当：山本 他)</p> <p>第12回 発表用資料準備 12/10(水)1限 201/202/203/204/第2作業療法室/運動療法室/大講義室/3Fセミナー室/学生ホール (担当：山本 他)</p> <p>第13回 発表リハーサル 12/17(水)1限 201/202/203/204/第2作業療法室/運動療法室/大講義室/3Fセミナー室/学生ホール (担当：山本 他)</p> <p>第14回 発表会① 12/24(水)1限 201/202/203/204/第2作業療法室/運動療法室/大講義室/3Fセミナー室/学生ホール (担当：山本 他)</p> <p>第15回 発表会② 1/7(水)1限 201/202/203/204/第2作業療法室/運動療法室/大講義室/3Fセミナー室/学生ホール (担当：山本 他)</p>
教科書	必要に応じて資料を配布する。
参考図書	特になし。
予習・復習内容	活動後にグループ内で情報を共有する時間を設けること。

成績評価方法	リフレクションペーパー 30% 発表会 30% レポート 40%
履修上の注意	テーマ決定、活動計画立案では積極的にアイデアを出すことが重要である。
担当教員への連絡方法	オフィスアワーを利用してほしい。
授業に関する大学教員以外の実務経験	理学療法士として実務経験あり。
実務経験と授業科目の関連性	基本的には学生主体で進めて行くが、臨床経験の豊富な専任教員がファシリテーターとして関わり、学生の素朴な疑問をリサーチクエストに高め、解明に導く。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解 別表2（作業療法士課程） 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位	必修
担当教員			
佐藤 剛章、荻原 啓文			
年間授業回数：30回	授業形態：演習	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	骨、軟骨、関節、靭帯で構成される骨格系について、骨学、関節靭帯学の順に学習を進めていく。人体の構造を立体的に捉えて整理し、骨とその各部位の名称、関節とその運動の仕組み、関節における主要な靭帯とその機能について説明できることがねらいである。 授業は講義と実習を並行して行うが、標本模型等を利用した観察、スケッチによる実習が主体となるため、自学自習の精神を身に付けること、また、医療に携わる心構えを自覚することも期待される。
学修目標	1. 骨の特徴を理解し、各部位の名称を説明できる 2. 関節の構造と運動の仕組みを理解し説明できる 3. 関節における主要な靭帯とその機能について理解し説明できる
授業計画	第1回 骨学総論 4/8(火)3限 講堂 (担当：佐藤) 第2回 骨学実習 上肢の骨 鎖骨・肩甲骨 4/8(火)4限 講堂 (担当：佐藤) 第3回 骨学実習 上肢の骨 鎖骨・肩甲骨 4/15(火)3限 講堂 (担当：佐藤) 第4回 骨学実習 上肢の骨 上腕骨・橈骨・尺骨 4/15(火)4限 講堂 (担当：佐藤) 第5回 骨学実習 上肢の骨 上腕骨・橈骨・尺骨 4/22(火)3限 講堂 (担当：佐藤) 第6回 骨学実習 上肢の骨 手の骨 4/22(火)4限 講堂 (担当：佐藤) 第7回 骨学実習 下肢の骨 寛骨 4/29(火)3限 講堂 (担当：佐藤) 第8回 骨学実習 下肢の骨 寛骨 4/29(火)4限 講堂 (担当：佐藤) 第9回 骨学実習 下肢の骨 大腿骨・脛骨・腓骨 5/6(火)3限 講堂 (担当：佐藤) 第10回 骨学実習 下肢の骨 大腿骨・脛骨・腓骨 5/6(火)4限 講堂 (担当：佐藤) 第11回 骨学実習 下肢の骨 足の骨 5/13(火)3限 講堂 (担当：佐藤) 第12回 骨学実習 脊柱の骨 頸椎 5/13(火)4限 講堂 (担当：佐藤) 第13回 骨学実習 脊柱の骨 頸椎 5/20(火)3限 講堂 (担当：佐藤) 第14回 骨学実習 脊柱の骨 頸椎 5/20(火)4限 講堂 (担当：佐藤) 第15回 骨学実習 脊柱の骨 腰椎 6/3(火)3限 講堂 (担当：佐藤) 第16回 骨学実習 脊柱の骨 仙骨・尾骨 6/3(火)4限 講堂 (担当：佐藤) 第17回 骨学実習 胸郭・頭蓋の骨 胸骨 6/10(火)3限 講堂 (担当：佐藤) 第18回 骨学実習 胸郭・頭蓋の骨 肋骨 6/10(火)4限 講堂 (担当：佐藤) 第19回 骨学実習 胸郭・頭蓋の骨 頭蓋骨 6/17(火)3限 講堂 (担当：佐藤) 第20回 骨学実習 胸郭・頭蓋の骨 頭蓋骨 6/17(火)4限 講堂 (担当：佐藤) 第21回 関節学実習 オリエンテーション 6/24(火)3限 講堂 (担当：荻原)

	第22回	関節学実習 総論（関節と靭帯の種類と構造） 6/24(火)4限 講堂（担当：荻原）
	第23回	関節学実習 グループワーク 演習 上肢・体幹 7/1(火)3限 講堂（担当：荻原）
	第24回	関節学実習 グループワーク 演習 下肢・骨盤 7/1(火)4限 講堂（担当：荻原）
	第25回	関節学実習 グループワーク 発表 肩関節・肘関節 7/8(火)3限 講堂（担当：荻原）
	第26回	関節学実習 グループワーク 発表 手関節と手指・頭頸部と体幹 7/8(火)4限 講堂（担当：荻原）
	第27回	関節学実習 グループワーク 発表 骨盤・股関節 7/15(火)3限 講堂（担当：荻原）
	第28回	関節学実習 グループワーク 発表 膝関節・足関節 7/15(火)4限 講堂（担当：荻原）
	第29回	関節学実習 上肢・体幹の連結の総復習とまとめ 7/22(火)3限 講堂（担当：荻原）
	第30回	関節学実習 下肢・骨盤の連結の総復習とまとめ 7/22(火)4限 講堂（担当：荻原）
教科書	1. 野村 巖 「標準理学療法・作業療法 解剖学」 医学書院 2. 坂井建雄監訳 「プロメテウス解剖学コアアトラス」 医学書院	
参考図書	寺田春水・他 「骨学実習の手引き」 南山堂	
予習・復習内容	予習よりも復習に力を入れること。知識の定着を確認するため小テストを行う。	
成績評価方法	口頭試問と期末試験	
履修上の注意	スケッチ用具として、スケッチブック、鉛筆、消しゴム、定規（15cm程度）を持参する	
担当教員への連絡方法	オフィスアワー、メール、Microsoft Teamsチャットにて対応する	
授業に関する大学教員以外の実務経験	理学療法士として臨床経験を有する	
実務経験と授業科目の関連性	理学療法士には必須の知識であり、臨床との関連を織り交ぜて授業を行う。	
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 人体の構造と機能及び心身の発達	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1単位	必修
担当教員			
佐藤 剛章			
年間授業回数：15回	授業形態：演習	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	解剖学の中でも療法士に特に必要とされる筋肉、神経の理解を深めるために、解剖学用語、体部位の名称、骨格筋の構造・作用、骨格筋の神経支配等の知識習得を図る。上肢、下肢、頭頸部、胸腹部、背部と部位別に学ぶ。 また、標本模型や実際の人の体表からの観察と触察、スケッチを通して立体的な構造を学習する。机上の学習においての知識を深めるとともに、人体の構造を立体的に捉えて整理することが授業のねらいである。
学修目標	1. 身体各部位の名称を適切な解剖学用語で説明できる 2. 骨格筋の構造が説明できる 3. 骨格筋の一般的な作用の原理が説明できる 4. 身体各部位の骨格筋の名称、起始、停止、作用、支配神経と髄節レベルが説明できる 5. 身体各部位の骨格筋の位置を交連骨格を用いて指し示すことができる
授業計画	第1回 解剖学用語、体部位の名称 9/25(木)3限 講堂 (担当：佐藤) 第2回 骨格筋の構造・作用、骨格筋の神経支配、骨格筋の呼称 10/2(木)3限 講堂 (担当：佐藤) 第3回 肩甲帯筋の名称、起始停止、作用、支配神経 10/9(木)3限 講堂 (担当：佐藤) 第4回 浅胸部および浅背部の筋の名称、起始停止、作用、支配神経 10/16(木)3限 講堂 (担当：佐藤) 第5回 上腕部筋の名称、起始停止、作用、支配神経 10/23(木)3限 講堂 (担当：佐藤) 第6回 前腕部筋の名称、起始停止、作用、支配神経 10/30(木)3限 講堂 (担当：佐藤) 第7回 手部筋の名称、起始停止、作用、支配神経 11/6(木)3限 講堂 (担当：佐藤) 第8回 内寛骨部、大腿部伸側筋の名称、起始停止、作用、支配神経 11/13(木)3限 講堂 (担当：佐藤) 第9回 外寛骨部筋の名称、起始停止、作用、支配神経 11/20(木)3限 講堂 (担当：佐藤) 第10回 大腿部内側及び屈側筋の名称、起始停止、作用、支配神経 11/27(木)3限 講堂 (担当：佐藤) 第11回 下腿伸側筋の名称、起始停止、作用、支配神経 12/4(木)3限 講堂 (担当：佐藤) 第12回 下腿屈側筋の名称、起始停止、作用、支配神経 12/11(木)3限 講堂 (担当：佐藤) 第13回 足部筋の名称、起始停止、作用、支配神経 12/18(木)3限 講堂 (担当：佐藤) 第14回 頭頸部、胸腹部筋の名称、起始停止、作用、支配神経 12/25(木)3限 講堂 (担当：佐藤) 第15回 背部深側筋の名称、起始停止、作用、支配神経 1/8(木)3限 講堂 (担当：佐藤)
教科書	1. 野村 巖「標準理学療法・作業療法 解剖学」 医学書院 2. 坂井建雄監訳「プロメテウス解剖学コアアトラス」 医学書院 3. 石井 直方監修：筋肉のしくみ・はたらき事典 西東社
参考図書	相磯貞和 訳 「ネッター解剖学アトラス」 南江堂 適宜、プリントを配布する
予習・復習内容	授業計画に記載された部位について教科書1～3の該当箇所を読んで授業に臨むこと
成績評価方法	中間試験50%、期末試験50%
履修上の注意	講義予定に合わせて、予習・復習を怠らないこと。毎回小テストを行う。
担当教員への連絡方法	オフィスアワー、メール、Microsoft Teamsチャットにて対応する。

授業に関する大学 教員以外の実務経 験	理学療法士として臨床経験を有する。
実務経験と授業科 目の関連性	理学療法士には必須の知識であり、臨床との関連を織り交ぜて授業を行う。
指定規則の位置付 け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 人体の構造と機能及び心身の発達

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1単位	必修
担当教員			
荻原 啓文			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	力学、解剖学、生理学等の基礎理論と身体運動との関係を理解し、人間の身体運動を成立させている機構の基礎を学ぶ。生体力学の一環として、剛体力学と骨・筋・腱・靭帯等の生体組織特性を説明した変形体の力学の両者を用いて身体運動を解釈し、理解を深める。さらに、脊柱・体幹・顔面・頭部、四肢等全身の関節運動について、機能解剖学的観点から運動を成立させている基本的機構を学ぶ。
学修目標	1. 身体運動の機序を力学的概念を用いて説明できる 2. 身体運動を成立させている要素を解剖学および生理学的概念を用いて説明できる
授業計画	<p>第1回 運動学の定義と用語 9/22(月)4限 201 (担当：荻原)</p> <p>第2回 力・モーメント・重心 9/29(月)4限 201 (担当：荻原)</p> <p>第3回 人体のてこ・生体組織に加わる力 10/6(月)4限 201 (担当：荻原)</p> <p>第4回 骨格筋の構造と機能 10/20(月)4限 201 (担当：荻原)</p> <p>第5回 上肢帯と肩関節の運動 10/27(月)4限 201 (担当：荻原)</p> <p>第6回 肘関節と前腕の運動 11/10(月)4限 201 (担当：荻原)</p> <p>第7回 手関節と手の運動 11/17(月)4限 201 (担当：荻原)</p> <p>第8回 手と手指の運動 11/24(月)4限 201 (担当：荻原)</p> <p>第9回 下肢帯と股関節の運動 12/1(月)4限 201 (担当：荻原)</p> <p>第10回 膝関節の運動 12/8(月)4限 201 (担当：荻原)</p> <p>第11回 足関節と足部の運動 12/15(月)4限 201 (担当：荻原)</p> <p>第12回 顔面および頭部の運動 12/22(月)4限 201 (担当：荻原)</p> <p>第13回 頸椎の運動 1/5(月)4限 201 (担当：荻原)</p> <p>第14回 胸椎と胸郭の運動 1/14(水)4限 201 (担当：荻原)</p> <p>第15回 腰椎の運動 1/19(月)4限 201 (担当：荻原)</p>
教科書	1. 中村隆一、齋藤 宏 「基礎運動学」 医歯薬出版 2. 嶋田智明・他監訳 「筋骨格系のキネシオロジー」 医歯薬出版
参考図書	市橋則明 編 「身体運動学 関節の制御機能と筋機能」 メジカルビュー
予習・復習内容	事前に配布した講義資料の予習は必須。
成績評価方法	期末試験 70%、小テスト結果 30%
履修上の注意	毎回小テストを実施する。
担当教員への連絡方法	オフィスアワー、メール、Microsoft Teamsチャットにて対応する。
授業に関する大学教員以外の実務経験	理学療法士としての臨床経験。運動学に関する論文執筆。
実務経験と授業科目の関連性	運動学は理学療法の臨床現場における運動評価・動作分析の基盤となる。

指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 人体の構造と機能及び心身の発達
-----------	--

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1単位	必修
担当教員			
佐藤 剛章、木村 貞治			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	人間の姿勢やバランス能力および歩行について、正常な反応、作用について理解を深め、今後、運動学的・運動力学的に分析して行くための基礎となる知識を習得する。また、運動処方や運動制御および運動学習についての基礎を学び、運動療法を実施していくための基礎知識を習得する。
学修目標	人間が姿勢を保持することや動作（歩行や立ち上がりなど）を分析するための基礎的な運動学を理解し、習得することを目的とする。人間がどのように動作を獲得しているのか、運動学的に理解することを目的とする。
授業計画	<p>第1回 運動と動作の分析（運動学的分析） 4/10(木)2限 大講義室（担当：佐藤）</p> <p>第2回 運動と動作の分析（運動分析の用語） 4/17(木)2限 大講義室（担当：佐藤）</p> <p>第3回 姿勢とバランス（重心・立位姿勢） 4/24(木)2限 大講義室（担当：佐藤）</p> <p>第4回 姿勢とバランス（姿勢戦略） 5/1(木)2限 大講義室（担当：佐藤）</p> <p>第5回 姿勢とバランス（階層性理論） 5/8(木)2限 大講義室（担当：佐藤）</p> <p>第6回 正常歩行（歩行周期） 5/15(木)2限 大講義室（担当：佐藤）</p> <p>第7回 正常歩行（運動学的分析） 5/22(木)2限 大講義室（担当：佐藤）</p> <p>第8回 正常歩行（運動力学的分析） 5/29(木)2限 大講義室（担当：佐藤）</p> <p>第9回 異常歩行（観察） 6/5(木)2限 大講義室（担当：佐藤）</p> <p>第10回 異常歩行（分析） 6/12(木)2限 大講義室（担当：佐藤）</p> <p>第11回 理学療法における運動制御と運動学習の位置づけ 6/19(木)2限 大講義室（担当：木村）</p> <p>第12回 運動制御理論と運動学習理論の概要 6/26(木)2限 大講義室（担当：木村）</p> <p>第13回 運動制御・運動学習の神経機構 7/3(木)2限 大講義室（担当：木村）</p> <p>第14回 理学療法の臨床実践における運動制御理論・運動学習理論の臨床応用 7/10(木)2限 大講義室（担当：木村）</p> <p>第15回 まとめ 7/17(木)2限 大講義室（担当：佐藤）</p>
教科書	<ol style="list-style-type: none"> 中村隆一、齋藤 宏：基礎運動学 第6版補訂、医歯薬出版 月城慶一・他 訳：観察による歩行分析
参考図書	<ol style="list-style-type: none"> 塩田悦仁 訳：カパンディ関節の生理学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 医歯薬出版 Paul D. Andrew・他監訳：筋骨格系のキネオロジー 第3版、医歯薬出版 藤澤宏幸、鈴木博人・編著：運動学習－理学療法のための最新知見と障害別アプローチの実際－メディカルプレス
予習・復習内容	必ず復習し整理しておくこと。
成績評価方法	レポート等20%、期末試験80%
履修上の注意	理学療法の重要な基礎的知識となります、必ず復習し整理しておくこと。
担当教員への連絡方法	オフィスアワー、メール、Microsoft Teamsチャットにて対応する。
授業に関する大学教員以外の実務経験	理学療法士として臨床経験を有する。

実務経験と授業科目の関連性	臨床での経験を踏まえ、事例を挙げながら授業を展開できる。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 人体の構造と機能及び心身の発達

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位	必修
担当教員			
大町 かおり、赤羽 勝司、倉澤 康之、下田 浩一、福谷 保			
年間授業回数：30回	授業形態：演習	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	人間の運動動作について、観察・測定・分析の初歩的手段を体験し、レポートにまとめる。また運動機能障害を持つ人の問題点を運動学的に捉え、評価や治療に応用する基礎を学ぶ。実習項目には以下の課題があり、その目的・方法を理解するためのオリエンテーションや実習後のフィードバックを各課題ごとに行う。動画による歩行分析、有酸素運動の呼吸ガス分析、トルクマシンを用いた関節モーメント測定、重心動揺計を用いた身体重心位置の測定、筋電図を用いた立ち上がり動作の分析、筋電図を用いた上肢運動の計測、坐位・立位保持の重心動揺計測、観察による各種の手の運動分析、基本動作の観察による動作分析。
学修目標	1. 測定機器の測定原理が理解できる 2. 測定機器の操作が正しくできる 3. 測定データを目的に合わせて適切に処理できる 4. 測定結果の改積を論理的に行える
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション1 授業全体の概要 9/30(火)3限 運動療法室/徒手・物理療法室/講堂/基礎医学実習室 (担当：大町)</p> <p>第2回 オリエンテーション2 テーマ各論1：動画による歩行分析 9/30(火)4限 運動療法室/徒手・物理療法室/講堂/基礎医学実習室 (担当：赤羽)</p> <p>第3回 オリエンテーション3 テーマ各論2：有酸素運動の呼吸ガス分析 10/7(火)3限 運動療法室/徒手・物理療法室/講堂/基礎医学実習室 ((担当：倉澤)</p> <p>第4回 オリエンテーション4 テーマ各論3：トルクマシンを用いた関節モーメント測定 10/7(火)4限 運動療法室/徒手・物理療法室/講堂/基礎医学実習室 (担当：大町)</p> <p>第5回 オリエンテーション5 テーマ各論4：重心動揺計を用いた身体重心位置の測定 10/14(火)3限 運動療法室/徒手・物理療法室/講堂/基礎医学実習室 ((担当：下田)</p> <p>第6回 オリエンテーション6 テーマ各論5：筋電図を用いた立ち上がり動作の分析 10/14(火)4限 運動療法室/徒手・物理療法室/講堂/基礎医学実習室 (担当：福谷)</p> <p>第7回 実習1：動画による歩行分析 10/21(火)3限 運動療法室/徒手・物理療法室/講堂/基礎医学実習室 (担当：大町、福谷、赤羽、下田、倉澤)</p> <p>第8回 実習1：動画による歩行分析 10/21(火)4限 運動療法室/徒手・物理療法室/講堂/基礎医学実習室 (担当：大町、福谷、赤羽、下田、倉澤)</p> <p>第9回 まとめ1：動画による歩行分析 10/28(火)3限 運動療法室/徒手・物理療法室/講堂/基礎医学実習室 (担当：大町、福谷、赤羽、下田、倉澤)</p> <p>第10回 まとめ1：動画による歩行分析 10/28(火)4限 運動療法室/徒手・物理療法室/講堂/基礎医学実習室 (担当：大町、福谷、赤羽、下田、倉澤)</p> <p>第11回 実習2：有酸素運動の呼吸ガス分析 11/4(火)3限 運動療法室/徒手・物理療法室/講堂/基礎医学実習室 (担当：大町、福谷、赤羽、下田、倉澤)</p> <p>第12回 実習2：有酸素運動の呼吸ガス分析 11/4(火)4限 運動療法室/徒手・物理療法室/講堂/基礎医学実習室 (担当：大町、福谷、赤羽、下田、倉澤)</p> <p>第13回 まとめ2：有酸素運動の呼吸ガス分析 11/11(火)3限 運動療法室/徒手・物理療法室/講堂/基礎医学実習室 (担当：大町、福谷、赤羽、下田、倉澤)</p> <p>第14回 まとめ2：有酸素運動の呼吸ガス分析 11/11(火)4限 運動療法室/徒手・物理療法室/講堂/基礎医学実習室 (担当：大町、福谷、赤羽、下田、倉澤)</p> <p>第15回 実習3：トルクマシンを用いた関節モーメント測定 11/18(火)3限 運動療法室/徒手・物理療法室/講堂/基礎医学実習室 (担当：大町、福谷、赤羽、下田、倉澤)</p> <p>第16回 実習3：トルクマシンを用いた関節モーメント測定 11/18(火)4限 運動療法室/徒手・物理療法室/講堂/基礎医学実習室 (担当：大町、福谷、赤羽、下田、倉澤)</p> <p>第17回 まとめ3：トルクマシンを用いた関節モーメント測定 11/25(火)3限 運動療法室/徒手・物理療法室/講堂/基礎医学実習室 (担当：大町、福谷、赤羽、下田、倉澤)</p> <p>第18回 まとめ3：トルクマシンを用いた関節モーメント測定 11/25(火)4限 運動療法室/徒手・物理療法室/講堂/基礎医学実習室 (担当：大町、福谷、赤羽、</p>

第19回	下田、倉澤) 実習4：重心動揺計を用いた身体重心位置の測定 12/2(火)3限 運動療法室/徒手・物理療法室/講堂/基礎医学実習室 (担当：大町、福谷、赤羽、下田、倉澤)
第20回	実習4：重心動揺計を用いた身体重心位置の測定 12/2(火)4限 運動療法室/徒手・物理療法室/講堂/基礎医学実習室 (担当：大町、福谷、赤羽、下田、倉澤)
第21回	まとめ4：重心動揺計を用いた身体重心位置の測定 12/9(火)3限 運動療法室/徒手・物理療法室/講堂/基礎医学実習室 (担当：大町、福谷、赤羽、下田、倉澤)
第22回	まとめ4：重心動揺計を用いた身体重心位置の測定 12/9(火)4限 運動療法室/徒手・物理療法室/講堂/基礎医学実習室 (担当：大町、福谷、赤羽、下田、倉澤)
第23回	実習5：筋電図を用いた立ち上がり動作の分析 12/16(火)3限 運動療法室/徒手・物理療法室/講堂/基礎医学実習室 (担当：大町、福谷、赤羽、下田、倉澤)
第24回	実習5：筋電図を用いた立ち上がり動作の分析 12/16(火)4限 運動療法室/徒手・物理療法室/講堂/基礎医学実習室 (担当：大町、福谷、赤羽、下田、倉澤)
第25回	まとめ5：筋電図を用いた立ち上がり動作の分析 12/23(火)3限 運動療法室/徒手・物理療法室/講堂/基礎医学実習室 (担当：大町、福谷、赤羽、下田、倉澤)
第26回	まとめ5：筋電図を用いた立ち上がり動作の分析 12/23(火)4限 運動療法室/徒手・物理療法室/講堂/基礎医学実習室 (担当：大町、福谷、赤羽、下田、倉澤)
第27回	総合まとめ1：動画による歩行分析・有酸素運動の呼吸ガス分析 1/6(火)3限 運動療法室/徒手・物理療法室/講堂/基礎医学実習室 (担当：赤羽、倉澤)
第28回	総合まとめ2：トルクマシンを用いた関節モーメント測定 1/6(火)4限 運動療法室/徒手・物理療法室/講堂/基礎医学実習室 (担当：大町)
第29回	総合まとめ3：重心動揺計を用いた身体重心位置の測定 1/13(火)3限 運動療法室/徒手・物理療法室/講堂/基礎医学実習室 (担当：下田)
第30回	総合まとめ4：筋電図を用いた立ち上がり動作の分析・全体まとめ 1/13(火)4限 運動療法室/徒手・物理療法室/講堂/基礎医学実習室 (担当：福谷、大町)
教科書	中村隆一 他 基礎運動学 医歯薬出版
参考図書	内山 靖 他 計測法入門 協同医書出版
予習・復習内容	テーマごとのレポートを指定の期日に提出する
成績評価方法	レポート 40%、筆記試験 60%
履修上の注意	第7講～第26講は5グループに分かれて、テーマごとにローテーションにて実習およびまとめをする。各課題で服装などの準備物が異なる。事前に担当教員に確認しておくこと。
担当教員への連絡方法	ohmachi.kaori@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	教員それぞれが病院およびクリニック等での5年以上の実務経験あり。
実務経験と授業科目の関連性	臨床での経験を踏まえ、事例を挙げながら授業を展開する。 解剖学および生理学と運動学の講義で学んだ知識をもとに、自身が被験者になって測定し、結果からその理由を考察することでさらに理解を深め、運動療法等につながる理論を実際的に教授する。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1 (理学療法士課程) 人体の構造と機能及び心身の発達

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1単位	必修
担当教員			
福谷 保			
年間授業回数：15回	授業形態：講義	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	理学療法を学ぶにあたって、理学療法・理学療法士とは何か、その概略および歴史・現状と取り巻く社会環境、課題を理解し、将来像を展望する。また、理学療法士を目指す学生としての自己認識を深め、今後の学習の内容とその必要性・学び方を理解し、研鑽に向けての動機づけを促す。 具体的には、理学療法の概念・定義・歴史、リハビリテーションと理学療法の位置づけ、理学療法の法律、診療過程、対象、方法、理学療法士の活動分野、資質と適性について学ぶ。
学修目標	1. 理学療法の概要が理解できる 2. 理学療法士の資質適性が理解できる 3. 理学療法の対象・手段・方法と診療過程が理解できる 4. 理学療法の領域とチーム医療の重要性が理解できる 5. 理学療法学の内容と必要性・学び方を理解し、関連学問への関心を高める
授業計画	<p>第1回 総論（導入） 4/10(木)1限 201（担当：福谷）</p> <p>第2回 理学療法（士）への疑問 4/17(木)1限 201（担当：福谷）</p> <p>第3回 理学療法（士）とは何か 4/24(木)1限 201（担当：福谷）</p> <p>第4回 理学療法（士）になるために何を学ぶか 5/1(木)1限 201（担当：福谷）</p> <p>第5回 理学療法士の適性と倫理 5/8(木)1限 201（担当：福谷）</p> <p>第6回 理学療法の学び方 5/15(木)1限 201（担当：福谷）</p> <p>第7回 理学療法士の活動範囲 5/22(木)1限 201（担当：福谷）</p> <p>第8回 理学療法の過程と方法 6/5(木)1限 201（担当：福谷）</p> <p>第9回 理学療法業務と法律 6/12(木)1限 201（担当：福谷）</p> <p>第10回 理学療法関連機器 指定規則より 6/19(木)1限 201（担当：福谷）</p> <p>第11回 理学療法関連機器 診療報酬より 6/26(木)1限 201（担当：福谷）</p> <p>第12回 理学療法関連機器 まとめ 7/3(木)1限 201（担当：福谷）</p> <p>第13回 理学療法士と関連職種 7/10(木)1限 201（担当：福谷）</p> <p>第14回 これからの理学療法 EBPT, 教育 7/17(木)1限 201（担当：福谷）</p> <p>第15回 理学療法概論のまとめ 7/24(木)1限 201（担当：福谷）</p>
教科書	PT入門 イラストでわかる理学療法概論 医歯薬出版
参考図書	<p>1. 奈良 勲:理学療法概論 医歯薬出版</p> <p>2. 千住秀明監修:理学療法概論 九州神陵文庫</p> <p>3. 中島喜代彦編:シンフル理学療法学シリーズ、理学療法概論テキスト 南江堂</p> <p>4. 丸山仁司編:理学療法概論 iPEC</p> <p>5. 網本 和編:基礎理学療法概論 PTスタートガイド、メンタルビュー</p> <p>6. 石川 朗編:15レクチャーシリーズ、理学療法テキスト 理学療法概論 中山書店</p> <p>7. 日本理学療法士協会:理学療法原論 (WEB公開)</p>
予習・復習内容	教員の指示に従う
成績評価方法	期末試験100%
履修上の注意	本科目は理学療法士を目指す者の導入編として学問体系と治療体系を理解し、理学療法を学ぶ決意を明確にす

	<p>るものである。さらに医療専門職としての自覚を創造する。 事前学習は、テキスト、参考書の予習はもとより、病院・施設見学やボランティア活動・先輩や教員とのディスカッションなどに積極的に取り組み、日頃から理学療法士の認識に努める。事後学習は講義ノートを作成し、病院・施設見学やボランティア活動・先輩や教員とのディスカッションをさらに継続しつつ、理学療法体系診療過程の理解を深め将来理学療法士として活動できるように決意と自覚を創造することを望む。</p>
担当教員への連絡方法	fukutani.tamotsu@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	理学療法士としての臨床経験を有する
実務経験と授業科目の関連性	臨床現場における治療経験、及び職場管理経験を有する
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 基礎理学療法学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4年	1単位	必修
担当教員			
大町 かおり			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	理学療法士の持つ特性と自分の資質適正を掛け合わせ、さらに予測される社会情勢と理学療法士としてどのように社会に貢献するのかという視点で、現在考えられるキャリアを具体的にデザインする。
学修目標	1. 就職を控え、今後の自分のキャリアを具体的にデザインできる。 2. 上記に関し、必要な情報を自ら収集できる。
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション：リハビリテーションと社会 4/10(木)1限 講堂 (担当：大町)</p> <p>第2回 グループワーク1：志望動機と自分の特性 4/10(木)2限 講堂 (担当：大町)</p> <p>第3回 グループワーク2：自分と仕事～職業的自己概念～ 4/10(木)3限 講堂 (担当：大町)</p> <p>第4回 グループワーク3：医療従事者の特性 4/17(木)1限 講堂 (担当：大町)</p> <p>第5回 グループワーク4：理学療法士の特性・強みと弱み 4/17(木)2限 講堂 (担当：大町)</p> <p>第6回 グループワーク5：PTOTの様々な働き方-1 4/17(木)3限 講堂 (担当：大町)</p> <p>第7回 グループワーク6：PTOTの様々な働き方-2 ⇒グループ再構成 4/24(木)1限 講堂 (担当：大町)</p> <p>第8回 グループワーク7：仲間と新しい仕事を作りだそう-1 4/24(木)2限 講堂 (担当：大町)</p> <p>第9回 グループワーク8：仲間と新しい仕事を作りだそう-2 4/24(木)3限 講堂 (担当：大町)</p> <p>第10回 グループワーク9：仲間と新しい仕事を作りだそう-3 5/1(木)1限 講堂 (担当：大町)</p> <p>第11回 グループ発表-1 5/1(木)2限 講堂 (担当：大町)</p> <p>第12回 グループ発表-2 5/1(木)3限 講堂 (担当：大町)</p> <p>第13回 シンポジウム-1：様々な現場で活躍する理学療法士-1 5/8(木)1限 講堂 (担当：大町・ゲストスピーカー)</p> <p>第14回 シンポジウム-2：様々な現場で活躍する理学療法士-2 5/8(木)3限 講堂 (担当：大町・ゲストスピーカー)</p> <p>第15回 総合討論とまとめ：「PTと社会」～PTを取り巻く未来～ 5/8(木)4限 講堂 (担当：大町)</p>
教科書	大町かおり・高木綾一 著：リハビリテーション職種のキャリア・デザイン シービーアール
参考図書	必要に応じ講義中に提示する
予習・復習内容	第1回の講義時に配布するプリントの課題を所定の日時に提出する
成績評価方法	授業中の課題30%、レポート40%、発表30%
履修上の注意	理学療法臨床実習Ⅰの前に集中して実施する集中講義である。 具体的に自分の将来を考えながら参加すること。 事前事後学修は、レポート課題を作成・提出することで行えるように構成している。
担当教員への連絡方法	ohmachi.kaori@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	理学療法士としての臨床経験あり。また、教科書の著者であり、関係する内容の講演を行っている。
実務経験と授業科目の関連性	3年生までの授業を修了し長期の実習を前にしたこの時期に、自分の将来像を描く一助となる授業である。

指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 基礎理学療法学
-----------	--

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1単位	必修
担当教員			
大町 かおり			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	運動学や運動学実習で学んだ正常な身体運動の基礎知識と分析技術をもとに、主に支持基底面と重心、各関節の動き、各関節に作用する外力と内力による関節モーメント、筋による制御などの観点から正常動作の機序を再学習する。 そのうえで、主な関節の関節可動域制限や筋力低下による動作障害の基本的な機序を学び、症例の基本動作を運動学的に分析し、問題点の抽出と治療計画に応用可能となることを目標とする。対象とする動作として、平地歩行、椅子からの立ち上がり動作、端座位・立位姿勢について分析方法を学ぶ。
学修目標	ヒトの日常的な運動および動作を運動学的・運動力学的に理解し、具体的に表現できる方法を知り、他者に伝えることができる。(表現方法は、口頭、同じ運動・動作の模倣、図示での表現、および文章での表現の4種)特に、病態運動学 I では「姿勢観察」「姿勢分析」の基礎を学び実践できるようになる。
授業計画	<p>第1回 動作分析学・総論-1：運動と動作、体位と構え 9/24(水)3限 201/講堂 (担当：大町)</p> <p>第2回 動作分析学・総論-2：支持基底面と重心、基本的な動作分析の表現方法 10/1(水)3限 201/講堂 (担当：大町)</p> <p>第3回 姿勢観察と姿勢分析 姿勢観察-1 臥位 10/8(水)3限 201/講堂 (担当：大町)</p> <p>第4回 姿勢観察と姿勢分析 姿勢観察-2 臥位 10/15(水)3限 201/講堂 (担当：大町)</p> <p>第5回 姿勢観察と姿勢分析 姿勢観察-3 座位 10/22(水)3限 201/講堂 (担当：大町)</p> <p>第6回 姿勢観察と姿勢分析 姿勢観察-4 座位 10/29(水)3限 201/講堂 (担当：大町)</p> <p>第7回 姿勢観察と姿勢分析 姿勢観察-5 立位 11/5(水)3限 201/講堂 (担当：大町)</p> <p>第8回 姿勢観察と姿勢分析 姿勢観察-6 立位 11/12(水)3限 201/講堂 (担当：大町)</p> <p>第9回 姿勢観察と姿勢分析 姿勢クイズ-1 問題作成 11/19(水)3限 201/講堂 (担当：大町)</p> <p>第10回 姿勢観察と姿勢分析 姿勢クイズ-2 解答確認 11/26(水)3限 201/講堂 (担当：大町)</p> <p>第11回 姿勢観察と姿勢分析 姿勢分析-1 座位保持 12/3(水)3限 201/講堂 (担当：大町)</p> <p>第12回 姿勢観察と姿勢分析 姿勢分析-2 座位保持 12/10(水)3限 201/講堂 (担当：大町)</p> <p>第13回 動作観察と動作分析 動作観察-1 寝返り 12/17(水)3限 201/講堂 (担当：大町)</p> <p>第14回 動作観察と動作分析 動作観察-2 寝返り 12/24(水)3限 201/講堂 (担当：大町)</p> <p>第15回 まとめ 1/7(水)3限 201/講堂 (担当：大町)</p>
教科書	1. 石井慎一郎：動作分析臨床活用講座 メジカルビュー社 2. 月城慶一、他：観察による歩行分析 医学書院 および随時プリントを配布する
参考図書	1. 中村隆一、他：基礎運動学、医歯薬出版、 中村隆一、他：臨床運動学、医歯薬出版 2. 山岸茂則、編：臨床実践動きのとらえかた 文光堂
予習・復習内容	随時配布するプリントを記入し指定の日時に提出する。
成績評価方法	レポート (30%)、試験 (70%)
履修上の注意	講義→実習→演習という授業形態で毎回レポート提出がある。 また、授業には動きやすい服装 (Tシャツ・ジャージ等) で参加すること。
担当教員への連絡方法	ohmachi.kaori@shitoku.ac.jp

授業に関する大学 教員以外の実務経 験	総合病院（急性期、回復期）および整形外科のクリニックで5年以上の実務経験あり。
実務経験と授業科 目の関連性	「運動学」を専門としており、学部・大学院での教育・研究の指導を行っている。 病態運動学の中で特に「姿勢」について学ぶ科目である。
指定規則の位置付 け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 基礎理学療法学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	1単位	必修
担当教員			
大町 かおり			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	正常な身体運動の基礎知識と分析技術をもとに、症例の基本動作を運動学的に分析し、問題点の抽出と治療計画に応用可能となることを目標とする。病態運動学Ⅰで取り上げた動作の他に、さらに多様な動作として階段昇降、床からの立ち上がり動作、寝返り・起き上がり動作について分析方法を学ぶ。また、具体的な障害の事例として変形性膝関節症等の典型的加齢変性に伴う筋骨格系疾患を取り上げて、その分析方法を実践的に学ぶ。
学修目標	病態運動学Ⅰに引き続き、ヒトの日常的な運動および動作を運動学的・運動力学的に理解し、具体的に表現できる方法を知り、他者に伝えることができる（「動作観察」「動作分析」の基礎を学び実践できるようになる）。また、さまざまな疾患や外傷により生じる身体機能障害と異常運動との関連性を理解し、運動制御理論についての知識を深め、中枢神経障害や骨関節障害をもつ症例の基本動作を運動学的に分析し、問題点の抽出と治療計画に役立てられるようになる。
授業計画	<p>第1回 動作分析学・総論：病態運動学Ⅰの復習と実際に臨床実習で学んだ動作分析 4/10(木)4限 講堂 (担当：大町)</p> <p>第2回 動作観察と動作分析 動作分析-1 椅子からの立ち上がり 4/16(水)1限 講堂 (担当：大町)</p> <p>第3回 動作観察と動作分析 動作分析-2 椅子からの立ち上がり 4/17(木)4限 講堂 (担当：大町)</p> <p>第4回 動作観察と動作分析 動作分析-3 椅子からの立ち上がり 4/24(木)4限 講堂 (担当：大町)</p> <p>第5回 動作観察と動作分析 動作分析-4 さまざまな歩行 5/1(木)4限 講堂 (担当：大町)</p> <p>第6回 動作観察と動作分析 動作分析-5 さまざまな歩行 5/15(木)4限 講堂 (担当：大町)</p> <p>第7回 動作観察と動作分析 動作分析-6 さまざまな歩行 5/22(木)4限 講堂 (担当：大町)</p> <p>第8回 症例から考える動作分析 ペーパーシェント-1 整形疾患 5/29(木)4限 講堂 (担当：大町)</p> <p>第9回 症例から考える動作分析 ペーパーシェント-2 整形疾患 6/5(木)4限 講堂 (担当：大町)</p> <p>第10回 症例から考える動作分析 ペーパーシェント-3 中枢疾患 6/12(木)4限 講堂 (担当：大町)</p> <p>第11回 症例から考える動作分析 ペーパーシェント-4 中枢疾患 6/19(木)4限 講堂 (担当：大町)</p> <p>第12回 疾患と動作分析 さまざまな疾患と動作の特徴 6/26(木)4限 講堂 (担当：大町)</p> <p>第13回 疾患と動作分析 さまざまな疾患と動作の特徴 7/3(木)4限 講堂 (担当：大町)</p> <p>第14回 疾患と動作分析 さまざまな疾患と動作の特徴 7/10(木)4限 講堂 (担当：大町)</p> <p>第15回 まとめ 7/17(木)4限 講堂 (担当：大町)</p>
教科書	1. 石井慎一郎：動作分析臨床活用講座 メジカルビュー社 2. 月城慶一、他：観察による歩行分析 医学書院、および随時プリントを配布する
参考図書	1. 中村隆一、他：基礎運動学、医歯薬出版、中村隆一、他：臨床運動学 医歯薬出版 2. 山岸茂則、編：臨床実践動きのとらえかた、文光堂
予習・復習内容	随時配布するプリントを記入し指定の日時に提出する。
成績評価方法	レポート30%、試験70%
履修上の注意	病態運動学Ⅰの単位を修得していること。 講義→実習→演習という授業形態で毎回レポート提出がある。 予習復習を自主的に行いましょう。また、授業には動きやすい服装（Tシャツ・ジャージ等）で参加すること。

担当教員への連絡方法	ohmachi.kaori@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	総合病院（急性期、回復期）および整形外科のクリニックで5年以上の実務経験あり。
実務経験と授業科目の関連性	「運動学」を専門としており、学部・大学院での教育・研究の指導を行っている。病態運動学の中で特に「動作」について学ぶ科目である。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 基礎理学療法学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1単位	選択
担当教員			
福谷 保			
年間授業回数：8回	授業形態：演習		
添付ファイル			

授業目標	2年前期までに学んだ基礎科目の内容を復習する。特に、解剖学（骨・関節系、筋系、神経系）の知識と理学療法評価学（関節可動域測定、徒手筋力検査法）の技術を結び付けることを目標とする。臨床評価実習 I に向けた準備とする。
学修目標	1. 各関節構造の特徴と運動が説明できる 2. 各骨格筋の作用と神経支配が説明できる 3. 関節可動域測定、徒手筋力検査が解剖学的知識を基に正しく実施できる
授業計画	第1回 上肢の骨格、関節構造の触診 9/22(月)1限 講堂 (担当：福谷) 第2回 上肢の運動に関わる筋の触診 9/29(月)1限 講堂 (担当：福谷) 第3回 下肢の骨格、関節構造の触診 10/6(月)1限 講堂 (担当：福谷) 第4回 下肢の運動に関わる筋の触診 10/20(月)1限 講堂 (担当：福谷) 第5回 形態計測と基礎知識の関連 10/27(月)1限 講堂 (担当：福谷) 第6回 関節可動域測定と基礎知識の関連 11/10(月)1限 講堂 (担当：福谷) 第7回 徒手筋力検査と基礎知識の関連 11/17(月)1限 講堂 (担当：福谷) 第8回 まとめ 11/24(月)1限 講堂 (担当：福谷)
教科書	教科書は使用しない
参考図書	参考書は随時紹介する
予習・復習内容	毎回の授業前に関連知識を復習しておくこと
成績評価方法	授業内の小テスト（筆記、実技、口頭試問）50%、最終レポート50%
履修上の注意	選択科目だが、知識に不安のある学生は履修することを勧める
担当教員への連絡方法	E-mail:fukutani.tamotsu@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	理学療法士としての臨床経験を有する
実務経験と授業科目の関連性	臨床技術は基礎知識を踏まえて実施することが重要であることを認識させる
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 基礎理学療法学

講義科目名称： 理学療法総合演習Ⅱ

授業コード： 30090

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	1単位	選択
担当教員			
福谷 保			
年間授業回数：8回	授業形態：演習		
添付ファイル			

授業目標	2年までに学んだ基礎科目の内容を復習する。特に、解剖学・生理学（神経系）の知識と理学療法評価学（反射・協調性・平衡機能、片麻痺運動機能検査）の技術を結び付けることを目標とする。臨床評価実習Ⅱに向けた準備とする。
学修目標	1. 神経系の障害に関する検査法の理論的背景が説明できる 2. 神経系の障害に対する検査法が基礎知識を基に正しく実施できる
授業計画	<p>第1回 中枢神経系の構造と機能 4/9(水)2限 基礎医学実習室（担当：福谷）</p> <p>第2回 末梢神経系の構造と機能 4/16(水)2限 基礎医学実習室（担当：福谷）</p> <p>第3回 運動および感覚の伝導路 4/23(水)2限 基礎医学実習室（担当：福谷）</p> <p>第4回 各種反射検査と基礎知識の関連 4/30(水)2限 基礎医学実習室（担当：福谷）</p> <p>第5回 感覚検査と基礎知識の関連 5/7(水)2限 基礎医学実習室（担当：福谷）</p> <p>第6回 協調性および平衡機能検査と基礎知識の関連 5/14(水)2限 基礎医学実習室（担当：福谷）</p> <p>第7回 片麻痺運動機能検査と基礎知識の関連 5/21(水)2限 基礎医学実習室（担当：福谷）</p> <p>第8回 まとめ 5/28(水)2限 基礎医学実習室（担当：福谷）</p>
教科書	教科書は使用しない
参考図書	参考書は随時紹介する
予習・復習内容	毎回の授業前に関連知識を復習しておくこと
成績評価方法	授業内の小テスト（筆記、実技、口頭試問）100%
履修上の注意	選択科目だが、知識に不安のある学生は履修することを勧める
担当教員への連絡方法	E-mail:fukutani.tamotsu@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	理学療法士としての臨床経験を有する。
実務経験と授業科目の関連性	臨床技術は基礎知識を踏まえて実施することが重要であることを認識させる。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 基礎理学療法学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4年	1単位	選択
担当教員			
福谷 保、山本 良彦、牛越 浩司、倉澤 康之			
年間授業回数：8回	授業形態：演習		
添付ファイル			

授業目標	国家試験に出題される内容の中から多くの学生が苦手意識を持つ医用画像、心電図、発達障害などを中心に知識の確認をする。
学修目標	1. 医用画像の特徴を指摘し、正しく判定できる 2. 正常心電図と病的心電図の違いを指摘し、正しく判定できる 3. 発達障害の特徴と対処法が説明できる
授業計画	<p>第1回 各種医用画像のみかた：XP、超音波 日程・教室 後日連絡（担当：牛越）</p> <p>第2回 各種医用画像のみかた：CT 日程・教室 後日連絡（担当：牛越）</p> <p>第3回 各種医用画像のみかた：MRI 日程・教室 後日連絡（担当：牛越）</p> <p>第4回 国家試験問題の出題傾向と解法のコツ 日程・教室 後日連絡（担当：倉澤）</p> <p>第5回 心電図のみかた、統計 日程・教室 後日連絡（担当：倉澤）</p> <p>第6回 発達障害：発達障害概論、疾患の理解 日程・教室 後日連絡（担当：山本）</p> <p>第7回 発達障害：発達障害の理学療法 日程・教室 後日連絡（担当：山本）</p> <p>第8回 まとめ 日程・教室 後日連絡（担当：福谷 他）</p>
教科書	教科書は使用しない
参考図書	参考書は随時紹介する
予習・復習内容	毎回の授業前に関連知識を復習しておくこと
成績評価方法	授業内の確認テスト 100%
履修上の注意	選択科目だが、知識に不安のある学生は履修することを勧める
担当教員への連絡方法	E-mail:fukutani.tamotsu@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	理学療法士としての臨床経験を有する
実務経験と授業科目の関連性	臨床で役立てるための知識の要点を説明する
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 基礎理学療法学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	1単位	必修
担当教員			
木村 貞治、倉澤 康之			
年間授業回数：15回	授業形態：講義	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	理学療法の対象者に安全で効果的な理学療法を実施するためには、最新の質の高い臨床研究の結果である「エビデンス」“も”参照して臨床判断を行う「根拠に基づく実践 (Evidence-based Practice, EBP)」の概念と具体的な進め方を正しく理解することが重要となる。また、理学療法の「臨床実践」とともに「研究」に取り組むことは、学問としての「理学療法学」を基盤とした理学療法の専門領域を確立・発展させるためにも重要となる。そこで、本授業では、EBPの概念と具体的な「エビデンスの使い方」について学修するとともに、「エビデンスの作り方」を研究デザイン、研究プロセス、測定信頼性と妥当性、統計解析方法、そして、研究倫理などの点から学修する。これらの学修を通して、「理学療法研究法演習 (卒業研究)」および卒後の研究活動を進める上で必要となる基礎知識を修得することを目標とする。
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 理学療法における研究の意義について説明できる 2. 研究倫理、研究不正について理解し、研究を行う上で守るべき要点について述べるができる 3. 研究デザイン、研究プロセスの要点について説明できる 4. EBPの概念とステップ1～ステップ5までの具体的な進め方について説明できる 5. 自身が設定した臨床的疑問点に基づいて、ステップ1～ステップ5までのEBPプロセスを実際に体験し、その内容を分かりやすく発表することができる 6. 研究論文の書き方の基本的な要点について説明できる 7. 種々の研究方法を理解し、適正な研究計画立案に必要な基本的事項を説明できる
授業計画	<p>第1回 総論：理学療法研究の意義と必要性 (研究倫理・研究不正：eラーニング) 4/8(火)4限 大講義室 (担当：木村)</p> <p>第2回 研究デザイン・研究プロセス 4/15(火)4限 大講義室 (担当：木村)</p> <p>第3回 「根拠に基づく実践 (Evidence-based Practice, EBP)」の概念 4/22(火)4限 大講義室 (担当：木村)</p> <p>第4回 EBPのプロセス①：ステップ1 (臨床疑問の定式化：PICO)、ステップ2 (情報の検索) 4/29(火)4限 大講義室 (担当：木村)</p> <p>第5回 EBPのプロセス②：ステップ3 (得られた情報の批判的吟味) 5/6(火)4限 大講義室 (担当：木村)</p> <p>第6回 EBPのプロセス③：ステップ4 (得られた情報の患者への適用の検討)、ステップ5 (情報の適用結果の評価) 5/13(火)4限 大講義室 (担当：木村)</p> <p>第7回 医療統計①：2群の比較 5/20(火)4限 大講義室 (担当：倉澤)</p> <p>第8回 医療統計②：多群の比較 5/27(火)4限 大講義室 (担当：倉澤)</p> <p>第9回 医療統計③：多変量解析 6/3(火)4限 大講義室 (担当：倉澤)</p> <p>第10回 研究論文の書き方 6/10(火)4限 大講義室 (担当：木村)</p> <p>第11回 グループワーク①：EBPプロセス演習 6/17(火)4限 大講義室 (担当：木村)</p> <p>第12回 グループワーク②：EBPプロセス演習 6/24(火)4限 大講義室 (担当：木村)</p> <p>第13回 グループワーク③：EBPプロセス演習 7/1(火)4限 大講義室 (担当：木村)</p> <p>第14回 EBPプレゼンテーション①：グループワーク結果の発表 7/8(火)4限 大講義室 (担当：木村)</p> <p>第15回 EBPプレゼンテーション②：グループワーク結果の発表・総評 7/15(火)4限 大講義室 (担当：木村)</p>
教科書	適宜、講義資料を配布する。
参考図書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対馬栄輝 編著：最新理学療法学講座 理学療法研究法 医歯薬出版 2. 対馬栄輝 編著：医療統計解析 使いこなし実践ガイド 羊土社 3. 神田善伸 著：EZRでやさしく学ぶ統計学 改訂3版 中外医学社
予習・復習内容	予習・復習を積極的に行い、大切な点についてポートフォリオ (自己学習資料) にまとめていくこと。「研究倫理・研究不正」は、日本学術振興会HPより研究倫理eラーニングコースを受講し、指定の期日までに修

	了証を提出すること。
成績評価方法	総括的評価の割合は、期末試験40%、グループワーク演習課題50%、eラーニング修了証提出10%とし、総得点の60%以上を合格とする。
履修上の注意	授業の連絡は、MicrosoftのTeamsを用いて行う。 本授業の内容は、後期の「理学療法研究法Ⅱ」と4年次の「理学療法研究法演習（卒業研究）」につながるものとなるので、目的意識を持って能動的に学修に取り組むこと。 理解度を確保するために授業中に質問を行うので、自身の考えや意見を整理して積極的に発言すること。 「研究倫理・研究不正」に関する研究倫理eラーニングコースは必ず受講すること。
担当教員への連絡方法	Microsoft Teamsのチャットを用いて行うこと。
授業に関する大学教員以外の実務経験	本授業は、担当教員の医療機関における理学療法士としての実務経験を生かして行う。
実務経験と授業科目の関連性	臨床場面における実際の症例に関する臨床疑問に対して「エビデンスを使う」という行為を行ってきた経験や、臨床疑問から派生した研究疑問に対して「エビデンスを作る」という取り組みを行ってきた経験を交えて授業を進めていく。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 基礎理学療法学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	1単位	必修
担当教員			
福谷 保、赤羽 勝司、大町 かおり、荻原 啓文、木村 貞治、倉澤 康之、佐藤 剛章、下田 浩一、杉本 穂高、山本 良彦			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	理学療法研究法Ⅰで学んだ内容を具体的に実践し、最終的な卒業研究の研究計画を立てる。文献の抄読では批判的な読解を心掛け、客観的な思考を展開する。研究計画の作成途上では科学的な判断ができるように、他者とのディスカッションが積極的にできることを期待する。
学修目標	1. 研究疑問を明確にし、研究テーマが設定できる 2. 研究計画が立てられる
授業計画	<p>第1回 研究テーマの確認（指導教員とのディスカッション） 9/22(月)5限 大講義室/各教室（担当：福谷 他）</p> <p>第2回 研究テーマを明確にするための方法の検討 9/29(月)5限 大講義室/各教室（担当：福谷 他）</p> <p>第3回 研究テーマにそった文献の収集 10/6(月)5限 大講義室/各教室（担当：福谷 他）</p> <p>第4回 収集した文献の精読 10/20(月)5限 大講義室/各教室（担当：福谷 他）</p> <p>第5回 収集した文献の精読 グループ内発表資料の作成 10/27(月)5限 大講義室/各教室（担当：福谷 他）</p> <p>第6回 収集した文献の精読 グループ発表とディスカッション 11/10(月)5限 大講義室/各教室（担当：福谷 他）</p> <p>第7回 研究テーマの確定 11/17(月)5限 大講義室/各教室（担当：福谷 他）</p> <p>第8回 研究方法の検討 11/24(月)5限 大講義室/各教室（担当：福谷 他）</p> <p>第9回 予備的な実験・調査の実施 12/1(月)5限 大講義室/各教室（担当：福谷 他）</p> <p>第10回 予備調査の結果まとめ 12/8(月)5限 大講義室/各教室（担当：福谷 他）</p> <p>第11回 研究計画書（仮）の作成 12/15(月)5限 大講義室/各教室（担当：福谷 他）</p> <p>第12回 研究計画発表会資料の作成 12/22(月)5限 大講義室/各教室（担当：福谷 他）</p> <p>第13回 研究計画発表会 1/5(月)5限 大講義室/各教室（担当：福谷 他）</p> <p>第14回 発表会で得た助言をもとに、研究計画書の修正 1/14(水)5限 大講義室/各教室（担当：福谷 他）</p> <p>第15回 研究計画書の完成 1/19(月)5限 大講義室/各教室（担当：福谷 他）</p>
教科書	教科書は指定しない。
参考図書	参考図書は指定しない。
予習・復習内容	指導教員から適宜、指示する。
成績評価方法	提出物50%、研究計画発表会50%
履修上の注意	担当教員、他学生とのディスカッションを積極的に行うこと。
担当教員への連絡方法	初回講義時に伝える。
授業に関する大学教員以外の実務経験	理学療法士としての臨床経験を有する。
実務経験と授業科目の関連性	臨床業務では研究活動と同様な仮説検証過程が必要である。手順を追って、根拠のある行動を身に着けることが可能である。

指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 基礎理学療法学
-----------	--

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	4年	2単位	必修
担当教員			
福谷 保、木村 貞治、大町 かおり、赤羽 勝司、山本 良彦、下田 浩一、荻原 啓文、佐藤 剛章、倉澤 康之、杉本 穂高			
年間授業回数：30回	授業形態：演習	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	本演習では理学療法研究法Ⅰ、Ⅱで学んだことをベースに、具体的なテーマを持って研究を実施する。研究目的とその対象に応じて仮説を立て、種々の調査や実験を行い、その結果を整理して得た検証の成果を考察する。これを通して、医療従事者としての広い視野を養い、様々な疑問や問題に対する問題解決能力を身につける。また、研究成果を口頭で発表し、論文にまとめる。以上を通じて、発表技術と科学的論文の作成方法を体得させる。
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研究疑問を明確にし研究テーマを設定できる 2. 研究テーマに沿って先行研究を集めることができる 3. 研究計画を立て、計画に沿って研究を進めることができる 4. 結果を解析し論理的に考察ができる 5. 研究をまとめ、発表し、卒業論文にまとめることができる
授業計画	<p>第1～30回 「理学療法研究法Ⅱ」で作成した「研究計画書」にそって研究を行う。</p> <p>卒業研究中間発表会：9/11(木)、9/12(金)</p> <p>卒業論文提出：1月</p>
教科書	教科書は使用しない。
参考図書	参考書は指定しない。
予習・復習内容	担当教員の指示に従って行うこと。
成績評価方法	課題（口頭発表・論文）100%
履修上の注意	各担当教員の指導を十分に受けた上で、探究心を持ち、積極的に取り組むこと。
担当教員への連絡方法	初回授業で連絡する。
授業に関する大学教員以外の実務経験	理学療法士としての臨床経験がある。
実務経験と授業科目の関連性	臨床業務では研究活動と同様な仮説検証過程が必要である。手順を追って、根拠のある行動を身につけることが可能である。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容別表1（理学療法士課程） 基礎理学療法学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	2単位	必修
担当教員			
木村 貞治			
年間授業回数：15回	授業形態：講義	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	理学療法管理学の概要、理学療法に関連する法律と制度、職業倫理、組織とマネジメント、職場管理、理学療法業務のマネジメント、キャリア支援と生涯学習、地域理学療法におけるマネジメントなどについて学修する。また、病院経営・施設経営の観点も考慮した理学療法部門の人事管理・予算管理・物品管理・チームワーク管理・危機管理などの管理・運営の実際について、ゲストスピーカーの講義を通して学修する。これらの学修を通して、組織・チームの一員としての自己の役割と課題を理解するとともに、生涯学習の必要性を認識することを目標とする。
学修目標	1. 理学療法管理学の概念と基本的な概要について説明できる 2. 理学療法に関連する法律と制度の基本的事項について説明できる 3. 理学療法における基本的な職業倫理の要点について説明できる 4. 病院や介護保険関連施設における理学療法部門の管理システムの要点について説明できる 5. 地域理学療法におけるマネジメントの要点について説明できる 6. 理学療法における職能団体としての取組の概要について説明できる 7. 理学療法における学術団体としての取組の概要について説明できる 8. 理学療法士としての生涯学習の必要性について説明できる
授業計画	第1回 理学療法管理学の概要 9/22(月)2限 大講義室 (担当：木村) 第2回 理学療法に関連する法律と制度 9/29(月)2限 大講義室 (担当：木村) 第3回 職業倫理 10/6(月)2限 大講義室 (担当：木村) 第4回 組織とマネジメント 10/20(月)2限 大講義室 (担当：木村) 第5回 職場管理①：情報のマネジメント 10/27(月)2限 大講義室 (担当：木村) 第6回 職場管理②：多職種連携・労働衛生・セルフマネジメント 11/10(月)2限 大講義室 (担当：木村) 第7回 理学療法業務のマネジメント：リスクマネジメントを中心に 11/17(月)2限 大講義室 (担当：木村) 第8回 病院における理学療法部門の管理・運営①：管理の立場から 11/24(月)2限 大講義室 (担当：木村、ゲストスピーカー) 第9回 病院における理学療法部門の管理・運営②：運営の立場から 12/1(月)2限 大講義室 (担当：木村、ゲストスピーカー) 第10回 介護保険関連施設における理学療法部門の管理・運営 12/8(月)2限 大講義室 (担当：木村、ゲストスピーカー) 第11回 教育・キャリアのマネジメント 12/15(月)2限 大講義室 (担当：木村) 第12回 理学療法士の生涯学習 12/22(月)2限 大講義室 (担当：木村、ゲストスピーカー) 第13回 地域活動のマネジメント：総論 1/5(月)2限 大講義室 (担当：木村) 第14回 地域活動のマネジメント②：各論 1/14(水)2限 大講義室 (担当：木村、ゲストスピーカー) 第15回 職能団体としての理学療法士会の管理・運営 1/19(月)2限 大講義室 (担当：木村、ゲストスピーカー)
教科書	橋元 隆：理学療法管理学 第2版 医歯薬出版 授業は、上記のテキストと配布資料に基づいて進めていく。
参考図書	齋藤昭彦：リハビリテーション管理学 羊土社
予習・復習内容	配布資料や教科書を参照して、予習・復習に取り組み、大切な点についてポートフォリオ（自己学習資料）にまとめていくこと。 一般社団法人 日本理学療法管理学会のホームページ (https://www.jspt.or.jp/kanri/) に掲載されている学術誌『理学療法管理学』の内容にも目を通していくこと。
成績評価方法	レポート50%、期末試験50%

履修上の注意	授業の連絡は、Microsoft Teamsを用いて行う。 マネジメントの領域によっては、ゲストスピーカー（外部講師）を招いての講義を行う。
担当教員への連絡方法	Microsoft Teamsのチャットを用いて行うこと。
授業に関する大学教員以外の実務経験	本授業は担当教員の医療機関および特別養護老人ホームにおける理学療法士としての実務経験を生かして行う。
実務経験と授業科目の関連性	医療機関および特別養護老人ホームにおける理学療法士としての管理・運営に関する実践経験も交えて授業を進めていく。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 理学療法管理学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1単位	必修
担当教員			
木村 貞治			
年間授業回数：8回	授業形態：講義	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	理学療法の実施過程における評価の意義、目的、理学療法士が入手すべき各種の検査データ(医用画像、血液・生化学検査、生理検査など)や、医師、看護師、作業療法士、言語聴覚士、医療ソーシャルワーカーなどの関連職種から得られる情報の意義と利用方法について学修する。また、具体的な評価として、医療面接を行う際の要点や、基本的な触診について演習を通して学修する。さらに、理学療法の対象者を全人的に捉えるための概念である国際生活機能分類 (International Classification of Functioning, Disability and Health: ICF) に基づく評価の考え方について理解することを目標とする。
学修目標	1. 理学療法の実施過程における評価の意義と目的について説明できる 2. 理学療法の基本的な評価項目について説明できる 3. ICFを活用した全人的評価の基本的な進め方について説明できる 4. 医療面接を実施する上での基本的な要点について説明できる 5. 触診を実施する上での基本的な要点について説明できる
授業計画	第1回 理学療法の実施過程における評価の意義と目的 9/30(火)2限 コミュニティールーム (担当：木村) 第2回 理学療法評価における情報収集：各種検査結果や情報の意義と利用方法 10/7(火)2限 コミュニティールーム (担当：木村) 第3回 国際生活機能分類 (ICF) と理学療法評価 10/14(火)2限 コミュニティールーム (担当：木村) 第4回 理学療法評価と基礎知識の関連 10/21(火)2限 コミュニティールーム (担当：木村) 第5回 医療面接①：概要の説明 10/28(火)2限 コミュニティールーム (担当：木村) 第6回 医療面接②：模擬面接演習 11/4(火)2限 コミュニティールーム (担当：木村) 第7回 触診の基礎 (脈、骨指標、筋・腱) 11/11(火)2限 コミュニティールーム (担当：木村) 第8回 理学療法における評価結果の捉え方 11/18(火)2限 コミュニティールーム (担当：木村)
教科書	島昌史 PT臨床評価ガイド 医学書院 授業は、上記のテキストと配布資料に基づいて進めていく。
参考図書	授業の中で適宜紹介していく。
予習・復習内容	毎回の授業において、予習と復習のポイントについて説明するので、それに基づいて自身のポートフォリオ (自己学習記録) を作成していくこと。
成績評価方法	総括的評価の配分は、小テスト40%、筆記試験60%とし、総得点の60%以上を合格とする。
履修上の注意	授業の連絡は、MicrosoftのTeamsを用いて行う。 授業中に大切な点についての質問を行うので、自分の考えを整理して積極的に発言するよう取り組むこと。
担当教員への連絡方法	Microsoft Teamsのチャットを用いて行うこと。
授業に関する大学教員以外の実務経験	本授業は担当教員の医療機関および特別養護老人ホームにおける理学療法士としての実務経験を生かして行う。
実務経験と授業科目の関連性	医療機関および特別養護老人ホームで実施してきた評価の経験を交えて授業を進めていく。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1 (理学療法士課程) 理学療法評価学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1単位	必修
担当教員			
杉本 穂高			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	理学療法評価の一連の過程の中で実施される関節機能系検査である関節可動域測定について理解し、測定方法の技術を習得する。
学修目標	1. 関節可動域測定における知識を理解し、説明できる 2. 関節可動域測定における技術を習得し、実施できる
授業計画	<p>第1回 関節可動域評価総論 9/26(金)1限 徒手・物理療法室（担当：杉本）</p> <p>第2回 触診 上肢① 10/3(金)1限 徒手・物理療法室（担当：杉本）</p> <p>第3回 触診 上肢② 10/10(金)1限 徒手・物理療法室（担当：杉本）</p> <p>第4回 関節可動域評価各論 上肢：肩関節 10/17(金)1限 徒手・物理療法室（担当：杉本）</p> <p>第5回 関節可動域評価各論 上肢：肩関節・肩甲帯 10/24(金)1限 徒手・物理療法室（担当：杉本）</p> <p>第6回 関節可動域評価各論 上肢：肘関節・前腕・手関節 10/31(金)1限 徒手・物理療法室（担当：杉本）</p> <p>第7回 触診 下肢① 11/7(金)1限 徒手・物理療法室（担当：杉本）</p> <p>第8回 触診 下肢② 11/14(金)1限 徒手・物理療法室（担当：杉本）</p> <p>第9回 関節可動域評価各論 下肢：股関節 11/21(金)1限 徒手・物理療法室（担当：杉本）</p> <p>第10回 関節可動域評価各論 下肢：膝関節・足関節・足部 11/28(金)1限 徒手・物理療法室（担当：杉本）</p> <p>第11回 触診 頸部・体幹 12/5(金)1限 徒手・物理療法室（担当：杉本）</p> <p>第12回 関節可動域評価各論 頸部・体幹 12/12(金)1限 徒手・物理療法室（担当：杉本）</p> <p>第13回 関節可動域評価各論 手指・足趾 12/19(金)1限 徒手・物理療法室（担当：杉本）</p> <p>第14回 全身関節弛緩性検査 12/26(金)1限 徒手・物理療法室（担当：杉本）</p> <p>第15回 関節可動域評価演習 1/9(金)1限 徒手・物理療法室（担当：杉本）</p>
教科書	<p>嶋昌史 PT臨床評価ガイド 医学書院 林典雄著、青木隆明監「運動療法のための機能解剖学的触診技術 動画プラス 上肢-改訂第2版」 メジカルビュー 林典雄著、青木隆明監「運動療法のための機能解剖学的触診技術 動画プラス 下肢・体幹-改訂第2版」 メジカルビュー</p>
参考図書	<p>1. 奈良勲編集「系統別・治療手技の展開」 共同医書出版社 2. 嶋田智明、金子 翼「関節可動障害」 メディカルプレス 3. Cynthia C.Norkin, D.Joyce White「関節可動域測定法」 協同医書 その他資料、参考書は随時紹介する。</p>
予習・復習内容	実技中心で展開するため、測定技術を習得するよう復習すること。
成績評価方法	配分：実技試験50%＋筆記試験50% 上記2項目の合計点で成績を評価する。
履修上の注意	実技を中心に授業を展開する。 触診をしやすいように、半袖、ハーフパンツなどの運動ができる服装で受講すること。
担当教員への連絡方法	<p>オフィスアワー、Microsoft Teamsのチャットで対応する。 授業の連絡もTeamsで行う。 Teams連絡先：sugimoto.hotaka@shitoku-st.ac.jp</p>

授業に関する大学 教員以外の実務経 験	理学療法士としての臨床経験を有する。
実務経験と授業科 目の関連性	理学療法士としての臨床経験を有する。
指定規則の位置付 け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 理学療法評価学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1単位	必修
担当教員			
下田 浩一			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	理学療法評価のなかでも基本的項目である筋力評価について学ぶ。筋力発揮のメカニズムや筋力低下の原因を理解した上で、徒手筋力検査法の方法論と技術を習得することが主な目的となる。具体的には、検査の目的・特徴・信頼性の理解、各関節運動の主動筋と共同筋の理解と代償運動の見極め、適切な検査手技の実施、判定基準と段階付けの理解ができることが目標となる。学習に当たっては、筋の起始・停止、支配神経、作用について把握できていることが必要である。
学修目標	1. 筋力評価の方法と原理を説明できる 2. 筋力評価を適切な技術と態度で実施できる
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション 4/8(火)3限 徒手・物理療法室（担当：下田）</p> <p>第2回 筋のつくりと収縮過程 4/15(火)3限 徒手・物理療法室（担当：下田）</p> <p>第3回 運動単位と筋力 4/22(火)3限 徒手・物理療法室（担当：下田）</p> <p>第4回 筋力評価の手順 MMTの歴史と原理 4/29(火)3限 徒手・物理療法室（担当：下田）</p> <p>第5回 MMTの実際（下肢－股関節） 5/6(火)3限 徒手・物理療法室（担当：下田）</p> <p>第6回 MMTの実際（下肢－股関節、膝関節） 5/13(火)3限 徒手・物理療法室（担当：下田）</p> <p>第7回 MMTの実際（下肢－足関節、足指） 5/20(火)3限 徒手・物理療法室（担当：下田）</p> <p>第8回 MMTの実際（体幹、頭頸部） 5/27(火)3限 徒手・物理療法室（担当：下田）</p> <p>第9回 MMTの実際（上肢－肩甲骨） 6/3(火)3限 徒手・物理療法室（担当：下田）</p> <p>第10回 MMTの実際（上肢－肩関節） 6/10(火)3限 徒手・物理療法室（担当：下田）</p> <p>第11回 MMTの実際（上肢－肘関節、前腕） 6/17(火)3限 徒手・物理療法室（担当：下田）</p> <p>第12回 MMTの実際（上肢－手関節、手指） 6/24(火)3限 徒手・物理療法室（担当：下田）</p> <p>第13回 MMTの実際（顔面、咀嚼筋） 7/1(火)3限 徒手・物理療法室（担当：下田）</p> <p>第14回 MMTの実際（まとめ） 7/8(火)3限 徒手・物理療法室（担当：下田）</p> <p>第15回 実技総合演習（MMTの知識・技術の統合と実際） 7/15(火)3限 徒手・物理療法室（担当：下田）</p>
教科書	1. 津山直一 訳：新・徒手筋力検査法 第10版、協同医書出版社 2. 嶋昌史他：PT臨床評価ガイド 第1版、医学書院
参考図書	参考書は指定しない。
予習・復習内容	復習は実技練習を多く行うこと。
成績評価方法	期末試験70%、実技試験30%
履修上の注意	実技を伴う授業であるため動きやすい服装で参加すること。
担当教員への連絡方法	初回授業時にアナウンスする。
授業に関する大学教員以外の実務経験	理学療法士として臨床経験を有する。
実務経験と授業科目の関連性	理学療法士には必須の知識・技術であり、臨床との関連を踏まえて授業を行う。

指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 理学療法評価学
-----------	--

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位	必修
担当教員			
荻原 啓文、杉本 穂高			
年間授業回数：30回	授業形態：演習		
添付ファイル			

授業目標	意識障害、バイタルサイン、形態測定、反射検査、筋緊張検査、運動協調性検査、片麻痺機能検査、脳神経検査、脳卒中運動機能評価、感覚検査、疼痛、原始反射、姿勢反射、バランス、歩行、整形外科的検査、発達検査などの検査・測定の目的と方法を学ぶ。また、OSCEを通して臨床的評価能力の修得状況を確認する。		
学修目標	1. 各種検査・測定目的を理解する 2. 各種検査・測定の方法を理解し、実践できる		
授業計画	第1回	オリエンテーション・評価総論 4/7(月)1限 徒手・物理療法室（担当：荻原）	
	第2回	意識障害・バイタルサイン 4/7(月)2限 徒手・物理療法室（担当：荻原）	
	第3回	形態測定①四肢長および肢節長の測定 4/14(月)1限 徒手・物理療法室（担当：荻原）	
	第4回	形態測定②周径の測定 4/14(月)2限 徒手・物理療法室（担当：荻原）	
	第5回	感覚検査 4/21(月)1限 徒手・物理療法室（担当：荻原）	
	第6回	疼痛 4/21(月)2限 徒手・物理療法室（担当：荻原）	
	第7回	腱反射・病的反射 4/28(月)1限 徒手・物理療法室（担当：荻原）	
	第8回	筋緊張検査 4/28(月)2限 徒手・物理療法室（担当：荻原）	
	第9回	協調機能評価①運動失調の評価 5/12(月)1限 徒手・物理療法室（担当：荻原）	
	第10回	協調機能評価②姿勢・動作の協調性 5/12(月)2限 徒手・物理療法室（担当：荻原）	
	第11回	片麻痺機能検査 5/19(月)1限 徒手・物理療法室（担当：荻原）	
	第12回	脳神経検査 5/19(月)2限 徒手・物理療法室（担当：荻原）	
	第13回	脳卒中運動機能評価 Stroke Impairment Assessment Scale 5/26(月)1限 徒手・物理療法室（担当：荻原）	
	第14回	脳卒中運動機能評価 Fugl-Meyer assessment 5/26(月)2限 徒手・物理療法室（担当：荻原）	
	第15回	整形外科的検査①頸部 6/2(月)1限 徒手・物理療法室（担当：杉本）	
	第16回	整形外科的検査②脊柱・体幹 6/2(月)2限 徒手・物理療法室（担当：杉本）	
	第17回	整形外科的検査③上肢 6/9(月)1限 徒手・物理療法室（担当：杉本）	
	第18回	整形外科的検査④股関節・膝関節 6/9(月)2限 徒手・物理療法室（担当：杉本）	
	第19回	整形外科的検査⑤足関節 6/16(月)1限 徒手・物理療法室（担当：杉本）	
	第20回	認知機能検査・質問紙法検査 6/16(月)2限 徒手・物理療法室（担当：荻原）	
	第21回	原始反射・姿勢反射 6/23(月)1限 徒手・物理療法室（担当：荻原）	
	第22回	バランスの概念と静的バランス 6/23(月)2限 徒手・物理療法室（担当：荻原）	

	<p>第23回 動的バランス 6/30(月)1限 徒手・物理療法室 (担当：荻原)</p> <p>第24回 歩行検査 6/30(月)2限 徒手・物理療法室 (担当：荻原)</p> <p>第25回 小児発達検査①運動発達の基本 7/7(月)1限 徒手・物理療法室 (担当：荻原)</p> <p>第26回 小児発達検査②各種検査法 7/7(月)2限 徒手・物理療法室 (担当：荻原)</p> <p>第27回 総合実技演習① 7/14(月)1限 徒手・物理療法室 (担当：荻原、杉本)</p> <p>第28回 総合実技演習② 7/14(月)2限 徒手・物理療法室 (担当：荻原、杉本)</p> <p>第29回 OSCE① 7/21(月)1限 徒手・物理療法室 (担当：荻原、杉本)</p> <p>第30回 OSCE② 7/21(月)2限 徒手・物理療法室 (担当：荻原、杉本)</p>
教科書	畠昌史、藤野雄次、松田雅弘、田屋雅信：PT臨床評価ガイド 医学書院
参考図書	松澤正、江口勝彦：理学療法評価学 第6版補訂 金原出版 田崎義昭他：ベッドサイドの神経の診かた 改訂18版 南山堂
予習・復習内容	予習は必要ないが、復習は必ず行い、身に付くまで練習すること。
成績評価方法	筆記試験80%、OSCE20%
履修上の注意	各自で打腱器、メジャーを購入予定。
担当教員への連絡方法	オフィスアワー、メール、Microsoft Teamsチャットにて対応する。
授業に関する大学教員以外の実務経験	理学療法士としての臨床経験。
実務経験と授業科目の関連性	臨床経験から、テキストに記載されているスタンダードな検査・測定方法と、臨床で行っている一般的な方法を紹介できる。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1 (理学療法士課程) 理学療法評価学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1単位	必修
担当教員			
杉本 穂高			
年間授業回数：15回	授業形態：演習		
添付ファイル			

授業目標	理学療法は評価に始まり評価に終わるといわれる。理学療法の実施過程において、評価は治療目標の設定、治療方針、治療方法の選択に直結する重要な事項である。本講義では、理学療法評価の過程を模擬症例を通して実践的に理解することを目的とする。具体的には主に整形外科疾患の模擬症例を通して、疾患の症状や経過を理解した上で、評価計画の立案、評価の実施、評価結果の統合と解釈を行う。
学修目標	1. 模擬症例の疾患特性を踏まえて、理学療法評価を計画できる 2. 理学療法評価の結果を論理的に解釈できる 3. 評価結果をレポートにまとめられる
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション 9/26(金)2限 コミュニティールーム (担当：杉本)</p> <p>第2回 グループワーク 整形外科疾患：下肢 10/3(金)2限 コミュニティールーム (担当：杉本)</p> <p>第3回 グループワーク 整形外科疾患：下肢 10/10(金)2限 コミュニティールーム (担当：杉本)</p> <p>第4回 発表① 10/17(金)2限 コミュニティールーム (担当：杉本)</p> <p>第5回 グループワーク 整形外科疾患：上肢 10/24(金)2限 コミュニティールーム (担当：杉本)</p> <p>第6回 グループワーク 整形外科疾患：上肢 10/31(金)2限 コミュニティールーム (担当：杉本)</p> <p>第7回 発表② 11/7(金)2限 コミュニティールーム (担当：杉本)</p> <p>第8回 中間フィードバック 11/14(金)2限 コミュニティールーム (担当：杉本)</p> <p>第9回 グループワーク 整形外科疾患：体幹 11/21(金)2限 コミュニティールーム (担当：杉本)</p> <p>第10回 グループワーク 整形外科疾患：体幹 11/28(金)2限 コミュニティールーム (担当：杉本)</p> <p>第11回 発表③ 12/5(金)2限 コミュニティールーム (担当：杉本)</p> <p>第12回 グループワーク 整形外科疾患：スポーツ外傷 12/12(金)2限 コミュニティールーム (担当：杉本)</p> <p>第13回 グループワーク 整形外科疾患：スポーツ外傷 12/19(金)2限 コミュニティールーム (担当：杉本)</p> <p>第14回 発表④ 12/26(金)2限 コミュニティールーム (担当：杉本)</p> <p>第15回 まとめ 1/9(金)2限 コミュニティールーム (担当：杉本)</p>
教科書	有馬慶美 基本編・ケースで学ぶ理学療法臨床思考 文光堂
参考図書	1. 豊田 輝 理学療法臨床推論 統合と解釈 実践テキスト 羊土社 2. 有馬慶美 実践編・ケースで学ぶ理学療法臨床思考 文光堂
予習・復習内容	毎回の授業で指示する。
成績評価方法	レポート課題4回各25% 合計100%
履修上の注意	模擬症例の情報はTeamsを通して共有する。 症例情報は事前にダウンロードをして授業に臨むこと。 グループワーク、発表にはPowerPointを使用すること。 事前にPowerPointをインストールし、毎回ノートパソコンを持参すること。 レポート課題の提出はTeams上で行う。授業内でレポートの体裁などの詳細を説明する。 レポート作成はWordを使用し、提出の際は必ずPDF形式に変換すること。
担当教員への連絡方法	Teamsのチャットで連絡すること（連絡先：sugimoto.hotaka@shitoku-st.ac.jp）。

授業に関する大学 教員以外の実務経 験	理学療法士としての臨床経験を有する。
実務経験と授業科 目の関連性	臨床で遭遇する代表的な疾患を模擬的に紹介する。
指定規則の位置付 け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 理学療法評価学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	2単位	必修
担当教員			
山本 良彦			
年間授業回数：30回	授業形態：演習		
添付ファイル			

授業目標	この講座においては、学生が相互に模擬症例となり評価のシミュレーションを行い、ICIDHおよびICFの考え方にに基づき理学療法評価全体の流れを学んでいく。その中で運動機能評価を中心に、得られた情報を統合・解釈し、問題点を抽出し、目標を設定し、理学療法プログラムを立案し、考察するという具体的な理学療法評価の組み立てを理解する。また、複数の実症例をグループで評価する過程で、これまでに培った知識・技術を実践する。臨床実習に必要な知識・技術・態度や学修した専門的な知識を発展、統合させて多角的に理解できる準備をする。また、OSCEを通して臨床の評価能力の修得状況を確認する。
学修目標	1. 情報収集、統合と解釈、障害の構造分析、目標設定、プログラム立案、考察という一連の理学療法評価を説明できる 2. これまでに学んだ評価技術を駆使し、実際の症例に対してグループに分かれ評価を行い、アセスメントすることができる
授業計画	<p>第1回 評価演習オリエンテーション 4/11(金)3限 講堂/日常生活活動室 (担当：山本)</p> <p>第2回 評価演習オリエンテーション 4/11(金)4限 講堂/日常生活活動室 (担当：山本)</p> <p>第3回 理学療法評価評価演習（模擬症例1）整形外科疾患 4/18(金)3限 講堂/日常生活活動室 (担当：山本)</p> <p>第4回 理学療法評価評価演習（模擬症例1）整形外科疾患 4/18(金)4限 講堂/日常生活活動室 (担当：山本)</p> <p>第5回 理学療法評価評価演習（模擬症例2）中枢神経疾患 4/25(金)3限 講堂/日常生活活動室 (担当：山本)</p> <p>第6回 理学療法評価評価演習（模擬症例2）中枢神経疾患 4/25(金)4限 講堂/日常生活活動室 (担当：山本)</p> <p>第7回 理学療法評価評価演習（模擬症例3）神経変性疾患 5/2(金)3限 講堂/日常生活活動室 (担当：山本)</p> <p>第8回 理学療法評価評価演習（模擬症例3）神経変性疾患 5/2(金)4限 講堂/日常生活活動室 (担当：山本)</p> <p>第9回 実症例評価演習準備 5/9(金)3限 講堂/日常生活活動室 (担当：山本)</p> <p>第10回 実症例評価演習準備 5/9(金)4限 講堂/日常生活活動室 (担当：山本)</p> <p>第11回 実症例評価演習（症例1：発達障害） 5/16(金)3限 講堂/日常生活活動室 (担当：山本)</p> <p>第12回 実症例評価演習（症例1：発達障害） 5/16(金)4限 講堂/日常生活活動室 (担当：山本)</p> <p>第13回 実症例評価演習準備 5/23(金)3限 講堂/日常生活活動室 (担当：山本)</p> <p>第14回 実症例評価演習準備 5/23(金)4限 講堂/日常生活活動室 (担当：山本)</p> <p>第15回 実症例評価演習（症例2：脳血管障害） 5/30(金)3限 講堂/日常生活活動室 (担当：山本)</p> <p>第16回 実症例評価演習（症例2：脳血管障害） 5/30(金)4限 講堂/日常生活活動室 (担当：山本)</p> <p>第17回 実症例評価演習（症例2：脳血管障害） 6/6(金)3限 講堂/日常生活活動室 (担当：山本)</p> <p>第18回 実症例評価演習準備 6/6(金)4限 講堂/日常生活活動室 (担当：山本)</p> <p>第19回 実症例評価演習（症例3：脊髄神経疾患） 6/13(金)3限 講堂/日常生活活動室 (担当：山本)</p> <p>第20回 実症例評価演習（症例3：脊髄神経疾患） 6/13(金)4限 講堂/日常生活活動室 (担当：山本)</p> <p>第21回 実症例評価演習準備</p>

	<p>6/20(金)3限 講堂/日常生活活動室 (担当：山本)</p> <p>第22回 実症例評価演習準備</p> <p>6/20(金)4限 講堂/日常生活活動室 (担当：山本)</p> <p>第23回 実症例評価演習 (症例4：脳血管障害)</p> <p>6/27(金)3限 講堂/日常生活活動室 (担当：山本)</p> <p>第24回 実症例評価演習 (症例4：脳血管障害)</p> <p>6/27(金)4限 講堂/日常生活活動室 (担当：山本)</p> <p>第25回 実症例評価演習準備</p> <p>7/4(金)3限 講堂/日常生活活動室 (担当：山本)</p> <p>第26回 実症例評価演習準備</p> <p>7/4(金)4限 講堂/日常生活活動室 (担当：山本)</p> <p>第27回 実症例評価演習 (症例5：脳血管障害)</p> <p>7/11(金)3限 講堂/日常生活活動室 (担当：山本)</p> <p>第28回 実症例評価演習 (症例5：脳血管障害)</p> <p>7/11(金)4限 講堂/日常生活活動室 (担当：山本)</p> <p>第29回 講義のまとめ、OSCE</p> <p>7/18(金)3限 講堂/日常生活活動室 (担当：山本)</p> <p>第30回 講義のまとめ、OSCE</p> <p>7/18(金)4限 講堂/日常生活活動室 (担当：山本)</p>
教科書	松澤 正：理学療法評価学、第4版、金原出版 随時資料を配布する。
参考図書	なし
予習・復習内容	今までに学んだ基本的な検査・測定方法は確認しておくことが望ましい。
成績評価方法	実技試験OSCE (Objective Structured Clinical Examination) 50% レポートなどの提出物50%
履修上の注意	症例を評価・検討するときはグループワークを行います。他者の意見に耳を傾ける、要点を整理して自分の意見を伝えることも課題として取り組むこと。 また、評価には各自の検査・測定器具、記録用バインダー、実習着を用意すること。 ※その時の症例の体調などによって、症例は変更になることがある。
担当教員への連絡方法	オフィスアワーを利用してほしい。
授業に関する大学教員以外の実務経験	回復期リハビリテーションセンター、小児施設での経験有り。
実務経験と授業科目の関連性	経験を踏まえて実症例へのオリエンテーション、インターク、評価の方法を示すことができる。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1 (理学療法士課程) 理学療法評価学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	1単位	必修
担当教員			
中田 佳佑			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	本講義は、座学や実習を通じて基礎的な高次脳機能障害を学習し、理学療法における高次脳機能評価や介入アプローチについて理解を深めることを目的とする。高次脳機能障害に対する評価に関して、どのような評価方法があるのかを知り、評価目的や方法、結果解釈を学ぶとともに脳画像所見などと照らし合わせながら病態を捉えるプロセスについて学ぶ。また対象者の日常生活において高次脳機能障害はどのように影響を及ぼすかを考える。
学修目標	1. 高次脳機能障害の症状について学ぶ 2. 理学療法における高次脳機能の評価、結果解釈、介入アプローチの必要性について理解する 3. 神経心理学的検査の目的や方法、結果解釈を理解する 4. 高次脳機能障害と日常生活の困難について理解する 5. ヒトにおける高次脳機能とは何かを考える
授業計画	<p>第1回 高次脳機能障害とは 4/8(火)2限 コミュニティールーム (担当：中田)</p> <p>第2回 脳の構造と基本的な働き 4/15(火)2限 コミュニティールーム (担当：中田)</p> <p>第3回 理学療法と高次脳機能障害の接点 4/22(火)2限 コミュニティールーム (担当：中田)</p> <p>第4回 脳画像の読影 4/29(火)2限 コミュニティールーム (担当：中田)</p> <p>第5回 高次脳機能障害に対する評価方法 5/6(火)2限 コミュニティールーム (担当：中田)</p> <p>第6回 注意・記憶・遂行機能障害の診かた 5/13(火)2限 コミュニティールーム (担当：中田)</p> <p>第7回 半側空間無視の診かた 5/20(火)2限 コミュニティールーム (担当：中田)</p> <p>第8回 失認の診かた 5/27(火)2限 コミュニティールーム (担当：中田)</p> <p>第9回 失語とコミュニケーション 6/3(火)2限 コミュニティールーム (担当：中田)</p> <p>第10回 失行の診かた 6/10(火)2限 コミュニティールーム (担当：中田)</p> <p>第11回 情動・感情の診かた 6/17(火)2限 コミュニティールーム (担当：中田)</p> <p>第12回 認知症の診かた 6/24(火)2限 コミュニティールーム (担当：中田)</p> <p>第13回 姿勢バランス障害と高次脳機能障害 7/1(火)2限 コミュニティールーム (担当：中田)</p> <p>第14回 運動と高次脳機能障害 7/8(火)2限 コミュニティールーム (担当：中田)</p> <p>第15回 ヒトの社会生活における高次脳機能 7/15(火)2限 コミュニティールーム (担当：中田)</p>
教科書	奈良 勲：神経理学療法学 第3版、医学書院
参考図書	1. 石合 純夫：高次脳機能障害学 第3版 医歯薬出版 2. 武田 克彦、山下 光：神経心理検査ベーシック 改定2版 中外医学社 3. 阿部 浩明：高次脳機能障害に対する理学療法 文光堂 4. 中田 光俊：脳機能 入門 メディカ出版
予習・復習内容	脳の構造や領域が大まかにでも理解できていると理解しやすい。
成績評価方法	期末試験100%
履修上の注意	理学療法と高次脳機能障害の接点について考えながら聴講すること。
担当教員への連絡方法	everybody.go.sign.10@gmail.com (メール)

授業に関する大学 教員以外の実務経 験	作業療法士としての臨床経験を有する。
実務経験と授業科 目の関連性	臨床現場における書籍や論文の知見の活用方法について理解できる。
指定規則の位置付 け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 理学療法評価学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1単位	必修
担当教員			
下田 浩一			
年間授業回数：15回	授業形態：講義	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	運動療法は、理学療法の中において大きな柱として位置づけられており、解剖学、運動学、生理学などの専門基礎知識を背景に、理学療法士が得意とする分野である。この授業においては、基本的な運動療法を適切に行うための知識と技術を習得することを目的とする。総論として、運動療法の定義、歴史、対象、理論、種類、機器について学び、各論として、関節可動域運動、ストレッチングなどの理論と技術を学ぶ。
学修目標	理学療法を実践するために必要な基礎的知識・技術を修得するために 1. 運動療法の基本的概念を理解し説明できる 2. 運動療法の基本的技術を理解し説明できる 3. 各種運動療法の禁忌について説明できる
授業計画	<p>第1回 運動療法概論 4/9(水)2限 徒手・物理療法室（担当：下田）</p> <p>第2回 組織の再生および修復 4/16(水)2限 徒手・物理療法室（担当：下田）</p> <p>第3回 関節の構造と機能 4/23(水)2限 徒手・物理療法室（担当：下田）</p> <p>第4回 関節可動域制限の病態 4/30(水)2限 徒手・物理療法室（担当：下田）</p> <p>第5回 運動の種類 5/7(水)2限 徒手・物理療法室（担当：下田）</p> <p>第6回 関節可動域運動 総論 5/14(水)2限 徒手・物理療法室（担当：下田）</p> <p>第7回 関節可動域運動 上肢 5/21(水)2限 徒手・物理療法室（担当：下田）</p> <p>第8回 関節可動域運動 下肢 5/28(水)2限 徒手・物理療法室（担当：下田）</p> <p>第9回 関節可動域運動 体幹 6/4(水)2限 徒手・物理療法室（担当：下田）</p> <p>第10回 ストレッチング 上肢 6/11(水)2限 徒手・物理療法室（担当：下田）</p> <p>第11回 ストレッチング 下肢 6/18(水)2限 徒手・物理療法室（担当：下田）</p> <p>第12回 ストレッチング 体幹 6/25(水)2限 徒手・物理療法室（担当：下田）</p> <p>第13回 関節モビライゼーション 7/2(水)2限 徒手・物理療法室（担当：下田）</p> <p>第14回 器具による関節可動域運動 7/9(水)2限 徒手・物理療法室（担当：下田）</p> <p>第15回 まとめ 7/16(水)2限 徒手・物理療法室（担当：下田）</p>
教科書	吉尾雅春 監 運動療法学総論 医学書院 プリントを配布する。
参考図書	参考書は指定しない。
予習・復習内容	予習よりも復習に力を入れて学修すること。
成績評価方法	期末試験100%
履修上の注意	実技を伴う授業であるため動きやすい服装で参加すること。
担当教員への連絡方法	初回授業時にアナウンスする。
授業に関する大学教員以外の実務経験	理学療法士として臨床経験を有する。

実務経験と授業科目の関連性	理学療法士には必須の基本的知識・技術であり、臨床との関連を踏まえて授業を行う。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 理学療法治療学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1単位	必修
担当教員			
下田 浩一			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	運動療法学は、理学療法の中において大きな柱として位置づけられており、解剖学、運動学、生理学などの専門基礎知識を背景に、理学療法士が得意とする分野である。この授業においては、基本的な運動療法学を適切に行うための知識と技術を習得することを目的とし、基本的な各種運動療法学（筋力増強運動、持久力増強運動、協調性運動、その他の領域の運動療法学）の理論と技術を学ぶ。
学修目標	理学療法を実践するために必要な基礎的知識・技術を修得するために 1. 運動療法学の基本的概念を理解し説明できる 2. 運動療法学の基本的技術を理解し説明できる 3. 各種運動療法学の禁忌について説明できる
授業計画	<p>第1回 運動の種類 9/26(金)1限 レクリエーション室（担当：下田）</p> <p>第2回 筋力に関係する要因 10/3(金)1限 レクリエーション室（担当：下田）</p> <p>第3回 筋力増強運動の基礎理論 10/10(金)1限 レクリエーション室（担当：下田）</p> <p>第4回 収縮様式別による筋力増強運動 10/17(金)1限 レクリエーション室（担当：下田）</p> <p>第5回 筋力増強運動の実際 考慮する要因 10/24(金)1限 レクリエーション室（担当：下田）</p> <p>第6回 筋力増強運動の実際 筋再教育 10/31(金)1限 レクリエーション室（担当：下田）</p> <p>第7回 筋力増強運動の実際 非荷重位での運動 上肢 11/7(金)1限 レクリエーション室（担当：下田）</p> <p>第8回 筋力増強運動の実際 非荷重位での運動 下肢 11/14(金)1限 レクリエーション室（担当：下田）</p> <p>第9回 筋力増強運動の実際 非荷重位での運動 体幹 11/21(金)1限 レクリエーション室（担当：下田）</p> <p>第10回 筋力増強運動の実際 荷重位での運動 11/28(金)1限 レクリエーション室（担当：下田）</p> <p>第11回 協調性運動障害の運動療法学 12/5(金)1限 レクリエーション室（担当：下田）</p> <p>第12回 協調性運動障害の運動療法学 実技 12/12(金)1限 レクリエーション室（担当：下田）</p> <p>第13回 持久力増強運動 12/19(金)1限 レクリエーション室（担当：下田）</p> <p>第14回 バランス運動 12/26(金)1限 レクリエーション室（担当：下田）</p> <p>第15回 まとめ 1/9(金)1限 レクリエーション室（担当：下田）</p>
教科書	吉尾雅春 監 運動療法学総論 医学書院 プリントを配布する。
参考図書	参考書は指定しない。
予習・復習内容	予習よりも復習に力を入れて学修すること。
成績評価方法	期末試験100%
履修上の注意	実技を伴う授業であるため動きやすい服装で参加すること。
担当教員への連絡方法	初回授業時にアナウンスする。
授業に関する大学教員以外の実務経験	理学療法士として臨床経験を有する。

実務経験と授業科目の関連性	理学療法士には必須の基本的知識・技術であり、臨床との関連を踏まえて授業を行う。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 理学療法治療学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	1単位	必修
担当教員			
福谷 保			
年間授業回数：15回	授業形態：演習		
添付ファイル			

授業目標	運動療法学Ⅰ・Ⅱで学んだ理論と方法について学生をモデルにして実際に適応する。主に関節可動域と筋力（筋持久力）に関する評価と治療の考え方を復習し、学生間で実演を交えて経験する。模擬症例を用いて、治療前の評価とその結果に基づく目標設定、具体的な治療計画を立てる。この演習を通じて理学療法の実施過程を模擬的に体験する。
学修目標	1. 運動療法に関する基礎的な理論を踏まえて実践することができる 2. 運動療法の効果を客観的に判定できる
授業計画	<p>第1回 運動療法学の基礎知識（復習） 9/25(木)4限 徒手・物理療法室（担当：福谷）</p> <p>第2回 関節可動域に関わる運動療法 基礎知識の確認 10/2(木)4限 徒手・物理療法室（担当：福谷）</p> <p>第3回 関節可動域に関わる評価 皮膚伸張性の評価 10/9(木)4限 徒手・物理療法室（担当：福谷）</p> <p>第4回 関節可動域に関わる運動療法 各種ストレッチング方法の復習 10/16(木)4限 徒手・物理療法室（担当：福谷）</p> <p>第5回 関節可動域に関わる運動療法 各種ストレッチング方法の実践と効果判定 10/23(木)4限 徒手・物理療法室（担当：福谷）</p> <p>第6回 筋力（筋持久力）に関わる運動療法 基礎知識の確認 10/30(木)4限 徒手・物理療法室（担当：福谷）</p> <p>第7回 筋力（筋持久力）に関わる評価 徒手抵抗の加え方、HHDの使い方 11/6(木)4限 徒手・物理療法室（担当：福谷）</p> <p>第8回 筋力（筋持久力）に関わる運動療法 負荷量設定方法の復習 11/13(木)4限 徒手・物理療法室（担当：福谷）</p> <p>第9回 筋力（筋持久力）に関わる運動療法 各種抵抗源の特性 11/20(木)4限 徒手・物理療法室（担当：福谷）</p> <p>第10回 筋力（筋持久力）に関わる運動療法 ゴムチューブを用いた筋力増強方法の検討 11/27(木)4限 徒手・物理療法室（担当：福谷）</p> <p>第11回 模擬症例の治療を考える 評価過程と問題点抽出 12/4(木)4限 徒手・物理療法室（担当：福谷）</p> <p>第12回 模擬症例の治療を考える 目標設定と治療プログラム立案 12/11(木)4限 徒手・物理療法室（担当：福谷）</p> <p>第13回 模擬症例の治療を考える 実演 1グループ 12/18(木)4限 徒手・物理療法室（担当：福谷）</p> <p>第14回 模擬症例の治療を考える 実演 2グループ 12/25(木)4限 徒手・物理療法室（担当：福谷）</p> <p>第15回 模擬症例の治療を考える 実演 3グループ 1/8(木)4限 徒手・物理療法室（担当：福谷）</p>
教科書	教科書は指定しない。
参考図書	参考書は指定しない。
予習・復習内容	1、2年次に学んだ基礎知識（解剖学、生理学、運動学）を復習して授業に臨むこと。
成績評価方法	発表資料50%、発表会50%
履修上の注意	臨床場面を模擬的に想定して行う。治療技術の適用にあたって、リスク管理を徹底する。グループに分かれて実施するため、協力し合って行うこと。
担当教員への連絡方法	E-mail:fukutani.tamotsu@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	理学療法士としての臨床経験を有する。
実務経験と授業科目の関連性	臨床で遭遇する主な病態を踏まえて指導する。

指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 理学療法治療学
-----------	--

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1単位	必修
担当教員			
木村 貞治			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	物理療法学の概論として、物理療法の分類、物理療法の適応・禁忌および注意事項、物理療法における評価法を学んだ上で、各論として、温熱・寒冷療法、電気療法、ジアテルミー、光線療法、超音波療法、牽引療法、水治療法の物理学的特性、生理学的効果、治療方法について学修する。
学修目標	1. 物理療法の分類、基本的な適応・禁忌、評価法について説明できる 2. 各種物理療法の物理学的特性、生理学的効果、適応・禁忌、症状に応じた治療方法について説明できる
授業計画	<p>第1回 物理療法概論：分類、適応・禁忌、痛みの生理学 4/8(火)1限 第1作業療法室 (担当：木村)</p> <p>第2回 物理療法における評価法：疼痛閾値評価法、超音波画像診断装置を用いた評価法 4/15(火)1限 第1作業療法室 (担当：木村)</p> <p>第3回 温熱・寒冷療法総論 4/22(火)1限 第1作業療法室 (担当：木村)</p> <p>第4回 温熱療法各論：ホットパック、パラフィン浴 4/29(火)1限 第1作業療法室 (担当：木村)</p> <p>第5回 寒冷療法各論：アイスパック、アイスマッサージなど 5/6(火)1限 第1作業療法室 (担当：木村)</p> <p>第6回 電気刺激療法総論 5/13(火)1限 第1作業療法室 (担当：木村)</p> <p>第7回 電気刺激療法各論：TENS 5/20(火)1限 第1作業療法室 (担当：木村)</p> <p>第8回 電気刺激療法各論：NMES 5/27(火)1限 第1作業療法室 (担当：木村)</p> <p>第9回 ジアテルミー：ラジオ波 6/3(火)1限 第1作業療法室 (担当：木村)</p> <p>第10回 ジアテルミー各論：超短波療法、極超短波療法 6/10(火)1限 第1作業療法室 (担当：木村)</p> <p>第11回 光線療法 6/17(火)1限 第1作業療法室 (担当：木村)</p> <p>第12回 超音波療法 6/24(火)1限 第1作業療法室 (担当：木村)</p> <p>第13回 牽引療法：頸椎牽引・腰椎牽引 7/1(火)1限 第1作業療法室 (担当：木村)</p> <p>第14回 水治療法：渦流浴、気泡浴、運動浴 7/8(火)1限 第1作業療法室 (担当：木村)</p> <p>第15回 体外衝撃波療法 7/15(火)1限 第1作業療法室 (担当：木村)</p>
教科書	木村貞治・他 編：物理療法学テキスト 改訂第3版 南江堂 授業は、上記のテキストと配布資料に基づいて進めていく。
参考図書	松澤 正・他編 物理療法学 金原出版
予習・復習内容	教科書、配布資料を参照して予習・復習を行い、大切な点についてポートフォリオ（自己学習資料）にまとめていくこと。
成績評価方法	総合的評価の配分は、小テスト40%、筆記試験60%とし、総得点の60%以上を合格とする。
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> 授業の連絡は、MicrosoftのTeamsを用いて行う。 授業内容に関連する生理学的情報も確認し、ポートフォリオにまとめていくこと。 授業の中では、大切な点について質問を行うので、自身の考え、意見を整理して積極的に発言するように取り組むこと。
担当教員への連絡方法	Microsoft Teamsのチャット機能を用いて行うこと。
授業に関する大学教員以外の実務経験	本授業は、担当教員の医療機関における理学療法士としての実務経験や、スポーツ現場におけるアスレティックトレーナーとしての実務経験を生かして行う。

実務経験と授業科目の関連性	医療機関やスポーツ現場における物理療法の実践経験も交えて授業を進めていく。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 理学療法治療学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位	必修
担当教員			
佐藤 剛章、杉本 穂高			
年間授業回数：30回	授業形態：演習		
添付ファイル			

授業目標	各治療機器を用いた実習において、学生各自が機器操作と対象者を体験し、治療時の生体反応を簡便な計測機器を用いて確認を行う。実験実習では、得られたデータに基づき、その意義づけの検討を口頭発表と討論を通して行い、臨床に応用可能な判断能力を身につける。また、物理療法における臨床判断分析の基礎および根拠に基づいた理学療法実践の基礎的概念を学び、模擬症例検討を通して臨床判断の実践を模擬的に体験する。
学修目標	1. 各種物理療法の特徴を踏まえ、適応・禁忌を考慮した上で、治療目的に応じて基本的な治療手技を行える 2. 物理療法における臨床判断および根拠に基づいた理学療法実践の基礎について説明できる 3. 症例に関する臨床判断を模擬的に体験し、物理療法の臨床的適用の工夫や他の治療法との併用を含む効果的な治療方針の統合が行える
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション、基本事項の確認・復習、模擬症例検討課題説明 9/25(木)1限 徒手・物理療法室/水治療法室/運動療法室 (担当：佐藤、杉本)</p> <p>第2回 オリエンテーション、基本事項の確認・復習、模擬症例検討課題説明 9/25(木)2限 徒手・物理療法室/水治療法室/運動療法室 (担当：佐藤、杉本)</p> <p>第3回 実習1 温熱療法 (ホットパック・パラフィン) 10/2(木)1限 徒手・物理療法室/水治療法室/運動療法室 (担当：佐藤、杉本)</p> <p>第4回 実習1 温熱療法 (ホットパック・パラフィン) 10/2(木)2限 徒手・物理療法室/水治療法室/運動療法室 (担当：佐藤、杉本)</p> <p>第5回 実習2 寒冷療法 (アイスパック・アイスマッサージ) 10/9(木)1限 徒手・物理療法室/水治療法室/運動療法室 (担当：佐藤、杉本)</p> <p>第6回 実習2 寒冷療法 (アイスパック・アイスマッサージ) 10/9(木)2限 徒手・物理療法室/水治療法室/運動療法室 (担当：佐藤、杉本)</p> <p>第7回 実習3 水治療法 (渦流浴) 10/16(木)1限 徒手・物理療法室/水治療法室/運動療法室 (担当：佐藤、杉本)</p> <p>第8回 実習3 水治療法 (渦流浴) 10/16(木)2限 徒手・物理療法室/水治療法室/運動療法室 (担当：佐藤、杉本)</p> <p>第9回 実習4 光線療法 (赤外線・レーザー) 10/23(木)1限 徒手・物理療法室/水治療法室/運動療法室 (担当：佐藤、杉本)</p> <p>第10回 実習4 光線療法 (赤外線・レーザー) 10/23(木)2限 徒手・物理療法室/水治療法室/運動療法室 (担当：佐藤、杉本)</p> <p>第11回 実習5 ジアテルミー・深部温熱 (極超短波・超音波) 10/30(木)1限 徒手・物理療法室/水治療法室/運動療法室 (担当：佐藤、杉本)</p> <p>第12回 実習5 ジアテルミー・深部温熱 (極超短波・超音波) 10/30(木)2限 徒手・物理療法室/水治療法室/運動療法室 (担当：佐藤、杉本)</p> <p>第13回 実習6 電気刺激療法 (NMES・TENS) 11/6(木)1限 徒手・物理療法室/水治療法室/運動療法室 (担当：佐藤、杉本)</p> <p>第14回 実習6 電気刺激療法 (NMES・TENS) 11/6(木)2限 徒手・物理療法室/水治療法室/運動療法室 (担当：佐藤、杉本)</p> <p>第15回 実習7 牽引療法 11/13(木)1限 徒手・物理療法室/水治療法室/運動療法室 (担当：佐藤、杉本)</p> <p>第16回 実習7 牽引療法 11/13(木)2限 徒手・物理療法室/水治療法室/運動療法室 (担当：佐藤、杉本)</p> <p>第17回 実習8 バイオフィードバック (筋電図)・圧迫療法 11/20(木)1限 徒手・物理療法室/水治療法室/運動療法室 (担当：佐藤、杉本)</p> <p>第18回 実習8 バイオフィードバック (筋電図)・圧迫療法 11/20(木)2限 徒手・物理療法室/水治療法室/運動療法室 (担当：佐藤、杉本)</p> <p>第19回 実習9-1 超音波画像検査 11/27(木)1限 徒手・物理療法室/水治療法室/運動療法室 (担当：佐藤、杉本)</p> <p>第20回 実習9-1 超音波画像検査 11/27(木)2限 徒手・物理療法室/水治療法室/運動療法室 (担当：佐藤、杉本)</p> <p>第21回 実習9-2 ラジオ波 12/4(木)1限 徒手・物理療法室/水治療法室/運動療法室 (担当：佐藤、杉本)</p>

	<p>第22回 実習9-2 ラジオ波 12/4(木)2限 徒手・物理療法室/水治療法室/運動療法室 (担当：佐藤、杉本)</p> <p>第23回 実験実習1 実施計画と準備 12/11(木)1限 徒手・物理療法室/水治療法室/運動療法室 (担当：佐藤、杉本)</p> <p>第24回 実験実習1 実施計画と準備 12/11(木)2限 徒手・物理療法室/水治療法室/運動療法室 (担当：佐藤、杉本)</p> <p>第25回 実験実習2 実験実施1 12/18(木)1限 徒手・物理療法室/水治療法室/運動療法室 (担当：佐藤、杉本)</p> <p>第26回 実験実習2 実験実施1 12/18(木)2限 徒手・物理療法室/水治療法室/運動療法室 (担当：佐藤、杉本)</p> <p>第27回 実験実習3 実験実施2 12/25(木)1限 徒手・物理療法室/水治療法室/運動療法室 (担当：佐藤、杉本)</p> <p>第28回 実験実習3 実験実施2 12/25(木)2限 徒手・物理療法室/水治療法室/運動療法室 (担当：佐藤、杉本)</p> <p>第29回 実験実習4 実験結果発表会 1/8(木)1限 徒手・物理療法室/水治療法室/運動療法室 (担当：佐藤、杉本)</p> <p>第30回 実験実習4 実験結果発表会 1/8(木)2限 徒手・物理療法室/水治療法室/運動療法室 (担当：佐藤、杉本)</p>
教科書	木村貞治・他 編：物理療法学テキスト 改訂第3版 南江堂
参考図書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 庄本康治編：エビデンスから身につける物理療法 羊土社 2. 松澤 正・他編：物理療法学 金原出版 3. 吉田英樹編：物理療法学 メジカルビュー 4. 上杉雅之監、杉元雅晴：イラストでわかる物理療法 医歯薬出版 5. 皆川洋至著：超音波でわかる運動器疾患 メジカルビュー
予習・復習内容	各物理療法の内容を前期「物理療法学Ⅰ」の復習により確認すること。
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の提出課題：100% ・期末の筆記試験は実施しない。
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・配布する「実習の手引き」を熟読した上で参加する。 ・毎回の実習後にレポートを提出する。
担当教員への連絡方法	オフィスアワー、メール、Microsoft Teamsチャットにて対応する。
授業に関する大学教員以外の実務経験	大学病院、一般病院などで物理療法に携わってきた。
実務経験と授業科目の関連性	理実務経験より、物理療法の基本を踏まえて臨床における実践的な内容を紹介できる。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1 (理学療法士課程) 理学療法治療学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	1単位	必修
担当教員			
赤羽 勝司			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	マッサージに関する基礎的な技術と実践的な知識を習得し、施術を適切かつ効果的に行う能力と態度を養う。具体的には、マッサージの意義・生体作用、マッサージの基本手技、身体各部のマッサージ施術法、運動器疾患に対するマッサージ施術法について、実習を通してそれぞれの技術を習得する。
学修目標	人体の筋組織を触診し、筋や筋間を触知できる技術を習得する。さらに触診術を高めた上で、マッサージの基本手技を習得する。
授業計画	<p>第1回 マッサージの意義、生体作用・マッサージの基本手技 4/8(火)1限 講堂 (担当：赤羽)</p> <p>第2回 従来式マッサージの基本手技 4/15(火)1限 講堂 (担当：赤羽)</p> <p>第3回 身体各部の触診・マッサージ：上部頸部 4/22(火)1限 講堂 (担当：赤羽)</p> <p>第4回 身体各部の触診・マッサージ：下部頸部 4/29(火)1限 講堂 (担当：赤羽)</p> <p>第5回 身体各部の触診・マッサージ：肩甲帯 5/6(火)1限 講堂 (担当：赤羽)</p> <p>第6回 身体各部の触診・マッサージ：上腕・前腕 5/13(火)1限 講堂 (担当：赤羽)</p> <p>第7回 身体各部の触診・マッサージ：背部上部 5/20(火)1限 講堂 (担当：赤羽)</p> <p>第8回 身体各部の触診・マッサージ：背部下部 5/27(火)1限 講堂 (担当：赤羽)</p> <p>第9回 身体各部の触診・マッサージ：脊柱群 6/3(火)1限 講堂 (担当：赤羽)</p> <p>第10回 身体各部の触診・マッサージ：臀部内側 6/10(火)1限 講堂 (担当：赤羽)</p> <p>第11回 身体各部の触診・マッサージ：臀部外側 6/17(火)1限 講堂 (担当：赤羽)</p> <p>第12回 身体各部の触診・マッサージ：大腿前側 6/24(火)1限 講堂 (担当：赤羽)</p> <p>第13回 身体各部の触診・マッサージ：大腿後側 7/1(火)1限 講堂 (担当：赤羽)</p> <p>第14回 身体各部の触診・マッサージ：下腿 7/8(火)1限 講堂 (担当：赤羽)</p> <p>第15回 身体各部の触診・マッサージ：足部 7/15(火)1限 講堂 (担当：赤羽)</p>
教科書	プリント配布
参考図書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大谷素明 クリニカルマッサージーひと目でわかる筋解剖学と触診・治療の基本テクニック 2. 荒川規矩男／川合忠一編集 運動療法の実際 南江堂 3. 市川宣恭編集 スポーツ指導者のためのスポーツ外傷・障害 南江堂 4. 福林徹監修 スポーツマッサージーイラストと動画で読み解く機能解剖と手技の実際 文光堂
予習・復習内容	触診術が重要です。筋系の触診ができるよう復習すること。
成績評価方法	実技試験50%、期末試験50%
履修上の注意	必ず解剖学（筋系）の復習をしておくこと。
担当教員への連絡方法	E-mail:akahane.katsushi@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	理学療法士として臨床経験を有する。
実務経験と授業科目の関連性	理学療法士として臨床現場における治療経験を有する。

指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 理学療法治療学
-----------	--

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	1単位	必修
担当教員			
中澤 住夫			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	義肢装具の種類について用語の徹底から基本構成、さらには使用目的に適応した機能を教授する。Ⅰでは理学療法士が関与することが多い下肢装具に重点を置き、基本的、かつ使用頻度の高い装具について解説する。国家試験に出題される歴史的な義肢装具についても触れる。装具は体表から力を架ける/受ける事によって成立する事、材料の知識は理学療法士にとっても必要な事から、基礎力学、材料学の解説を含めて教授する。
学修目標	1. 義肢装具の種類と支給体系を説明できる 2. 下肢装具の基本構造と装具歩行を理解し説明できる 3. 体幹装具の種類と適用を理解する
授業計画	<p>第1回 装具総論：装具の種類と目的、支給体系、装具の処方と適合判定 4/9(水)3限 講堂 (担当：中澤)</p> <p>第2回 下肢装具 1：正常歩行・異常歩行 4/16(水)3限 講堂 (担当：中澤)</p> <p>第3回 下肢装具 2：短下肢装具 (代表的な構成部品) 4/23(水)3限 講堂 (担当：中澤)</p> <p>第4回 下肢装具 3：短下肢装具 (足継手の制御機構) 4/30(水)3限 講堂 (担当：中澤)</p> <p>第5回 下肢装具 4：短下肢装具 (チェックアウト) 5/7(水)3限 講堂 (担当：中澤)</p> <p>第6回 下肢装具 5：長下肢装具 (代表的な構成部品、膝継手の制御機構) 5/14(水)3限 講堂 (担当：中澤)</p> <p>第7回 下肢装具 6：長下肢装具 (チェックアウト) 5/21(水)3限 講堂 (担当：中澤)</p> <p>第8回 下肢装具 7：膝装具 (種類と構成部品) 5/28(水)3限 講堂 (担当：中澤)</p> <p>第9回 下肢装具 8：膝装具 (適応とチェックアウト) 6/4(水)3限 講堂 (担当：中澤)</p> <p>第10回 下肢装具 9：股装具他 6/11(水)3限 講堂 (担当：中澤)</p> <p>第11回 下肢装具 10：靴型装具 (靴の補正) 足の変形と矯正、一般靴と靴型装具、靴型装具の構成要素 6/18(水)3限 講堂 (担当：中澤)</p> <p>第12回 下肢装具 11：靴型装具 (靴の補正) 靴型装具と足底装具の適応 6/25(水)3限 講堂 (担当：中澤)</p> <p>第13回 体幹装具 1：種類と適応疾患、基本構成、腰痛と体幹装具 7/2(水)3限 講堂 (担当：中澤)</p> <p>第14回 体幹装具 2：腰仙椎装具、胸腰仙椎装具 7/9(水)3限 講堂 (担当：中澤)</p> <p>第15回 体幹装具 3：頸椎装具、側弯症装具 7/16(水)3限 講堂 (担当：中澤)</p>
教科書	上杉雅之監修 「イラストでわかる装具療法」、「イラストでわかる義肢療法」 医歯薬出版株式会社
参考図書	日本義肢装具学会監修 「装具学」 医歯薬出版
予習・復習内容	関連する身体部位の解剖学・運動学、および適用となる疾患について復習しておくことが望ましい。
成績評価方法	評価配分：期末試験 100%
履修上の注意	特になし。
担当教員への連絡方法	初回授業時にアナウンスする。
授業に関する大学教員以外の実務経験	理学療法士として専門学校教員、病院勤務の経験を有する。
実務経験と授業科目の関連性	臨床現場における治療経験を有する。

指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 理学療法治療学
-----------	--

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	1単位	必修
担当教員			
中澤 住夫			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	Ⅱでは、義肢、上肢装具の概念と構成、疾患適用について教授する。理学療法士が関与することが多い義足では、基本的、かつ使用頻度の高い義足について解説する。国家試験に出題される歴史的な義足についても触れる。義足により欠失した下肢の部分的な機能を代償する事で義足歩行が成立する事から、正常歩行の状態と対比させての理解となる。さらに、材料、機構の知識も必要な事から、材料学、機構学の解説を含める。
学修目標	1. 義肢の種類と支給体系を理解し説明できる 2. 義足の構造、機能、および義足歩行について理解し説明できる 3. 上肢装具の基本構造と適応を理解する
授業計画	<p>第1回 義足総論：下肢切断後のリハビリテーション、断端管理と義肢装着法 9/24(水)3限 大講義室/義肢装具室 (担当：中澤)</p> <p>第2回 下腿義足1：下腿義足歩行、義足足部の機能と種類 10/1(水)3限 大講義室/義肢装具室 (担当：中澤)</p> <p>第3回 下腿義足2：ソケットの種類の種類と機能 10/8(水)3限 大講義室/義肢装具室 (担当：中澤)</p> <p>第4回 下腿義足3：ベンチアライメント、スタティックアライメント 10/15(水)3限 大講義室/義肢装具室 (担当：中澤)</p> <p>第5回 下腿義足4：ダイナミックアライメントと異常歩行 (立脚相) 10/22(水)3限 大講義室/義肢装具室 (担当：中澤)</p> <p>第6回 下腿義足5：ダイナミックアライメントと異常歩行 (遊脚相) 10/29(水)3限 大講義室/義肢装具室 (担当：中澤)</p> <p>第7回 大腿義足1：ソケットの種類と変遷 (在来式ソケット、吸着式全面接着四辺形ソケット) 11/5(水)3限 大講義室/義肢装具室 (担当：中澤)</p> <p>第8回 大腿義足2：ソケットの種類と変遷 (坐骨収納型ソケット) 11/12(水)3限 大講義室/義肢装具室 (担当：中澤)</p> <p>第9回 大腿義足3：ベンチアライメント、スタティックアライメント 11/19(水)3限 大講義室/義肢装具室 (担当：中澤)</p> <p>第10回 大腿義足4：ダイナミックアライメントと異常歩行 (立脚相) 11/26(水)3限 大講義室/義肢装具室 (担当：中澤)</p> <p>第11回 大腿義足5：ダイナミックアライメントと異常歩行 (遊脚相) 12/3(水)3限 大講義室/義肢装具室 (担当：中澤)</p> <p>第12回 股義足、膝義足、足部義足 12/10(水)3限 大講義室/義肢装具室 (担当：中澤)</p> <p>第13回 上肢装具1：肩装具・肘装具 12/17(水)3限 大講義室/義肢装具室 (担当：中澤)</p> <p>第14回 上肢装具2：手関節装具 12/24(水)3限 大講義室/義肢装具室 (担当：中澤)</p> <p>第15回 上肢装具3：手装具・指装具 1/7(水)3限 大講義室/義肢装具室 (担当：中澤)</p>
教科書	上杉雅之監修 「イラストでわかる装具療法」、「イラストでわかる義肢療法」 医歯薬出版株式会社
参考図書	日本義肢装具学会監修「装具学」医歯薬出版、澤村誠志 「切断と義肢」医歯薬出版
予習・復習内容	関連する身体部位の解剖学・運動学、および適用となる疾患について復習しておくことが望ましい。
成績評価方法	期末試験 100%
履修上の注意	特になし。
担当教員への連絡方法	初回授業時にアナウンスする。
授業に関する大学教員以外の実務経験	理学療法士として専門学校教員、病院勤務の経験を有する。
実務経験と授業科目の関連性	臨床現場における治療経験を有する。

指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 理学療法治療学
-----------	--

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位	必修
担当教員			
倉澤 康之、鳥山 貴大、福谷 保			
年間授業回数：30回	授業形態：講義	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	ADLの概念について学び、理学療法士の視点からADLを評価する意義を理解する。BIやFIMなどの代表的なADL評価表の具体的手法を学び、評価表の持つ機能について考える。基本動作における正常について各動作の構成している運動を分析し、動作の特徴について理解を深める。基本動作を介助する方法を学び、実習を通じて習得する。また、ADLを支援するための様々な器具の構造や基本的な使用法を学び、指導が実践できるようになることを目的とする。
学修目標	1. ADLの概念を説明できる 2. ADL評価表の目的と意義が説明できる 3. 基本動作を運動学的に分析できる 4. 基本的な動作指導・介助ができる
授業計画	<p>第1回 ADL学概論：ADLの概念と範囲、ICF、QOLについて ADL評価：各論 Bartel Index 9/30(火)1限 大講義室（担当：倉澤）</p> <p>第2回 ADL学概論：ADLの概念と範囲、ICF、QOLについて ADL評価：各論 Bartel Index 9/30(火)2限 大講義室（担当：倉澤）</p> <p>第3回 ADL評価各論（FIM①運動項目） 10/7(火)1限 大講義室（担当：倉澤）</p> <p>第4回 ADL評価各論（FIM①運動項目） 10/7(火)2限 大講義室（担当：倉澤）</p> <p>第5回 ADL評価各論（FIM②認知項目、FIM確認テスト） 10/14(火)1限 大講義室（担当：倉澤）</p> <p>第6回 ADL評価各論（FIM②認知項目、FIM確認テスト） 10/14(火)2限 大講義室（担当：倉澤）</p> <p>第7回 演習① ADL評価としての動作分析：移動補助具（杖、歩行器） 10/21(火)1限 日常生活活動室（担当：倉澤）</p> <p>第8回 演習① ADL評価としての動作分析：移動補助具（杖、歩行器） 10/21(火)2限 日常生活活動室（担当：倉澤）</p> <p>第9回 演習② ADL評価としての動作分析：移動補助具（車いす） 10/28(火)1限 日常生活活動室（担当：倉澤）</p> <p>第10回 演習② ADL評価としての動作分析：移動補助具（車いす） 10/28(火)2限 日常生活活動室（担当：倉澤）</p> <p>第11回 実技① 介助技術の基本 11/4(火)1限 レクリエーション室（担当：鳥山、福谷、倉澤）</p> <p>第12回 実技① 介助技術の基本 11/4(火)2限 レクリエーション室（担当：鳥山、福谷、倉澤）</p> <p>第13回 実技② 自分と相手の身体を知る 11/11(火)1限 レクリエーション室（担当：鳥山、福谷、倉澤）</p> <p>第14回 実技② 自分と相手の身体を知る 11/11(火)2限 レクリエーション室（担当：鳥山、福谷、倉澤）</p> <p>第15回 実技③ 全介助方法 11/18(火)1限 レクリエーション室（担当：鳥山、福谷、倉澤）</p> <p>第16回 実技③ 全介助方法 11/18(火)2限 レクリエーション室（担当：鳥山、福谷、倉澤）</p> <p>第17回 実技④ 疾患別の介助法・介助の実践 11/25(火)1限 レクリエーション室（担当：鳥山、福谷、倉澤）</p> <p>第18回 実技④ 疾患別の介助法・介助の実践 11/25(火)2限 レクリエーション室（担当：鳥山、福谷、倉澤）</p> <p>第19回 実技⑤ 介助手技実技テスト 12/2(火)1限 レクリエーション室（担当：福谷、倉澤）</p> <p>第20回 実技⑤ 介助手技実技テスト 12/2(火)2限 レクリエーション室（担当：福谷、倉澤）</p> <p>第21回 演習③ ADLの動作分析：食事動作、移乗、トイレ動作、入浴動作、更衣、階段</p>

	<p>12/9(火)1限 大講義室 (担当：倉澤)</p> <p>第22回 演習③ ADLの動作分析：食事動作、移乗、トイレ動作、入浴動作、更衣、階段 12/9(火)2限 大講義室 (担当：倉澤)</p> <p>第23回 演習③ ADLの動作分析：資料作成 12/16(火)1限 大講義室 (担当：倉澤)</p> <p>第24回 演習③ ADLの動作分析：資料作成 12/16(火)2限 大講義室 (担当：倉澤)</p> <p>第25回 演習③ ADLの動作分析：資料作成 12/23(火)1限 大講義室 (担当：倉澤)</p> <p>第26回 演習③ ADLの動作分析：資料作成 12/23(火)2限 大講義室 (担当：倉澤)</p> <p>第27回 演習③ ADLの動作分析：発表 1/6(火)1限 大講義室 (担当：倉澤)</p> <p>第28回 演習③ ADLの動作分析：発表 1/6(火)2限 大講義室 (担当：倉澤)</p> <p>第29回 まとめ 1/13(火)1限 大講義室 (担当：倉澤)</p> <p>第30回 まとめ 1/13(火)2限 大講義室 (担当：倉澤)</p>
教科書	鶴見隆正 他編 標準理学療法学 日常生活活動学・生活環境学 第6版 医学書院
参考図書	平田学 編 リハビリ現場で使える移動・移乗技術トレーニング
予習・復習内容	復習はしっかりと行い、暗記するものはその日のうちに覚える。実技は授業の時間だけでなく練習をすること。単元の終わり毎に小テストを行う。
成績評価方法	筆記試験：60%，発表20%，実技20%
履修上の注意	実技練習は積極的に行うこと。
担当教員への連絡方法	オフィスアワー、Microsoft Teamsのチャットで対応する。授業の連絡もTeamsで行う。
授業に関する大学教員以外の実務経験	一般病院に勤務し、患者のADL向上、退院調整など業務経験を有する。
実務経験と授業科目の関連性	高齢者の日常生活活動に関する研究を基に、エビデンスに基づいた実践的な知識を提供する。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1 (理学療法士課程) 理学療法治療学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	2単位	必修
担当教員			
杉本 穂高			
年間授業回数：30回	授業形態：演習		
添付ファイル			

授業目標	日常生活活動学Ⅰでの学習をもとに、理学療法の対象となる主な疾患ごとに機能障害とADLの関連を整理し、ADL訓練や指導の実際について学習する。 グループで一つの疾患を担当し、文献などを調べ、レジメにまとめて発表する。 疾患の病理、病態、特徴から医学的治療を概説し、症状から障害構造を大まかに整理し、ADL動作の指導方法についてまとめる。効果的なADL動作の獲得を促すための運動学習の理論についても学ぶ。		
学修目標	1. 疾患別の障害像と日常生活活動の特徴を理解し、説明できる 2. ADL動作の練習法および誘導法を習得する		
授業計画	第1回	授業オリエンテーションとグループワーク 疾患に関する情報収集 4/10(木)1限 202/203/204/日常生活活動室 (担当：杉本)	
	第2回	グループワーク 疾患に関する情報収集 4/10(木)2限 202/203/204/日常生活活動室 (担当：杉本)	
	第3回	グループワーク 疾患に関する情報収集 4/17(木)1限 202/203/204/日常生活活動室 (担当：杉本)	
	第4回	グループワーク 障害像の構成 4/17(木)2限 202/203/204/日常生活活動室 (担当：杉本)	
	第5回	グループワーク 日常生活動作の方法の整理 4/24(木)1限 202/203/204/日常生活活動室 (担当：杉本)	
	第6回	グループワーク 日常生活動作の方法の整理 4/24(木)2限 202/203/204/日常生活活動室 (担当：杉本)	
	第7回	グループワーク 日常生活動作の方法の整理 5/1(木)1限 202/203/204/日常生活活動室 (担当：杉本)	
	第8回	グループワーク 日常生活動作の方法の整理 5/1(木)2限 202/203/204/日常生活活動室 (担当：杉本)	
	第9回	グループワーク 発表資料の作成 5/8(木)1限 202/203/204/日常生活活動室 (担当：杉本)	
	第10回	グループワーク 発表資料の作成 5/8(木)2限 202/203/204/日常生活活動室 (担当：杉本)	
	第11回	進捗状況報告会 5/15(木)1限 202/203/204/日常生活活動室 (担当：杉本)	
	第12回	グループワーク 発表資料の作成・修正 5/15(木)2限 202/203/204/日常生活活動室 (担当：杉本)	
	第13回	グループワーク 発表資料の作成・修正 5/22(木)1限 202/203/204/日常生活活動室 (担当：杉本)	
	第14回	グループワーク 発表資料の作成・発表練習 5/22(木)2限 202/203/204/日常生活活動室 (担当：杉本)	
	第15回	発表会 発表と質疑：1グループ目 5/29(木)1限 202/203/204/日常生活活動室 (担当：杉本)	
	第16回	発表会 発表と質疑：2グループ目 5/29(木)2限 202/203/204/日常生活活動室 (担当：杉本)	
	第17回	発表会 発表と質疑：3グループ目 6/5(木)1限 202/203/204/日常生活活動室 (担当：杉本)	
	第18回	発表会 発表と質疑：4グループ目 6/5(木)2限 202/203/204/日常生活活動室 (担当：杉本)	
	第19回	発表会 発表と質疑：5グループ目 6/12(木)1限 202/203/204/日常生活活動室 (担当：杉本)	
	第20回	発表会 発表と質疑：6グループ目 6/12(木)2限 202/203/204/日常生活活動室 (担当：杉本)	
	第21回	発表会 発表と質疑：7グループ目 6/19(木)1限 202/203/204/日常生活活動室 (担当：杉本)	
	第22回	発表会 発表と質疑：8グループ目	

	<p>6/19(木)2限 202/203/204/日常生活活動室 (担当: 杉本)</p> <p>第23回 発表会 発表と質疑: 9グループ目</p> <p>6/26(木)1限 202/203/204/日常生活活動室 (担当: 杉本)</p> <p>第24回 発表会 発表と質疑: 10グループ目</p> <p>6/26(木)2限 202/203/204/日常生活活動室 (担当: 杉本)</p> <p>第25回 ADL動作の指導方法検討会 運動学習と行動分析からとらえた動作指導</p> <p>7/3(木)1限 202/203/204/日常生活活動室 (担当: 杉本)</p> <p>第26回 ADL動作の指導方法検討会 運動学習と行動分析からとらえた動作指導</p> <p>7/3(木)2限 202/203/204/日常生活活動室 (担当: 杉本)</p> <p>第27回 ADL動作の指導方法検討会 運動学習と行動分析からとらえた動作指導</p> <p>7/10(木)1限 202/203/204/日常生活活動室 (担当: 杉本)</p> <p>第28回 ADL動作の指導方法検討会 運動学習と行動分析からとらえた動作指導</p> <p>7/10(木)2限 202/203/204/日常生活活動室 (担当: 杉本)</p> <p>第29回 ADLの知識の整理 ADLを題材とした国家試験問題の検討</p> <p>7/17(木)1限 202/203/204/日常生活活動室 (担当: 杉本)</p> <p>第30回 ADLの知識の整理 ADLを題材とした国家試験問題の検討</p> <p>7/17(木)2限 202/203/204/日常生活活動室 (担当: 杉本)</p>
教科書	鶴見隆正 他編 標準理学療法学 日常生活活動学・生活環境学 第6版 医学書院
参考図書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 柴喜嵩 他編 PT・OTビジュアルテキスト ADL 羊土社 2. 鶴見隆正 他編 日常生活活動学・生活環境学 医学書院 3. 細田多穂 監 日常生活活動学テキスト 南江堂 4. 伊藤利之 他編 新版 日常生活活動(ADL)評価と支援の実際 医歯薬出版 5. 千住秀明 監 日常生活活動学(ADL) 神陵文庫 6. 伊藤利之 他監 ADLとその周辺 医学書院
予習・復習内容	担当した疾患および障害に関する資料を図書館等で収集しておくこと。
成績評価方法	期末試験50% + 発表30% + 成果物20%
履修上の注意	グループワークでの演習を中心に進めていく。 発表資料作成など、グループ内での協業に努めること。
担当教員への連絡方法	Teamsのチャットで連絡すること (連絡先: sugimoto.hotaka@shitoku-st.ac.jp)。
授業に関する大学教員以外の実務経験	理学療法士として臨床経験を有する。
実務経験と授業科目の関連性	理学療法士として臨床現場における日常生活活動の支援経験を有する。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1 (理学療法士課程) 理学療法治療学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	1単位	必修
担当教員			
佐藤 剛章			
年間授業回数：15回	授業形態：演習	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	講義では、脳血管障害についてその概要、画像、臨床症状、評価法、治療について学習を進める。実技演習では基本動作に関わる評価と治療についてデモンストレーションし、それを踏まえて学生がペアとなって動作の誘導方法を学ぶ。また、脳血管障害の病期、経過と状況の変化に応じ、基本的理学療法治療とその応用性についても実技を通して理解する。患者の障害像を大まかに分類し、それぞれのケースでの操作、誘導する時のポイントを学ぶ。
学修目標	1. 脳血管障害の概要が理解できる 2. 脳血管障害の病態と治療が理解できる 3. 脳血管障害に必要な評価を理解し、評価が行える 4. 脳血管障害の具体的運動療法を健常者で経験する
授業計画	<p>第1回 脳血管障害の概要（定義・原因・分類） 4/7(月)4限 徒手・物理療法室（担当：佐藤）</p> <p>第2回 脳血管障害の画像診断 4/14(月)4限 徒手・物理療法室（担当：佐藤）</p> <p>第3回 脳血管障害の病態と症状 4/21(月)4限 徒手・物理療法室（担当：佐藤）</p> <p>第4回 脳血管障害の評価（総合評価、意識障害、運動麻痺、痙縮） 4/28(月)4限 徒手・物理療法室（担当：佐藤）</p> <p>第5回 脳血管障害の評価（歩行、バランス、ADL、高次脳機能） 5/12(月)4限 徒手・物理療法室（担当：佐藤）</p> <p>第6回 脳血管障害の評価（実技） 5/19(月)4限 徒手・物理療法室（担当：佐藤）</p> <p>第7回 脳血管障害患者の運動療法の概要 5/26(月)4限 徒手・物理療法室（担当：佐藤）</p> <p>第8回 脳血管障害患者の運動療法理論と実際 6/2(月)4限 徒手・物理療法室（担当：佐藤）</p> <p>第9回 脳血管障害患者の最新のリハビリテーション 6/9(月)4限 徒手・物理療法室（担当：佐藤）</p> <p>第10回 脳血管障害の治療①：背臥位、寝返り、起き上がり、坐位 6/16(月)4限 徒手・物理療法室（担当：佐藤）</p> <p>第11回 脳血管障害の治療②：四つ這い、膝立ち、片膝立ち 6/23(月)4限 徒手・物理療法室（担当：佐藤）</p> <p>第12回 脳血管障害の治療③：立ち上がり、立位、バランス 6/30(月)4限 徒手・物理療法室（担当：佐藤）</p> <p>第13回 脳血管障害の治療④：歩行、装具や機器を用いた治療 7/7(月)4限 徒手・物理療法室（担当：佐藤）</p> <p>第14回 ケーススタディ-臨床推論 7/14(月)4限 徒手・物理療法室（担当：宮下）</p> <p>第15回 ケーススタディ-臨床推論 7/21(月)4限 徒手・物理療法室（担当：宮下）</p>
教科書	正門由久 高木誠 編 脳卒中 基礎知識から最新リハビリテーションまで 医歯薬出版
参考図書	<p>1. 原 寛美 他編 脳卒中理学療法の理論と技術 メディカルビュー</p> <p>2. 中島雅美 他編 PT・OT基礎から学ぶ画像の読み方 医歯薬出版</p> <p>3. 石橋清成 他編 脳機能の基礎知識と神経症候 ケーススタディ メディカルビュー</p> <p>4. 阿部浩明 他編 脳卒中片麻痺者に対する歩行リハビリテーション メディカルビュー</p> <p>5. 石川 朗 編 理学療法テキスト 神経障害理学療法学 I 中山書店</p> <p>6. 山口智史 他編 中枢神経系理学療法学 医歯薬出版</p>
予習・復習内容	配布資料に基づいた講義前後の自己学習が必要である
成績評価方法	期末試験90%、レポート10%
履修上の注意	生理学、理学療法基礎運動学（I・II）、神経内科学、脳神経外科学、病態運動学（I）、運動療法学（I・II）の復習も併せて行うこと。 第6回と第11-14回は実習のため、動きやすい服装で参加すること。

担当教員への連絡方法	オフィスアワー、メール、Microsoft Teamsチャットにて対応する
授業に関する大学教員以外の実務経験	理学療法士としての臨床経験を有する
実務経験と授業科目の関連性	理学療法士には必須の知識であり、臨床との関連を織り交ぜて授業を行う
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 理学療法治療学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	1単位	必修
担当教員			
赤羽 勝司、中澤 住夫、鳥山 貴大			
年間授業回数：15回	授業形態：演習	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	運動器疾患（整形外科系）の機能障害（切断・脊髄損傷・関節リウマチ含む）に関する理学療法評価と治療技術の基本を理解する。その中で、各疾患を想定した理学療法評価のポイントを整理し、さらに超音波画像を用いて病態把握の理解を高め、標準的な治療の概念について理解を深める。
学修目標	動器疾患及び脊髄損傷や関節リウマチおよび切断損傷に関するの機能障害を整理し、理学療法を実施する上での評価内容と方法を習得する。機能解剖と評価内容から機能障害を臨床推論し、治療技術の基本を理解する。
授業計画	<p>第1回 運動器疾患の理学療法概論 4/7(月)1限 第3作業療法室（担当：赤羽）</p> <p>第2回 運動器疾患の理学療法評価 4/7(月)2限 第3作業療法室（担当：赤羽）</p> <p>第3回 肩関節周囲の機能解剖 4/14(月)1限 第3作業療法室（担当：赤羽）</p> <p>第4回 肩関節周囲疾患に対する理学療法評価 4/14(月)2限 第3作業療法室（担当：赤羽）</p> <p>第5回 肩関節周囲疾患に対する理学療法の実践 4/21(月)1限 第3作業療法室（担当：赤羽）</p> <p>第6回 肘関節・手関節の機能解剖 4/21(月)2限 第3作業療法室（担当：赤羽）</p> <p>第7回 上肢疾患に対する理学療法 4/28(月)1限 第3作業療法室（担当：赤羽）</p> <p>第8回 股関節の機能解剖 4/28(月)2限 第3作業療法室（担当：赤羽）</p> <p>第9回 股関節疾患に対する理学療法評価 5/12(月)1限 第3作業療法室/講堂（担当：赤羽）</p> <p>第10回 股関節疾患に対する理学療法の実践 5/12(月)2限 第3作業療法室/講堂（担当：赤羽）</p> <p>第11回 膝関節の機能解剖 5/19(月)1限 第3作業療法室/講堂（担当：赤羽）</p> <p>第12回 膝関節疾患に対する理学療法評価 5/19(月)2限 第3作業療法室/講堂（担当：赤羽）</p> <p>第13回 膝関節疾患に対する理学療法の実践 5/26(月)1限 第3作業療法室/講堂（担当：赤羽）</p> <p>第14回 足関節・足部の機能解剖 5/26(月)2限 第3作業療法室/講堂（担当：赤羽）</p> <p>第15回 足関節・足部疾患に対する理学療法評価 6/2(月)1限 第3作業療法室/講堂（担当：赤羽）</p> <p>第16回 足関節・足部疾患に対する理学療法の実践 6/2(月)2限 第3作業療法室/講堂（担当：赤羽）</p> <p>第17回 脊柱の機能解剖 6/9(月)1限 第3作業療法室/講堂（担当：赤羽）</p> <p>第18回 脊柱（胸・腰椎）疾患に対する理学療法評価 6/9(月)2限 第3作業療法室/講堂（担当：赤羽）</p> <p>第19回 脊柱（頸椎）疾患に対する理学療法評価 6/16(月)1限 第3作業療法室/講堂（担当：赤羽）</p> <p>第20回 脊柱疾患に対する理学療法の実践 6/16(月)2限 第3作業療法室/講堂（担当：赤羽）</p> <p>第21回 機能解剖まとめ 6/23(月)1限 第3作業療法室/講堂（担当：赤羽）</p> <p>第22回 切断患者の最近の動向と理学療法 6/23(月)2限 第3作業療法室/講堂（担当：中澤）</p>

	<p>第23回 切断患者の評価 6/30(月)1限 第3作業療法室/講堂 (担当: 中澤)</p> <p>第24回 切断術後の理学療法 6/30(月)2限 第3作業療法室/講堂 (担当: 中澤)</p> <p>第25回 脊髄損傷の最近の動向 7/7(月)1限 第3作業療法室/講堂 (担当: 鳥山)</p> <p>第26回 脊髄損傷の理学療法 7/7(月)2限 第3作業療法室/講堂 (担当: 鳥山)</p> <p>第27回 脊髄損傷急性期の理学療法 7/14(月)1限 第3作業療法室/講堂 (担当: 鳥山)</p> <p>第28回 脊髄損傷回復期以降理学療法 7/14(月)2限 第3作業療法室/講堂 (担当: 鳥山)</p> <p>第29回 関節リウマチに対する理学療法評価 7/21(月)1限 第3作業療法室/講堂 (担当: 赤羽)</p> <p>第30回 関節リウマチに対する理学療法治療 7/21(月)2限 第3作業療法室/講堂 (担当: 赤羽)</p>
教科書	加藤浩編集 運動器障害理学療法学 メジカルビュー社 Donald A Neumann原著 筋骨格系のキネシオロジー原著第3版 医歯薬出版株式会社
参考図書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 澤村誠志 著 切断と義肢 医歯薬出版 2. 高田治実 他編 義肢・装具学 羊土社 3. 富士武史監修 整形外科疾患の理学療法、金原出版株式会社 4. 奈良勲監修 運動器疾患の病態と理学療法、医歯薬出版株式会社 5. 柳澤健ほか PT臨床実習ルートマップ、メディカルビュー社 6. 石川朗ほか 臨床実習フィールドガイド、南江堂
予習・復習内容	各運動器疾患の病態把握の整理
成績評価方法	中間試験20%・期末試験80%
履修上の注意	理学療法評価・治療には、「運動学」・「解剖学」の基礎的知識が必要です。必ず復習し整理しておくこと。
担当教員への連絡方法	E-mail:akahane.katsushi@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	理学療法士として臨床経験を有する。
実務経験と授業科目の関連性	理学療法士として臨床現場における治療経験を有する。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1 (理学療法士課程) 理学療法治療学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	1単位	必修
担当教員			
荻原 啓文、須江 慶太、中田 佳佑			
年間授業回数：15回	授業形態：演習	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	代表的な神経疾患・神経障害について、その臨床症状、病態、医学的ケア、理学療法評価、治療方針、理学療法の実践および社会的支援体制等の知識を座学により学ぶ。 多様な神経症状や身体障害と精神・心理面の障害を配慮した上で、日常生活自立度の維持を図る方策を具体的に学ぶ。神経疾患・神経障害に対する基本的な評価と理学療法手段の実技を模擬的に経験する。
学修目標	1. 代表的な神経疾患・神経障害の臨床症状、病態、医学的ケア、評価、理学療法の基本事項について説明できる 2. 実技デモンストレーションと口頭説明を実践的観点に基づき行うことができる
授業計画	<p>第1回 総論：オリエンテーション、大脳基底核の機能・構造・障害 9/25(木)3限 運動療法室/大講義室（担当：荻原）</p> <p>第2回 総論：小脳の機能・構造・障害 10/2(木)3限 運動療法室/大講義室（担当：荻原）</p> <p>第3回 総論：脳幹の機能・構造・障害、各論の学習方法説明 10/9(木)3限 運動療法室/大講義室（担当：荻原）</p> <p>第4回 各論①：パーキンソン病（症状、病態、評価） 10/16(木)3限 運動療法室/大講義室（担当：須江）</p> <p>第5回 各論①：パーキンソン病（治療方針、理学療法） 10/23(木)3限 運動療法室/大講義室（担当：須江）</p> <p>第6回 各論②：前庭障害（症状、病態、評価） 10/30(木)3限 運動療法室/大講義室（担当：荻原）</p> <p>第7回 各論②：前庭障害（治療方針、理学療法） 11/6(木)3限 運動療法室/大講義室（担当：荻原）</p> <p>第8回 各論③：高次脳機能障害（症状、病態、評価） 11/13(木)3限 運動療法室/大講義室（担当：中田）</p> <p>第9回 各論③：高次脳機能障害（治療方針、理学療法） 11/20(木)3限 運動療法室/大講義室（担当：中田）</p> <p>第10回 各論④：脊髄小脳変性症と類似疾患（症状、病態、評価、理学療法） 11/27(木)3限 運動療法室/大講義室（担当：荻原）</p> <p>第11回 各論⑤：多発性硬化症、多発性神経炎（症状、病態、評価、理学療法） 12/4(木)3限 運動療法室/大講義室（担当：荻原）</p> <p>第12回 各論④⑤の評価および治療実習 12/11(木)3限 運動療法室/大講義室（担当：荻原）</p> <p>第13回 各論⑥：筋萎縮性側索硬化症（症状、病態、評価、理学療法） 12/18(木)3限 運動療法室/大講義室（担当：荻原）</p> <p>第14回 各論⑦：重症筋無力症、筋強直性ジストロフィー（症状、病態、評価、理学療法） 12/25(木)3限 運動療法室/大講義室（担当：荻原）</p> <p>第15回 各論⑥⑦の評価および治療実習 1/8(木)3限 運動療法室/大講義室（担当：荻原）</p>
教科書	1. 医療情報科学研究所編 病気が見えるvol.7脳・神経 メディックメディア 2. 奈良 勲 神経理学療法学 第3版 医学書院
参考図書	1. 植松光俊・他編 神経筋障害理学療法学テキスト 南江堂 2. 伏木宏彰・他編 前庭障害に対するリハビリテーション メジカルビュー 3. 石川朗・他編 15レクチャーシリーズ神経障害理学療法学Ⅱ 中山書店
予習・復習内容	配付資料に基づいた講義前後の自己学習が必要である。
成績評価方法	期末試験 90%、講義中の発表・提出課題 10%
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・総論と各論①～③は教員による講義が主体となる。 ・各論④～⑦は事前配布の講義資料に基づいたテーマ別の共同学習会を実施する。 ・各論④～⑦は学生が担当テーマの講師役となりグループディスカッションを実施する。 ・適宜、スライド・レポート作成と提出を求める。
担当教員への連絡方法	オフィスアワー、メール、Microsoft Teamsチャットにて対応する。

授業に関する大学 教員以外の実務経 験	理学療法士としての臨床経験。
実務経験と授業科 目の関連性	臨床経験から、各疾患の概要や評価・治療方法を指導することができる。
指定規則の位置付 け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 理学療法治療学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	1単位	必修
担当教員			
倉澤 康之			
年間授業回数：15回	授業形態：演習		
添付ファイル			

授業目標	内部障害とは、生体機能における呼吸、循環、消化、排泄、代謝などの機能に関わる障害である。これらは身体内部で起こる現象であり、運動障害のように外部から理解することが難しい特性を持つ。高齢化が進んだ現代では、重複して障害を持つ方が多く、内部疾患を有する対象者は珍しくない。本授業では、これらの障害を適切に評価し、早期離床や運動療法を行うためのリスク管理と、エビデンスに基づく判断方法を学ぶとともに、現場での状況に応じた柔軟な判断やマネジメント能力を養うことを目標とする。また、運動療法の立案に加え、対象者の特性に応じた包括的なケアの重要性を理解する。
学修目標	1. 呼吸不全の病態を説明でき、それに基づくリスク管理・呼吸理学療法が理解できる 2. 心不全の病態を説明でき、それに基づくリスク管理・心臓リハビリテーションが理解できる 3. 代謝障害およびその他の内部障害に対するリハビリテーションの概要を理解し、それに基づくリスク管理・理学療法が理解できる 4. フレイルおよびがん患者における理学療法の進め方を理解し、病気に応じた関わり方を理解できる
授業計画	<p>第1回 内部障害理学療法総論 4/11(金)2限 大講義室 (担当：倉澤)</p> <p>第2回 急性期の理学療法(呼吸機能評価、呼吸管理) 4/18(金)2限 大講義室 (担当：倉澤)</p> <p>第3回 呼吸理学療法 (聴診と体位ドレナージ) 4/25(金)2限 大講義室 (担当：倉澤)</p> <p>第4回 呼吸理学療法の治療手技 5/2(金)2限 大講義室 (担当：倉澤)</p> <p>第5回 慢性呼吸不全に対する理学療法 (慢性閉塞性肺疾患、など) 5/9(金)2限 大講義室 (担当：倉澤)</p> <p>第6回 呼吸不全に対する理学療法 まとめ (症例検討) 5/16(金)2限 大講義室 (担当：倉澤)</p> <p>第7回 心臓リハビリテーション1 (心電図・心エコー各種検査) 5/23(金)2限 大講義室 (担当：倉澤)</p> <p>第8回 心臓リハビリテーション2 (心不全) 5/30(金)2限 大講義室 (担当：倉澤)</p> <p>第9回 心臓リハビリテーション3 (虚血性心疾患) 6/6(金)2限 大講義室 (担当：倉澤)</p> <p>第10回 心臓リハビリテーション4 (大動脈疾患、末梢血管疾患) 6/13(金)2限 大講義室 (担当：倉澤)</p> <p>第11回 心臓リハビリテーション まとめ (症例検討) 6/20(金)2限 大講義室 (担当：倉澤)</p> <p>第12回 代謝障害に対する理学療法1 (糖尿病) 6/27(金)2限 大講義室 (担当：倉澤)</p> <p>第13回 代謝障害に対する理学療法2 (代謝障害)、腎機能障害に対する理学療法 7/4(金)2限 大講義室 (担当：倉澤)</p> <p>第14回 フレイル、サルコペニアに対する理学療法、がんリハビリテーション 7/11(金)2限 大講義室 (担当：倉澤)</p> <p>第15回 喀痰吸引に対する基本的な対応 7/18(金)2限 大講義室 (担当：倉澤)</p>
教科書	高橋哲也編 最新理学療法学講座 内部障害理学療法学、2021年、医歯薬出版
参考図書	1. 石川 朗編集 内部障害理学療法学 循環・代謝、中山書店 2. 細田多穂監修 内部障害理学療法学テキスト、南江堂 3. 松尾善美編 内部障害理学療法学、羊土社
予習・復習内容	生理学、内科学の関連領域は必ず予習しておくこと。 運動生理についても理解しておくこと。 予習の内容は、前の講義で提示する。
成績評価方法	期末筆記試験70%、小テスト30%
履修上の注意	必要な時期に聴診器を購入する。運動しやすい服装を準備すること。

担当教員への連絡方法	オフィスアワー、Microsoft Teamsで対応する。授業連絡もTeamsで行う。
授業に関する大学教員以外の実務経験	一般病院において内部障害のリハビリテーション業務に従事し、心臓リハビリテーション指導士、認定理学療法士等、各種関連資格を有する。
実務経験と授業科目の関連性	内部障害理学療法の基本を踏まえて臨床における実践的な内容を教育できる。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 理学療法治療学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	1単位	必修
担当教員			
山本 良彦、竹内 知陽			
年間授業回数：15回	授業形態：演習		
添付ファイル			

授業目標	肢体不自由児の理学療法治療を中心に、具体的な事例を挙げながら支援の方法を説明していく。整形外科疾患、中枢神経疾患、染色体異常、筋疾患、知的障害、ハイリスク児、装具療法など、小児発達に関わる多くの分野を関連させて理解する。また、地域における発達障害児に対する療育と理学療法士の関わりを紹介する。
学修目標	1. 小児疾患における理学療法士の役割を理解し、説明できる 2. 各種小児疾患に対する理学療法治療を理解し、説明できる 3. 障害児に対する支援の方法を理解し、説明できる
授業計画	<p>第1回 発達障害概論 9/26(金)3限 大講義室 (担当：山本)</p> <p>第2回 発達の診断、評価 10/3(金)3限 大講義室 (担当：山本)</p> <p>第3回 発達検査法 10/10(金)3限 大講義室 (担当：山本)</p> <p>第4回 ペルテス病に対する理学療法治療 10/17(金)3限 大講義室 (担当：竹内)</p> <p>第5回 二分脊椎症に対する理学療法治療 10/24(金)3限 大講義室 (担当：竹内)</p> <p>第6回 先天性股関節脱臼に対する理学療法治療 10/31(金)3限 大講義室 (担当：竹内)</p> <p>第7回 進行性筋ジストロフィー症に対する理学療法治療 11/7(金)3限 大講義室 (担当：竹内)</p> <p>第8回 脊髄小脳変性症に対する理学療法治療 11/14(金)3限 大講義室 (担当：竹内)</p> <p>第9回 脳波異常 (WEST症候群など) に対する理学療法治療 11/21(金)3限 大講義室 (担当：山本)</p> <p>第10回 ダウン症候群に対する理学療法治療 11/28(金)3限 大講義室 (担当：山本)</p> <p>第11回 脳性麻痺児に対する理学療法治療 12/5(金)3限 大講義室 (担当：山本)</p> <p>第12回 重症心身障害児に対する理学療法治療 12/12(金)3限 大講義室 (担当：山本)</p> <p>第13回 低出生体重児、ハイリスク児に対する理学療法治療 12/19(金)3限 大講義室 (担当：山本)</p> <p>第14回 地域における障害児のサポート活動 12/26(金)3限 大講義室 (担当：山本)</p> <p>第15回 障害児スポーツに対するサポート活動 1/9(金)3限 大講義室 (担当：山本)</p>
教科書	1. 藪中良彦他編集 Crosslink理学療法学テキスト小児理学療法学 メディカルビュー社 2. 山本良彦 ダウン症リハビリテーションガイド 診断と治療社
参考図書	1. 楠本泰士編集 小児リハ評価ガイド メディカルビュー社
予習・復習内容	講義前に疾患像などを確認しておくことは必要だが、毎回の講義をしっかり復習することに重点を置いてほしい。疾患の領域によってはゲストスピーカー（外部講師）による講義を行う。
成績評価方法	期末試験100%
履修上の注意	特になし。
担当教員への連絡方法	オフィスアワーを利用してほしい。
授業に関する大学教員以外の実務経験	小児施設において肢体不自由児、発達障害児の療育に携わってきた。
実務経験と授業科目の関連性	臨床場面に即した実践的な理学療法治療を紹介できる。

指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 理学療法治療学
-----------	--

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	1単位	必修
担当教員			
赤羽 勝司			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	競技スポーツから健康維持を含めた生涯スポーツ場面で生じやすい傷害に対して理学療法士として適切に既応するための知識・技術について学習する。スポーツ障害の病態と発生機序を理解し、スポーツ選手の体調を管理し、外傷・障害を予防するための理学療法について理解する。競技復帰する過程のアスレチックリハビリテーションを実践するために必要な知識と技術を習得する。また、障害者スポーツについても理解していく。
学修目標	理学療法治療学Ⅱ（運動器障害）で習得した評価内容から、理学療法治療の基本を理解し、治療技術を習得する。各疾患に対する治療法から、スポーツ選手が競技復帰するまでのコンディショニングに至るまでの治療要因を理解する。
授業計画	<p>第1回 スポーツ理学療法概論 9/22(月)3限 講堂 (担当：赤羽)</p> <p>第2回 アスレチックリハビリテーション概論 9/29(月)3限 講堂 (担当：赤羽)</p> <p>第3回 肩関節スポーツ障害（投球障害の理論） 10/6(月)3限 講堂 (担当：赤羽)</p> <p>第4回 肩関節スポーツ障害（投球障害に対する理学療法の実際） 10/20(月)3限 講堂 (担当：赤羽)</p> <p>第5回 膝関節スポーツ障害（ACL損傷の理論） 10/27(月)3限 講堂 (担当：赤羽)</p> <p>第6回 膝関節スポーツ障害（ACL損傷に対する理学療法の実際） 11/10(月)3限 講堂 (担当：赤羽)</p> <p>第7回 患部外トレーニング（コアトレーニングの理論） 11/17(月)3限 講堂 (担当：赤羽)</p> <p>第8回 患部外トレーニング（コアトレーニングの実際） 11/24(月)3限 講堂 (担当：赤羽)</p> <p>第9回 ストレッチングの理論 12/1(月)3限 講堂 (担当：赤羽)</p> <p>第10回 ストレッチングの実際 12/8(月)3限 講堂 (担当：赤羽)</p> <p>第11回 テーピングの理論 12/15(月)3限 講堂 (担当：赤羽)</p> <p>第12回 テーピングの実際 12/22(月)3限 講堂 (担当：赤羽)</p> <p>第13回 アスレチックリハビリテーションの理論 1/5(月)3限 講堂 (担当：赤羽)</p> <p>第14回 アスレチックリハビリテーションの実際 1/14(水)3限 講堂 (担当：赤羽)</p> <p>第15回 障がい者スポーツ概論 1/19(月)3限 講堂 (担当：赤羽)</p>
教科書	加藤浩編集 運動器障害理学療法学 メジカルビュー社 プリント配布
参考図書	<ol style="list-style-type: none"> 黒川幸雄 ほか スポーツ傷害の理学療法 三輪書店 陶山哲夫 ほか スポーツ理学療法学 メジカルビュー社 齋藤昭彦 訳 脊椎の分節的安定性のための運動療法 エンタプライズ 陶山哲夫 監修 スポーツ理学療法学 動作に基づく外傷・障害の理解と評価・治療の進め方 メジカルビュー社
予習・復習内容	外傷・障害の予防・治療に対する指導・実施方法をまとめること。
成績評価方法	期末試験100%
履修上の注意	実技を中心に授業を展開するので、運動ができる服装で受講すること。
担当教員への連絡方法	E-mail:akahane.katsushi@shitoku.ac.jp

授業に関する大学 教員以外の実務経 験	スポーツ現場で理学療法サポートの実務経験。
実務経験と授業科 目の関連性	理学療法士として臨床現場における治療経験を有する。
指定規則の位置付 け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 理学療法治療学

講義科目名称： 運動器障害治療技術論

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	2単位	選択
担当教員			
赤羽 勝司、中澤 住夫			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	運動器障害に対する各種アプローチの理解をさらに深める。 運動器障害に対する関節運動の改善、筋力の増強、運動協調性の改善を目的とした治療の考え方と手技の習熟を目指す。 PNF、関節モビライゼーション、スポーツマッサージを中心に実践する。
学修目標	1. 運動器障害の特性を説明できる 2. 各治療方法の理論を説明できる 3. 治療理論を踏まえて適切な手技を実施できる
授業計画	<p>第1回 PNFの概念・定義、理学療法における位置付け 9/30(火)2限 徒手・物理療法室 (担当：中澤)</p> <p>第2回 PNFの促通要素と特殊テクニック 10/7(火)2限 徒手・物理療法室 (担当：中澤)</p> <p>第3回 上肢PNFパターンでの実技 10/14(火)2限 徒手・物理療法室 (担当：中澤)</p> <p>第4回 下肢PNFパターンでの実技 10/21(火)2限 徒手・物理療法室 (担当：中澤)</p> <p>第5回 肩甲骨・骨盤パターンでの実技 10/28(火)2限 徒手・物理療法室 (担当：中澤)</p> <p>第6回 関節モビライゼーション総論 11/4(火)2限 徒手・物理療法室 (担当：赤羽)</p> <p>第7回 関節モビライゼーションの実際：肩甲骨と肩関節 11/11(火)2限 徒手・物理療法室 (担当：赤羽)</p> <p>第8回 関節モビライゼーションの実際：肘関節、手関節・手指 11/18(火)2限 徒手・物理療法室 (担当：赤羽)</p> <p>第9回 関節モビライゼーションの実際：脊柱、股関節 11/25(火)2限 徒手・物理療法室 (担当：赤羽)</p> <p>第10回 関節モビライゼーションの実際：膝関節、足関節、足根部 12/2(火)2限 徒手・物理療法室 (担当：赤羽)</p> <p>第11回 スポーツマッサージの実践：皮膚 12/9(火)2限 徒手・物理療法室 (担当：赤羽)</p> <p>第12回 スポーツマッサージの実践：筋膜 12/16(火)2限 徒手・物理療法室 (担当：赤羽)</p> <p>第13回 スポーツマッサージの実践：顔面、頸部 12/23(火)2限 徒手・物理療法室 (担当：赤羽)</p> <p>第14回 スポーツマッサージの実践：上肢、体幹 1/6(火)2限 徒手・物理療法室 (担当：赤羽)</p> <p>第15回 スポーツマッサージの実践：下肢 1/13(火)2限 徒手・物理療法室 (担当：赤羽)</p>
教科書	資料を配布する。
参考図書	授業中に紹介する。
予習・復習内容	随時伝える。
成績評価方法	PNF筆記試験40% スポーツマッサージ・関節モビライゼーション実技試験各30%
履修上の注意	体表触診ができる服装で参加すること。
担当教員への連絡方法	akahane.katsushi@shiotoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	臨床および現場での経験あり。
実務経験と授業科目の関連性	実務経験を活かして基本的技術を指導する。

指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 理学療法治療学
-----------	--

講義科目名称： 神経障害治療技術論

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	2単位	選択
担当教員			
福谷 保、山本 良彦			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	神経系障害に対する各種アプローチの理解をさらに深める。神経系障害の基礎にある神経機能の成熟過程を踏まえた治療の考え方と手技の習熟を目指す。
学修目標	1. 神経障害の特性を説明できる 2. 各治療方法の理論を説明できる 3. 治療理論を踏まえて適切な手技を実施できる
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション（講義概要の説明） 9/22(月)4限 運動療法室/第3作業療法室（担当：山本、福谷）</p> <p>第2回 発達科学としての身体認知 9/29(月)4限 運動療法室/第3作業療法室（担当：山本）</p> <p>第3回 空間知覚とボディイメージ 10/6(月)4限 運動療法室/第3作業療法室（担当：山本）</p> <p>第4回 感覚入力と運動出力 10/20(月)4限 運動療法室/第3作業療法室（担当：山本）</p> <p>第5回 アフォーダンスと運動制御 10/27(月)4限 運動療法室/第3作業療法室（担当：山本）</p> <p>第6回 脳とこころ 11/10(月)4限 運動療法室/第3作業療法室（担当：山本）</p> <p>第7回 知覚と運動の回復、メンタルプラクティス (11/17(月)4限 運動療法室/第3作業療法室（担当：山本）</p> <p>第8回 認知神経リハビリテーション（認知運動療法） 11/24(月)4限 運動療法室/第3作業療法室（担当：山本）</p> <p>第9回 正常運動発達の概要（マイルストーンの理解） 12/1(月)4限 運動療法室/第3作業療法室（担当：福谷）</p> <p>第10回 運動発達と重力の関係（安定性と運動性） 12/8(月)4限 運動療法室/第3作業療法室（担当：福谷）</p> <p>第11回 正常発達と骨格筋の機能 12/15(月)4限 運動療法室/第3作業療法室（担当：福谷）</p> <p>第12回 正常発達と神経系の機能 12/15(月)4限 運動療法室/第3作業療法室（担当：福谷）</p> <p>第13回 治療介入における感覚入力の考え方 1/5(月)4限 運動療法室/第3作業療法室（担当：福谷）</p> <p>第14回 床上動作の誘導技術 1/14(水)4限 運動療法室/第3作業療法室（担当：福谷）</p> <p>第15回 移動動作の誘導技術 1/19(月)4限 運動療法室/第3作業療法室（担当：福谷）</p>
教科書	なし
参考図書	随時紹介する
予習・復習内容	授業時に指示する
成績評価方法	レポート、口頭試問（100%）
履修上の注意	運動ができる服装で参加すること
担当教員への連絡方法	チームスのチャットで連絡すること
授業に関する大学教員以外の実務経験	理学療法士として病院・施設での勤務経験がある
実務経験と授業科目の関連性	臨床経験を踏まえて実例を示しながら講義する
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 理学療法治療学

講義科目名称： 内部障害治療技術論

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	2単位	選択
担当教員			
倉澤 康之、大町 かおり、山本 良彦、佐藤 剛章			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	内部障害に対する各種アプローチの理解をさらに深める。内部障害の基礎にある呼吸循環器系の機能を踏まえた治療の考え方と手技の習熟を目指す。また、高齢期に向かう中での疾病予防（生活習慣病予防）の考え方と手技の習熟を目指す。さらに近年注目される産業理学療法について、理学療法士が労働者の健康に貢献するための専門性とスキルの習熟を目指す。
学修目標	1. 内部障害のリハビリテーションにおけるリスクを説明し、適切な評価法を選択できる 2. 内部障害のリハビリテーションにおけるリスクを判断し、適切な運動療法や負荷量を設定できる 3. 呼吸理学療法において適切な手技を実施できる 4. 産業保健理学療法の社会的意義と具体的な活動を説明できる
授業計画	<p>第1回 呼吸理学療法に必要なフィジカルアセスメント（肺音聴取、呼吸パターン、他） 9/26(金)1限 運動療法室（担当：倉澤）</p> <p>第2回 吸理学療法に必要なフィジカルアセスメント（6分間歩行試験、他） 10/3(金)1限 運動療法室（担当：倉澤）</p> <p>第3回 徒手の理学療法手技（呼吸介助、他） 10/6(月)1限 201/徒手・物理療法室（担当：山本）</p> <p>第4回 徒手の理学療法手技（呼吸介助、他） 10/20(月)1限 201/徒手・物理療法室（担当：山本）</p> <p>第5回 呼吸理学療法の臨床応用（症例検討） 10/24(金)1限 運動療法室（担当：倉澤）</p> <p>第6回 心臓疾患に必要なフィジカルアセスメント（聴診、心電図、各種評価） 10/31(金)1限 運動療法室（担当：倉澤）</p> <p>第7回 運動療法のエビデンス 11/7(金)1限 運動療法室（担当：倉澤）</p> <p>第8回 心臓リハビリテーションの実際 11/14(金)1限 運動療法室（担当：倉澤）</p> <p>第9回 症例検討1. 虚血性心疾患 11/21(金)1限 運動療法室（担当：倉澤）</p> <p>第10回 症例検討2. 心不全 11/28(金)1限 運動療法室（担当：倉澤）</p> <p>第11回 予防理学療法の領域 12/8(月)1限 201/徒手・物理療法室（担当：大町）</p> <p>第12回 予防理学療法と社会のニーズ 12/15(月)1限 201/徒手・物理療法室（担当：大町）</p> <p>第13回 産業保健と理学療法士の役割 12/22(月)1限 201/徒手・物理療法室（担当：佐藤）</p> <p>第14回 労働災害の予防と産業保健理学療法 1/5(月)1限 201/徒手・物理療法室（担当：佐藤）</p> <p>第15回 健康経営と理学療法士の関わり 1/19(月)1限 201/徒手・物理療法室（担当：佐藤）</p>
教科書	指定しない。資料を配布する。
参考図書	授業中に紹介する。
予習・復習内容	授業で提示する。
成績評価方法	レポート100%
履修上の注意	授業で提示する。
担当教員への連絡方法	Microsoft Teamsのチャット（倉澤、佐藤、山本）、 ohmachi.kaori@shitoku.ac.jp（大町）
授業に関する大学教員以外の実務経験	理学療法士として臨床や自治体事業の経験がある。
実務経験と授業科	実務経験を活かし、理学療法士の役割が実感できるよう指導する。

目の関連性	
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 理学療法治療学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1単位	必修
担当教員			
松永 広枝			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	地域リハビリテーションとは、生活拠点に立脚し、保健・医療・福祉・生活・介護に関わる理念と技術が統合されたものである。ここでは、理学療法を中心としつつも、幅広く地域リハビリテーションに関わる理念、障害モデルの考え方、生活評価、各種制度やサービス供給能力とその連携などに関する理解を深め、地域活動における理学療法士の在り方を提言する。
学修目標	1. 障害者や高齢者を支える考えを理解することができる 2. 地域リハビリテーションに関わる法・制度の概略が理解できる 3. 地域リハビリテーションにおける理学療法士の役割を理解でき、考察できる
授業計画	<p>第1回 地域リハビリテーションの背景、心身障害者と社会的変遷 9/22(月)4限 コミュニティールーム (担当：松永)</p> <p>第2回 健康と文化を考える 9/29(月)4限 コミュニティールーム (担当：松永)</p> <p>第3回 リハビリテーションを支える考え方・障害モデル 10/6(月)4限 コミュニティールーム (担当：松永)</p> <p>第4回 加齢と老化・生活機能の障害 10/20(月)4限 コミュニティールーム (担当：松永)</p> <p>第5回 生活機能の障害のリスク要因・フレイル 10/27(月)4限 コミュニティールーム (担当：松永)</p> <p>第6回 フレイルを評価する 11/10(月)4限 コミュニティールーム (担当：松永)</p> <p>第7回 地域リハビリテーションの概要（地域を理解する） 11/17(月)4限 コミュニティールーム (担当：松永)</p> <p>第8回 地域リハビリテーションの広がり 制度の変遷 11/24(月)4限 コミュニティールーム (担当：松永)</p> <p>第9回 介護保険制度の概要と地域包括ケアシステム 12/1(月)4限 コミュニティールーム (担当：松永)</p> <p>第10回 介護保険のリハビリテーションサービス 12/8(月)4限 コミュニティールーム (担当：松永)</p> <p>第11回 施策における障害者の定義・障害者総合支援法の成立 12/15(月)4限 コミュニティールーム (担当：松永)</p> <p>第12回 障害者総合支援法 12/22(月)4限 コミュニティールーム (担当：松永)</p> <p>第13回 地域リハビリテーションにおけるPTの役割を考える 1/5(月)4限 コミュニティールーム (担当：松永)</p> <p>第14回 地域でのリスク管理・多職種連携 1/14(水)4限 コミュニティールーム (担当：松永)</p> <p>第15回 ビデオ供覧 発症から地域リハビリまで 1/19(月)4限 コミュニティールーム (担当：松永)</p>
教科書	1. 牧田光代 他編：標準理学療法学 地域理学療法学 医学書院 2. 細田多穂：地域リハビリテーション学テキスト 南江堂
参考図書	1. 田中康之 他編 地域包括ケアにおけるPT・OTの役割 個別地域ケア会議・介護予防事業から学ぶ 文光堂 2. 浅川育世 他編 ビジュアルレクチャー地域理学療法学 医歯薬出版 3. 重森健太 編 PT・OTビジュアルテキスト地域理学療法学 羊土社 4. 太田仁史 他編 地域リハビリテーション論 三輪書店 5. 沢村誠志 監修 社会リハビリテーション論 三輪書店
予習・復習内容	教員の指示に従う。
成績評価方法	期末試験100%
履修上の注意	本教科は障害者や高齢者が主体的に生活するための社会的考え方や支援について学ぶものである。事前学習では、教科書や参考図書、関係文献に目を通しておくことはもちろん、普段から障害者や高齢者を取り巻く社会情勢や問題について、マスコミ情報に目を向け考察する習慣をつけること。事後学習は、講義ノートを作成し内容を整理し、理学療法士としての考え方や役割を考察することに心がける。

担当教員への連絡方法	初回授業時にアナウンスする。
授業に関する大学教員以外の実務経験	臨床現場における訪問リハ・通所リハ・通所介護・介護老人保健施設における治療経験・指導経験を有する。
実務経験と授業科目の関連性	臨床経験に基づいて具体的な講義を行うことで、地域での理学療法について理解することができる。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 地域理学療法学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	1単位	必修
担当教員			
松永 広枝			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	リハビリテーション医療は施設・病院から在宅へと、地域を基盤として展開が図られてい。疾患・障害から、生活を基盤とした新たなリハビリテーションの展開が強く求められている。 この授業では、保健・医療・福祉の動向を踏まえて、地域包括ケアシステムの概要と理学療法の関わり（通所、入所、訪問、介護予防・健康増進など）を学び、地域リハビリテーションの考え方、システム、チームアプローチの重要性、理学療法士の役割について理解を深める。
学修目標	1. 生活期とはどんなものが理解できる 2. 地域包括ケアシステムの考え方が理解できる 3. 生活機能を維持するために必要な考え方、連携が理解できる 4. 健康維持と介護予防の考え方が理解できる
授業計画	<p>第1回 生活期リハビリテーションの概念・目的 4/7(月)3限 大講義室 (担当：松永)</p> <p>第2回 生活期リハビリテーションの概要 4/14(月)3限 大講義室 (担当：松永)</p> <p>第3回 地域包括ケアシステムの概要 4/21(月)3限 大講義室 (担当：松永)</p> <p>第4回 地域包括ケアシステムにおける地域ケア会議 4/28(月)3限 大講義室 (担当：松永)</p> <p>第5回 地域包括ケアシステムにおける介護予防 5/12(月)3限 大講義室 (担当：松永)</p> <p>第6回 介護予防（転倒予防） 5/19(月)3限 大講義室 (担当：松永)</p> <p>第7回 介護予防（認知症予防） 5/26(月)3限 大講義室 (担当：松永)</p> <p>第8回 介護保険サービスの概要 理学療法展開①（介護老人保健施設） 6/2(月)3限 大講義室 (担当：松永)</p> <p>第9回 理学療法の展開②（介護老人福祉施設） 6/9(月)3限 大講義室 (担当：松永)</p> <p>第10回 理学療法の展開③（通所リハビリテーション） 6/16(月)3限 大講義室 (担当：松永)</p> <p>第11回 理学療法の展開④（訪問リハビリテーション） 6/23(月)3限 大講義室 (担当：松永)</p> <p>第12回 理学療法の展開⑤（障害者総合支援法・行政・地域活動） 6/30(月)3限 大講義室 (担当：松永)</p> <p>第13回 福祉用具供給システム 7/7(月)3限 大講義室 (担当：松永)</p> <p>第14回 障がい者スポーツ（ボッチャ体験） 7/14(月)3限 大講義室 (担当：松永)</p> <p>第15回 生活期のリハビリテーション事例紹介・検討 7/21(月)3限 大講義室 (担当：松永)</p>
教科書	1. 牧田光代 他編 標準理学療法学 地域理学療法学 医学書院 2. 細田多穂 地域リハビリテーション学テキスト 南江堂
参考図書	1. 村田 伸 他著 地域理学療法学テキスト 学術研究出版 2. 田中康之 他編 地域包括ケアにおけるPT・OTの役割 個別地域ケア会議・介護予防事業から学ぶ 文光堂 3. 重森健太 他編 PT・OTビジュアルテキスト 地域理学療法学 羊土社 4. 浅川育世 他編 ビジュアルレクチャー 地域理学療法学 医歯薬出版株式会社 5. 太田仁史 他編 地域リハビリテーション論：三輪書店
予習・復習内容	教員の指示に従う。
成績評価方法	期末試験100%
履修上の注意	本科目は、障がい者や高齢者が主体的に生活するために必要な生活機能の維持向上を図るために理学療法士としての具体的係わりを考えるものである。 事前・事後学習では、テキストの該当部分をよく読んで理解を深めるとともに、地域のサービスや活動について

	ても目を向け、地域資源を理解する習慣をつけることを求める。地域の施設や活動の見学、参加を推奨する。
担当教員への連絡方法	初回授業時にアナウンスする。
授業に関する大学教員以外の実務経験	臨床現場における訪問リハ・通所リハ・通所介護・介護老人保健施設における治療経験・指導経験、地域における障害者スポーツ活動支援経験を有する。
実務経験と授業科目の関連性	臨床経験に基づいて地域での連携を視野に入れた講義を行うことで、地域での理学療法をより深く理解することができる。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 地域理学療法学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	1単位	必修
担当教員			
下田 浩一、大町 かおり			
年間授業回数：15回	授業形態：演習		
添付ファイル			

授業目標	前半は、地域リハビリテーションを展開する上で重要な知識となる健康状態やリスクの把握・対応方法について、チームアプローチと理学療法の観点から学ぶ（嚥下障害、虚弱、褥瘡、転倒、低栄養、排尿障害、認知機能低下、口腔機能低下、足部のトラブルなど）。後半は、通所、入所、介護予防、健康増進等の事業における意義、目的、期待できる効果などについて学ぶ。また、グループワークを通じて方法論を学び、具体的なプログラムを立案する力を身につける。
学修目標	1. 生活に影響に及ぼす二次的続発症や併存症状について、グループワーク等を通じ理解を深める 2. 通所、入所、介護予防、健康増進などさまざまな集団活動における意義、目的、方法についてグループワーク等を通じ理解を深める 3. それぞれの目的に応じた集団活動の具体的なプログラムを提示できる
授業計画	<p>第1回 理学療法士の資格と知識を活かしたさまざまな分野での働き方 9/26(金)2限 大講義室（担当：大町）</p> <p>第2回 健康状態とリスクの把握・対処法について グループワーク 10/3(金)2限 大講義室（担当：下田）</p> <p>第3回 グループワーク1 10/10(金)2限 大講義室（担当：下田）</p> <p>第4回 グループワーク2 10/17(金)2限 大講義室（担当：下田）</p> <p>第5回 グループワーク3 10/24(金)2限 大講義室（担当：下田）</p> <p>第6回 発表・まとめ1 10/31(金)2限 大講義室（担当：下田）</p> <p>第7回 発表・まとめ2 11/7(金)2限 大講義室（担当：下田）</p> <p>第8回 発表・まとめ3 11/14(金)2限 大講義室（担当：下田）</p> <p>第9回 生活支援・介護予防・健康増進等における事例研究 グループワーク 11/21(金)2限 大講義室（担当：下田）</p> <p>第10回 グループワーク1 11/28(金)2限 大講義室（担当：下田）</p> <p>第11回 グループワーク2 12/5(金)2限 大講義室（担当：下田）</p> <p>第12回 グループワーク3 12/12(金)2限 大講義室（担当：下田）</p> <p>第13回 発表・まとめ1 12/19(金)2限 大講義室（担当：下田）</p> <p>第14回 発表・まとめ2 12/26(金)2限 大講義室（担当：下田）</p> <p>第15回 発表・まとめ3 1/9(金)2限 大講義室（担当：下田）</p>
教科書	細田多穂 地域リハビリテーション学テキスト 南江堂
参考図書	<p>1. 牧田光代 他編 標準理学療法学 専門分野 PT 地域理学療法学 医学書院</p> <p>2. 村田 伸 他著 地域理学療法学テキスト 学術研究出版</p> <p>3. 田中康之 他編 地域包括ケアにおけるPT・OTの役割 個別地域ケア会議・介護予防事業から学ぶ 文光堂</p> <p>4. 重森健太 他編 PT・OTビジュアルテキスト 地域理学療法学 羊土社</p> <p>5. 浅川育世 他編 ビジュアルレクチャー 地域理学療法学 医歯薬出版株式会社</p> <p>6. 寺山久美子監修 レクリエーション-社会参加を促す治療的レクリエーション 三輪書店</p> <p>7. 太田仁史 他編 地域リハビリテーション論 三輪書店</p>
予習・復習内容	教員の指示に従う。
成績評価方法	発表100%
履修上の注意	健康増進等の社会活動における理学療法士の具体的関わりを考えるものである。

	事前学習では、地域理学療法学Ⅰ・Ⅱで学んだことを応用し、参考書や文献を参考に臨床実習・施設見学・ボランティア活動等の経験を生かし、地域での関わり方を考え、それを討論に反映できるようにすること。事後学習では、講義および討論の内容・結果などをまとめ、それらを臨床実習や卒後に生かせるようにする。
担当教員への連絡方法	初回授業時にアナウンスする。
授業に関する大学教員以外の実務経験	理学療法士として臨床経験を有する。
実務経験と授業科目の関連性	訪問リハ、通所リハ、通所介護、入所リハにおける実務経験をもとに臨床を踏まえた授業を行う。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 地域理学療法学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	1単位	必修
担当教員			
荻原 啓文			
年間授業回数：15回	授業形態：講義	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	身体障害を有しても快適な生活を営むことができる生活環境の構築を目的として、生活者である人間に影響を及ぼす外界の諸条件を学ぶ。 具体的な支援方法として、福祉機器や住宅改修の基礎について学ぶ。 事例紹介を通して具体的な解決方法の実践的な要点を学ぶ。 福祉機器の体験実習、家屋環境の計測実習、および模擬症例の生活像に応じた生活環境整備計画立案をグループワークにより経験し、種々の要因を考慮した上での総合的環境整備の実践的なアプローチ方法を演習する。
学修目標	1. 各障害特性に応じた生活のありかたに配慮した生活環境整備の原則を理解する 2. 生活環境整備に必要な社会資源や法制度を理解する
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション、生活環境総論 9/25(木)1限 大講義室/日常生活活動室 (担当：荻原)</p> <p>第2回 生活環境学の概念 10/2(木)1限 大講義室/日常生活活動室 (担当：荻原)</p> <p>第3回 生活環境と社会保障制度 10/9(木)1限 大講義室/日常生活活動室 (担当：荻原)</p> <p>第4回 福祉用具の種類と機能 10/16(木)1限 大講義室/日常生活活動室 (担当：荻原)</p> <p>第5回 福祉用具(機器)体験実習① 10/23(木)1限 大講義室/日常生活活動室 (担当：荻原)</p> <p>第6回 福祉用具(機器)体験実習② 10/30(木)1限 大講義室/日常生活活動室 (担当：荻原)</p> <p>第7回 住環境整備 11/6(木)1限 大講義室/日常生活活動室 (担当：荻原)</p> <p>第8回 住環境計測実習① 11/13(木)1限 大講義室/日常生活活動室 (担当：荻原)</p> <p>第9回 住環境計測実習② 11/20(木)1限 大講義室/日常生活活動室 (担当：荻原)</p> <p>第10回 生活環境整備症例演習 11/27(木)1限 大講義室/日常生活活動室 (担当：荻原)</p> <p>第11回 生活環境整備総合演習① 12/4(木)1限 大講義室/日常生活活動室 (担当：荻原)</p> <p>第12回 生活環境整備総合演習② 12/11(木)1限 大講義室/日常生活活動室 (担当：荻原)</p> <p>第13回 生活環境整備総合演習③ 12/18(木)1限 大講義室/日常生活活動室 (担当：荻原)</p> <p>第14回 生活環境整備報告会① 12/25(木)1限 大講義室/日常生活活動室 (担当：荻原)</p> <p>第15回 生活環境整備報告会② 1/8(木)1限 大講義室/日常生活活動室 (担当：荻原)</p>
教科書	鶴見隆正 他編 標準理学療法学 日常生活活動学・生活環境学 第6版 医学書院
参考図書	1. 細田多穂 監 シンプル理学療法学作業療法学シリーズ 生活環境学テキスト 南江堂 2. 橋元隆 編 生活環境論 神陵文庫 3. 野村歡 他編 OT・PTのための住環境整備論 三輪書店
予習・復習内容	各障害と生活環境との関連についての想定をすること。
成績評価方法	定期試験80% 発表20%
履修上の注意	グループ演習が中心となる。実習室使用および他科目実施の都合により授業曜日および授業時限の変更が生じる可能性があるので注意すること。
担当教員への連絡方法	オフィスアワー、メール、Microsoft Teamsチャットにて対応する。
授業に関する大学教員以外の実務経	理学療法士としての臨床経験。

験	
実務経験と授業科目の関連性	理学療法士として携わった、患者の在宅復帰に向けた住宅改修や生活環境整備の臨床経験を基に、生活環境に関する座学およびグループ演習を指導できる。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 地域理学療法学

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1単位	必修
担当教員			
福谷 保、木村 貞治、山本 良彦、大町 かおり、赤羽 勝司、下田 浩一、荻原 啓文、佐藤 剛章、倉澤 康之、杉本 穂高			
年間授業回数：15回	授業形態：実習		
添付ファイル			

授業目標	1. 基本的なマナーに加え、接遇などを学修し、将来理学療法士として働くための役割や心構えを学修する 2. 医療施設見学を行い、医療現場の中での理学療法の機能や役割を理解し、理学療法士としての基本姿勢を考える
学修目標	1. 医療関係施設の中で理学療法士の働く場面で必要な役割や心構えを理解することができる 2. 施設見学の中で学んだことをグループの中で伝えることができる 3. 見学した内容をグループで協力しまとめて発表することができる
授業計画	<p>オリエンテーション【以下の1. 事前学習、2. 施設見学、3. 見学後の発表を4月～7月にかけて行なう。】</p> <p>4/10(木)3・4限 大講義室 (担当：福谷)</p> <p>事前学習1 理学療法士に関するビデオ視聴 自己学習</p> <p>事前学習2 見学予定施設の概要 自己学習</p> <p>事前学習3 接遇、マナーについて 5/1(木)3限 大講義室 (担当：福谷)</p> <p>事前学習4 理学療法士の適性について (グループワーク) 5/1(木)4限 第1作業療法室 (担当：福谷)</p> <p>事前学習5 理学療法士の適性について (発表) 5/15(木)3限 大講義室、4限 第1作業療法室 (担当：福谷)</p> <p>施設見学 2025年5月26日 (月)～30日 (金)の期間中に成人領域と小児領域の施設を訪問し、見学する。</p> <p>見学後発表の準備1 見学内容の概要整理 6/12(木)3・4限 大講義室 (担当：福谷)</p> <p>見学後発表の準備2 発表資料の作成 6/26(木)3・4限 大講義室 (担当：福谷)</p> <p>見学後発表 7/10(木)3・4限 大講義室 (担当：福谷)</p>
教科書	教科書は指定しない。
参考図書	参考書は指定しない。
予習・復習内容	担当教員の指示に従って行うこと。
成績評価方法	施設見学レポート50%、発表50%
履修上の注意	見学先の施設の方々に対し、失礼のないように心掛けること。
担当教員への連絡方法	オリエンテーションで指示する。
授業に関する大学教員以外の実務経験	病院での臨床経験を持つ。
実務経験と授業科目の関連性	臨床経験を元に、医療人としての基本的接遇やマナーを伝え、学生は将来医療人として働く心構えを持つことができるようになる。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1 (理学療法士課程) 臨床実習

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	3単位	必修
担当教員			
福谷 保、木村 貞治、大町 かおり、赤羽 勝司、山本 良彦、下田 浩一、荻原 啓文、佐藤 剛章、倉澤 康之、杉本 穂高			
年間授業回数：15回	授業形態：実習		
添付ファイル			

授業目標	初めて経験する臨床現場である実習施設の機能、各医療従事者と対象者の関わりや理学療法士の業務と範囲、さらに対象者の抱える心理的・身体的・社会的な種々の問題点について具体的に学ぶ。また、学内で学んだ知識・技術を基に、対象者に応じて適切な情報を集め、基本的検査および測定などの評価を実施し、対象者の状態を把握する。 第3学年への準備、臨床評価実習Ⅱ、臨床実習の前段階として、学内で学んだことを臨床で体験的に学修し、理解を深める。
学修目標	1. 学内で学んだ知識や技術をもとに、必要な情報を集めることができる 2. 基本的な検査および測定などの評価を実施することができる 3. 各医療従事者と適切に関わることができる 4. 理学療法士の業務と範囲について学ぶことができる
授業計画	実習期間 2026年2月16日（月）～27日（金） 実習前にオリエンテーション、CBT、OSCEを行う／実習後に反省会、発表会を行う
教科書	テキスト 臨床実習の手引き
参考図書	参考図書は指定しない
予習・復習内容	担当教員の指示により実施する
成績評価方法	CBT、OSCE10% 実習遂行状況（チェックリスト、実習記録等）50% 実習後反省会・発表会（実技の確認を含む）40%
履修上の注意	実習開始前に実習の手引きを配布し、オリエンテーションをおこなう。実習生の心得等を熟読し、実習を受けていただく施設の情報をもとに、患者評価に必要な基礎知識を事前学修する。 また、体験患者の情報をもとに学んだ知識や技術を事後学修として取り組む。
担当教員への連絡方法	オリエンテーションで指示する
授業に関する大学教員以外の実務経験	病院での臨床経験を持つ
実務経験と授業科目の関連性	臨床経験より、実習に必要な準備および実習終了後の事後学習など、実習前後の学修を含めた一連の流れに沿った指導により学生はより深い実習を行うことができる。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 臨床実習

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	4単位	必修
担当教員			
福谷 保、木村 貞治、大町 かおり、赤羽 勝司、山本 良彦、下田 浩一、荻原 啓文、佐藤 剛章、倉澤 康之、杉本 穂高			
年間授業回数：15回	授業形態：実習		
添付ファイル			

授業目標	学内教育で学んだ知識・技術を基に、対象者に応じて適切な情報を集め、検査および測定などの評価を実施し、解釈・分析・統合して対象者の全体像を把握し、治療プログラムを作成し、一部の治療技術を実践して、その過程・方法を具体的に学び、その中で応用能力を養う。また、臨床実習の前段階として学内教育で学んだことを臨床で体験的に学習し、理解を深める。さらに、実習施設における理学療法士の役割や理学療法部門の管理・運営を学び、医療・社会における理学療法士の役割について理解し、理学療法士として取るべき行動、態度を養う。
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学内で学んだ知識や技術をもとに、必要な情報を集めることができる 2. 基本的な検査および測定などの評価を実施することができる 3. 収集した情報から治療プログラムを作成し、一部の治療技術を実践することができる 4. 各医療従事者と適切に関わることができる 5. 理学療法士の業務と範囲について学ぶことができる
授業計画	<p>実習期間 2025年8月18日（月）～9月5日（金）</p> <p>実習前にオリエンテーション、CBT、OSCEを行う／実習後に反省会、発表会を行う</p>
教科書	テキスト 臨床実習の手引き
参考図書	参考図書は指定しない
予習・復習内容	担当教員の指示により実施する
成績評価方法	CBT、OSCE10% 実習遂行状況（チェックリスト、実習記録等）50% 実習後反省会・発表会（実技の確認を含む）40%
履修上の注意	実習開始前に実習の手引きを配布し、オリエンテーションをおこなう。実習生の心得等を熟読し、実習を受け入れていただく施設の情報をもとに、患者評価に必要な基礎知識を事前学修する。 また、体験患者の情報をもとに学んだ知識や技術を事後学修として取り組む。
担当教員への連絡方法	オリエンテーションで指示する。
授業に関する大学教員以外の実務経験	病院での臨床経験を持つ。
実務経験と授業科目の関連性	臨床経験から、実習に必要な準備および実習終了後の事後学習など、実習前後の学修を含めた一連の流れに沿った指導により学生はより深い実習を行うことができる。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 臨床実習

講義科目名称： 地域理学療法実習

授業コード： 34060

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4年	1単位	必修
担当教員			
福谷 保、木村 貞治、大町 かおり、赤羽 勝司、山本 良彦、下田 浩一、荻原 啓文、佐藤 剛章、倉澤 康之、杉本 穂高			
年間授業回数：15回	授業形態：実習		
添付ファイル			

授業目標	高齢化に伴い、地域における理学療法士の役割は拡大してきている。この科目では、通所リハビリテーションまたは訪問リハビリテーションの現場において他職種との連携や、地域の理学療法士の役割を理解し、そこで必要な技術や知識・評価・実施方法を学ぶ。
学修目標	1. 地域の理学療法士の役割を理解することができる 2. 地域の理学療法士が必要な知識や技術を理解することができる
授業計画	実習期間 2025年5月19日（月）～23日（金） または 5月26日（月）～30日（金） 事前のオリエンテーション／施設実習（5日間）／ディスカッション／症例報告会を行なう
教科書	テキスト 臨床実習の手引き
参考図書	参考図書は指定しない。
予習・復習内容	担当教員の指示により実施する。
成績評価方法	実習遂行状況（実習記録）50%、実習後反省会・発表会50%
履修上の注意	臨床実習の手引きにある実習の目的、実習生の心得等を熟読し実習を受け入れていただく施設の情報をもとに必要な基礎知識を事前学習してください。また、実習後は学んだことを踏まえて事後学修をしてください。
担当教員への連絡方法	オリエンテーションで指示する。
授業に関する大学教員以外の実務経験	病院での臨床経験を持つ。
実務経験と授業科目の関連性	臨床経験から、実習に必要な準備および実習終了後の事後学習など、実習前後の学修を含めた一連の流れに沿った指導により学生はより深い実習を行うことができる。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 臨床実習

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4年	8単位	必修
担当教員			
福谷 保、木村 貞治、大町 かおり、赤羽 勝司、山本 良彦、下田 浩一、荻原 啓文、佐藤 剛章、倉澤 康之、杉本 穂高			
年間授業回数：15回	授業形態：実習	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	実習指導者による指導、助言の下に、評価・治療計画・治療という一貫した治療行為、そのために必要な記録・報告を経験する。また、実習施設における理学療法士の役割や理学療法部門の管理運営を学び、医療・社会における理学療法士の役割について理解し、理学療法士としての行動、態度を実践的に学ぶ。
学修目標	高い倫理観のもと、専門的な知識を基盤とする、根拠に基づく基本的な理学療法を適切に実践できる。 具体的には、以下の4点を実践する。 ①理学療法評価（初期および最終）を実施する ②担当患者（利用者）のリスクを評価し、適切なリスク管理を行う ③適切な評価過程に基づいた理学療法プログラムを立案し、実施する ④理学療法実施中におけるプログラムを適切に変更する
授業計画	実習期間 2025年6月16日（月）～8月8日（金） 実習前にオリエンテーション、CBT、OSCEを行なう/実習施設での実習/実習後に反省会、発表
教科書	テキスト 臨床実習の手引き
参考図書	参考図書は指定しない。
予習・復習内容	担当教員の指示により実施する。
成績評価方法	CBT、OSCE10% 実習遂行状況（チェックリスト、実習記録等）50% 実習後反省会・発表会（実技の確認を含む）40%
履修上の注意	臨床実習の手引きにある実習の目的、実習生の心得等を熟読し、 ・実習を受けていただく施設の情報をもとに患者評価に必要な基礎知識について事前学修すること ・体験患者の情報をもとに、根拠に基づいた統合と解釈ができるよう事後学修すること
担当教員への連絡方法	オリエンテーションで指示する。
授業に関する大学教員以外の実務経験	病院での臨床経験を持つ。
実務経験と授業科目の関連性	臨床経験から、実習に必要な準備および実習終了後の事後学習など、実習前後の学修を含めた一連の流れに沿った指導により学生はより深い実習を行うことができる。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 臨床実習

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4年	8単位	必修
担当教員			
福谷 保、木村 貞治、大町 かおり、赤羽 勝司、山本 良彦、下田 浩一、荻原 啓文、佐藤 剛章、倉澤 康之、杉本 穂高			
年間授業回数：15回	授業形態：実習	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	実習指導者による指導、助言の下に、評価・治療計画・治療という一貫した治療行為、そのために必要な記録・報告を経験する。また、実習施設における理学療法士の役割や理学療法部門の管理運営を学び、医療・社会における理学療法士の役割について理解し、理学療法士としての行動、態度を実践的に学ぶ。
学修目標	高い倫理観のもと、専門的な知識を基盤とする、根拠に基づく基本的な理学療法を適切に実践できる。 具体的には、以下の4点を実践する。 ①理学療法評価（初期および最終）を実施する ②担当患者（利用者）のリスクを評価し、適切なリスク管理を行う ③適切な評価過程に基づいた理学療法プログラムを立案し、実施する ④理学療法実施中におけるプログラムを適切に変更する
授業計画	実習期間 2025年9月22日（月）～11月14日（金） 実習前にオリエンテーション、CBT、OSCEを行なう/実習施設での実習/実習後に反省会、発表
教科書	テキスト 臨床実習の手引き
参考図書	参考図書は指定しない。
予習・復習内容	担当教員の指示により実施する。
成績評価方法	CBT、OSCE10% 実習遂行状況（チェックリスト、実習記録等）50% 実習後反省会・発表会（実技の確認を含む）40%
履修上の注意	臨床実習の手引きにある実習の目的、実習生の心得等を熟読し、 ・実習を受けていただく施設の情報をもとに患者評価に必要な基礎知識について事前学修すること ・体験患者の情報をもとに、根拠に基づいた統合と解釈ができるよう事後学修すること
担当教員への連絡方法	オリエンテーションで指示する。
授業に関する大学教員以外の実務経験	病院での臨床経験を持つ。
実務経験と授業科目の関連性	臨床経験から、実習に必要な準備および実習終了後の事後学習など、実習前後の学修を含めた一連の流れに沿った指導により学生はより深い実習を行うことができる。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 臨床実習